

地質調査総合センター研究資料集 No. 486

Geological Survey of Japan Open File No. 486

地質図—地質用語

(TS 素案：2008)

Glossary of terms used in geological maps

(Rough draft for TS : 2008)

編集

Edited by

JIS「地質用語集」原案の作成研究グループ

Investigation Group for the Terms Used in Geological Maps

産業技術総合研究所地質調査総合センター

Geological Survey of Japan, AIST

要 旨

本地質用語集は、地質図の標準化のために産業技術総合研究所が原案を作成中である標準仕様書(TS)「地質図-地質用語」の素案として、平成18～19年度にJIS『地質用語集』原案の作成研究グループが作成したものである。JIS A 0204: 2008ならびにJIS A 0205: 2008で用いられている地質用語をはじめとする地質用語2,066語を15種類に分類し100字程度の説明文を付けた。これにより2つのJISの基盤となるTS地質用語作成のための基礎資料ができた。

キーワード 地質図, 地質用語, 標準化, TS, JIS

1. はじめに

本資料集は、独立行政法人産業技術総合研究所地質総合センターが、経済産業省標準化研究の一環として行った「JIS-地質用語集-原案の作成」の研究(平成18～19年度)を元に、標準仕様(TS)とすべくまとめた素案である。この素案は、**JIS A 0204: 2008**「地質図—記号, 色, 模様, 用語及び凡例表示」ならびに**JIS A 0205: 2008**「ベクトル数値地質図—品質要求事項及び主題属性コード」に用いられている地質用語, 及びその他の一般に地質図で用いられている地質用語について、系統的に分類し説明を加えたもので、用語の選定・編集は研究グループ構成員が行い、個々の用語の解説は、執筆者一覧に掲げるように、研究グループ員のほか、地質調査総合センター傘下の多数の研究者が行った(第1表, 第2表)。また、その内容については、産業技術総合研究所地質分野連絡会地質標準検討ワーキンググループ(第3表)において検討を加えた。本資料集は未だ素案であり、これを公開することで、様々な角度から意見をいただいで内容をよりよいものとし、いずれ地質図関連JISの一つとして提案したいと考えている。

第1表 「JIS-地質用語集-原案の作成」の研究グループ構成表

鹿野和彦 (総括責任者)	湯浅真人 (海洋地質)
脇田浩二 (地質図全般)	柳沢幸夫 (古生物, 地質時代)
斎藤文紀 (堆積相)	尾崎正紀 (堆積岩)
宮崎一博 (変成岩)	西岡芳晴 (火成岩, 鉱物, 鉱石)
竹内圭史 (事務局)	

第2表 執筆者一覧

豊 遙秋 ⁵⁾	西岡芳晴 ¹⁾	徳橋秀一 ²⁾
下司信夫 ¹⁾	奥山康子 ¹⁾	利光誠一 ¹⁾
鹿野和彦 ¹⁾	尾崎正紀 ¹⁾	兼子尚知 ¹⁾
加藤碩一 ⁶⁾	齋藤文紀 ¹⁾	脇田浩二 ⁴⁾
町田 功 ²⁾	須藤定久 ²⁾	山元孝広 ¹⁾
宮崎一博 ¹⁾	鈴木祐一郎 ²⁾	竹内圭史 ¹⁾
中江 訓 ¹⁾	高橋 浩 ¹⁾	柳沢幸夫 ¹⁾
中澤 努 ¹⁾	竹内圭史 ¹⁾	吉岡敏和 ³⁾

執筆時の所属

- 1) 地質情報研究部門, 2) 地圏資源環境研究部門
 3) 活断層研究センター, 4) 地質調査情報センター
 5) 地質標本館 (客員研究員), 6) 産総研 (理事)

第3表 地質標準検討ワーキンググループ構成表 (平成20年度)

委員長	地質情報研究部門	鹿野 和彦
オブザーバー	産学官連携コーディネーター	古宇田亮一
委員	深部地質環境研究コア	渡部芳夫
	活断層研究センター	吉岡敏和
	地圏資源環境研究部門	渡辺 寧
	地質情報研究部門	宮崎 一博
	地質標本館	酒井 彰
	地質調査情報センター	下川浩一
	地質調査情報センター	阪口圭一
事務局	地質調査情報センター	吉川敏之
事務局	地質調査情報センター	原 英俊

2. 編集の趣旨

国土の開発, 高度利用, 環境保全, 災害対策等が進む中, 地質図は, 資源開発のみならずそれらを行うに必要な不可欠な地質学的情報を包括的に提供する図として, 需要が大きくなってい

る。しかし、地質図に用いられている地質用語については必ずしも統一がとれていないため、地質図の判読や利用に不便を感じることが多い。特に近年は、コンピュータ関連技術の進歩に伴い地質図類を数値化してコンピュータ上で処理・利用する事例が増加しており、地質図に用いる地質用語の不統一は、地質図作成のための共通ツール開発の妨げになっているだけでなく、一部データの互換性に欠けるために地質データベース作成の妨げにもなっており、統一された基準を設ける必要がある。現在、政府は国際標準に準拠した国内地理情報標準に基づき国土空間データ基盤の整備を進めつつある。特に、地質図を Web 上で提供するに当たっては、地質図の表現を統一することは避けて通れない。以上の観点から、この標準仕様書(TS)では、2002 年に制定され 2008 年に改訂された **JIS A 0204: 2008**「地質図－記号，色，模様，用語及び凡例表示」ならびに 2008 年に制定された **JIS A 0205: 2008**「ベクトル数値地質図－品質要求事項及び主題属性コード」に用いられている地質用語，及びその他の一般に地質図で用いられている地質用語について、系統的に分類し説明することとした。

3. 地質用語

3.1 定義

本資料集では、地質学で用いられる学術用語のうち、地質図の凡例表示及び説明に用いるものを「地質用語」という。

3.2 分類

地質用語を、次の 15 種類に分類して記述する。

- a) 地質時代
- b) 地層・岩体区分単位
- c) 堆積岩岩石
- d) 堆積岩岩相
- e) 火成岩岩石
- f) 火成岩岩相
- g) 火成岩組織
- h) 変成岩岩石
- i) 変成岩岩相
- j) 岩石群
- k) 鉱物
- l) 鉱産地
- m) 化石
- n) 地質属性

o) そのほか

3.3 地質用語

主な地質用語について、第4表のように定める。二つ以上の用語を並べている場合は、二番目以降の用語は使用可能な同義語である。以下に示されていない用語については、一般的に広く受け入れられている用語を用いる。

3.4 選定項目の内容

以下では地質用語について、選定した理由、選定内容の根拠、誤った解釈をしないための補足説明、関連する情報などを述べる。本標準仕様書に含まれる地質用語の多くは JIS A 0204: 2008 及び JIS A 0205: 2008 で用いられた用語であり、それらの解説と重複する事項も多いが厭わず挙げる。

- a) 分類と順序 用語の説明は表形式とし、JIS A 0205 の表を整理した以下のカテゴリ毎に作成した。a)地質時代, b)地層・岩体区分単位, c)堆積岩岩石, d)堆積岩岩相, e)火成岩岩石, f)火成岩岩相, g)火成岩組織, h)変成岩岩石, i)変成岩岩相, j)岩石群, k)鉱物, l)鉱産地, m)化石, n)地質属性, o)そのほか
- b) 同義語 同義語は「用語」の項に併記したが、同義語について補足説明を行いたい場合や対応英語を示したい場合には独立した見出し語とした。同義語が見出し語として複数あらわれる場合は、説明文は JIS で使用されている用語の項目にのみ記述した。少数ではあるが類義語についても併記した。
- c) 図 地質用語の説明に必要な場合は、例えば3成分ダイアグラム等の、図を本文に添付した。1つの図を複数の用語で参照する場合は、最も代表的な用語に添付し他の用語からはその用語を付記した。
- d) 参考にした規格 JIS A 0204: 2008 (地質図—記号, 色, 模様, 用語及び凡例表示), JIS A 0205: 2008 (ベクトル数値地質図—品質要求事項及び主題属性コード) のほか, JIS C 5600: 2006 (電子技術基本用語)・JIS M 0102: 2000 (鉱山用語) を参考にした。
- e) 活断層などの活構造 本標準仕様書では、活断層などの活構造については第四紀後半に活動したものと規定しているが、活動時期をより広く又は狭く取る場合や、累積変位が認められ、さらには、将来も活動する可能性があることを条件にする場合もある。活断層などの活構造の地質用語を用いる場合は、無用の混乱を避けるために、定義を明確に記述しておくことが望ましい。
- f) 地質時代の表記 従来、新生代 (Cenozoic) は、古第三紀 (Paleogene) と新第三紀 (Neogene), 第四紀 (Quaternary) に細分されてきたが、近年 Quaternary を Neogene に含め、Quaternary は Neogene の亜紀として扱うことが国際地質科学連合で提案されている。この議論に決着がつくのは 2008 年の国際地質科学連合総会となる見通しであり、新たな地質時代区分が国際的合意された場合でも、Paleogene と Neogene, Quaternary に対応する訳語を検討する必要があることから、この標準仕様書では当面は従来通りとした。

Permian の訳語としては二畳紀及びペルム紀の二つの訳語が存在するが、ペルム紀を採用

した。二畳紀は、Dyas という現在では用いられない紀名の和文名称であり、Permian の訳語としては不適切である。Permian は、模式地の名称にちなんで名付けられた紀の名称であり、その訳語は模式地の名称を継いでペルム紀とすべきである。また、Triassic の訳語としては三畳紀及びトリアス紀の二つの訳語が存在するが、地質関連の辞書類では三畳紀が広汎に使われており、三畳紀を採用した。

- g) 地層・岩体の表記用語 参考規定として引用した日本地質学会地層命名の指針（2000）は、国際層序学指針に準拠して作成されたものである。したがって、日本地質学会地層命名の指針（2000）にない地層・岩体の区分法及び命名法を採用する場合には、国際地質科学連合（International Union of Geological Sciences）の国際層序学指針（International Stratigraphic Guide）に準拠することが望ましい。
- h) 岩石の名称など 岩石・鉱物についての用語は、独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター（旧・地質調査所）内規“地質図類の用語・記号”を元に地質図幅などで使用頻度の高かった用語を選び出し、それぞれについて学術雑誌等で標準的に使われている表記を採用した。この標準仕様書に掲げられていない用語は、一般に広く使われている専門の辞書などに準拠することが望ましい。
- i) 火成岩の名称 火成岩については国際地質科学連合が推奨する分類・定義に従うことが一般的となっており、これにあわせて、半深成岩については極力これを避けた。
- j) 火砕岩の名称 火砕岩は爆発的噴火で放出されて形成された岩石であり、国際地質科学連合が推奨する分類・定義にしたがって火成岩として扱う。日本では、火山砕せつ岩を火砕岩と同義で使うことがあるが、最近では溶岩の流動過程で生産される流動角れき岩、水冷破碎で生じるハイアロクラスタイトなど、直接火山噴火で形成される砕せつ岩を意味することが多い。その場合、英文では volcaniclastic rock と表記するので区別できるが、和文表記では区別がつかないので定義を明確にして使う必要がある。火砕岩（火砕物又は火砕堆積物）が再度移動して堆積した場合は、堆積物として扱うことが望ましい。なお、日本で広く使われている火山角れき岩は、火山岩の角れきからなる岩石で、火砕噴火で生じた火砕角れき岩や溶岩の流動過程で生じた流動角れき岩もその一つである。
- k) 変成岩の名称 変成岩については、ホルンフェルスに代わる名称としてグラノフェルスを使うなど注意すべき点があるが、現在も国内で広く使われている名称については、当面、慣用として使うことを認めている。断層角れき岩やマイロナイトなど断層形成時に生じる岩石については、国際地質科学連合の勧告に従って、変成岩として取り扱うことが望ましい。しかし、断層角れき岩については、これを変成岩として扱うことに異論があるため、これを変成岩の分類体系からはずして用いるときは、その旨を明記しておく必要がある。
- l) 堆積岩の名称 堆積岩については、現在は使われていないグレイワッケなどの名称を廃した。

3.5 懸案事項

- a) 適用範囲 特定の学術的・工学的目的で作成される地質図（応用地質図・土木地質図など）に用いる地質用語については、その目的に応じて使用される用語が異なり、また用語の数が極めて多いため用語の種類を絞りきれず、この標準仕様書では規定することを保留した。こ

のため、特定の学術的・工学的目的で作成される地質図に用いる特化した地質用語については、関係団体による審議状況にしたがって、日本工業規格として順次提案・作成する必要がある。また、この標準仕様書についても特定の学術的・工学的目的で作成される地質図に用いる特化した地質用語の整備状況にしたがって、標準仕様としての整合性をもつように改正作業を進める必要がある。

- b) 地層・岩体の表記用語 付加体を構成する地層区分の単位については関連学会においても定説が確立していないため、**JIS A 0204: 2008** では慣習的に用いられている用語（例えばユニット・スラブなど）が推奨規定とされた。また、火成岩・変成岩の岩体区分の単位についても、地層区分に対応するように階層的な構造が国際層序学指針などで規定されていないため、**JIS A 0204: 2008** では慣習的に用いられている用語が推奨規定とされた。したがって、これらの地質用語についても、日本国内の地質学関連学会における審議状況や国際地質科学連合（International Union of Geological Sciences）による国際層序学指針（International Stratigraphic Guide）などの今後の提案に応じて、修正する必要がある。

番号	用語	読み方	用語の意味	参考	
				対応英語	JISA0205 コード
a-1	地質時代	ちしつじだい	化石生物や地質事件、地層・岩体を特徴付ける何かがあった時期。絶対時間または地質学的方法で指定できる相対時間で地球誕生以降の時間 (geologic time) で示す。	geologic age	
a-2	顕生代	けんせいだい	地質時代の3つの累代 (始生代, 原生代, 顕生代) に分けうちの最新の累代。元は隠生代 (始生代+原生代) に対する語で、地球上で多くの生物が生存し、化石として地層中にたくさん残されている時代という意味。ギリシア語でphanerosは「顕著な」、zoeは「生物」の意。顕生代は、古い方から古生代、中生代及び新生代の3つの代に区分される。年代は5億4,200万年前から現在まで。	Phanerozoic	100000000
a-3	新生代	しんせいだい	顕生代を動物化石の変遷をもとに3分した (古生代, 中生代, 新生代) うちの最新の代。Cainolはrecent, zoicはzoonの意で動物による時代区分。古第三紀, 新第三紀及び第四紀からなる。年代は6,550万年前から現在まで。	Cenozoic	110000000
a-4	第四紀	だいよんき	新生代最後の紀で更新世と完新世に区分。年代は181万年前から現在まで。	Quaternary	111000000
a-5	完新世	かんしんせい	第四紀を2分したときの現在を含む最新の世。年代は放射性炭素年代で1万年前 (暦年で11,500年前) から現在まで。	Holocene	111010000
a-6	ステージ1	すてーじ1	酸素同位体ステージ(MIS)のステージ1。	oxygen stage 1	111010100
a-7	完新世後期	かんしんせいこうき	完新世の後期を漠然と示す用語。慣習的に縄文海進の後の時代を示すことが多い。	late Holocene	111010010
a-8	完新世中期	かんしんせいちゅうき	完新世の中期を漠然と示す用語。慣習的に縄文海進時の時代を示すことが多い。	middle Holocene	111010020
a-9	完新世前期	かんしんせいぜんき	完新世の前期を漠然と示す用語。慣習的に縄文海進より前の時代を示すことが多い。	early Holocene	111010030
a-10	更新世	こうしんせい	第四紀を2分する古いほうの世。前期, 中期, 後期に分けられる。年代は181万年前から放射性炭素年代で1万年前まで。	Pleistocene	111020000
a-11	後期更新世	こうきこうしんせい	更新世を3分したときの最後の期。最終間氷期の酸素同位体ステージ5.5 (5e) の開始期 (約12万7,000年ないし、12万8,000年前) から放射性炭素年代1万年前 (暦年で11,500年前) まで。	Late Pleistocene	111021000
a-12	ステージ2	すてーじ2	酸素同位体ステージ(MIS)のステージ2。	oxygen isotope stage 2	111021010
a-13	ステージ3	すてーじ3	酸素同位体ステージ(MIS)のステージ3。	oxygen isotope stage 3	111021020
a-14	ステージ4	すてーじ4	酸素同位体ステージ(MIS)のステージ4。	oxygen isotope stage 4	111021030
a-15	ステージ5a ステージ5.1	すてーじ5a	酸素同位体ステージ(MIS)のステージ5a。	oxygen isotope stage 5a	111021100
a-16	ステージ5.1	すてーじ5.1	酸素同位体ステージ5aと同義。	oxygen isotope stage 5.1	
a-17	ステージ5b ステージ5.2	すてーじ5b	酸素同位体ステージ(MIS)のステージ5b。	oxygen isotope stage 5b	111021200
a-18	ステージ5.2	すてーじ5.2	酸素同位体ステージ5bと同義。	oxygen isotope stage 5.2	
a-19	ステージ5c ステージ5.3	すてーじ5c	酸素同位体ステージ(MIS)のステージ5c。	oxygen isotope stage 5c	111021300
a-20	ステージ5.3	すてーじ5.3	酸素同位体ステージ5cと同義。	oxygen isotope stage 5.3	
a-21	ステージ5d ステージ5.4	すてーじ5d	酸素同位体ステージ(MIS)のステージ5d。	oxygen isotope stage 5d	111021400
a-22	ステージ5.4	すてーじ5.4	酸素同位体ステージ5dと同義。	oxygen isotope stage 5.4	
a-23	ステージ5e ステージ5.5	すてーじ5e	酸素同位体ステージ(MIS)のステージ5e。	oxygen isotope stage 5e	111021500
a-24	ステージ5.5	すてーじ5.5	酸素同位体ステージ5eと同義。	oxygen isotope stage 5.5	
a-25	後期更新世後期	こうきこうしんせいこうき	後期更新世の後期を漠然と示す用語。	late Late Pleistocene	111021600
a-26	後期更新世中期	こうきこうしんせいちゅうき	後期更新世の中ごろ (中頃) を漠然と示す用語。	middle Late Pleistocene	111021700
a-27	後期更新世前期	こうきこうしんせいぜんき	後期更新世の前期を漠然と示す用語。	early Late Pleistocene	111021800

a-28	中期更新世	ちゅうきこうしんせい	更新世を3分したときの2番目の期。ブルン / マツヤマ地磁気逆転境界 (約78万年前) から最終間氷期 (酸素同位体ステージ5.5) の開始期 (約12万7,000年ないし, 12万8,000年前) まで。	Middle Pleistocene	111022000
a-29	ステージ6	すてーじ6	酸素同位体ステージ(MIS)のステージ6。	oxygen isotope stage 6	111022010
a-30	ステージ7	すてーじ7	酸素同位体ステージ(MIS)のステージ7。	oxygen isotope stage 7	111022030
a-31	ステージ8	すてーじ8	酸素同位体ステージ(MIS)のステージ8。	oxygen isotope stage 8	111022100
a-32	ステージ9	すてーじ9	酸素同位体ステージ(MIS)のステージ9。	oxygen isotope stage 9	111022200
a-33	ステージ10	すてーじ10	酸素同位体ステージ(MIS)のステージ10。	oxygen isotope stage 10	111022300
a-34	ステージ11	すてーじ11	酸素同位体ステージ(MIS)のステージ11。	oxygen isotope stage 11	111022400
a-35	ステージ12	すてーじ12	酸素同位体ステージ(MIS)のステージ12。	oxygen isotope stage 12	111022500
a-36	ステージ13	すてーじ13	酸素同位体ステージ(MIS)のステージ13。	oxygen isotope stage 13	111022600
a-37	ステージ19	すてーじ19	酸素同位体ステージ(MIS)のステージ19。	oxygen isotope stage 19	111022700
a-38	中期更新世後期	ちゅうきこうしんせいこうき	中期更新世の後期を漠然と示す用語。	late Middle Pleistocene	111022800
a-39	中期更新世前期	ちゅうきこうしんせいぜんき	中期更新世の前期を漠然と示す用語。	early Middle Pleistocene	111022900
a-40	前期更新世	ぜんきこうしんせい	更新世を3分したときの最初の期。181万年前からブルン / マツヤマ地磁気逆転境界 (約78万年前) までの時代。I16	Early Pleistocene	111023000
a-41	前期更新世後期	ぜんきこうしんせいこうき	前期更新世の後期を漠然と示す用語。	late Early Pleistocene	111023010
a-42	前期更新世前期	ぜんきこうしんせいぜんき	前期更新世の前期を漠然と示す用語。	early Early Pleistocene	111023030
a-43	第三紀	だいさんき	新生代を2分したときの前半の紀。従来、第三紀は古第三紀と新第三紀に区分されていた。しかし、現在は古第三紀と新第三紀が正式に「紀」のランクに格上げされて使用されており、第三紀の用語は慣習的にしか使用されていない。	Tertiary	112000000
a-44	新第三紀	しんだいさんき	新生代後半の中新世と鮮新世を合わせた紀。Neogeneはギリシア語でnew, birthの意味。年代は2,303万年前から181万年前。	Neogene	112100000
a-45	鮮新世	せんしんせい	新第三紀の後半の世。Plioceneはギリシア語でmore, recentの意。前期 (ザンクレアン期) と後期 (ピアセンジアン期, ゲラシアン期) に分けられる。年代は533万年前から181万年前。	Pliocene	112110000
a-46	後期鮮新世	こうきせんしんせい	鮮新世を2分した後半の期。ピアセンジアン期とゲラシアン期からなる。年代は360万年前から181万年前。	Late Pliocene	112111000
a-47	ジェラシアン期	じえらしあんき	鮮新世を3分したうちの3番目 (最新) の期。後期鮮新世の後半。模式地はイタリアのシチリア島のGela。名称はそのギリシア語名に由来。年代は259万年前から181万年前。	Gelasian	112111100
a-48	ピアセンジアン期	ぴあせんじあんき	鮮新世を3分したうちの古い方から2番目の期。ピアセンツァ期とも言う。後期鮮新世の前半。模式地は北イタリアのアペニン山脈北ろく、ピアセンツァ南東Lugagnano - Castell'Arquato間のアルダ河沿い地域。年代は360万年前から259万年前。	Piacenzian	112111200
a-49	前期鮮新世	ぜんきせんしんせい	鮮新世を2分した前半の期。ザンクレアン期からなる。年代は533万年前から360万年前。	Early Pliocene	112113000
a-50	ザンクレアン期	ざんくりあんき	鮮新世を3分したうちの最初の期。ザンクレ期とも言う。前期鮮新世に等しい。模式地はイタリアのシチリー島、アグリジェント地方レアルモンテ近くの海岸Capo Rossello地域。年代は533万年前から360万年前。	Zanclean	112113100
a-51	中新世	ちゅうしんせい	新第三紀の前半の世。Mioceneはギリシア語でless, recentの意。前期 (アキタニアン期, ブルディガリアン期), 中期 (ランギアン期, セラバリアン期), 後期 (トルトニアン期, メッシニアン期) に分けられる。年代は2,303万年前から533万年前。	Miocene	112120000
a-52	後期中新世	こうきちゅうしんせい	中新世を3分したときの最後の期。トルトニアン期とメッシニアン期からなる。年代は1,161万年前から533万年前。	Late Miocene	112121000
a-53	メッシニアン期	めっしにあんき	中新世を6分したうちの最新の期。メッシナ期とも言う。後期中新世の後半。模式地はイタリアのシチリー島中央部エンナとカルタニセッタ間のPasquasia-Capodarso地域。年代は725万年前から533万年前。	Messinian	112121100

a-54	トートニアン期	とーとにあんき	中新世を6分したうちの古い方から5番目の期。トルトナ期とも言う。後期中新世の前半。模式地はイタリア。年代は1,161万年前から725万年前。	Tortonian	112121200
a-55	中期中新世	ちゅうきちゅうしんせい	中新世を3分したときの2番目の期。ランギアン期とセラバリアン期からなる。年代は1,597万年前から1,161万年前。	Middle Miocene	112122000
a-56	サーラバニアン期	さーらばにあんき	中新世を6分したうちの古い方から4番目の期。セラバレ期とも言う。中期中新世の後半。模式地は北イタリアのノビ南東6KmのSerravalle Scrivia。年代は1,365万年前から1,161万年前。	Serravallian	112122100
a-57	ランギアン期	らんぎあんき	中新世を6分したうちの古い方から3番目の期。ランゲ期とも言う。中期中新世の前半。模式地はイタリアのPiedmont盆地のLanghe。年代は1,597万年前から1,365万年前。	Langhian	112122200
a-58	前期中新世	ぜんきちゅうしんせい	中新世を3分したときの最初の期。アキタニアン期とブルディガリアン期からなる。年代は2,303万年前から1,597万年前。	Early Miocene	112123000
a-59	バーディガニアン期	ばーでいがにあんき	中新世を6分したうちの古い方から2番目の期。ブルディガル期とも言う。前期中新世の後半。模式地はフランスのアキテーヌ盆地のポルドー付近のSaint Jean d'Etampsの谷で、名称はそのラテン名Burdigalaに由来。年代は2,043万年前から1,597万年前。	Burdigalian	112123100
a-60	バーディガニアン期後期	ばーでいがにあんきこうき	バーディガニアン期の後期を漠然と示す用語。	late Burdigalian	112123110
a-61	バーディガニアン期前期	ばーでいがにあんきぜんき	バーディガニアン期の前期を漠然と示す用語。	early Burdigalian	112123130
a-62	アキタニアン期	あきたにあんき	中新世を6分したうちの最初の期。アキテーヌ期とも言う。前期中新世の前半。模式地は南西フランスBordeaux付近(Aquitaine盆地)のLa Brede。年代は2,303万年前から2,043万年前。	Aquitanian	112123200
a-63	アキタニアン期後期	あきたにあんきこうき	アキタニアン期の後期を漠然と示す用語。	late Aquitanian	112123210
a-64	アキタニアン期前期	あきたにあんきぜんき	アキタニアン期の前期を漠然と示す用語	early Aquitanian	112123230
a-65	古第三紀	こだいさんき	新生代前半の暁新世、始新世及び漸新世を合わせた紀。Paleogeneはギリシア語でold, birthの意味。年代は6,550万年前から2,303万年前。	Palaeogene	112200000
a-66	漸新世	ぜんしんせい	古第三紀を3分した最後の世。Oligoceneはギリシア語でlittle, recentの意。前期(ルペリアン期)と後期(シャットティアン期)に2分される。年代は3,390万年前から2,303万年前。	Oligocene	112210000
a-67	後期漸新世	こうきぜんしんせい	漸新世を2分した後半の期。シャットティアン期に等しい。年代は2,845万年前から2,303万年前。	Late Oligocene	112211000
a-68	シャットティアン期	ちゃっていあんき	漸新世を2分したうちの後の期。シャティ期とも言う。後期漸新世に相当。模式地はドイツのヘッセのCassel湾。この地方の原住民のラテン名Chattiiに由来する。年代は2,845万年前から2,303万年前。	Chattian	112211100
a-69	シャットティアン期後期	ちゃっていあんきこうき	シャットティアン期の後期を漠然と示す用語。	late Chattian	112211110
a-70	シャットティアン期前期	ちゃっていあんきぜんき	シャットティアン期の前期を漠然と示す用語。	early Chattian	112211130
a-71	前期漸新世	ぜんきぜんしんせい	漸新世の前期。ルペリアン期に等しい。年代は3,390万年前から2,845万年前。	Early Oligocene	112213000
a-72	ルペリアン期	るぺりあんき	漸新世を2分した前半の期。ルペル期とも言う。前期漸新世に相当。模式地はベルギー北部の中央。年代は3,390万年前から2,845万年前。	Rupelian	112213100
a-73	ルペリアン期後期	るぺりあんきこうき	ルペリアン期の後期を漠然と示す用語。	late Rupelian	112213110
a-74	ルペリアン期前期	るぺりあんきぜんき	ルペリアン期の前期を漠然と示す用語。	early Rupelian	112213130
a-75	始新世	しんせい	古第三紀を3分した2番目の世。Eoceneはギリシア語でdawn, recentの意。前期(イプレシアン期)、中期(ルテシアン期・パートニアン期)、後期(プリアボニアン期)に3分される。年代は5,580万年前から3,390万年前。	Eocene	112220000
a-76	後期始新世	こうきしんせい	始新世を3分したときの最後の期。プリアボニアン期に等しい。年代は3,720万年前から3,390万年前。	Late Eocene	112221000
a-77	プリアボニアン期	ぷりあぼにあんき	始新世を4分したうちの最後の期。プリボナ期とも言う。後期始新世に相当。模式地はイタリアのPriabona。年代は3,720万年前から3,390万年前。	Priabonian	112221100
a-78	中期始新世	ちゅうきしんせい	始新世を3分したときの2番目の期。ルテシアン期とパートニアン期からなる。年代は4,860万年前から3,720万年前。	Middle Eocene	112222000
a-79	パートニアン期	ばーとにあんき	始新世を4分したうちの古い方から3番目の期。バートン期とも言う。中期始新世の後期。模式地はイギリス南部中央のハンブシャー盆地のBarton。年代は4,040万年前から3,720万年前。	Bartonian	112222100

a-80	ルテシアン期	るてしあんき	始新世を4分したうちの古い方から2番目の期。中期始新世の前期。模式地はフランスのバリの地下。名称はバリのラテン名Lutetiaに由来。年代は4,860万年前から4,040万年前。	Lutetian	11222200
a-81	前期始新世	ぜんきしんせい	始新世を3分したときの最初の期。イプレシアン期に等しい。年代は5,580万年前から4,860万年前。	Early Eocene	112223000
a-82	ヤプレシアン期	やぶれしあんき	始新世を4分したうちの最初の期。イプレシアン期とも言う。前期始新世に相当。模式地はベルギー西部のYpres丘陵。年代は5,580万年前から4,860万年前。	Ypresian	112223100
a-83	暁新世	ぎょうしんせい	古第三紀を3分した最初の世。名称PaleoceneはPalaeo-Eoceneの意。前期(ダニアン期)、中期(セランディアン期)、後期(サネティアン期)に3分される。年代は6,550万年前から5,580万年前。	Palaeocene	112230000
a-84	後期暁新世	こうきぎょうしんせい	暁新世を2分した後半の期。セランディアン期に等しい。年代は5,870万年前から5,580万年前。	Late Palaeocene	112231000
a-85	サネティアン期	さねていあんき	暁新世を3分したうちの最後の期。サネット期とも言う。後期暁新世に相当。模式地はイギリスのテムズ河口のThanet半島。年代は5,870万年前から5,580万年前。	Thanetian	112231100
a-86	セランディアン期	せらんでいあんき	暁新世を3分したうちの古いほうから2番目の期。中期暁新世に相当。模式地はデンマーク。年代は6,170万年前から5,870万年前。	Selandian	112341200
a-87	前期暁新世	ぜんきぎょうしんせい	暁新世を2分した前半の期。ダニアン期に等しい。年代は6,550万年前から6,170万年前。	Early Palaeocene	112233000
a-88	ダニアン期	だにあんき	暁新世を3分したうちの最初の期。前期暁新世に相当。ダン期ないしデーン期とも言う。模式地はデンマークのStevns KlintとFaxoe。年代は6,550万年前から6,170万年前。	Danian	112233100
a-89	中生代	ちゅうせいだい	顕生代を動物化石の変遷をもとに3分した(古生代、中生代、新生代)うちの2番目の代。古いほうから三畳紀・ジュラ紀・白亜紀に三大別される。は虫類(爬虫類)の全盛時代で、特に恐竜類がジュラ紀・白亜紀に繁栄した。年代は2億5,100万年前から6,550万年前。	Mesozoic	120000000
a-90	白亜紀	はくあき	中生代を3分したうちの最後の紀。名称は、ヨーロッパのこの時代の地層に卓越するチョーク(日本語で白亜、ラテン語でCreta)に由来。本紀は前期・後期に2分される。かつては3分(ネオコミアン世、ガリック世、セノニアン世)する場合もあったが、現在はほとんど使われていない。年代は1億4,550万年前から6,550万年前。	Cretaceous	121000000
a-91	後期白亜紀	こうきはくあき	白亜紀を2分した後半の期。古い方からセノマニアン期、チューロニアン期、コニアシアン期、サントニアン期、カンパニアン期及びマーストリヒチアン期に6分される。年代は9,960万年前から6,550万年前。	Late Cretaceous	121100000
a-92	セノニアン世	せのにあんせい	ヨーロッパで非公式に使用されている世。白亜紀を3分(ネオコミアン世、ガリック世、セノニアン世)した場合の白亜紀の後期に相当する。コニアシアン期より新しい後期白亜紀に相当。模式地はパリ南東サン(Sens,ラテン名Senones)。現在はほとんど使われていない。		121110000
a-93	マーストリヒチアン期	まーすとりにちあんき	後期白亜紀を6分したうちの最後の期。模式地はオランダ南東部マーストリヒト(Maastricht)。年代は7,060万年前から6,550万年前。	Maastrichtian	121110100
a-94	カンパニアン期	かんぱにあんき	後期白亜紀を6分したうちの古い方から5番目の期。模式地はフランスのアキテーヌ盆地北縁コニャック付近のシャンパーニュ(Champagne)付近。年代は8,350万年前から7,060万年前。	Campanian	121110200
a-95	サントニアン期	さんとにあんき	後期白亜紀を6分したうちの古い方から4番目の期。模式地はフランスのサントンジユ(Saintonge)。年代は8,580万年前から8,350万年前。	Santonian	121110300
a-96	コニアシアン期	こにあしあんき	後期白亜紀を6分したうちの古い方から3番目の期。模式地はフランスのアキテーヌ盆地北縁コニャック(Cognac)。年代は8,930万年前から8,580万年前。	Coniacian	121110400
a-97	ガリック世	がっりくせい	ヨーロッパで非公式に使用されている世。白亜紀を3分(ネオコミアン世、ガリック世、セノニアン世)した場合の白亜紀の中期に相当する。ほぼバレミアン期よりチューロニアン期に相当。現在はほとんど使われていない。		121120000
a-98	チューロニアン期	ちゅーろにあんき	後期白亜紀を6分したうちの古い方から2番目の期。模式地はフランスのトゥレーヌ(Touraine,ラテン名Turonia)地方。年代は9,350万年前から8,930万年前。	Turonian	121120100
a-99	セノマニアン期	せのまにあんき	後期白亜紀を6分したうちの最初の期。模式地はフランスのルマン(Le Mans,ラテン名Cenomanum)付近。年代は9,960万年前から9,350万年前。	Cenomanian	121120200
a-100	セノマニアン期後期	せのまにあんきこうき	セノマニアン期の後期を漠然と示す用語。	late Cenomanian	121120210
a-101	セノマニアン期前期	せのまにあんきぜんき	セノマニアン期の前期を漠然と示す用語。	Early Cenomanian	121120230

a-102	前期白亜紀	ぜんきはくあき	白亜紀を2分した前半の期。古い方からベリアシアン期、バランギニアン期、オーテリビアン期、バレミアン期、アプチアン期及びアルピアン期に6分される。年代は1億4,550万年前から9,960万年前。	Early Cretaceous	121200000
a-103	アルピアン期	あるびあんき	前期白亜紀を6分したうちの最後の期。模式地はフランスのセーヌ川支流オーブ(Aube, ラテン名Alba)川沿岸。年代は1億1,200万年前から9,960万年前。	Albian	121220100
a-104	アプチアン期	あぶちあんき	前期白亜紀を6分したうちの古い方から5番目の期。模式地はフランスのプロバンス地方アプト(Apt)。年代は1億2,500万年前から1億1,200万年前。	Aptian	121220200
a-105	バレミアン期	ばれみあんき	前期白亜紀を6分したうちの古い方から4番目の期。模式地はフランスのプロバンス地方バレーム(Barrême)。年代は1億3,000万年前から1億2,500万年前。	Barremian	121220300
a-106	ネオコミアン世	ねおこみあんせい	ヨーロッパで非公式に使用されている世。白亜紀を3分(ネオコミアン世, ガリック世, セノニアン世)した場合の白亜紀の前期に相当する。この用語は正確には定義されていないが、ほぼベリアシアン期からオーテリビアン期までの地質時代に相当。現在はほとんど使用されていない。	Neocomian	121230000
a-107	オーテリビアン期	おーてりびあんき	前期白亜紀を6分したうちの古い方から3番目の期。模式地はスイスのヌーシャテル付近オテリーブ(Hauterive)。年代は1億3,640万年前から1億3,000万年前。	Hauterivian	121230100
a-108	バランギニアン期	ばらんぎにあんき	前期白亜紀を6分したうちの古い方から2番目の期。模式地はスイスのヌーシャテル付近バランジュ(Valangin)。年代は1億4,020万年前から1億3,640万年前。	Valanginian	121230200
a-109	ベリアシアン期	べりあしあんき	前期白亜紀を6分したうちの最初の期。模式地はフランスのアルデーシュ県ベリアス(Berrias)。年代は1億4,550万年前から1億4,020万年前。	Berriasian	121230300
a-110	ジュラ紀	じゅらき	中生代を3分したうちの古い方から2番目の紀。名称はフランス・スイス国境のジュラ山脈に由来し、ユラ紀ともいう。本紀は前期・中期・後期に3分される。年代は1億9,960万年前から1億4,550万年前。	Jurassic	122000000
a-111	後期ジュラ紀 マルム世	こうきじゅらき	ジュラ紀を3分したときの最後の期。マルム世(Malm Epoch)と同義。古い方からオックスフォーディアン期、キンメリジアン期及びチトニアン期に3分される。年代は1億6,120万年前から1億4,550万年前。	Late Jurassic	122010000
a-112	マルム世	まるむせい	後期ジュラ紀と同義。		
a-113	チトニアン期	ちとにあんき	後期ジュラ紀を3分したうちの最後の期。名称はTithonus(ギリシア神話の暁の神)に由来。年代は1億5,080万年前から1億4,550万年前。	Tithonian	122010100
a-114	キンメリジアン期	きんめりっじあんき	後期ジュラ紀を3分したうちの古い方から2番目の期。模式地はイギリス南海岸のキンメリッジ(Kimmeridge)。年代は1億5,565万年前ないし1億5,455万年前から1億5,080万年前。	Kimmeridgian	122010200
a-115	オックスフォーディアン期	おっくすふおーでいあんき	後期ジュラ紀を3分したうちの最初の期。模式地はイギリス南部のオックスフォード(Oxford)。年代は1億6,120万年前から1億5,565万年前ないし1億5,455万年前。	Oxfordian	122010300
a-116	中期ジュラ紀 ドッガー世	ちゅうきじゅらき	ジュラ紀を3分したときの2番目の期。ドッガー世(Dogger Epoch)と同義。古い方からアーレニアン期、バジジョシアン期、バトニアン期とカロビアン期に4分される。年代は1億7,560万年前から1億6,120万年前。	Middle Jurassic	122020000
a-117	ドッガー世	どっがーせい	中期ジュラ紀と同義。		
a-118	カロビアン期	かるびあんき	中期ジュラ紀を4分したうちの最後の期。模式地はイギリス南部のケラウエイズ(kellaways, ラテン名Callovium)。年代は1億6,470万年前から1億6,120万年前。	Callovian	122020100
a-119	バトニアン期	ばとにあんき	中期ジュラ紀を4分したうちの古い方から3番目の期。模式地はイギリス南部のバス(Bath)。年代は1億6,770万年前から1億6,470万年前。	Bathonian	122020200
a-120	バジジョシアン期	ばっじょしあんき	中期ジュラ紀を4分したうちの古い方から2番目の期。名称はフランスのノルマンディーのBayeux(ラテン名Bajoce)にちなむ。現在の模式地はポルトガルのCabo Mondego。年代は1億7,160万年前から1億6,770万年前。	Bajocian	122020300
a-121	アーレニアン期	あーれにあんき	中期ジュラ紀を4分したうちの最初の期。模式地はドイツのビュルテンベルク地方アーレン(Aalen)。年代は1億7,560万年前から1億7,160万年前。	Aalenian	122020400
a-122	前期ジュラ紀 リアス世	ぜんきじゅらき	ジュラ紀を3分したときの最初の期。リアス世(Lias Epoch)と同義。古い方からヘッタンギアン期、シネムーリアン期、プリンスパッキアン期とトアルシアン期に4分される。年代は1億9,960万年前から1億7,560万年前。	Early Jurassic	122030000
a-123	リアス世	りあすせい	前期ジュラ紀と同義。		
a-124	トアルシアン期	とあるしあんき	前期ジュラ紀を4分したうちの最後の期。模式地はフランスのポアトール地方トウアル(Thouars, ラテン名Toarcium)。年代は1億8,300万年前から1億7,560万年前。	Toarcian	122030100

a-125	プリンスバッキアン期	ぷりんすばっきあんき	前期ジュラ紀を4分したうちの古い方から3番目の期。模式地はドイツのビュルテンベルク地方Boll付近のプリンスバツハ(Pliensbach)。年代は1億8,960万年前から1億8,300万年前。	Pliensbachian	122030200
a-126	シネムーリアン期	しねむーりあんき	前期ジュラ紀を4分したうちの古い方から2番目の期。模式地はフランスのブルゴーニュ地方のセムール(Semur, ラテン名Sinemurium)。年代は1億9,650万年前から1億8,960万年前。	Sinemurian	122030300
a-127	ヘッタンギアン期	へったんぎあんき	前期ジュラ紀を4分したうちの最初の期。模式地はフランスのロレーヌ地方のヘッタンジュ(Hettange)。年代は1億9,960万年前から1億9,650万年前。	Hettangian	122030400
a-128	三疊紀	さんじょうき	中生代を3分したうちの最初の紀で、トリアス紀とも言う。名称はドイツで岩相が3分されたことに由来。本紀は前期・中期・後期(または古世・中世・新世)に3分される。年代は2億5,100万年前から1億9,960万年前。	Triassic	123000000
a-129	後期三疊紀	こうきさんじょうき	三疊紀を3分したときの最後の期で、古い方からカーニアン期、ノリアン期とレーティアン期に3分される。年代は2億2,800万年前から1億9,960万年前。	Late Triassic	123010000
a-130	レーティアン期	れーていあんき	後期三疊紀を3分したうちの最後の期。模式地はオーストリア内。年代は2億360万年前から1億9,960万年前。	Rhaetian	123010100
a-131	ノリアン期	のーりあんき	後期三疊紀を3分したうちの古い方から2番目の期。ノール期とも言う。名称はオーストリア内のドナウ川南側のローマ時代古地名に由来。年代は2億1,650万年前から2億360万年前。	Norian	123010200
a-132	カーニアン期	かーにあんき	後期三疊紀を3分したうちの最初の期。カールニア期とも言う。模式地はオーストリアのKarnten(Carinthia)地方。年代は2億2,800万年前から2億1,650万年前。	Carnian	123010300
a-133	中期三疊紀	ちゅうきさんじょうき	三疊紀を3分したときの2番目の期で、古い方からアニシアン期とラディニアン期に2分される。年代は2億4,500万年前から2億2,800万年前。	Middle Triassic	123020000
a-134	ラディニアン期	らでいにあんき	中期三疊紀を2分したうちの後半の期。名称は南アルプスのDolomiti地方(北イタリア)に住んだ古種族名(Ladiner)に由来。模式地は北イタリア。年代は2億3,700万年前から2億2,800万年前。	Ladinian	123020100
a-135	アニシアン期	あにしあんき	中期三疊紀を2分したうちの前半の期。アニス期とも言う。模式地はオーストリアEnns(ラテン名Anisus)川沿い。年代は2億4,500万年前から2億3,700万年前。	Anisian	123020200
a-136	前期三疊紀	ぜんきさんじょうき	三疊紀を3分したときの最初の期で、現在は古い方からインドゥアン期とオレネキアン期に2分される。ただし、以前は古い方から、グリースバキアン期、ナンマリアン期およびスバシアン期に3分されていた。年代は2億5,100万年前から2億4,500万年前。	Early Triassic	123030000
a-137	スバシアン期	すばしあんき	以前、前期三疊紀が3分されていた時の最後の期。模式地はカナダ極域のEllesmere島のSpath Creek。現在は、前期三疊紀後期のオレネキアン期を2分したうちの後半の亜期とされている。	Spath	
a-138	ナンマリアン期	なんまりあんき	以前、前期三疊紀が3分されていた時の、古い方から2番目の期。模式地はヒマラヤ。現在は使用されていない。	Namm	
a-139	グリースバキアン期	ぐりんすっぱきあんき	以前、前期三疊紀が3分されていた時の最初の期。模式地はカナダAxcel Heiberg島北西部のGriesbach Creek。現在は前期三疊紀前期のインドゥアン期を2分したうちの前半の亜期とされている。	Griesbach	
a-140	オレネキアン期	おれねきあんき	前期三疊紀を2分したうちの後半の期。模式地はシベリア北部のオレネク川盆地。年代は2億4,970万年前から2億4,500万年前。	Olenekian	123030100
a-141	インドゥアン期	いんどぅあんき	前期三疊紀を2分したうちの前半の期。模式地はインダス川盆地。非公式に、2つの亜期(グリースバキアン亜期とディーネリアン亜期)に細分される。年代は2億5,100万年前から2億4,970万年前。	Induan	123030200
a-142	古生代	こせいだい	顕生代を動物化石の変遷をもとに3分した(古生代、中生代、新生代)うちの最初の代。無せき椎(脊椎)海生動物の栄えた前半の旧古生代と、陸上の動植物の繁栄した後半の新古生代とに分けられ、前者はカンブリア紀・オルドビス紀・シルル紀に、後者はデボン紀・石炭紀・ペルム紀にそれぞれ3分される。年代は5億4,200万年前から2億5,100万年前。	Palaeozoic	130000000
a-143	ペルム紀	べるむき	古生代を6分したうちの最後の紀。ロシアの西ウラル山ろく(山麓)のペルム(Perm)が模式地。日本や中国ではドイツのDyas(苦灰統・赤底統に2分)に由来する二疊紀という呼び名も用いられてきた。前期(シスラリアン世)、中期(グアダルビアン世)、後期(ロビンギアン世)に3分される。年代は2億9,900万年前から2億5,100万年前。	Permian	131000000
a-144	後期ペルム紀	こうきべるむき	ペルム紀を3分したときの最後の期で、ロビンギアン世(Lopingian Epoch)と同義。古い方からヴチアピンギアン期とチャンシンギアン期に2分される。なお、以前はヴチアピンギアン期の代わりに、ロンタニアン期が用いられていた。年代は2億6,040万年前から2億5,100万年前。	Late Permian	131010000

a-145	チャンシングア ン期	ちゃんしんぎ あんき	後期ペルム紀を2分したうちの後半の期。模式地は中国の揚子江盆地。年代は2億5,380万年前から2億5,100万年前。	Changhsingian	131010100
a-146	ロンタニアン期	ろんたにあん き	以前、後期ペルム紀を2分したうちの前半の期として使用されていたが、現在は用いられていない。代わりに現在はウーチアピンジアン期が用いられている。模式地は中国の南京の近く。	Longtanian	
a-147	ウーチアピンジ アン期	うーちあぴん じあんき	後期ペルム紀を2分したうちの前半の期。模式地は中国。年代は2億6,040万年前から2億5,380万年前。	Wuchianpingian	131010200
a-148	中期ペルム紀	ちゅうきべるむ き	ペルム紀を3分したときの2番目の期で、グアダルピアン世 (Guadalupian Epoch) と同義。古い方からローディアン期、ワーディアン期及びキャピタニアン期の3つの期からなる。なお、以前は、ローディアン期の代わりにウフィミアン期が用いられていた。年代は2億7,060万年前から2億6,040万年前。	Middle Permian	131020000
a-149	キャピタニアン 期	きゃびたにあ んき	中期ペルム紀を3分したうちの最後の期。模式地はアメリカ合衆国テキサス州。年代は2億6,580万年前から2億6,040万年前。	Capitanian	131020100
a-150	ワーディアン期	わーでいあん き	中期ペルム紀を3分したうちの古い方から2番目の期。模式地は、アメリカ合衆国テキサス州。年代は2億6,800万年前から2億6,580万年前。	Wordian	131020200
a-151	ウフィミアン期	うふいみあん き	以前、中期ペルム紀を3分したうちの最初の期として使用されていたが、現在は用いられていない。代わりに現在はローディアン期が用いられている。模式地はロシアのUfa, Ufianとも言う。	Ufimian	
a-152	ローディアン期	ろーでいあん き	中期ペルム紀を3分したうちの最初の期。模式地は、アメリカ合衆国テキサス州。年代は2億7,060万年前から2億6,800万年前。	Roadian	131020300
a-153	前期ペルム紀	ぜんきべるむ き	ペルム紀を3分したときの最初の期で、シスラリアン世 (Cisuralian Epoch) に等しい。古い方からアッセリアン期、サクマーリアン期、アルチンスキアン期、及びクングーリアン期の4つの期からなる。年代は2億9,900万年前から2億7,060万年前。	Early Permian	131030000
a-154	クングーリアン 期	くんぐーりあん き	前期ペルム紀を4分したうちの最後の期。模式地は、ロシアの西ウラルのクングール地方。年代は2億7,560万年前から2億7,060万年前。	Kungurian	131030100
a-155	アルチンスキア ン期	あるちんすき あんき	前期ペルム紀を4分したうち、古い方から3番目の期。模式地はロシアのウラル地方。年代は2億8,440万年前から2億7,560万年前。	Artinskian	131030200
a-156	サクマーリアン 期	さくまーりあん き	前期ペルム紀を4分したうち、古い方から2番目の期。模式地はシアのウラル地方。年代は2億9,460万年前から2億8,440万年前。	Sakmarian	131030300
a-157	アッセリアン期	あっせりあん き	前期ペルム紀を4分したうちの最初の期。模式地は南部ウラル、アッセル川流域。年代は2億9,900万年前から2億9,460万年前。	Asselian	131030400
a-158	石炭紀	せきたんき	古生代を6分したうち第5番目の紀で、名称はヨーロッパや北アメリカでこの時期に石炭層がたい積(堆積)したことに由来。前期石炭期のミシシッピアン亜紀 (Mississippian Subperiod) と後期石炭期のペンシルバニアン亜紀 (Pennsylvanian Subperiod) に2分される。年代は3億5,920万年前から2億9,900万年前。	Carboniferous	132000000
a-159	ペンシルバニア ン紀	ぺんしるばにあ んき	石炭紀の亜紀。ペンシルバニアン亜紀とも言う。後期石炭紀に等しい。模式地はアメリカ合衆国ペンシルバニア州。古い方からバシキーリアン期、モスコビアン期、カシモービアン期及びグゼーリアン期に4分される。年代は3億1,810万年前から2億9,900万年前。	Pennsylvanian	132100000
a-160	後期石炭紀	こうきせきたん き	石炭紀を2分した後半の期で、ペンシルバニアン亜紀に等しい。古い方からバシキーリアン期、モスコビアン期、カシモービアン期及びグゼーリアン期に4分される。年代は3億1,810万年前から2億9,900万年前。	Late Carboniferous	132110000
a-161	グゼーリアン期	ぐーぜりあん き	後期石炭紀を4分したうちの最後の期。グゼール期とも言う。模式地はロシアのモスクワ郊外。年代は3億390万年前から2億9,900万年前。	Gzelian	132110100
a-162	カシモービアン 期	かしもーびあ んき	後期石炭紀を4分したうちの古い方から3番目の期。カシモーボ期とも言う。模式地はロシアのモスクワ盆地。年代は3億650万年前から3億390万年前。	Kasimovian	132110200
a-163	中期石炭紀	ちゅうきせきた んき	以前、石炭紀を3分していた時に用いられていたが、現在は石炭紀は2分されており、中期石炭紀の用語は用いられていない。	Middle Carboniferous	132120000
a-164	モスコビアン期	もすこびあ んき	後期石炭紀を4分したうちの古い方から2番目の期。モスクワ期とも言う。模式地はロシアのモスクワ盆地。年代は3億1,170万年前から3億650万年前。	Moscovian	132120300
a-165	バシキーリアン 期	ばしきーりあ んき	後期石炭紀を4分したうちの最初の期。バシキール期とも。模式地はロシアのウラル地域Bashkiria。年代は3億1,810万年前から3億1,170万年前。	Bashkirian	132120400

a-166	ミシシッピアン紀	みししっぴあんき	石炭紀の亜紀。ミシシッピアン亜紀とも言う。前期石炭紀に等しい。模式地はアメリカ合衆国ミズーリ・イリノイ・アイオワ州ミシシッピ川流域。古い方からトルネージアン期、ビゼーアン期及びサープクホリアン期に3分される。年代は3億5,920 年前から3億1,810 万年前。	Mississippian	132200000
a-167	前期石炭紀	ぜんきせきたんき	石炭紀を2分した前半の期で、ミシシッピアン亜紀に等しい。古い方からトルネージアン期、ビゼーアン期及びサープクホリアン期に細分される。年代は3億5,920 年前から3億1,810万 年前。	Early Carboniferous	132230000
a-168	サープクホリアン期	さーぶくほりあんき	前期石炭紀を3分したうちの最後の期。模式地のロシアのSerpukhov市にちなむ。年代は3億2,640万年前から3億年1,810 万年前。	Serpukhovian	132230100
a-169	ビゼーアン期	びぜーあんき	前期石炭紀を3分したうちの2番目の期。模式地は南ベルギーのDinant地方にある。年代は3億4,530万年前から3億年2,640 万年前。	Visean	132230200
a-170	トルネージアン期	とるねーしあんき	前期石炭紀を3分したうちの最初の期。トルネー期とも言う。模式地は南フランスにある。年代は3億5,920 万年前から3億4,530万年前。	Tournasian	132230300
a-171	デボン紀	でぼんき	古生代を6分したうち古い方から第4番目の紀。模式地はイギリスのデボン州で、名称はこれに由来。前期・中期・後期に細分される。年代は4億1,600万 年前から3億5,920万年前。	Devonian	133000000
a-172	後期デボン紀	こうきでぼんき	デボン紀を3分したときの最後の期。古い方からフラスニアン期 (Frasnian Age) とファメニアン期 (Famennian Age) の2つの期からなる。年代は3億8,530万年前から3億5,920万年前。	Late Devonian	133010000
a-173	中期デボン紀	ちゅうきでぼんき	デボン紀を3分したときの2番目の期。古い方からアイフェリアン期 (Eifelian Age) とギベティアン期 (Givetian Age) の2つの期からなる。年代は3億9,750万年前から3億8,530万年前。	Middle Devonian	133020000
a-174	前期デボン紀	ぜんきでぼんき	デボン紀を3分したときの最初の期。古い方からロッコヴィアン期 (Lochkovian Age) , プラギアン期 (Pragian Age) 及びエムシアン期 (Emsian Age) の3つの期からなる。年代は4億1,600万年前から3億9,750万年前。	Early Devonian	133030000
a-175	シルル紀	しるるき	古生代を6分したうち古い方から3番目の紀。模式地はイギリスのウェールズの東部。名称は古くその地方に住んでいたケルト民族のシルル族 (Silures) に由来。古い方から、ランドベリー世、ウェンロック世、ラドロウ世及びブリドリ世に細分される。年代は、4億4,370万年前から4億1,600万年前。	Silurian	134000000
a-176	ブリドリ世	ぶりどりせい	シルル紀を4分したときの最後の世。ブリドリアン世 (Pridolian Epoch) とも言う。シルル紀最後期に等しい。模式地はチェコのプラハ近郊のPridoli地域。年代は4億1,870万年前から4億1,600万年前。	Pridoli	134010000
a-177	ラウド世	らうどせい	シルル紀を4分したときの古い方から3番目の世。ラドロピアン世 (Ludlovian Epoch) とも言う。シルル紀後期に等しい。模式地はイギリスShropshireのLudlowの近くにある。古い方からゴースティアン期 (Gorstian Age) とルドフォードティアン期 (Ludfordian Age) からなる。年代は4億2,290万年前から4億1,870万年前。	Ludlow	134020000
a-178	ウェンロック世	うえんろっくせい	シルル紀を4分したときの古い方から2番目の世。ウェンロックティアン世 (Wenlockian Epoch) とも言う。シルル紀中期に等しい。模式地のイングランドのウェールズ境界地域のWenloch Edgeにちなんで命名。古い方からシェイウッドティアン期 (Sheinwoodian Age) とホメリアン期 (Homerian Age) からなる。年代は4億2,820万年前から4億2,290万年前。	Wenlock	134030000
a-179	ランドベリー世	らんどべりせい	シルル紀を4分したときの最初の世。ランドベリアン世 (Llandoveryan Epoch) とも言う。シルル紀前期に等しい。模式地のイギリス南ウェールズのDyfed (Pembroke) にちなんで命名。古い方からラッタニアン期 (Rhuddanian Age) , アエロニアン期 (Aeronian Age) 及びテリチアン期 (Telychian Age) の3つの期からなる。年代は4億4,370万年前から4億2,820万年前。	Llandovery	134040000
a-180	オルドビス紀	おるどびすき	古生代を6分したうちの古い方から2番目の紀。名称は模式地イギリスのウェールズ地方北部に住んでいたオルドビス (Ordovices) と呼ばれたケルト民族の部族の名に由来。前期・中期・後期に細分される。年代は4億8,830万年前から4億4,370万年前。	Ordovician	135000000
a-181	後期オルドビス紀	こうきおるどびすき	オルドビス紀を3分したときの最後の期。古い方から、未命名の第5期、第6期及びヒルナンティアン期 (Hirnantian Age) からなる。年代は4億6,090万年前から4億4,370万年前。	Late Ordovician	135010000
a-182	中期オルドビス紀	ちゅうきおるどびすき	オルドビス紀を3分したときの2番目の期。古い方から、未命名の第3期とダーリウィリアン期 (Darriwilian Age) からなる。年代は4億7,180万年前から4億6,090万年前。	Middle Ordovician	135020000

a-183	前期オルドビス紀	ぜんきおるとびすき	オルドビス紀を3分したときの最初の期。古い方からトレマドキアン期 (Tremadocian Age) と未命名の第2期からなる。年代は4億8,830 年前から4億7,180万年前。	Early Ordovician	135030000
a-184	カンブリア紀	かんぶりあき	古生代を6分したうちの最初の紀。名称は模式地であるイギリスのウェールズのローマ時代の古い呼称カンブリアに基づく。原生代に比べて生物種類・個体数ともに爆発的に多くなる。前期・中期・後期に細分される。年代は5億4,200 万年前から4億8,830万年前。	Cambrian	136000000
a-185	後期カンブリア紀 フロンギアン世	こうきかんぶりあき	カンブリア紀を3分したときの最後の期。フロンギアン世 (Furongian Epoch) に一致する。年代は5億100万年前から4億8,830万年前。	Late Cambrian Furongian	136010000
a-186	フロンギアン世	ふるんぎあんせい	後期カンブリア紀と同義。		
a-187	中期カンブリア紀	ちゅうきかんぶりあき	カンブリア紀を3分したときの2番目の期。年代は5億1,300万年前から5億100万年前。	Middle Cambrian	136020000
a-188	前期カンブリア紀	ぜんきかんぶりあき	カンブリア紀を3分したときの最初の期。年代は5億年4,200万 年前から5億1,300万年前。	Early Cambrian	136030000
a-189	原生代	げんせいだい	地質時代の3つの累代 (始生代, 原生代, 顕生代) の2番目の累代。下限 (始生代との境界) の年代は25億年前。上限 (顕生代との境界) の年代は5億4,200万年前。始生代と合わせて先カンブリア時代とも呼ばれるが、これは正式な時代名称ではない。原生代は、古い方から古原生代, 中原生代および新原生代の3つの代に区分される。	Proterozoic	200000000
a-190	新原生代	しんげんせいだい	原生代を3分したうちの古い方から3番目の代。下限は10億年前。上限 (顕生代との境界) の年代は5億4,200万 年前。古い方からトニアン紀, クリオゲニアン紀及びエディアカラ紀の3つの紀からなる。	Neoproterozoic	210000000
a-191	エディアカラ紀	えでいあからき	新原生代を3分したうちの最後の紀。名称は南オーストラリアのエディアカラ丘陵で発見された軟らかい体を持つ後生動物の化石群 (エディアカラ動物群) にちなむ。年代は6億3000万年前から5億4,200万 年前。	Ediacaran	211000000
a-192	キオゲニアン紀	きおげにあんき	新原生代を3分したうちの古い方から2番目の紀。名称は氷 (cryos = ice) と生成 (genesis = birth) による。この時期に世界的な氷河が発達したことから名付けられた。年代は8億5,000万年前から6億3000万年前。	Cryogenian	212000000
a-193	トニアン紀	とにあんき	新原生代を3分したうちの最初の紀。名称は拡大 (tonas = stretch) にちなむ。主要な大陸の陸棚を被覆するたい積 (堆積) 岩がさらに広がったことから名付けられた。年代は10億年前から8億5,000万年前。	Tonian	213000000
a-194	中原生代	ちゅうげんせいだい	原生代を3分したうちの古い方から2番目の代。16億年前から10億年前までの年代区間。古い方から、カリミアン紀, エクタシアン紀及びステニアン紀の3つの紀からなる。	Mesoproterozoic	220000000
a-195	ステニアン紀	すてにあんき	中原生代を3分したうちの最後の紀。名称は狭い (stenos = narrow) にちなむ。激しい変成作用と変形運動が「狭い」帯状地域で生じたことで特徴づけられることから名付けられた。年代は12億年前から10億年前。	Stenian	221000000
a-196	エクタシアン紀	えくたしあんき	中原生代を3分したうちの古い方から2番目の紀。名称は拡大 (extsis = extension) にちなむ。この時期に安定大陸 (クラトン) の陸棚を被覆するたい積 (堆積) 岩がさらに「拡大した」ことから名付けられた。年代は14億年前から12億年前。	Ectasian	222000000
a-197	カリミアン紀	かりみあんき	中原生代を3分したうちの最初の紀。名称は被覆層 (calymma = cover) にちなむ。この時期に安定大陸 (クラトン) の陸棚を「被覆する」たい積 (堆積) 岩が堆積したことから名付けられた。年代は16億年前から14億年前。	Calymnian	223000000
a-198	古原生代	こげんせいだい	原生代を3分したうちの最初の代。25億年前から16億年前までの年代区間。古い方から、シデリアン紀, リアキアン紀, オロシリアン紀及びスタテリアン紀の4つの紀からなる。	Paleoproterozoic	230000000
a-199	スタテリアン紀	すたてりあんき	古原生代を4分したうちの最後の紀。名称は安定 (statheros = stabel, firm) にちなむ。この時期にほとんどの安定大陸 (クラトン) が成立したことにより名付けられた。年代は18億年前から16億年前。	Statherian	231000000
a-200	オロシリアン紀	おろしりあんき	古原生代を4分したうちの古い方から3番目の紀。名称は山脈 (orosira = mountain range) にちなむ。この時期にグローバルな造山運動が起こったことから名付けられた。年代は20億5,000万年前から18億年前。	Orosirian	232000000
a-201	リアキアン紀	りいあきあんき	古原生代を4分したうちの古い方から2番目の紀。この時期に南アフリカのトランスバールにあるBushveld複合岩体のような層状火成岩体 (溶岩流: rhyax = stream of lava) が貫入したことにちなむ。年代は23億年前から20億5,000万年前。	Rhyacian	233000000
a-202	シデリアン紀	しでりあんき	古原生代を4分したうちの最初の紀。名称は鉄 (sideros = iron) にちなむ。この時期にしま状 (縞状) 鉄鉱床が顕著に発達することから名付けられた。年代は25億年前から23億年前。	Siderian	234000000

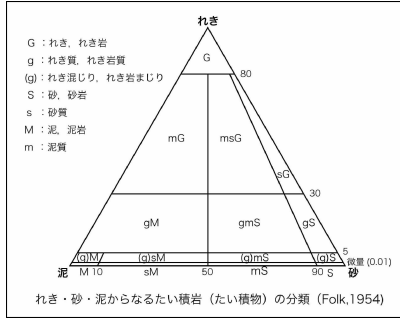
a-203	始生代	しせいだい	地質時代の3つの累代(始生代, 原生代, 顕生代)の最初の累代。上限の年代は25億年前と定義されているが, 下限の年代は定義されていない。原生代と合わせて先カンブリア時代とも呼ばれるが, これは正式な時代名称ではない。始生代は, 古い方から原始生代, 古始生代, 中始生代および新始生代の4つの代に区分される。	Archeozoic	300000000
a-204	新始生代	しんしせいだい	始生代を4分したうちの最後の代。年代は28億年前から25億年前。	Neoproterozoic	310000000
a-205	中始生代	ちゅうしせいだい	始生代を4分したうちの古い方から3番目の代。年代は32億年前から28億年前。	Mesoproterozoic	320000000
a-206	古始生代	こしだい	始生代を4分したうちの古い方から2番目の代。年代は36億年前から32億年前。	Paleoproterozoic	330000000
a-207	原始生代	げんしせいだい	始生代を4分したうちの最初の代。下限の年代は定義されていない。上限の年代は36億年前。	Eoarchean	340000000
a-208	代	だい	地質時代(地質学的年代)区分の単位。年代層序区分の界に対応する。地質時代は, ふつう古い方から順に始生代, 原生代, 古生代, 中生代, 新生代に分ける。	Era	
a-209	紀	き	地質時代(地質学的年代)区分のうち, 代に次ぐ単位。年代層序区分の系に対応する。古生代はカンブリア紀, オルドビス紀, シルル紀, デボン紀, 石炭紀, ペルム紀に中生代は三畳紀, ジュラ紀, 白亜紀に, 新生代は, 古第三紀, 新第三紀, 第四紀に区分される。現在, 新第三紀と第四紀を一つにまとめることが検討されている。	Period	
a-210	世	せい	地質時代(地質学的年代)区分のうち, 紀に次ぐ単位。年代層序区分の統に対応する。例えば, 新第三紀は中新世と鮮新世に, 第四紀は更新世と完新世に区分されている。	Epoch	
a-211	期	き	地質時代(地質学的年代)区分のうち, 世に次ぐ単位。年代層序区分の界に対応する。	Age	
a-212	酸素同位体ステージ	さんそどうたいいすてーじ			
b-1	超層群	ちょうそうぐん	岩相層序単元区分で, 層群をまとめた上位階層の単元。層と同じく「地名+単元名」で命名される。まれに用いられる。超層群の上位の単元名は規定がなく, 「帯(belt)」や「地帯(terrane)」が相当する場合が多い。「層」を参照。	supergroup	110000
b-2	層群	そうぐん	岩相層序単元区分の単元で, 階層は亜層群の上位で超層群の下位。層と同じく「地名+単元名」で命名される。広く用いられ, 亜層群が用いられることは少ないため層の直上の階層である場合が多い。上下を不整合で区切られたたい積(堆積)盆の一連の堆積物に対して用いられることが多い。「層」を参照。	group	101000
b-3	亜層群	あそうぐん	岩相層序単元区分で層をまとめた場合の単元で, 階層は層の上位で層群の下位。層と同じく「地名+単元名」で命名される。層群を細分する場合にまれに用いられる。「層」を参照。	subgroup	
b-4	層累層	そう	岩相層序単元区分の基本単元。地質図に表現可能で露頭において明確に識別・追跡できるたい積(堆積)体または岩体について, 「地名+単元名」で命名される。「累層(るいそう)」は同義。過去の地層名には命名法に合致していないものもある。参考: 日本地質学会地層命名の指針(2000), International Stratigraphic Guide(1994)	formation	100100
b-5	部層	ぶそう	岩相層序単元区分で層を細分した単元で, 階層は層の下位で単層の上位。「広瀬川凝灰岩部層」のように「地名+岩相名+単元名」で命名される。「層」とともに広く用いられる。「層」を参照。	member	100010
b-6	単層	たんそう	岩相層序単元区分で「流たい積(堆積)物」とともに最小単元。階層は部層の下位。かぎ層(鍵層)など特に有用なものは「単層」として命名できる。「地名+岩相名+単元名」で命名され, 火山性堆積物の場合は由来名などを使用してもよい。2000年に規定された用語のため例はまだ少なく, 過去は「火山灰層」等の命名がされていた。「層」を参照。	bed	
b-7	流動または降下たい積単位 (流動または降下堆積単位)	りゅうどうまたはこうかたいせきたんい	火山性たい積(堆積)物のうち, 1回の流れまたは降下によりたい積したものである。たい積単位の厚さは数cmから数百mまでさまざま。内部に級化成層・逆級化成層などのたい積構造が見られることがある。1回の火山噴火によるもののほか, 地震による山体崩壊などで生じる場合もある。	flow or fall unit	100001
b-8	たい積岩コンプレックス (堆積岩コンプレックス)	たいせきがんこんぶれっくす	海洋プレートの沈み込みで形成される付加体の主要な構成要素。地層名として「コンプレックス」のようにも用いられる。コンプレックスは「複合岩体」の意味で火成岩・変成岩に用いられていたが, たい積岩である付加体にも用いられるようになった。付加コンプレックス参照。	sedimentary complex	200000
b-9	たい積体 (堆積体)	たいせきたい	シーケンス層序学でたい積(堆積)システムの同時期面上の連なりとして定義される地層群。systems tractとも呼ぶ。ユースタシーの位置により低海水準期たい積体, 海進期たい積体, 高海水準期たい積体などに分類される。	sedimentary unit	210000

b-10	海成たい積体 (海成堆積体)	かいせいたい せきたい	たい積体をたい積(堆積)環境で大きく2つに区分した場合の、海成層からなるたい積体。内湾など汽水成層を細分する場合もある。	marine sedimentary unit	211000
b-11	非海成たい積体 (非海成堆積体)	ひかいせいたい いせきたい	たい積体をたい積(堆積)環境で大きく2つに区分した場合の、非海成層からなるたい積体。河川成・湖沼成などがある。	non-marine sedimentary unit	212000
b-12	火成岩コンプレックス	かせいがん こんぶれつくす	海洋プレートの沈み込みに伴い海洋プレートを構成する火成岩が引きはがされて大陸プレートに底付けされたと考えられている岩体。玄武岩、はんれい岩などが卓越する。断層によって繰り返していることも多い。	igneous complex	220000
b-13	火山岩体	かざんがん たい	火山岩の集合。多くの場合、火山地形をなすが、地層の中の場合、地形は判然としないことが多いため岩体として扱う場合に用いる。	volcanic unit	221000
b-14	岩せつ (岩屑)	がんせつ	一般的には、風化分解して生じた岩石の破片すなわち岩片またはそれらの集合を指すが、山体が地震や火山噴火、降水などによって崩壊して生じた岩片またはそれらの集合を指すことも少なくない。岩せつなだれたい積(堆積)物の構成物も山体崩壊で生じた岩せつである。	debris	221010
b-15	アルカリ岩	あるかりがん	アルカリ-シリカ図上でアルカリの多い領域(ソレアイト系列とカルクアルカリ岩系列)の火成岩。とくにアルカリが多い場合はアルカリ長石や準長石、ソーダ輝石、アルベゾンせんせき(閃石)などの特徴的鉱物を含む。	alkali rock	221100
b-16	大規模火砕流 たい積物 (大規模火砕流 堆積物)	だいきぼかさ いりゅうたい せきぶつ	火砕流たい積物のうち、とくに規模の大きなもの。体積は10km ³ 以上に及ぶ。大規模火砕流は火口の全周方向へ流下することが多く距離も数十kmに達する。日本では九州の阿蘇火砕流・入戸火砕流が知られる。	large-scale pyroclastic flow deposit	221110
b-17	火山噴出物	かざんふん しゅつぶつ	地表または水底に噴出したマグマの総体。火山ガス、熱水、溶岩、火砕粒子とそれらの集合。	volcanic eruption products	221120
b-18	けい長質火山 噴出物 (珪長質火山噴 出物)	けいちょうしゅつ かざんふん しゅつぶつ	けい長質マグマが噴出して生じた溶岩、火山砕せつ(碎屑)物、またはそれらの集合	felsic volcanic eruption products	221121
b-19	苦鉄質火山噴 出物	くてつしゅつ かざんふん しゅつぶつ	苦鉄質マグマが噴出して生じた溶岩、火山砕せつ(碎屑)物、またはそれらの集合	mafic volcanic eruption products	221122
b-20	非アルカリ岩	ひあるかりが ん	アルカリ-シリカ図上でアルカリの少ない領域(ソレアイト系列とカルクアルカリ岩系列)の火成岩。	non-alkali rock	221200
b-21	火山深成複合 岩体	かざんしんせい いふくごうが んたい	時間的空間的に密接して形成され、かつ成因的に類縁関係にあるとみなせる深成岩と火山岩とがなす岩体。マグマが地下浅所に滞留して冷却固結するかたわら、その一部が噴出し、あるいはより浅所にシート状に貫入して生じると考えられている。	volcano-plutonic complex	222000
b-22	けい長質火山 深成複合岩体 (珪長質火山深 成複合岩体)	けいちょうしゅつ かざんしんせい いふくごうが んたい	けい長質マグマの浅所貫入によって生じる火山複合岩体。	felsic volcano- plutonic complex	222100
b-23	苦鉄質火山深 成複合岩体	くてつしゅつ かざんしんせい いふくごうが んたい	苦鉄質マグマの浅所貫入によって生じる火山複合岩体。	mafic volcano- plutonic complex	222200
b-24	深成岩体	しんせいがん たい	マグマの結晶化作用によって地下で形成された、ある程度の広がりを持つ岩体	pluton	223000
b-25	けい長質深成 岩体 (珪長質深成岩 体)	けいちょうしゅつ しんせいがん たい	石英や長石などの無色鉱物に富む深成岩体。通常は花こう岩(花崗岩)や花こう閃緑岩(花崗閃緑岩)を主とする。	felsic pluton	223100
b-26	苦鉄質深成岩 体	くてつしゅつ しんせいがん たい	苦鉄質鉱物(有色鉱物)に富む深成岩体。通常はせん緑岩(閃緑岩)やはん(斑)れい岩を主とする。	mafic pluton	223200
b-27	ミグマタイト質 深成岩体	みぐまたいと しゅつしんせい がんたい	ミグマタイト質な深成岩体	migmatitic pluton	223300
b-28	変成岩コンプレックス	へんせいがん こんぶれつく す	変成岩からなるコンプレックス	metamorphic complex	230000
b-29	変成岩テレーン	へんせいがん てれーん	変成岩かなるテレーン	metamorphic terrane	
b-30	高 P/T 型変成 岩コンプレク ス	こうぴー/ ていーがた へんせいがん こんぶれつく す	高 P/T 型変成岩からなるコンプレックス	high P/T metamorphic complex	231000
b-31	低-中 P/T 型 変成岩コンプレ ックス	ていちゅう ぴー/ていー がたへんせい がんこんぶ れつくす	低-中 P/T 型変成岩からなるコンプレックス	low to medium P/T metamorphic complex	232000

b-32	付加コンプレックス	ふかこんぶれっくす	プレートの沈み込みによる付加作用で形成された地質体。付加作用には付加プリズムの下側での底付け付加と前面でのはぎ取り付加がある。典型的には海山起源の玄武岩・石灰岩、深海成のチャート、半遠洋性の泥岩、陸源砕せつ(砕屑)物の砂岩泥岩互層からなる。それらはメランジの産状を示すほか海洋プレート層序や覆かわら(瓦)構造が見られる場合もある。付加体の地層名として「コンプレックス」などとも用いられる。	accretionary complex	240000
b-33	付加テレーン	ふかてれーん	ある地域・時代に形成された付加コンプレックスを総称する用語。地層名として超層群ないし層群に相当する規模の付加体に対し「美濃-丹波テレーン」などと用いられる。テレーンは様々な意味に用いられることがあるので注意。	accretionary terrane	
b-34	たい積岩を主とする付加コンプレックス(堆積岩を主とする付加コンプレックス)	たいせきがんをしゅとするふかこんぶれっくす	付加コンプレックスのうち主にたい積岩からなるもの。典型的には海溝近辺でたい積(堆積)した陸源砕せつ(砕屑)物の砂岩泥岩互層からなる。海洋性玄武岩などを含まないことから、付加体の形成過程のモデルを限定できる。	accretionary complex dominated by sedimentary rocks	241000
b-35	異地性岩体	いちせいがんたい	形成された場が現在位置する地域・地帯の外である地層・岩体。地層全体をさす場合も地層中の一部をさす場合もある。前者には衝上断層などの構造運動によって移動したナップ、後者には付加体中の海洋性の玄武岩・石灰岩・チャートや、蛇紋岩メランジ中の変成岩塊などがある。	allochthonous block	241100
b-36	苦鉄質深成岩	くてつしんせいがん	有色鉱物が多く、色指数40~70の深成岩。はんれい岩がその例	mafic plutonic rock	242100
b-37	苦鉄質火山岩	くてつしかざんがん	有色鉱物が多く、色指数40~70の火山岩。玄武岩がその例。	mafic volcanic rock	242200
b-38	火山帯	かざんたい	多数の火山が帯状に配列している場合、その地域を火山帯という。火山弧に典型的で、幅は100~200 m以下であることが多い。	volcanic belt	290000
b-39	火山群	かざんぐん	時間的・空間的に密接して形成され、かつ成因的に類縁関係にあるとみなせる複数の火山の集合。八ヶ岳火山群はそのひとつ。	volcano group	291000
b-40	火山	かざん	マグマが噴火して溶岩や火山砕せつ(砕屑)物が噴出中心の周りに積み重なって生じた地形的高まり、または、マグマとその上盤を構成する物質が大量に放出されて生じたすり鉢状の地形、あるいは大量のマグマが放出されてマグマ溜まりの上盤が陥没して生じた鍋状の地形。	volcano	292000
b-41	盾状火山	たてじょうかざん	高さ比べて裾野が広い火山。盾を伏せたような地形をなすことから盾状火山という。主に粘性率の小さい玄武岩質溶岩が大量に噴出して形成される。典型的な例はハワイ諸島やアイスランドなどホットスポット上で見ることができる。	shield volcano	292100
b-42	複合火山	ふくごうかざん	火口から噴出した溶岩と火山砕せつ(砕屑)物が火口の周りにうずたかく積み重なって形成された火山。成層火山ともいう。基本的には円錐(円錐)形をなすが、噴出中心が時と共に移動し、あるいは山腹から噴火することによって、大小の高まりが複合した複雑な地形をなすことも多いことから、これを複合火山という。	composite volcano	292200
b-43	溶岩ドーム 溶岩円頂丘	ようがんどーむ	溶岩円頂丘、鐘状火山、塊状火山、トロイデともいう。粘性率の大きな溶岩がなすドーム状の火山。複合火山に比べて小さく、高さは数百mを超えないことが多い。	lava dome	292300
b-44	火砕丘	かさいきゅう	火口の周りにそこから放出された火砕粒子がたい積(堆積)して形成された丘状の地形。卓越する火山砕せつ(砕屑)粒子の種類によって、軽石丘、スコリア丘、スパター丘などともいう。	pyroclastic cone	292400
b-45	スパター丘	すばたーきゅう	火砕丘のひとつ。火口の周りにそこから放出された可塑性のある溶岩片がたい積(堆積)し互いに溶結して形成された丘状の地形	spatter cone	292410
b-46	スコリア丘 砕屑丘	すこりあきゅう	火砕丘のひとつ。主にスコリアからなる。	scoria cone	292420
b-47	軽石丘	かるいしきゅう	火砕丘のひとつ。主に軽石からなる。	pumice cone	292430
b-48	マール型火山	まーるがたかざん	すり鉢状の火口と、そこから放出された火砕粒子(主に火山灰粒子)が火口の周りにたい積(堆積)して生じた丘からなる地形。地下浅所まで達したマグマが水を取り込んで爆発した結果生ずると考えられている。	maar-type volcano	292500
b-49	マール	まーる	マール型火山の一つ。すり鉢状の火口からなり、その火口から放出された火砕粒子(主に火山灰粒子)が火口を取り囲むように薄くたい積(堆積)していることが多い。火口底は地表よりも深いところに位置する。	maar	292510
b-50	タフリング	たふりんぐ	マール型火山の一つ。すり鉢状の火口と、その火口から放出された火砕粒子(主に火山灰粒子)が火口を取り囲むようにたい積(堆積)して環状の丘をなす。マールと同様、火口底は地表よりも深いところに位置するが、火口を環状に取り囲む丘状の地形は明瞭である。	tuff ring	292520

b-51	タフコーン	たふこーん	マール型火山の一つ。すり鉢状の火口と、その火口から放出された火砕粒子(主に火山灰粒子)が火口を取り囲むようにたい積(堆積)して生じた丘からなる。火口底は地表よりも高いところに位置し、火口を環状に取り囲む丘は高く明瞭である。噴火に関する水の割合が比較的少ないと考えられている。	tuff cone	292530
c-1	たい積岩 (堆積岩) 水成岩 成層岩	たいせきがん	岩石、鉱物、生物等が風化、水力、風力、生物活動、化学反応等により生成された、粒子や結晶の集合体。砕せつ岩、炭酸塩岩、けい質(珪質)岩、りん酸塩岩、鉄質岩、蒸発岩、有機岩に区分される。狭義には圧密やこう結(膠結)作用からなる続成作用を受けることにより固結したものを指し、未固結のものはたい積物(sediment)と呼ばれることが多い。なお、たい積物は、扇状地たい積物、火砕降下たい積物などのように、固結・未固結を問わず、慣習的に使用されることもある。	sedimentary rock	10000000
c-2	砕せつ岩 (砕屑岩)	さいせつがん	主に岩石の風化・侵食により生成された砕せつ粒子が水力や重力によって運搬され沈積した粒子の集合体。狭義では固結した岩石を指し、未固結のものは砕せつ(性)たい積物(clastic sediments)と区別する。粒径により、れき岩、砂岩、泥岩等に細分される。火山岩起源の砕せつ岩は、火山砕せつ岩として区分されるが、両者の境界は漸移的なことが多い。	clastic rock	110000000
c-3	角れき岩 (角礫岩)	かくれきがん	粒径2mm以上の角れきの集合体からなる固結した岩石。特に256mm以上の角れき岩をブロックと呼ぶ。成因を問わないが、断層運動(圧砕変成作用)でできた断層角れき岩、火砕岩で角れきの多い火山角れき岩や火山灰との混合物である凝灰角れき岩とは区別する。	breccia	111102000
c-4	れき (礫)	れき	粒径2mm以上の円磨された砕せつ粒子、あるいは主にその粒径の粒子の集合体からなるたい積物。Wentworth(1922)の粒径区分に基づき、細れき、中れき、大れき、巨れきに細分される。広義では粒径2mm以上の砕せつ粒子の総称として、円磨されていないものも含むが、一般的には角れき主体の砕せつ岩とは区別して使用。	gravel	111101001
c-5	巨れき (巨礫)	きょれき	粒径256mm以上の円磨された砕せつ粒子、あるいは主にその粒子からなる砕せつ粒子の集合体。	boulder gravel	111111001
c-6	大れき (大礫)	だいれき	粒径64～256mmの円磨された砕せつ粒子、あるいは主にその粒径の粒子の集合体。	cobble gravel	111121001
c-7	中れき (中礫)	ちゅうれき	粒径4～64mmの円磨された砕せつ粒子、あるいは主にその粒径の粒子の集合体。	pebble gravel	111131001
c-8	細れき (細礫)	さいれき	粒径2～4mm以下の円磨された砕せつ粒子、あるいは主にその粒径の粒子の集合体。	granule gravel	111141001
c-9	砂	すな	粒径2～1/16mmの砕せつ粒子、あるいは主にその粒径の粒子の集合体。円磨の程度は問わない。シルトや粘土より可塑性は小さく、圧密作用も比較的受けにくい。Wentworth(1922)の粒径区分に基づき、極細粒砂、細粒砂、中粒砂、粗粒砂、極粗粒砂に細分される。	sand	111200001
c-10	極粗粒砂	ごくそりゅうさ	粒径1～2mmの砕せつ粒子、あるいはその集合体。	very coarse sand	111210001
c-11	粗粒砂	そりゅうさ	粒径1/2～1mmの砕せつ粒子、あるいはその集合体。	coarse sand	111220001
c-12	中粒砂	ちゅうりゅうさ	粒径1/4～1/2mmの砕せつ粒子、あるいはその集合体。	medium sand	111230001
c-13	細粒砂	さいりゅうさ	粒径1/8～1/4mmの砕せつ粒子、あるいはその集合体。	fine sand	111240001
c-14	極細粒砂	ごくさいりゅうさ	粒径1/16～1/8mmの砕せつ粒子、あるいはその集合体。	very fine sand	111250001
c-15	泥	どろ	粒径1/16～1/256mmの砕せつ粒子、あるいはその集合体。円磨の程度は問わない。粒径によりシルト(1/16～1/256mm)と粘土(1/256mm以下)に2分される。たい積(堆積)環境、含有物質、続成作用、風化作用によって多様な色、性状を呈する。	mud	111300001
c-16	シルト	しると	粒径1/256mm～1/16mmの砕せつ粒子、あるいはその集合体。Wentworth(1922)の粒径区分に基づき、更に極細粒シルト、細粒シルト、中粒シルト、粗粒シルトに細分される。一般的には粘土より可塑性が低い。	silt	111400001
c-17	粗粒シルト	そりゅうしると	粒径1/32mm～1/16mmの砕せつ粒子、あるいはその集合体。	coarse silt	111420001
c-18	中粒シルト	ちゅうりゅうしると	粒径1/64mm～1/32mmの砕せつ粒子、あるいはその集合体。	medium silt	111430001
c-19	細粒シルト	さいりゅうしると	粒径1/128mm～1/64mmの砕せつ粒子、あるいはその集合体。	fine silt	111440001
c-20	極細粒シルト	ごくさいりゅうしると	粒径1/256mm～1/128mmの砕せつ粒子、あるいはその集合体。	very fine silt	111450001
c-21	粘土	ねんど	粒径1/256mm～1/128mm(μm 以下)の砕せつ粒子、あるいはその集合体。地表における風化作用のほか、温泉作用、熱水変質作用、生物遺がい(遺骸)の集積によっても生成される。母岩が風化分解し、Ca、Naなど水溶性成分が失われ、残ったSi、Alが水と結合して形成された粘土鉱物群で構成される。水を含むと粘着性や塑性	clay	111500001

			を、乾燥では収縮を示す。		
c-22	れき岩 (礫岩)	れきがん	粒径2mm以上の円磨された砕せつ粒子からなる砕せつ岩で、その基質がこう結(膠結)し全体として固結している岩石。Wentworth(1922)の粒径区分に基づき、細れき岩、中れき岩、大れき岩、巨れき岩に細分される。Folk(1954)の定義では構成比80%以上のものを単にれき岩と呼び、30-80%では砂質れき岩、泥質れき岩など基質構成物の特徴を示す修飾語を最初に付ける。広義のれき岩は角れき岩も含まれる。	conglomerate	111101002
c-23	巨れき岩 (巨礫岩)	きよれきがん	主に粒径256mm以上の円磨された砕せつ粒子からなる集合体で、固結したものの。	boulder conglomerate	111111002
c-24	大れき岩 (大礫岩)	だいれきがん	主に粒径64～256mmの円磨された砕せつ粒子からなる集合体で、固結したものの。	cobble conglomerate	111121002
c-25	中れき岩 (中礫岩)	ちゅうれきが ん	主に粒径4～64mmの円磨された砕せつ粒子からなる集合体で、固結したものの。	pebble conglomerate	111131002
c-26	細れき岩 (細礫岩)	さいれきがん	主に粒径2～4mm以下の円磨された砕せつ粒子からなる集合体で、固結したものの。	granule conglomerate	111141002
c-27	砂岩	さがん	主に粒径2～1/16mmの砕せつ粒子からなる集合体で、固結したものの。円磨の程度は問わない。Wentworth(1922)の粒径区分に基づき、極細粒砂岩、細粒砂岩、中粒砂岩、粗粒砂岩、極粗粒砂岩に細分される。岩片や鉱物粒子などの上記の粒子が粘土物質、炭酸カルシウム、ケイ酸などでこう結(膠結)され固結したものの。シルトや粘土のような顕著な可塑性はなく、圧密作用も比較的受けにくい。炭酸塩粒子が主体のものは石灰岩に分類。	sandstone	111200002
c-28	極粗粒砂岩	ごくそりゅうさ がん	主に粒径1mm～2mmの砕せつ粒子からなる集合体で、固結したものの。	very coarse sandstone	111210002
c-29	粗粒砂岩	そりゅうさがん	主に粒径1/2mm～1mmの砕せつ粒子からなる集合体で、固結したものの。	coarse sandstone	111220002
c-30	中粒砂岩	ちゅうりゅうさ がん	主に粒径1/4mm～1/2mmの砕せつ粒子からなる集合体で、固結したものの。	medium sandstone	111230002
c-31	細粒砂岩	さいりゅうさが ん	主に粒径1/8mm～1/4mmの砕せつ粒子からなる集合体で、固結したものの。	fine sandstone	111240002
c-32	極細粒砂岩	ごくさいりゅう さがん	主に粒径1/16mm～1/8mmの砕せつ粒子からなる集合体で、固結したものの。	very fine sandstone	111250002
c-33	泥岩	でいがん	主に1/256mm～1/16mm(5μm以下)の大きさの粒子からなる固結した集合体。シルトを主とするものをシルト岩、粘土を主とするものを粘土岩と細分できる。泥岩のうちはく離(剥離)性のあるものをけつ岩(頁岩)と呼ぶ。シルト粒子は石英や長石などの砕せつ粒子が多く、粘土粒子の多くは粘土鉱物である場合が多い。	mudstone	111300002
c-34	けつ岩 (頁岩)	けつがん	はく離(剥離)性のよく発達した泥岩。剥離性に乏しくブロック状に破断する泥質岩を泥岩とよんで区別するが、実際に顕著な剥離性がなくても、特定の時代の泥岩を一律にけつ岩と呼ぶなどの誤用が行われている。剥離性はたい積(堆積)作用(葉理)、続成作用(粘土鉱物の再配列)などに起因する。	shale	111300012
c-35	シルト岩	しるとがん	主に粒径1/256mm～1/16mmの大きさを示す砕せつ粒子の集合体で、固結しているもの。Wentworth(1922)の粒径区分に基づき、極細粒(微粒)シルト、細粒シルト、中粒シルト、粗粒シルトに細分される。	siltstone	111400002
c-36	粗粒シルト岩	そりゅうしると がん	主に粒径1/32mm～1/16mmの砕せつ粒子からなる砕せつ岩で、固結しているもの。	coarse siltstone	111420002
c-37	中粒シルト岩	ちゅうりゅうし るとがん	主に粒径1/64mm～1/32mmの砕せつ粒子からなる砕せつ岩で、固結しているもの。	medium siltstone	111430002
c-38	細粒シルト岩	さいりゅうしと がん	主に粒径1/128mm～1/64mmの砕せつ粒子からなる砕せつ岩で、固結しているもの。	fine siltstone	111440002
c-39	極細粒シルト岩	ごくさいりゅう しるとがん	主に粒径1/256mm～1/128mmの砕せつ粒子からなる砕せつ岩で、固結しているもの。	very fine siltstone	111450002
c-40	粘土岩	ねんどがん	主に粒径1/256mm以下の砕せつ粒子からなる砕せつ岩で、固結しているもの。	claystone	111500002
c-41	泥質れき (泥質礫)	でいしつれき	基質が主に泥からなるれきの集合体で、未固結なもの。Folk(1954)の定義ではれきの構成比が30-80%で、残りの基質部分の50%以上が泥であるたい積物を指す。	muddy gravel	112120001



c-42	砂質泥質れき (砂質泥質礫)	さしつでいし つれき	基質構成物の砂より泥がやや卓越する基質支持のれき。	sandy muddy gravel	112130001
c-43	泥質砂質れき (泥質砂質礫)	でいしつさし つれき	基質が泥より砂が卓越する基質支持れき。Folk (1954) の定義では、れきが30-80%で、残りの基質構成物のうち砂が50% ~ 95%が占めるれきを指す。	muddy sandy gravel	112140001
c-44	砂質れき (砂質礫)	さしつれき	基質が砂質な基質支持れき。Folk (1954) の定義では、れきが30-80%で、残りの基質構成物の90%以上が砂からなるれきを指す。	sandy gravel	112150001
c-45	れき質泥 (礫質泥)	れきしつどろ	れきを含む泥。Folk (1954) の定義では、れきが5-30%で、残りの構成物の50%以上を泥が占めるもの。	gravelly mud	112160001
c-46	れき質砂質泥 (礫質砂質泥)	れきしつさし つどろ	れきを混じる砂質な泥。Folk (1954) の定義では、れきが5%以下で、残りの構成物のうち50 ~ 90%を泥が占めるものを指す。	gravelly sandy mud	112170001
c-47	れき質泥質砂 (礫質泥質砂)	れきしつでい しつさ	れきを混じる泥質な砂。Folk (1954) の定義では、れきが5-30%で、残りの構成物のうち50 ~ 90%を砂が占めるものを指す。	gravelly muddy sand	112180001
c-48	れき質砂 (礫質砂)	れきしつさ	れきを含む砂。Folk (1954) の定義では、れきが5 ~ 30%で、残りの構成物の90%以上が砂からなるものを指す。	gravelly sand	112190001
c-49	砂質泥	さしつどろ	砂質な泥。Folk (1954) の定義では、れきは0.01%以下で、泥が残りの構成物の50%以上を占めるものを指す。	sandy mud	112220001
c-50	泥質砂	でいしつさ	泥質な砂。Folk (1954) の定義では、れきは0.01%以下で、砂が残りの構成物の50%以上を占めるものを指す。	muddy sand	112230001
c-51	泥質れき岩 (泥質礫岩)	でいしつれき がん	基質が主に泥質なもからなる基質支持れき岩。Folk (1954) の定義ではれきが30-80%で、残りの基質部分の50%以上が泥であるれき岩を指す。	muddy conglomerate	112120002
c-52	砂質泥質れき 岩 (砂質泥質礫岩)	さしつでいし つれきがん	基質構成物の砂より泥がやや卓越する基質支持れき岩。	sandy muddy conglomerate	112130002
c-53	泥質砂質れき 岩 (泥質砂質礫岩)	でいしつさし つれきがん	基質が泥より砂が卓越する基質支持れき岩。Folk (1954) の定義では、れきが30-80%で、残りの基質構成物のうち砂が50% ~ 95%が占めるれき岩を指す。	muddy sandy conglomerate	112140002
c-54	砂質れき岩 (砂質礫岩)	さしつれきがん	基質が砂質な基質支持れき岩。Folk (1954) の定義では、れきが30-80%で、残りの基質構成物の90%以上が砂からなるれき岩を指す。	sandy conglomerate	112150002
c-55	れき質泥岩 (礫質泥岩)	れきしつでい がん	れきを含む泥岩。Folk (1954) の定義では、れきが5-30%で、残りの構成物の50%以上を泥が占める泥岩を指す。	gravelly mudstone	112160002
c-56	れき質砂質泥 岩 (礫質砂質泥岩)	れきしつさし つでいがん	れきを含む砂質な泥岩。Folk (1954) の定義では、れきが5%で、残りの構成物のうち50 ~ 90%を泥が占める泥岩を指す。	gravelly sandy mudstone	112170002
c-57	れき質泥質砂 岩 (礫質泥質砂岩)	れきしつでい しつさがん	れきを含む泥質な砂岩。Folk (1954) の定義では、れきが5-30%で、残りの構成物のうち50 ~ 90%を砂が占める砂岩を指す。	gravelly muddy sandstone	112180002
c-58	れき質砂岩 (礫質砂岩)	れきしつさがん	れきを含む砂岩。Folk (1954) の定義では、れきが5 ~ 30%で、残りの構成物の90%以上が砂からなる砂岩を指す。	gravelly sandstone	112190002
c-59	砂質泥岩	さしつでいがん	砂質な泥岩。Folk (1954) の定義では、れきは0.01%以下で、泥が残りの構成物の50%以上を占める泥岩を指す。	sandy mudstone	112220002
c-60	砂質けつ岩 (砂質頁岩)	さしつけつがん	砂質なけつ岩(頁岩)。Folk (1954) の定義では、れきは0.01%以下で、泥が残りの構成物の50%以上を占めるはく離(剥離)性を有する頁岩を指す。	sandy shale	112220012
c-61	泥質砂岩	でいしつさがん	泥質な砂岩。Folk (1954) の定義では、れきは0.01%以下で、砂が残りの構成物の50%以上を占める砂岩を指す。	muddy sandstone	112230002
c-62	粘土質砂	ねんどしつさ	粘土を多く含む淘汰(淘汰)の悪い砂。一般的に淘汰の悪い砂を指すが、ボーリング試料の記載等で、崩れた砂と泥の細かい互層に対して使用されることもある。	clayey sand	113120001
c-63	シルト質砂	しるとしつさ	シルトを多く含む砂。	silty sand	113140001
c-64	砂質粘土	さしつねんど	砂を多く含む粘土。	sandy clay	113150001
c-65	砂質シルト	さしつしると	砂を多く含むシルト。	sandy silt	113170001
c-66	粘土質砂岩	ねんどしつさ がん	粘土を多く含む砂岩。一般的に淘汰(淘汰)が悪い。	clayey sandstone	113120002

c-67	シルト質砂岩	しるとしつさがん	シルトを多く含む砂岩。	silty sandstone	113140002
c-68	砂質粘土岩	さしつねどがん	砂分の粒子を多く含む淘汰(淘汰)の悪い粘土岩。	sandy claystone	113150002
c-69	砂質シルト岩	さしつるとがん	砂分の粒子を多く含むシルトシルト岩。	sandy siltstone	113170002
c-70	アレナイト	あれないと	砂粒子の間を埋める間げき(間隙)基質による砂岩分類法に基づく名称で、基質15%以下の淘汰(淘汰)の良い砂岩を指す。石英、長石、岩片の量比により、石英アレナイト、長石質アレナイト、石質アレナイトに細分される。長石あるいは岩片が75%以上を占める場合は、その卓越鉱物種や岩石名を付けて斜長石アレナイト、チャートアレナイトなどと呼ぶ(Okada, 1971)。 	arenite	114100002
c-71	石英アレナイト	せきえいあれないと	基質が15%以下で、砂粒子である石英、長石、岩片の量比において、石英が95%以上を占める砂岩。(図:c-70「アレナイト」を参照)	quartz arenite	114110002
c-72	石英質アレナイト	せきえいしつあれないと	基質が15%以下で、砂粒子である石英、長石、岩片の量比において、石英が75~95%を占める砂岩。(図:c-70「アレナイト」を参照)	quartzose arenite	114120002
c-73	長石質アレナイト	ちょうせきしつあれないと	基質が15%以下で、砂粒子である石英、長石、岩片の量比において、石英が砂粒子の75%以下で長石が岩片より卓越する砂岩。(図:c-70「アレナイト」を参照)	feldspathic arenite	114130002
c-74	石質アレナイト	せきしつあれないと	基質が15%以下で、砂粒子である石英、長石、岩片の量比において、石英粒子が75%以下で岩片が長石より卓越する砂岩。(図:c-70「アレナイト」を参照)	lithic arenite	114140002
c-75	ワッケ	わっけ	基質を使った砂岩分類法に基づく名称で、基質15%以上の淘汰(淘汰)の悪い泥質砂岩を指す。砂粒子である石英、長石、岩片の量比により、石英ワッケ、長石質ワッケ、石質ワッケに細分される(Okada, 1971)。 	wacke	114200002
c-76	石英ワッケ	せきえいわっけ	基質が15%以上で、砂粒子である石英、長石、岩片の量比において、石英が95%以上を占める砂岩。(図:c-75「ワッケ」を参照)	quartz wacke	114250002
c-77	石英質ワッケ	せきえいしつわっけ	基質が15%以上で、砂粒子である石英、長石、岩片の量比において、石英が75~95%を占める砂岩。(図:c-75「ワッケ」を参照)	quartzose wacke	114260002
c-78	長石質ワッケ	ちょうせきしつわっけ	基質が15%以上で、砂粒子である石英、長石、岩片の量比において、石英が砂粒子の75%以下で長石が岩片より卓越する砂岩。(図:c-75「ワッケ」を参照)	feldspathic wacke	114270002
c-79	石質ワッケ	せきしつわっけ	基質が15%以上で、砂粒子である石英、長石、岩片の量比において、石英粒子が75%以下で岩片が長石より卓越する砂岩。(図:c-75「ワッケ」を参照)	lithic wacke	114280002
c-80	炭酸塩岩	たんさんえんがん	炭酸塩鉱物を50%以上含む岩石の総称。	carbonate rock	120000000
c-81	石灰質砂	せっかいしつさ	炭酸カルシウムを5~50%の割合で含む砂。	calcareous sand	121002001
c-82	石灰質泥	せっかいしつでい	炭酸カルシウムを5~50%の割合で含む泥。	calcareous mud	121003001
c-83	石灰質シルト	せっかいしつしると	炭酸カルシウムを5~50%の割合で含むシルト。	calcareous silt	121004001

c-84	石灰質粘土	せっかいしつねんど	炭酸カルシウムを5～50%の割合で含む粘土。	calcareous clay	121005001
c-85	石灰質軟泥	せっかいしつなんでい	炭酸カルシウム殻を持つ微細生物遺がい(遺骸)を30%以上の割合で含む深海遠洋性たい積(堆積)物。	calcareous ooze	121100001
c-86	トーフア	とーふあ	石灰質のゆう水(湧水)や河川沿いなどに形成される,炭酸カルシウムからなる沈殿岩。	tufa	121000202
c-87	石灰質砂岩	せっかいしつさがん	炭酸カルシウムを5～50%の割合で含む砂岩。	calcareous sandstone	121002002
c-88	石灰砂岩	せっかいさがん	炭酸カルシウムを50%以上含む砂岩。	calcareenite	121002102
c-89	石灰質泥岩	せっかいしつでいがん	炭酸カルシウムを5～50%の割合で含む泥岩。	calcareous mudstone	121003002
c-90	石灰質けつ岩 (石灰質頁岩)	せっかいしつけつがん	炭酸カルシウムを5～50%の割合で含むけつ岩。	calcareous shale	121003012
c-91	チョーク	ちょーく	浮遊性有孔虫やココリスなど,微細な石灰質微細生物遺がい(遺骸)からなる白～灰白色の軟質の石灰岩。	chalk	121003022
c-92	石灰質シルト岩	せっかいしつしるとがん	炭酸カルシウムを5～50%の割合で含むシルト岩。	calcareous siltstone	121004002
c-93	石灰質粘土岩 マール	せっかいしつねんどがん	炭酸カルシウムを5～50%の割合で含む粘土岩。	calcareous claystone marl	121005002
c-94	石灰岩	せっかいがん	方解石, あられ石など, 炭酸カルシウム(CaCO ₃)を50wt%以上含むたい積岩。サンゴ, 有孔虫などによる生物の石灰質殻の集積のほか, 蒸発などによる炭酸カルシウムの無機的沈でんなどにより生成される。未固結のものは石灰質たい積物とも呼ばれる。	limestone	121100002
c-95	ドロリュータイト	どろりゅーたいと	主に砂サイズ以上の粒径のドロマイト粒子によって構成される苦灰岩。Folk(1959)により定義。	dolorudite	121402102
c-96	マグネシアン石灰岩	まぐねしあんせっかいがん	方解石が90～95%を占め, ドロマイトを5%以上含む炭酸塩岩。	magnesian limestone	121200002
c-97	苦灰岩質石灰岩	くかいがんしつせっかいがん	方解石が50～90%占め, ドロマイトを10%以上含む炭酸塩岩。	dolomitic limestone	121300002
c-98	石灰質苦灰岩	せっかいしつくかいがん	ドロマイトが50～90%を占め, 方解石を10%以上含む炭酸塩岩。	calcareous dolostone	121400002
c-99	ドロストーン 苦灰岩	どろすとーん	ドロマイトを90%以上含む岩石。	dolostone	121500002
c-100	苦灰岩	くかいがん	ドロストーンと同義。	dolostone	
c-101	ドロスパラライト	どろすぱーらいと	粗粒結晶の苦灰岩。	dolosparite	121510002
c-102	ドロミクライト	どろみくらいと	泥サイズのドロマイト粒子によって構成される苦灰岩。Folk(1959)により定義。	dolomicrite	121520002
c-103	イントラスパル ルダイト	いんとらすぱるーだいと	径1mm以上のイントラクラストに富み, 粒子間げき(間隙)にスパライトセメントが卓越する石灰岩。イントラクラストを25%以上含むと定義される(Folk, 1959)。	intrasparrudite	122111012
c-104	イントラスパ ライト	いんとらすぱらいと	径1mm以下のイントラクラストに富み, 粒子間げき(間隙)にスパライトセメントが卓越する石灰岩。イントラクラストを25%以上含むと定義される(Folk, 1959)。	intrasparite	122111022
c-105	ウースパル ダイト	うーすぱるーだいと	径1mm以上のウーイド粒子に富み, 粒子間げき(間隙)にスパライトセメントが卓越する石灰岩。ウーイド粒子を25%以上含むと定義される(Folk, 1959)。	oosparrudite	122112012
c-106	ウースパ ライト	うーすぱらいと	径1mm以下のウーイド粒子に富み, 粒子間げき(間隙)にスパライトセメントが卓越する石灰岩。ウーイド粒子を25%以上含むと定義される(Folk, 1959)。	oosparite	122112022
c-107	バイオスパ ルダイト	ばいおすぱるーだいと	径1mm以上の生物遺がい(遺骸)片に富み, 粒子間げき(間隙)にスパライトセメントが卓越する石灰岩。ウーイド粒子が25%以下で, 生物遺骸片とペロイド粒子の量比が3:1以上と定義される(Folk, 1959)。	biosparrudite	122113012
c-108	バイオスパ ライト	ばいおすぱらいと	径1mm以下の生物遺がい(遺骸)片に富み, 粒子間げき(間隙)にスパライトセメントが卓越する石灰岩。ウーイド粒子が25%以下で, 生物遺骸片とペロイド粒子の量比が3:1以上と定義される(Folk, 1959)。	biosparite	122113022
c-109	バイオペ ルスパ ルダイト	ばいおぺるすぱるーだいと	径1mm以上の生物遺がい(遺骸)片とペロイド粒子に富み, 粒子間げき(間隙)にスパライトセメントが卓越する石灰岩。ウーイド粒子が25%以下で, 生物遺骸片とペロイド粒子の量比が1:3から3:1の間と定義される(Folk, 1959)。	biopelsparrudite	122114012
c-110	バイオペ ルスパ ライト	ばいおぺるすぱらいと	径1mm以下の生物遺がい(遺骸)片とペロイド粒子に富み, 粒子間げき(間隙)にスパライトセメントが卓越する石灰岩。ウーイド粒子が25%以下で, 生物遺骸片とペロイド粒子の量比が1:3から3:1の間と定義される(Folk, 1959)。	biopelsparite	122114022

c-111	ペルスパルー ダイト	ペルスぱー ーだいと	径1mm以上のペロイド粒子に富み、粒子間げき(間隙)にスパリイトセメントが卓越する石灰岩。ウーイド粒子が25%以下で、生物遺がい(遺骸)片とペロイド粒子の量比が1:3以下と定義される(Folk, 1959)。	pelsparrudite	122115012
c-112	ペルスパライト	ペルスぱらい と	径1mm以下のペロイド粒子に富み、粒子間げき(間隙)にスパリイトセメントが卓越する石灰岩。ウーイド粒子が25%以下で、生物遺がい(遺骸)片とペロイド粒子の量比が1:3以下と定義される(Folk, 1959)。	pelsparite	122115022
c-113	イントラミク ルーダイト	いんとらみく るーだいと	径1mm以上のイントラクラストに富み、粒子間げき(間隙)にミクライト基質が卓越する石灰岩。イントラクラストを25%以上含むと定義される(Folk, 1959)。	intramicrudite	122121012
c-114	イントラミクラ イト	いんとらみくら いと	径1mm以下のイントラクラストに富み、粒子間げき(間隙)にミクライト基質が卓越する石灰岩。イントラクラストを25%以上含むと定義される(Folk, 1959)。	intramicrite	122121022
c-115	ウーミクルー ダイト	うーみくるー だいと	径1mm以上のウーイド粒子に富み、粒子間げき(間隙)にミクライト基質が卓越する石灰岩。ウーイド粒子を25%以上含むと定義される(Folk, 1959)。	oomicrudite	122122012
c-116	ウーミクライト	うーみくらいと	径1mm以下のウーイド粒子に富み、粒子間げき(間隙)にミクライト基質が卓越する石灰岩。ウーイド粒子を25%以上含むと定義される(Folk, 1959)。	oomicrite	122122022
c-117	バイオミクル ーダイト	ばいおみく るーだいと	径1mm以上の生物遺がい(遺骸)片に富み、粒子間げき(間隙)にミクライト基質が卓越する石灰岩。ウーイド粒子が25%以下で、生物遺骸片とペロイド粒子の量比が3:1以上と定義される(Folk, 1959)。	biomicrudite	122123012
c-118	バイオミクラ イト	ばいおみくら いと	径1mm以下の生物遺がい(遺骸)片に富み、粒子間げき(間隙)にミクライト基質が卓越する石灰岩。ウーイド粒子が25%以下で、生物遺骸片とペロイド粒子の量比が3:1以上と定義される(Folk, 1959)。	biomicrite	122123022
c-119	バイオペルミ クルーダイト	ばいおべるみ くるーだいと	径1mm以上の生物遺がい(遺骸)片とペロイド粒子に富み、粒子間げき(間隙)にミクライト基質が卓越する石灰岩。ウーイド粒子が25%以下で、生物遺骸片とペロイド粒子の量比が1:3から3:1の間と定義される(Folk, 1959)。	biopelmicrudite	122124012
c-120	バイオペルミ クライト	ばいおべるみ くらいと	径1mm以下の生物遺がい(遺骸)片とペロイド粒子に富み、粒子間げき(間隙)にミクライト基質が卓越する石灰岩。ウーイド粒子が25%以下で、生物遺骸片とペロイド粒子の量比が1:3から3:1の間と定義される(Folk, 1959)。	biopelmicrite	122124022
c-121	ペルミクルー ダイト	ペルみくるー だいと	径1mm以上のペロイド粒子に富み、粒子間げき(間隙)にミクライト基質が卓越する石灰岩。ウーイド粒子が25%以下で、生物遺がい(遺骸)片とペロイド粒子の量比が1:3以下と定義される(Folk, 1959)。	pelmicrudite	122125012
c-122	ペルミクラ イト	ペルみくらいと	径1mm以下のペロイド粒子に富み、粒子間げき(間隙)にミクライト基質が卓越する石灰岩。ウーイド粒子が25%以下で、生物遺がい(遺骸)片とペロイド粒子の量比が1:3以下と定義される(Folk, 1959)。	pelmicrite	122125022
c-123	含同時れき ミクライト 〔含同時礫ミ クライト〕	がんどうじれ きみくらいと	イントラクラストを主とする粒子を1-10%含むほかはミクライトからなる石灰岩。Folk(1959)により定義。	intraclast- bearing micrite	122200102
c-124	含魚卵石ミ クライト	がんぎょらん せきみくらいと	ウーイドを主とする粒子を1-10%含むほかはミクライトからなる石灰岩。Folk(1959)により定義。	oolite-bearing micrite	122200202
c-125	含化石ミ クライト	がんかせき みくらいと	生物遺がい(遺骸)片を主とする粒子を1-10%含むほかはミクライトからなる石灰岩。Folk(1959)により定義。	fossiliferous micrite	122200302
c-126	含ペレット ミクライト	がんべれつ とみくらいと	ペロイドを主とする粒子を1-10%含むほかはミクライトからなる石灰岩。Folk(1959)により定義。	pelletiferous micrite	122200402
c-127	ミクライト 石灰泥	みくらいと	炭酸カルシウムからなる微細粒子。Folk(1959)は径0.004mm以下としたが、そのほかにさまざまな粒径定義があり、一般には粘土サイズの炭酸塩微細粒子として用いられる。また、このような微細粒子を主構成要素とし、他粒子の含有が1%以下の石灰岩を指す場合もある。	micrite	122300002
c-128	バイオリサイ ト バウンドス トーン	ばいおりさい と	主に生息状態を保った礁生物によって形成される石灰岩。原地性礁性石灰岩。Folk(1959)により定義。	biolithite	122400002
c-129	石灰泥岩	せっかい でいがん	基質(石灰泥)支持の径2mm以下の粒子を10%以下含むほかは、石灰泥からなる石灰岩。Dunham(1962)により定義。	lime mudstone	123111112
c-130	ワッケス トーン	わっけすと ーん	基質(石灰泥)支持の径2mm以下の粒子を10%以上含むほかは、石灰泥からなる石灰岩。Dunham(1962)により定義。	wackestone	123111122
c-131	バック ストーン	ぱっくすと ーん	粒子支持の径2mm以下の粒子からなり、粒子間げき(間隙)に石灰泥を含む石灰岩。Dunham(1962)およびEmbry and Klovan(1972)により定義。	packstone	123111202
c-132	グレイン ストーン	ぐれいん すとーん	粒子支持の径2mm以下の粒子からなり、粒子間げき(間隙)に石灰泥を含まない石灰岩。Dunham(1962)およびEmbry and Klovan(1972)により定義。	grainstone	123112202

c-133	フロートストーン	ふるーとすとーん	基質(石灰泥)支持の径2mm以上の粒子を10%以上含むほかは石灰泥からなる石灰岩。Embry and Klovan (1972)により定義。	floatstone	123120102
c-134	ルードストーン	るーどすとーん	粒子支持の径2mm以上の粒子を10%以上含む石灰岩。粒子間げき(間隙)に石灰泥が含まれているか否かは問わない。Embry and Klovan (1972)により定義。	rudstone	123120202
c-135	バウンドストーン バイオリサイト	ばうんどすとーん	たい積(堆積)時に生物の結合作用によって粒子および原地性生物が連結された石灰岩。原地性礁石灰岩。Dunham (1962)により定義。Embry and Klovan (1972)は形態によりbafflestone, bindstone, framestoneに細分した。	boundstone	123200002
c-136	コケムシ石灰岩	こけむしせっかいがん	コケムシ化石を多く含む石灰岩。	bryozoan limestone	124100002
c-137	腕足類石灰岩	わんそくるいせっかいがん	腕足類化石を多く含む石灰岩。	brachiopod limestone	124200002
c-138	きよく皮動物石灰岩 〔棘皮動物石灰岩〕 ウミユリ石灰岩 (類)ウニ石灰岩	きよくひどうぶつせっかいがん	ウミユリ類やウニ類などのきよく皮動物化石を多く含む石灰岩。	echinoderm limestone	124300002
c-139	軟体動物石灰岩 (類)貝殻石灰岩	なんたいどうぶつせっかいがん	軟体動物化石を多く含む石灰岩。	molluscan limestone	124400000
c-140	コキナ (類)コキナイト	こきな	主に石灰質の生物遺がい(遺骸)片からなる淘汰(淘汰)の良いたい積(堆積)物あるいは岩石。特に貝殻片が卓越する場合に使用されることが多い。	coquina	124410001
c-141	コキナイト (類)コキナ	こきないと	コキナのうち、セメント作用により固結したもの。	coquinite	124410002
c-142	コキノイド石灰岩	こきのいどせっかいがん	ほとんど摩滅していない貝殻片が淘汰(淘汰)されることなく集積してできた粗粒の石灰岩。明らかに異地性の生物遺がい(遺骸)片からなるコキナおよびコキナイトと異なり、貝殻はあまり移動せず原地性に近い産状を示す。	coquinoïd limestone	124420002
c-143	サンゴ石灰岩	さんごせっかいがん	サンゴを多く含む石灰岩。	coral limestone	124500002
c-144	海綿石灰岩	かいめんせっかいがん	海綿類を多く含む石灰岩。	sponge limestone	124600002
c-145	有孔虫石灰岩 (類)紡錘虫石灰岩	ゆうこうちゅうせっかいがん	有孔虫類を多く含む石灰岩。	foraminiferal limestone	124700002
c-146	石灰藻石灰岩	せっかいそうせっかいがん	石灰藻類化石を多く含む石灰岩。	calcareous algal limestone	124800002
c-147	微生物石灰岩	びせいぶつせっかいがん	微生物が形成に関与した岩石の総称。特にシアノバクテリアが形成に関与した炭酸塩岩について用いられることが多い。	calcimicrobes limestone	124900002
c-148	けい質岩 (珪質岩)	けいしつがん	シリカに富む岩石の総称。通常非砕せつ(砕屑)性のものを指す。チャートなど。	siliceous rock	130000000
c-149	けい質泥 (珪質泥)	けいしつでい	主に放散虫やけい藻(珪藻)などのけい質(珪質)殻をもつ微化石の遺がい(遺骸)からなり、シリカに富むたい積(堆積)物。	siliceous mud	131000301
c-150	けい藻泥 (珪藻泥)	けいそうでい	主にけい藻(珪藻)の遺がい(遺骸)からなるシリカに富むたい積(堆積)物。珪藻軟泥と同義。	diatom mud	131110301
c-151	放散虫泥	ほうさんちゅうでい	放散虫の遺がい(遺骸)が大洋底に集積し、遠洋性粘土中に30%以上含まれるたい積(堆積)物。放散虫軟泥と同義。	radiolarian mud	131120301
c-152	けい質シルト (珪質シルト)	けいしつしると	シリカに富むたい積(堆積)物のうち、粒径がシルトサイズのもの。	siliceous silt	131000401
c-153	けい藻シルト (珪藻シルト)	けいそうしると	主にけい藻(珪藻)の遺がい(遺骸)からなるシリカに富むたい積(堆積)物で、粒径がシルトサイズのもの。	diatom silt	131110401
c-154	放散虫シルト	ほうさんちゅうしると	主に放散虫の遺がい(遺骸)からなるシリカに富むたい積(堆積)物で、粒径がシルトサイズのもの。	radiolarian silt	131120401
c-155	けい質軟泥 (珪質軟泥)	けいしつなんでい	主に放散虫やけい藻(珪藻)などのけい質(珪質)殻をもつ微化石の遺がい(遺骸)からなり、シリカに富むたい積(堆積)物。珪質泥と同義。	siliceous ooze	131000601
c-156	けい藻軟泥 (珪藻軟泥)	けいそうなんでい	けい藻(珪藻)の遺がい(遺骸)を主とし、そのほか放散虫・海綿骨針を含むけい質(珪質)の遠洋性たい積(堆積)物。北太平洋・南氷洋などの高緯度地域に多く分布する。	diatom ooze	131110601
c-157	放散虫軟泥	ほうさんちゅうなんでい	放散虫の遺がい(遺骸)が大洋底に集積し、遠洋性粘土中に30%以上含まれるたい積(堆積)物。	radiolarian ooze	131120601
c-158	けい質泥岩 (珪質泥岩)	けいしつでいがん	主に放散虫やけい藻(珪藻)などのけい質(珪質)殻をもつ微化石の遺がい(遺骸)と陸源砕せつ(砕屑)物から構成される半遠洋性のたい積(堆積)岩。	siliceous mudstone	131100302

c-159	けい藻泥岩 〔珪藻泥岩〕	けいそうでい がん	主にけい藻〔珪藻〕の遺がい〔遺骸〕からなるシリカに富む泥岩。	diatom mudstone	131110302
c-160	放散虫泥岩	ほうさんちゅう でいがん	主に放散虫の遺がい〔遺骸〕からなるシリカに富む泥岩。	radiolarian mudstone	131120302
c-161	けい質シルト岩 〔珪質シルト岩〕	けいしつしると がん	シリカに富むたい積〔堆積〕岩のうち、粒径がシルトサイズのもの。	siliceous siltstone	131100402
c-162	けい藻シルト岩 〔珪藻シルト岩〕	けいそうしると がん	主にけい藻〔珪藻〕の遺がい〔遺骸〕からなるシリカに富むたい積〔堆積〕岩のうち、粒径がシルトサイズのもの。	diatom siltstone	131110402
c-163	放散虫シルト岩	ほうさんちゅう しるとがん	主に放散虫の遺がい〔遺骸〕からなるシリカに富むたい積〔堆積〕岩のうち、粒径がシルトサイズのもの。	radiolarian siltstone	131120402
c-164	けい質けつ岩 〔珪質頁岩〕	けいしつけつ がん	主に放散虫やけい藻〔珪藻〕などのけい質〔珪質〕殻をもつ微化石の遺がい〔遺骸〕と陸源砕せつ〔碎屑〕物から構成される半遠洋性のたい積〔堆積〕岩。珪質泥岩と同義に用いられることもあるが、珪質泥岩より緻密〔緻密〕で、チャートほどは珪質かつ堅硬ではない珪質岩石に用いられることが多い。	siliceous shale	131100502
c-165	けい藻けつ岩 〔珪藻頁岩〕	けいそうけつ がん	主にけい藻〔珪藻〕の遺がい〔遺骸〕からなるシリカに富む、やや緻密〔緻密〕なけつ岩〔頁岩〕。	diatom shale	131110512
c-166	放散虫けつ岩 〔放散虫頁岩〕	ほうさんちゅう けつがん	主に放散虫の遺がい〔遺骸〕からなるシリカに富む、やや緻密〔緻密〕なけつ岩〔頁岩〕。	radiolarian shale	131120512
c-167	けい藻チャート けい藻岩	けいそう チャート	主としてけい藻〔珪藻〕の遺がい〔遺骸〕からなるけい質〔珪質〕岩石。	diatom chert, diatomite	131110002
c-168	放散虫チャート 放散虫岩	ほうさんちゅう チャート, ほう さんちゅうがん	ほとんど放散虫遺がい〔遺骸〕からなる岩石を放散虫岩と呼ぶ。放散虫チャートは、主に放散虫からなる硬く緻密〔緻密〕な岩石。	radiolarian chert, radiolarite	131120002
c-169	海綿チャート	かいめん チャート	おもに海綿の骨針からなる硬く緻密〔緻密〕なけい質〔珪質〕岩石。	poriferan chert	131130002
c-170	マガディーアイ ト	まがでいーあ いと	アフリカ、ケニアのマガジ湖で発見された鉱物。 NaSi O (OH) · 4H O。	magadiite	132100002
c-171	けい華 〔珪華〕	けいか	多孔性の非晶質シリカで、間欠泉や温泉などから凝結し形成される。	siliceous sinter	132200002
c-172	りん酸塩岩 〔磷酸塩岩〕	りんさんえん がん	りん酸塩鉱物に非常に富むたい積〔堆積〕岩の総称。主に微晶質りん灰石〔炭酸塩を固結〕からなり、層状を呈する。	phosphorite	140000002
c-173	泥岩りん灰土 〔泥岩磷酸土〕 石灰泥岩りん灰土	でいがんりん かいど	通常は石灰泥岩りん灰土と呼ぶ。りん〔燐〕灰石の塊状の集合体であるりん灰土を多く含む石灰泥岩。	mudstone phosphorite	140111002
c-174	ワッケストーン りん灰土 〔ワッケストーン 磷酸土〕	わっけすとー んりんかいど	りん〔燐〕灰石の塊状の集合体であるりん灰土を多く含むワッケストーン。	wackestone phosphorite	140112002
c-175	バックストーン りん灰土 〔バックストーン 磷酸土〕	ぱっくすとー んりんかいど	りん〔燐〕灰石の塊状の集合体であるりん灰土を多く含むバックストーン。	packstone phosphorite	140120002
c-176	グレインストーン りん灰土 〔グレインストーン 磷酸土〕	ぐれいんす とーんりんか いど	りん〔燐〕灰石の塊状の集合体であるりん灰土を多く含むグレインストーン。	graystone phosphorite	140220002
c-177	バウンドストーン りん灰土 〔バウンドストーン 磷酸土〕	ばうんどす とーんりんか いど	りん灰土を多く含むバウンドストーン。	boundstone phosphorite	140300002
c-178	鉄質岩	てつしつがん	鉄分に富んだ岩石の総称。例えば酸化鉄でセメントされた砂岩などがある。	ferruginous rock iron-rich rock	150000002
c-179	チャート質又は 層状含鉄層	チャーとしつ またはそうじょう がんでつそう	チャート起源のけい質〔珪質〕物と含鉄鉱物からなるしま〔縞〕の互層。しま状〔縞状〕鉄鉱床を形成し、世界の鉄資源の90%以上を供給している。始生代のグリーンストーン帯に分布するものがある。	cherty or banded iron formation	150100002
c-180	アイアンストーン	あいあんす とーん	鉄鉱物に富むたい積〔堆積〕岩の総称。鉄分に富む堆積岩や化学的に鉄鉱物で置換された岩石を含む。層状含鉄層と対比して用いられることが多く、主に古生代～白亜紀に形成された、鉄分に富む硬く緻密〔緻密〕な非けい質〔珪質〕岩石に主に用いられる。	ironstone	150200002
c-181	蒸発岩 蒸発残留岩 エバポライト 塩水沈殿物	じょうはつがん	主に乾燥気候下の内陸のプラヤ・塩湖、沿岸域のサブカ・ラグーンなどで、蒸発によって水溶液中の溶解した沈殿性の塩類が析出・沈殿・集積した岩石の総称。主なものに硫酸塩である石こう〔石膏〕・硬石膏、塩化物である岩塩、炭酸塩岩〔化学的沈殿〕などがある。	evaporite	160000002
c-182	石こう 〔石膏〕	せっこう	蒸発岩として普通に産出する硫酸塩鉱物 (CaSO · 2H O)。脱水により硬石こう〔石膏〕 (CaSO) に変化する。	gypsum	160100002

c-183	岩塩	がんえん	塩化ナトリウムを99%含む蒸発岩。たい積(堆積)岩と比較し比重が小さく、可塑性があるため、層状の大規模な岩塩層は堆積岩中において塑性流動を起こし、石油鉱床の帽岩として重要である岩塩ドームを形成する。	halite	160200002
c-184	有機岩	ゆうきがん	ほとんどを有機物から構成される岩石。石炭やボッグヘッド炭(トルバナイト)、天然アスファルト等が含まれる。オイルシェールは泥岩が主体であり含まれない。	organic rock	170000002
c-185	腐植炭 陸植炭	ふしょくたん	石炭を起源物質となる有機物で区分した名称区分。樹木や草本類などの陸上高等植物に起源を持つ石炭に対する呼称。石炭の大部分は腐植炭に区分される。これに對をなすものは腐泥炭。	humus coal humic coal	171100002
c-186	陸植炭 石炭	りくしょくたん	腐植炭と同義語。	humic coal	
c-187	泥炭	でいたん	湿原で形成される、未分解または弱分解のミズゴケや草本類などを主体とする植物遺体集合体に対する名称。石炭には含まれない。乾燥して燃料として使用されるほかに、ピートモスとして土壌改良材に使用される。	peat	171110001
c-188	褐炭	かったん	石炭の炭質区分の1つ。区分の中で最も石炭化度の低い石炭に対する名称。日本の炭質区分ではJIS-M1002で発熱量(補正無水無灰基)が30,560kJ/kg以下と定義されている。広く用いられている亜炭はほぼ同義語。	lignite	171120002
c-189	亜れき青炭 (亜瀝青炭)	あれきせいたん	石炭の炭質区分の1つ。光沢をもつ比較的良質の石炭に対する名称。日本の炭質区分ではJIS-M1002で発熱量(補正無水無灰基)が30,560kJ/kg以上33,910KJ/kg以下と定義される。主に火力発電に使用され、一般炭とも呼ばれる。	sub-bituminous coal	171130002
c-190	れき青炭 (瀝青炭)	れきせいたん	石炭の炭質区分の1つ。最も良質の石炭に対する名称。日本の炭質区分(JIS-M1002で定義)では発熱量(補正無水無灰基)が33,910kJ/kg以上で燃料比が4.0以下と定義される。乾留時に粘結性を持ち、製鉄用コークス製造に用いられる。	bituminous coal	171140002
c-191	半れき青炭 (半瀝青炭)	はんれきせいたん	英国の石炭区分で無煙炭とれき青炭(瀝青炭)の中間の炭質を示すもの。日本の石炭分類基準の瀝青炭B1程度に相当。とも。揮発分10~20%。普通の瀝青炭より硬く光沢がある。	semi-bituminous coal	171150002
c-192	無煙炭	むえんたん	石炭の炭質区分の1つ。最も石炭化度(熟成度)の進んだ石炭に対する名称。日本の炭質区分(JIS-M1002で定義)では燃料比が4.0以上と定義される。主に燃料用として用いられる。微粉化し整形したものが練炭。	anthracite	171160002
c-193	腐泥炭	ふでいたん	淡水性藻類や花粉・孢子、樹脂など石炭組織区分(JIS-M8)のエグジニットグループが主体をなす石炭。石炭としては希な存在である。代表的なものはトルバナイト(ボッグヘッド炭)、しょく炭(燭炭)の一部を含めることもある。	sapropelic coal	171200002
c-194	しょく炭 (燭炭)	しょくたん	本邦でメナシ炭(目無し炭)と呼ばれるものとほぼ同じ。肉眼的に石炭に特徴的な規則的な割れ目を持たず塊状な表面を持つ。ロウソクのような炎で燃えることからしょく炭(燭炭)と呼ぶ。石炭組織成分のエグジニイトを多く含む。	cannel coal	171210002
c-195	ボッグヘッド炭 トーバナイト	ぼっぐへつどたん	トルバナイトとも呼ばれる。淡水性藻類(ボツリオコッカス)から大部分が構成されている特殊な石炭。腐泥炭の一種。見かけは暗褐色な泥岩に似るが著しく比重が軽い。発熱量(無水無灰基)は10,000kcal/kgを超える。	boghead coal torbanite	171220002
c-196	トーバナイト トルバナイト	とーばないと	ボッグヘッド炭と同義。	torbanite	
c-197	炭質けつ岩 (炭質頁岩)	たんしつけつがん	灰分を多く含む石炭質(植物起源有機成分を多く含む)な泥岩層(けつ岩(頁岩))に対する呼称。灰分含有量に基づく定義はない。石炭には含まれないが、高灰分の石炭と同義。炭層中に泥岩薄層を挟在する場合には用いない。	coaly shale	172100002
c-198	油母けつ岩 (油母頁岩) 油けつ岩・オイルシェール	ゆぼけつがん	有機物を多く含み、高温乾留により石油状炭化水素を得ることが可能なけつ岩(頁岩)(泥岩)に対する名称。有機物含有量や回収油量による定義はない。含まれる有機物は淡水性藻類起源が一般的。米国Green River頁岩が代表的。	oil shale	
c-199	油けつ岩 (油頁岩) 油母けつ岩・オイルシェール	ゆけつがん	油母けつ岩(頁岩)と同義。	oil shale	172200002
c-200	石炭 陸植炭	せきたん	陸源高等植物を主とする植物遺体の集合体(泥炭など)、地下深部で圧密、地熱による熱変質を受けて形成された可燃性の岩石。たい積(堆積)岩中に層状に挟在する。石炭化度の進行と共に褐炭、亜れき青炭(瀝青炭)、瀝青炭、無煙炭と変化する。	coal	172300002
c-201	しょく炭けつ岩 (燭炭頁岩)	しょくたんけつがん	炭質けつ岩(頁岩)の一種。しょく炭(燭炭)全体に灰分を多く含む頁岩とみなされるもの。灰分量による定義はない。	cannel shale	172400002

c-202	ボッグヘッド質 しよく炭けつ岩 (ボッグヘッド質 燭炭頁岩)	ぼっぐへつど しつしよくたん けつがん	しよく炭けつ岩の一種で、ボッグヘッド質つまり淡水性藻類起源有機物を多く含むもの。	boghead cancell shale	172600002
c-203	ボッグヘッド質 しよく炭 (ボッグヘッド質 燭炭)	ぼっぐへつど しつしよくたん	しよく炭で、ボッグヘッド質つまり淡水性藻類起源有機物を多く含むもの。ボッグヘッド質がほとんどを占める場合はボッグヘッド炭となる。	boghead cancell	172700002
c-204	アスファルト質 岩	あすふあるとし つがん	原油成分のうち軽質油成分が失われ、アスファルトを主とする重質油成分が単独もしくはたい積(堆積)岩中に濃集した岩石に対する総称。天然アスファルトやオイルサンドなどがこれに含まれる。あまり使用されていない用語。	asphaltic earth athphalite	172800002
c-205	ウミユリ石灰岩 (類)きよく皮動物 石灰岩	うみゆりせつ かいがん	ウミユリ類化石を多く含む石灰岩。	crinoidal limestone	
c-206	ウニ石灰岩 (類)きよく皮動物 石灰岩	うにせつかい がん	ウニ類化石を多く含む石灰岩。	echinoid limestone	
c-207	貝殻石灰岩 (類)コキナ (類)コキナイト (類)コキノイド石 灰岩	かいがらせつ かいがん	貝殻を多く含む石灰岩。	shelly limestone	
c-208	紡錘虫石灰岩	ぼうすいちゅう せつかいがん	紡錘虫(紡錘虫)(フズリナ)類化石を多く含む石灰岩。	fusulinid limestone	
c-209	チャート	ちゃーと	硬くち密(緻密)で微粒なけい質(珪質)堆積岩で、一般に30 μmより細粒の石英結晶からなる。層状、塊状、ノジュール状のものがあるが、日本の付加複合体では、層状のものが卓越する。この層状チャートは、放散虫などの珪質微生物の遺がい(遺骸)を沢山含み、深海域でたい積(堆積)した遠洋性堆積物とみなされている。このほか熱水起源のチャートなども知られている。	chert	
c-210	微生物岩	びせいぶつが ん	微生物が形成に関与した岩石の総称。特にシアノバクテリアが形成に関与した炭酸塩岩について用いられることが多い。	microbialite	
c-211	半無煙炭 (半無煙炭)	はんむえんた ん	石炭の炭質区分の1つ。無煙炭の中で固定炭素の少ないもの(=揮発分の多いもの)に対して用いる。日本の炭質区分では無煙炭に一括され、用いられない。ASTM(D388)の区分では固定炭素(無水無鉱物ベース)が86%-92%とされている。	semi-anthracite	171150002
c-212	平均粒径 平均径	へいきんりゅう けい	たい積岩等の様々な大きさの粒子集合体における粒子径(直径)の平均値。平均値は、スケールを用いた粒径の頻度分布、すなわち粒度の階級分布に基づき、算術平均粒径、幾何平均粒径、並数粒径、中央粒径などで求められる。野外では、簡易法として、特定の粒径の粒子を集めた粒度表を用い、目視にて大凡の代表的な粒径を決めて平均的粒径とする。	mean diameter	
c-213	泥基質	どろきしつ	粒子部分の間を埋める細かい粒子である基質部分が主に泥からなるたい積物。	mud-supported	
c-214	極粗粒	ごくそりゅう	ある特定の幅の粒径を持つ粒子の集合体(砂岩など)を更に細かい粒度により細分する用語で、5つに細分するときの最も粒径の大きな粒度階級。	very coarse- grained	
c-215	粗粒	そりゅう	ある特定の幅の粒径を持つ粒子の集合体(砂岩など)を更に細かい粒度により細分する用語で、3つに細分する際は最も大きな、5つに細分する際は極粗粒の次に大きな粒度階級。	coarse-grained	
c-216	中粒	ちゅうりゅう	ある特定の幅の粒径を持つ粒子の集合体(砂岩など)を更に細かい粒度により細分する用語で、粒径がその中位にあたるものを指す。	medium-grained	
c-217	細粒	さいりゅう	ある特定の幅の粒径を持つ粒子の集合体(砂岩など)を更に細かい粒度により細分する用語で、3つに細分する際は最も小さな、5つに細分する際の極細粒の次に大きな粒度階級。	micro-grained	
c-218	極細粒	ごくさいりゅう	ある特定の幅の粒径を持つ粒子の集合体(砂岩など)を更に細かい粒度により細分する用語で、5つに細分する際の最も小さな粒度階級。	very fine-grained	
c-219	円れき (円礫)	えんれき	れきが円磨度に基づき細分された(Pettijohn,1975)ときの円磨度0.5~0.6のれき。あるいは円磨を受けているれきの総称。	rounded gravel	
c-220	亜円れき (亜円礫)	あえんれき	ある程度円磨を受けているれき。Pettijohn(1975)に基づく円磨度0.15~0.25のれき。	subrounded gravel	
c-221	角れき (角礫)	かくれき	円磨を受けていないれき。Pettijohn(1975)に基づく円磨度が0.15以下のれき。	rubble angular gravel	
c-222	亜角れき (亜角礫)	あかくれき	円磨をあまり受けていないれき。Pettijohn(1975)に基づく円磨度0.15~0.25。	subangular gravel	

c-223	軟泥	なんでい	50%あるいは30%以上の浮遊性生物遺がい(遺骸)を含む軟らかい泥からなる遠洋性たい積(堆積)物。構成する主な生物遺骸の化学成分(生物の種類)に基づき、石灰質軟泥(有孔虫軟泥・ココリス軟泥等)とけい質(珪質)軟泥(けい藻(珪藻)軟泥・放散虫軟泥)に細分される。	ooze	
c-224	再たい積 (再堆積)	さいたいせき	たい積作用により一度定置した砕せつ岩(物)や化石が、水底の流れ、地すべり、侵食などにより、別の場所に運ばれて再びたい積する作用。	resedimentation redeposition	
c-225	化学沈でん (化学沈澱)	かがくちんでん	水溶液中に溶けた化学成分が、水溶液の蒸発による飽和や、化学反応等により鉱物が沈殿すること。	chemical precipitation	
c-226	はく離性 (剥離性)	はくりせい	ある特定の方向の面に沿って、平行に薄くは(剥)がれやすい性質。主に泥質岩や泥質たい積物に発達する層理面(葉理面)に平行に認められる。平板状の粘土鉱物が層理面(葉理面)に平行に配列する場合や、脂質有機物が多い場合に認められる。特にはく離(剥離)性の顕著な泥岩をけつ岩(頁岩)と呼ばれる。	fissility	
c-227	もろい	もろい	十分に固結していない岩石に対して、分離しやすさ、砕けやすさを表現する用語。	brittle	
c-228	未固結	みこけつ	もろく、軟弱で、容易に分離する性質で、岩石・地層の低い固結度を表現する用語。	unsolidification	
c-229	固結	こけつ	岩石が容易に分離しない状態。軟弱なたい積物が埋没等に伴う続成作用によって、粒子の再配列、間げき(間隙)水の排出等により体積を減少させ、弾性が増した状態。	solidification	
c-230	バイオハーム	ばいおはーむ	主に生物が形成に関与したマウンド状、ドーム状、レンズ状、リーフ状の岩塊。ふつう炭酸塩岩からなり、固着性生物が形成に関与していることが多い。層状の形態のものはバイオストローム(biostrome)と呼ぶ。	bioherm	
c-231	塩湖	えんこ	塩量が500mg/lを超える塩水の湖。	salt lake	
c-232	セメント優勢	せめんとゆうせい	粒子間げき(間隙)にセメントおよび基質が混在するたい積(堆積)岩において、セメントが卓越している状態。	cement- dominance	
c-233	基質優勢	きしつゆうせい	粒子間げき(間隙)にセメントおよび基質が混在するたい積(堆積)岩において、基質が卓越している状態。	matrix- dominance	
c-234	けい藻 (珪藻)	けいそう	けい質(珪質)殻が二枚組み合わさって一個体となっている単細胞藻類で、褐色植物に分類される。海水から汽水・淡水域に生息する。化石は白亜紀以降に知られ、新生代の重要な示準化石である。	diatom	
c-235	放散虫	ほうさんちゅう	肉質綱軸足虫亜綱の一目。海産浮遊性原生動物である。原形質からなる軟体部と骨格および殻からなる原生動物で、主に海域に浮遊し生息する。化石は古生代前期から知られ、顕生代を通じて、重要な示準化石となっている。	radiolaria	
c-236	けい質海綿 (珪質海綿)	けいしつかいめん	多細胞の無せきつい動物で、単体もしくは群体を形成する海綿のうち、けい質(珪質)の骨針をもつもの。	siliceous porifera	
c-237	イントラクラスト	いんとらくらすと	同一たい積(堆積)盆内で堆積とほぼ同時期に侵食されることによって形成・再堆積した炭酸塩岩片。盆内成炭酸塩砕せつ(砕屑)物。	intraclast	
c-238	ウーライト (類)ウーイド	うーらいと	主にウーイド(魚卵石)からなる石灰岩。ウーイド粒子そのものを指す場合もある。ウーイドはさまざまな粒子を核として同心球状あるいは放射状の構造を持つ炭酸塩被膜が発達した被覆粒子の一つ。ふつう径2mm以下のものについて用いられ、それより径の大きいものはピソイド(pisoid)と呼ばれる。	oolite	
c-239	バイオクラスト 生物骨格粒子 生砕物	ばいおくらすと	生物遺がい(遺骸)片。多くの場合、炭酸塩骨格を持つ生物の遺骸片を指す。生砕物ともいう。	bioclast skeletal grain	
c-240	ペレット	べれっと	ミクライト質物質(微小質方解石)からなる噴石状の形状を示す無構造の微粒子。粗粒シルトから細粒砂の粒径を持ち、サイズや形がそろっている。無せき椎(脊椎)動物の排泄物が起源とされる。	pellet	
c-241	石灰泥 ミクライト	せっかいでい	炭酸カルシウムからなる泥サイズのたい積(堆積)物。ミクライトとほぼ同義だが、ミクライトは同様の微細粒子からなる岩石を指す場合もある。	lime mud	
c-242	結合	けつごう	たい積岩の粒子や基質が互いに結合している状態。化学結合、すなわち分子や結晶中で原子の間を結び付けている状態で、共有結合、イオン結合などがある。	connection	
c-243	未結合	みけつごう	たい積岩の粒子や基質が結合していない状態。未固結のたい積岩は、特にたい積物と呼ばれる。	disconnection	
c-244	藻	も	藻(類)は、主に地上に生息するコケ植物、シダ植物、種子植物を除いた、光合成を行なうという共通点を持つ多様な分類群の総称で、真正細菌であるシアノバクテリア(らん藻(藍藻))から、真核生物で単細胞生物であるもの(けい藻(珪藻)、黄緑藻、渦べん毛藻(渦鞭毛藻)など)及び多くの分類群を含む。	algae	
c-245	花粉	かふん	花粉 孢子参照	pollen	
c-246	孢子	ほうし	花粉 孢子参照	spore	

c-247	泥支持	どろしじ	比較的粒度の大きな粒子(特に2mm以上のれき)を埋めている(充てん(充填)している)構成物(基質)が泥主体で、多くの粒子が接して支え合っていない状態。れきでは80%以上れきからなるものをれき(岩)支持、それ以下のものを基質支持れき(岩)とも呼ぶ(Folk, 1954)。	mud-supported	
c-248	粒子支持	りゅうしじ	比較的粒度の大きな粒子(特に2mm以上のれき)を埋めている(充てん(充填)している)構成物(基質)が少なく、粒子が互いに支え合っている状態。	grain-supported	
c-249	石炭化度	せきたんかど	石炭や石油の根源有機物が埋没過程で受けた熱エネルギーの程度を示す概念的な指標。熟成度とも呼ばれる。実用上の指標として、ビトリナイト反射率(Ro)、石炭の発熱量などがあるが、起源物質の差異による影響を受けるため絶対的の石炭化度の指標とはならない。	degree of coalification	
c-250	ペロイド ペレット	ペロいど	内部構造を欠く泥質の微粒子。特に炭酸塩岩において、石灰泥質の円～だ円(楕円)形の微粒子について用いられることが多い。ペレット(pellet)と同義として使われることもあるが、ペレットは限定的にふん粒子(糞粒子)(fecal pellet)を指すことが多いため、起源が不明あるいは糞粒子以外の起源が考えられる場合はペロイドと呼ぶ。	peloid	
c-251	泥質 泥混じり	でいしつ	砂以外の砕せつ(砕屑)粒子の集合体が泥を多数含んでいること。	muddy	
c-252	泥混じり	どろまじり	れきまたは砂より小さな砕せつ(砕屑)粒子からなる集合体に泥が混入している状態。	muddy	
c-253	砂質 砂混じり	さしつ	砂以外の砕せつ(砕屑)粒子の集合体が砂を多数含んでいること。	sandy	
c-254	砂混じり	すなまじり	れきまたは砂より小さな砕せつ(砕屑)粒子からなる集合体に砂が混入している状態。	sandy	
c-255	れき質 (礫質) れき混じり 含れき	れきしつ	砂またはそれより小さい砕せつ(砕屑)粒子の集合体が径2mm以上の角張っていない岩片を多数含んでいること。	gravelly pebbly	
c-256	れき混じり (礫混じり)	れきまじり	径2mm以上の角張っていない岩片が径2mmを超えない砕せつ(砕屑)粒子の集合体に混入している状態。	gravelly pebbly	
c-257	含れき (含礫)	がんれき	径2mm以上の角張っていない岩片を含んでいること。	gravelly pebbly	
c-258	石灰質	せっかいしつ	カルシウム炭酸塩を含んでいること。	calcareous	
c-259	ドロマイト質	どろまいとしつ	ドロマイトを(ふつうは5-50%)含んでいること	dolomitic	
c-260	腐植質 腐植混じり	ふしょくしつ	土壌にあって暗色高分子不定形有機物に富むこと	humic	
c-261	腐植混じり	ふしょくまじり	土壌にあって暗色高分子不定形有機物を混じえている状態。	humic	
c-262	有機質 炭素質	ゆうきしつ	有機物に富むこと	carbonaceous	
c-263	炭素質	たんそしつ	炭素に富むこと。	carbonaceous	
c-264	凝灰質	ぎょうかいしつ	噴火に直接由来しないたい積(堆積)物が火山灰粒子を(ふつうは25%以上)混じえている状態。	tuffaceous	
d-1	山間・山ろくたい積物 (山間・山麓堆積物)	さんかん・さんろくたいせきぶつ	山間部や山ろく(山麓)部のたい積(堆積)物の総称。崖すい(崖錐)、山麓緩斜面、沖積すい(沖積錐)、扇状地などの個別の名称を用いるのが望ましい。		110000000
d-2	がいすいたたい積物 (崖錐堆積物)	がいすいたたいせきぶつ	がけ(崖)や急斜面の基部に崩落した岩せつ(岩屑)	talus	111000000
d-3	山ろく緩斜面たい積物 (山麓緩斜面堆積物)	さんろくかんしゃめんたいせきぶつ	山ろく(山麓)に形成された扇状地が複合した緩斜面を構成するたい積物	piedmont sediment	112000000
d-4	沖積すいたたい積物 (沖積錐堆積物)	ちゅうせきすいたたいせきぶつ	扇状地よりも急傾斜の扇状の地形からなる岩せつ(岩屑)のたい積物	alluvial cone deposit	113000000
d-5	沖積平野たい積物 (沖積平野堆積物) 河成平野たい積物	ちゅうせきへいやたいせきぶつ	河川や沿岸域の作用によって形成された平野を構成するたい積物。河成平野と三角州平野などを総称した名称。	alluvial plain deposit	120000000
d-6	扇状地たい積物 (扇状地堆積物)	せんじょうちたいせきぶつ	谷の出口の山ろく(山麓)に形成された扇状の地形である扇状地を構成するたい積物	alluvial fan deposit	121000000
d-7	河床たい積物 (水路と河道内の砂州) (河床堆積物(水路と河道内の砂))	かしょうたいせきぶつ(すいりとかどうないのさす)	河川の河床を構成するたい積物。蛇行河川では、突州の移動に伴って水路が充てん(充填)されることから上方細粒化、上方薄層化のサクセションを示す。網状河川では、網状砂州の移動に伴い水路が充填され河床たい積(堆積)物が形成される。	in-channel deposit, river bed deposit	121100000

	州))				
d-8	水路充てんたい積物 〔水路充填堆積物〕	すいろじゅうてんたいせきぶつ	放棄された河道や川の運搬能力が減衰したために河道を充てんしたたい積物	channel fill	121200000
d-9	砂州れき州たい積物 〔砂州礫州堆積物〕	さすれきすたいせきぶつ	河床や水路に形成された突州や中州を構成する砂やれき(礫)からなるたい積物。砂州たい積物、れき州たい積物。	channel bar deposit	121300000
d-10	はん濫原たい積物 〔氾濫原堆積物〕	はんらんげんたいせきぶつ	洪水時に河道の周りにあふれた河水に浸水する地域であるはん濫原のたい積物。河道に近い自然堤防から背後の湿地や低平野地域(狭義のはん濫原)に向かって細粒になることが多い。オーバーバンクたい積(堆積)物。	overbank deposit, flood-plain deposit	121400000
d-11	はん濫原(自然堤防) 〔氾濫原(自然堤防)〕	はんらんげん(しぜんていぼう)	洪水時に河道からあふれ出た浮遊たい積(堆積)物が形成した河道に沿う微高地の自然堤防を構成するたい積物。細粒砂から極細粒砂や泥との互層からなることが多い。砂層は逆級化を示すことが多い。	natural levee deposit	121500000
d-12	はん濫原(後背湿地) 〔氾濫原(後背湿地)〕	はんらんげん(こうはいしつち)	洪水時に河道からあふれた河水に浸水する低平野地域(狭義のはん濫原)とそこに発達する湿地。	flood-plain deposit, back marsh	121600000
d-13	クレバースプレーたい積物 〔クレバースプレー堆積物〕	くればすすぷれたいせきぶつ	三角州において、自然堤防が決壊して、河道からあふれた土砂によって形成された小規模の三角州状の地形とたい積物。河成平野の自然堤防が決壊して形成された場合は、はん濫原スプレー(flood-plain splay)という。	crevasse splay deposit	121700000
d-14	放棄河道たい積物 〔放棄河道堆積物〕	ほうきかどうたいせきぶつ	放棄された河道を充てんするたい積物。	abandoned channel deposit	121800000
d-15	放棄自然堤防たい積物 〔放棄自然堤防堆積物〕	ほうきしぜんていぼうたいせきぶつ	放棄された河道に沿う自然堤防のたい積物	abandoned natural levee deposit	121900000
d-16	谷底平野たい積物 〔谷底平野堆積物〕	たにぞこへいやたいせきぶつ	狭長な谷間の低平地を構成するたい積物	valley-bottom alluvial plain deposit	122000000
d-17	山間盆地たい積物(扇状地, 谷底平野複合) 〔山間盆地堆積物(扇状地, 谷底平野複合)〕	さんかんぼんちたいせきぶつ(せんじょうち/たにぞこへいやふくごう)	山間の小規模な盆地で個々の扇状地や谷底平野の識別が難しく複合している盆地を埋積するたい積物。	basin fill, alluvial plain deposit	123000000
d-18	網状河川たい積物 〔網状河川堆積物〕	もうじょうかせんたいせきぶつ	砂やれき(礫)からなる中州と流路が網目状に発達した河川のたい積物。細粒なたい積(堆積)物が少なく、上方への級化も蛇行河川と比べると不明りょうである。	braided river deposit	124000000
d-19	蛇行河川たい積物 〔蛇行河川堆積物〕	だこうかせんたいせきぶつ	S字状に屈曲した河道をもつ河川のたい積物。河道の河床たい積物とはん濫原(オーバーバンク)のたい積物に大別される。河床のたい積(堆積)物からはん濫(氾濫)原の堆積物のサクセッションからなり、上方細粒化、上方薄層化を示す。	meandering river deposit	125000000
d-20	河川性たい積物 〔河川性堆積物〕	かせんせいいたいせきぶつ	河川的作用によって陸域にたい積したたい積物。河成たい積物ともいう。	fluvial deposit	126000000
d-21	砂丘たい積物 〔砂丘堆積物〕	さきゅうたいせきぶつ	風によって運搬された砂がつくった高まりの砂丘を構成するたい積物	dune, sand dune	127000000
d-22	河畔砂丘たい積物 〔河畔砂丘堆積物〕	かはんさきゅうたいせきぶつ	河床の砂が風によって河畔の自然堤防上やはん濫原に運ばれて形成された砂丘のたい積物	riverbank dune, riparian wind dune	127100000
d-23	湖岸砂丘たい積物 〔湖岸砂丘堆積物〕	こがんさきゅうたいせきぶつ	湖岸に風によって運搬された砂がつくった高まりの砂丘を構成するたい積物	lake dune	127200000
d-24	山間盆地砂丘たい積物 〔山間盆地砂丘堆積物〕	さんかんぼんちさきゅうたいせきぶつ	内陸盆地に形成される砂丘。大陸内部の乾燥地帯に形成される砂丘は、内陸砂丘(inland dune)		127300000
d-25	湖沼たい積物 〔湖沼堆積物〕	こしょうたいせきぶつ	湖や沼沢地にたい積したたい積物。細粒なたい積(堆積)物からなることが多く、年層の堆積物が見られることもある。	lacustrine deposit	128000000
d-26	湖沼沿岸平野たい積物 〔湖沼沿岸平野堆積物〕	こしょうえんがんへいやたいせきぶつ	湖沼の沿岸平野を構成するたい積物。流入する河川がつくる三角州平野、浜堤が発達する浜堤平野、バリアーや湿地のたい積(堆積)物などからなる。	lacustrine plain deposit, lake plain deposit	128100000

d-27	湖沼盆地たい積物 〔湖沼盆地堆積物〕	こしょうぼんていたいせきぶつ	湖沼の中心部の深みにたい積(堆積)した堆積物。細粒な堆積物からなることが多い。	lake basin deposit, lacustrine basin deposit	128200000
d-28	湖沼三角州たい積物 〔湖沼三角州堆積物〕	こしょうさんかくすたいせきぶつ	湖沼に流入する河川が形成した三角州のたい積(堆積)物。三角州平野と水底の堆積物からなる。	lacustrine delta deposit	128300000
d-29	湖底扇状地たい積物 〔湖底扇状地堆積物〕	こていせんじょうちたいせきぶつ	扇状地面を構成する頂置層, 湖沼の水底の湖盆側に傾斜する前置層, 湖盆底の底置層から構成されることが多い。	lacustrine fan delta deposit	128400000
d-30	湿原・湿地たい積物 〔湿原・湿地堆積物〕	しつげん・しつちたいせきぶつ	湿原や湿地のたい積(堆積)物, 有機物の多い細粒な堆積物や泥炭などからなる。	marsh sediment	129000000
d-31	海岸平野たい積物(または沿岸たい積物) 〔海岸平野堆積物(または沿岸堆積物)〕	かいがんへいやたいせきぶつ(またはえんがんたいせきぶつ)	海岸平野(沿岸平野)を構成するたい積(堆積)物。浜堤平野が発達する平野では, 浜堤や堤間湿地の堆積物, 流入する河川の堆積物などから構成される。平野を構成する堆積物は, 下位から沖合, 外浜, 前浜, 後浜, 砂丘の堆積物が重なり, 上方粗粒化を示すことが多い。	coastal plain deposit	130000000
d-32	三角州平野たい積物 〔三角州平野堆積物〕	さんかくすへいやたいせきぶつ	河川が水域に流入する時に, 運搬する土砂がたい積(堆積)して形成された平野を構成する堆積物。自然堤防, クレバスプレー, 後背湿地, 流路などの堆積物から構成される。	delta plain deposit	131000000
d-33	自然堤防たい積物 〔自然堤防堆積物〕	しぜんていぼうたいせきぶつ	河川の流路に沿って, 河川のはん濫(氾濫)時に流路からあふれ出た土砂がたい積(堆積)して形成する微高地を構成する堆積物。砂と泥の互層からなることが多い。	natural levee deposit	131200000
d-34	自然堤防間, 浜堤間の低地・湿地たい積物 〔自然堤防間, 浜堤間の低地・湿地堆積物〕	しぜんていぼうかん/ひんていかなのていち・しつちたいせきぶつ	三角州平野において, 複数の流路が見られる時に, 流路と流路の間の自凹地を構成するたい積(堆積)物。または浜堤平野における浜堤列間の凹地を構成する堆積物。有機物に富んだ細粒な堆積物からなることが多い。	inter-beach ridge deposit. Marsh	131300000
d-35	干潟たい積物 〔干潟堆積物〕	ひがたたいせきぶつ	潮間帯に発達する低平な干潟のたい積(堆積)物。砂が卓越する砂質干潟, 泥が卓越する泥質干潟の堆積物などからなり, 一般に上方細粒化を示すことが多い。	tidal flat deposit	131500000
d-36	塩水湿地たい積物 〔塩水湿地堆積物〕	えんすいしつちたいせきぶつ	潮間帯に発達する湿地のたい積(堆積)物。有機物に富む細粒な堆積物や草本などの泥炭などからなる。	salt marsh sediment	131600000
d-37	マングローブたい積物 〔マングローブ堆積物〕	まんぐるーぶたいせきぶつ	熱帯から亜熱帯の潮間帯に発達するマングローブのたい積(堆積)物。有機物に富む細粒な堆積物やマングローブ泥炭からなる。	mangrove sediment	131700000
d-38	浜堤たい積物 〔浜堤堆積物〕	ひんていたいせきぶつ	海浜の陸側にはほぼ海岸線に沿って形成された高まりで, ちょう段(汀段), 後浜, 砂丘などのたい積(堆積)物から構成される	beach ridge deposit	131800000
d-39	前浜たい積物 〔前浜堆積物〕	ぜんひんたいせきぶつ	低潮時の波が引いたところから高潮時の波のそ上する限界までの海側に緩く傾斜した海浜を構成するたい積(堆積)物。砂やれきからなり, 海側に緩く傾斜する平行層理からなるくさび状の構造を示すことが多い。	foreshore deposit	131900000
d-40	水底三角州たい積物 〔水中三角州堆積物〕	すいちゅうさんかくすたいせきぶつ	三角州において水面下の部分のたい積(堆積)物の総称。河口州, 水中水路, 前置層, 底置層, 水面下の頂置層などの堆積物からなる。	subaqueous delta sediment	132000000
d-41	河口州たい積物 〔河口州堆積物〕	かこうすたいせきぶつ	河から運ばれた土砂が, 海や湖に流入した時に流速の減少に伴って河口部にたい積(堆積)することによって形成された高まりの河口州を構成する堆積物。砂質やれき質(礫質)であることが多い。	river-mouth bar deposit	132100000
d-42	潮下帯干潟たい積物 〔潮下帯干潟堆積物〕	ちようかたいひがたたいせきぶつ	三角州の頂置層において, 潮間帯の干潟から連続する潮下帯の平たん(平坦)な面を構成するたい積(堆積)物。潮間帯の干潟堆積物よりも波浪や潮せき(潮汐)の影響を受けて粗粒であることが多い。	subtidal flat deposit	132300000
d-43	前置斜面たい積物 〔前置斜面堆積物〕	ぜんちしゃめんたいせきぶつ	三角州の頂置面の海側に分布する比較的傾斜が急な地形の前置斜面を構成するたい積(堆積)物。上方粗粒化を示すことが多い。	foreset slope deposit	132400000
d-44	底置面たい積物 〔底置面堆積物〕	ていちめんたいせきぶつ	三角州の前置面の海側に分布する比較的平たん(平坦)な地形を構成するたい積(堆積)物。泥などの細粒な堆積物から構成されることが多い。	bottomset deposit	132500000
d-45	デルタフロントたい積物 〔デルタフロント堆積物〕	でるたふるんとたいせきぶつ	三角州前面で活発にたい積(堆積)作用が認められるデルタフロントを構成する堆積物, 比較的粗粒な堆積物からなる。前置斜面堆積物とは必ずしも一致しない。三角州前面堆積物。	delta front deposit	132600000

d-46	プロデルタたい積物 (プロデルタ堆積物)	ぷろでるたたいせきぶつ	三角州前面のデルタフロントの沖合の、比較的静穏な環境のたい積(堆積)物。泥などの細粒な堆積物からなることが多い。三角州前縁堆積物。	prodelta deposit	132700000
d-47	外浜たい積物 (外浜堆積物)	がいひんたいせきぶつ	波浪が卓越する沿岸域で海岸線と沖合の平たん(平坦)面の間のこう配(勾配)が急な外浜を構成するたい積(堆積)物。上部と下部に分けられ、上部は沿岸州やトラフの移動により形成される比較的粗粒な堆積物、下部は暴浪時に形成されるハンモック状斜交層理の砂からなることが多い。	shoreface deposit	132800000
d-48	扇状地三角州たい積物 (扇状地三角州堆積物)	せんじょうちさんかくすたいせきぶつ	扇状地の末端が海や湖沼に達し、海岸線が前進する扇状地三角州を構成するたい積(堆積)物。砂やれきの粗粒な堆積物からなることが多く、頂置層、前置層、底置層が明りょうなことも多い。	fan delta deposit	133000000
d-49	河床たい積物 (陸成層) (河床堆積物(陸成層))	かしょうたいせきぶつ(りくせいそう)	河川の河床を構成する砂やれきなどからなるたい積(堆積)物。蛇行河川では上方薄層化や上方細粒化が見られるが、網状河川では顕著でないことが多い。	river bed deposit, channel deposit	133100000
d-50	河床間低地たい積物(陸成層) (河床間低地堆積物(陸成層))	かしょうかんていちたいせきぶつ(りくせいそう)			133200000
d-51	浜堤平野たい積物 (浜堤平野堆積物) 浜堤外浜堆積物	ひんていへいやたいせきぶつ	浜堤列の発達する浜堤平野(浜堤列平野、海浜平野)を構成するたい積(堆積)物。浜堤堆積物と堤間湿地の堆積物、平野上を流れる河川の堆積物などから構成される。	strand plain sediment	134000000
d-52	前浜・後浜たい積物 (前浜・後浜堆積物)	ぜんひん・こうひんたいせきぶつ	砂浜やれき浜において波がそ上する海側に緩く傾斜する前浜とその陸側で緩く陸側に傾斜する後浜を構成するたい積(堆積)物。前浜は平行葉理の発達した層相が特徴で、後浜では小規模のリップル葉理や植物根がみられる。	foreshore & backshore deposit	134100000
d-53	浜堤・砂丘たい積物 (浜堤・砂丘堆積物)	ひんてい・さきゅうたいせきぶつ	海浜背後の高まりである浜堤や砂丘のたい積(堆積)物。前浜や後浜の堆積物が風で運ばれて砂丘の堆積物となることが多く、細粒な洶た(洶汰)の良い砂からなることが多い。砂丘堆積物では、斜交層理が見られたり、古土壌の堆積物を含むことも多い。	beach ridge & coastal dune deposit	134200000
d-54	堤間湿地たい積物 (堤間湿地堆積物)	ていかんしつちたいせきぶつ	浜堤と浜堤の間の凹地の湿地のたい積(堆積)物。有機物の含有の多い細粒な堆積物や泥炭などから構成される。	inter-beach ridge marsh	134300000
d-55	上部外浜たい積物 (上部外浜堆積物)	じょうぶがいひんたいせきぶつ	波浪卓越型の沿岸環境で沿岸州やトラフで特徴づけられる上部外浜のたい積(堆積)物。比較的粗粒な砂れき質(礫質)で、板状やトラフ状の斜交層理の累重からなることが多い。	upper shoreface deposit	134500000
d-56	下部外浜たい積物 (下部外浜堆積物)	かぶがいひんたいせきぶつ	波浪卓越型の沿岸環境で、上部外浜の沖合の比較的傾斜が急な地形を示す外浜のたい積(堆積)物。ハンモック状斜交層理や平行層理を示す細粒砂から極細粒砂からなることが多い。	lower shoreface deposit	134600000
d-57	河成たい積物 (河成堆積物)	かせいたいせきぶつ	河川的作用によるたい積(堆積)物。河床堆積物、オーバーバンク堆積物などから構成される。	fluvial deposit	134700000
d-58	沖浜たい積物 (沖浜堆積物)	おきはまたいせきぶつ	外浜よりも沖合の沿岸域のたい積(堆積)物。細粒な堆積物をさすことが多い。陸棚地形がある時は、陸棚堆積物を用いるが、沖合の情報が不確かな時や、詳細が不要な時に、沖合堆積物と総称されることが多い。	offshore deposit	134800000
d-59	潟湖たい積物 (潟湖堆積物)	かたこたいせきぶつ	海岸線に沿って発達する汽水性の湖沼にたい積(堆積)した細粒な堆積物。	lagoon deposit	134900000
d-60	砂し、せん角岬たい積物 (砂嘴、尖角岬堆積物)	さし・せんかくみさきたいせきぶつ	海側に細長く突き出た地形で先端部が少しかぎ状に内側に湾曲した砂しやトンボロや大規模にカスプ状に突き出たせん角岬のたい積(堆積)物。高潮時にも離水した地形をいい、浜堤、前浜、上部外浜などの堆積物から構成される。	spits & cusplate land	135000000
d-61	バリアー・エスチュアリー・潟湖たい積物 (バリアー・エスチュアリー・潟湖堆積物)	ばりあー・えすちゅありー・かたこたいせきぶつ	高潮時に離水し、潟湖(ラグーン)と外海とを境し、海岸線と平行な高まりのバリアー、その背後の潟湖、海岸線と直交する方向に発達するおぼ(溺)れ谷であるエスチュアリーとその湾口部の高まりを構成するたい積(堆積)物。	barrier, estuary, lagoon	136000000
d-62	砂し・砂州たい積物 (砂嘴・砂州堆積物)	さし・さすたいせきぶつ	高潮時に離水し、潟湖と外海とを境し、海岸線と平行な高まりのバリアーやその先端部の砂しを構成するたい積(堆積)物。浜堤、前浜、上部外浜や潮流口などの堆積物の複合からなることが多く、バリアー複合体とも呼ばれる。	spits, barrier bar	136100000
d-63	潮せき三角州たい積物 (潮汐三角州堆積物)	ちようせきさんかくすたいせきぶつ	外海とラグーンや内海を境する潮流口や海峡部において、上げ潮と下げ潮の潮せき(潮汐)によって境界部周辺に形成された高まりを構成するたい積(堆積)物。外海側に下げ潮潮汐三角州、ラグーンや内海側に上げ潮潮汐三角州が形成される。	tidal delta	136200000

d-64	潮流口たい積物 (潮流口堆積物)	ちょうりゅうこうたいせきぶつ	外海とラグーンの海水交換が行われる潮流口のたい積(堆積)物。潮流口の側方移動によって、潮流口は埋積され、バリアーや砂し地形にかわってゆくことから、基底部の砂れき質(礫質)の堆積物から上方細粒化することが多い。	tidal inlet deposit	136300000
d-65	潮せき水路たい積物 (潮汐水路堆積物)	ちょうせきすいろうたいせきぶつ	潮せき(潮汐)三角州や潮汐干潟においてみられる潮汐水路、みお(漕)のたい積(堆積)物。水路の側方移動によって、水路が充てん(充填)されることから、水路基底部の粗粒な堆積物から上方に細粒化することが多い。	tidal channel, tidal creek	136400000
d-66	ウオッシュオーバー扇状地たい積物 (ウオッシュオーバー扇状地堆積物)	うおっしゅおーばーせんじょうちたいせきぶつ	バリアーにおいて、暴浪や台風時に、高潮によって、前浜や後浜のたい積(堆積)物が侵食され、背後の潟湖側にそれらが運ばれて形成される扇状地状の地形と堆積物。陸側に傾斜する板状の斜交層理を示すことが多い。	washover fan deposit	136500000
d-67	チェニアー平野・沿岸干潟たい積物 (チェニアー平野・沿岸干潟堆積物)	ちえにあーへいや・えんがんひがたいせきぶつ	泥質な干潟が発達する海岸平野を構成するたい積(堆積)物。細粒砂から極細粒砂の薄層を挟在する砂泥互層を示し、上方細粒化と上方薄層化を示すことが多い。海岸線の停滞や侵食時に形成される砂質な堆積物がチェニアーと呼ばれる高まりをつくることもある。	chennier plain, tidal flat plain	137000000
d-68	潮下帯たい積物 (潮下帯堆積物)	ちょうかたいたいせきぶつ	潮せき(潮汐)の影響を受けた海のたい積(堆積)物で、低潮位よりも低い潮下帯に堆積した堆積物の総称。	subtidal deposit	137500000
d-69	内湾たい積物 (内湾堆積物)	ないわんたいせきぶつ	湾入部の比較的静穏な環境でたい積(堆積)した海成堆積物。内湾の沿岸部の砂質な堆積物と内湾底の泥質な堆積物からなることが多い。	bay deposit	137600000
d-70	河床たい積物 (河床堆積物)	かしょうたいせきぶつ	河川の河床を構成する主に砂れき(礫)からなるたい積物。蛇行河川では、河川の側方移動によって河床が埋積されてゆくことから上方細粒化、上方薄層化の累重を示す。網状河川では網状砂州の移動によることから、明りょうな細粒化を示さない。	channel deposit, river bed deposit	137800000
d-71	サンゴ礁たい積物 (珊瑚礁堆積物)	さんごしょうたいせきぶつ	造礁サンゴや石灰藻類などにより造られた礁のたい積(堆積)物	coral reef	138000000
d-72	礁れいたい積物 (礁嶺堆積物) 礁原たい積物	しょうれいたいせきぶつ	造礁サンゴや石灰藻類などが造った礁の高まりである礁れいを構成するたい積(堆積)物。礁源の最も高いところを礁れいという。	reef crest	138100000
d-73	礁池たい積物 (礁池堆積物)	しょうちたいせきぶつ	礁れいの陸側の静穏な水域である礁池のたい積(堆積)物。サンゴ礁の砕せつ(碎屑)物や、有孔虫殻、陸からの土砂などからなる。	moat	138200000
d-74	礁斜面たい積物 (礁斜面堆積物)	しょうしゃめんたいせきぶつ	礁れいの海側の斜面である礁斜面のたい積(堆積)物。造礁サンゴや石灰藻類、またそれらの砕せつ(碎屑)物などからなる。	reef slope	138300000
d-75	生物礁たい積物(サンゴ礁たい積物を除く) (生物礁堆積物(サンゴ礁堆積物を除く))	せいぶつしょうたいせきぶつ(さんごしょうたいせきぶつをのぞく)	一般に海域で生物が固着性で、単独または集団で高まりを形成しているたい積(堆積)物。カキ礁が典型。	organic reef	139000000
d-76	石灰藻たい積物 (石灰藻堆積物)	せっかいそうたいせきぶつ	石灰質の硬組織をもつ藻類の遺がい(遺骸)からなるたい積(堆積)物	calcareous algae	139100000
d-77	カキ礁たい積物 (カキ礁堆積物)	かきしょうたいせきぶつ	カキによる生物礁。	oyster reef	139200000
d-78	ビーチロックたい積物 (ビーチロック堆積物)	びーちろくくたいせきぶつ	熱帯から亜熱帯において潮間帯の砂やれきからなる前浜たい積(堆積)物が、炭酸塩のセメントによって固結した堆積物。生物遺がい(遺骸)や炭酸塩砕せつ(碎屑)物からなることが多い。グレインストーンの種類。	beachrock	139300000
d-79	浅海たい積物 (浅海堆積物)	せんかいたいせきぶつ	潮間帯から陸棚の浅海のたい積(堆積)物の総称。	shallow marine deposit	140000000
d-80	内湾底たい積物 (内湾底堆積物)	ないわんていたいせきぶつ	湾入部の比較的静穏な環境でたい積(堆積)した細粒な海成堆積物。	bay deposit	141100000
d-81	湾口・海峡部たい積物 (湾口・海峡部堆積物)	わんこう・かいぎょうぶたいせきぶつ	外海と内湾の境界部の湾口や浅海域の狭さく部の海峡におけるたい積(堆積)物。潮流などの影響で流速が大きく、粗粒な堆積物からなることが多く、湾口や海峡部から離れるほど細粒になる。	baymouth, strait deposit	141200000
d-82	外浜・陸棚たい積物 (外浜・陸棚堆積物)	がいひん・りくだなたいせきぶつ	沿岸域の外浜と大陸棚のたい積(堆積)物。	shoreface, shelf deposit	142000000

d-83	陸棚たい積物 (陸棚堆積物)	りくだなたい せきぶつ	大陸棚に分布するたい積(堆積)物。河川や海岸侵食によって供給された堆積物が現在の海洋環境で堆積しているもの、過去の堆積物が現在の環境で再移動しているもの、過去に堆積したものがそのまま取り残されたもの等に分けられる。	shelf deposit	142200000
d-84	内側陸棚たい積物 (内側陸棚堆積物)	うちがわりくだ なたいせきぶつ	外浜より沖合の大陸棚を陸側から内側、中部、外側に分けた時に、内側に分布するたい積(堆積)物。	inner-shelf deposit	142300000
d-85	中部陸棚たい積物 (中部陸棚堆積物)	ないぶりくだ なたいせきぶつ	外浜より沖合の大陸棚を陸側から内側、中部、外側に分けた時に、中部に分布するたい積(堆積)物。	middle-shelf deposit	142400000
d-86	外側陸棚たい積物 (外側陸棚堆積物)	がいぶりくだ なたいせきぶつ	外浜より沖合の大陸棚を陸側から内側、中部、外側に分けた時に、外側に分布するたい積(堆積)物。	outer-shelf deposit	142500000
d-87	沖合たい積物 (沖合堆積物)	おきあいたい せきぶつ	外浜よりも沖合の沿岸域のたい積(堆積)物。細粒な堆積物をさすことが多い。陸棚地形がある時は、陸棚堆積物を用いるが、沖合の情報が不確かな時や、詳細が不要な時に、沖合堆積物と総称されることが多い。	offshore deposit	142600000
d-88	サンドリッジたい積物 (サンドリッジ堆積物)	さんどりっじたい せきぶつ	沿岸域から大陸棚にみられ、規則的に配列した砂れき(礫)から構成される高まりであるサンドリッジのたい積(堆積)物。潮せき(潮汐)や暴浪により形成される。	sand ridge deposit	142700000
d-89	海峡部たい積物 (海峡部堆積物)	かいきょうぶたい せきぶつ	海域の狭さく部である海峡部のたい積(堆積)物。潮流や海流による流れによって、砂れき(礫)などの粗粒な堆積物からなることが多く、デューンなどのベッドフォームを反映して、大規模な斜交層理がよく見られる。	deposit in and around strait	142800000
d-90	深海たい積物 (深海堆積物)	しんかいたい せきぶつ	深海にみられるたい積(堆積)物の総称。遠洋性堆積物とも呼ばれる。	deep sea deposit	150000000
d-91	大陸斜面たい積物 (大陸斜面堆積物)	たいりくしゃめん たいせきぶつ	大陸棚斜面にみられるたい積(堆積)物の総称。	continental slope deposit	151000000
d-92	海底谷充てんたい積物 (海底谷充填堆積物)	かいていこく じゅうてんたい せきぶつ	大陸棚や大陸棚斜面からその基部に発達する海底谷を充てん(充填)するたい積(堆積)物。	submarine canyon fill	151100000
d-93	水路内たい積物 (水路内堆積物)	すいらいたい せきぶつ	深海長谷の長谷底のたい積(堆積)物。比較的粗粒な堆積物や、下刻や側刻、谷壁の崩落に伴う偽れき(礫)などを伴うことが多い。深海長谷底堆積物	deep-sea channel deposit	151200000
d-94	堤防間低地たい積物 (堤防間低地堆積物)	ていぼうかん ていちたい せきぶつ	深海長谷の長谷に沿う高まりである自然堤防のたい積(堆積)物。砂泥互層で、砂はタービダイトからなることが多い。海底自然堤防堆積物。	levee deposit	151400000
d-95	海盆底たい積物 (海盆底堆積物)	かいぼんてい たいせきぶつ	大陸棚を超えて、大陸斜面やその基部の周辺に分布するたい積(堆積)物の総称。	basin-floor deposit	151500000
d-96	半遠洋性たい積物 (半遠洋性堆積物)	はんえんよう せいたい せきぶつ	大陸斜面からその基部の大洋底のたい積(堆積)物で、陸源堆積物と深海堆積物の中間的な堆積物の総称。	hemipelagic deposit	151600000
d-97	海底谷たい積物 (海底谷堆積物)	かいていこく たいせきぶつ	大陸棚や大陸棚斜面からその基部に発達する海底谷を充てん(充填)するたい積(堆積)物のうち、海底谷の生成に関係した堆積物。	submarine canyon deposit	152000000
d-98	深海長谷たい積物 (深海長谷堆積物)	しんかいちよう こくたい せきぶつ	深海長谷の長谷底と自然堤防のたい積(堆積)物を合わせて、一つのシステムとしてとらえた総称。	deep-sea channel and levee deposit	153000000
d-99	深海扇状地たい積物 (深海扇状地堆積物)	しんかいせん じょうちたい せきぶつ	海底谷の末端や大陸棚斜面の基部から深海に見られる扇状地である深海扇状地のたい積(堆積)物の総称。	deep-sea fan deposit, submarine fan	154000000
d-100	斜面扇状地たい積物 (斜面扇状地堆積物)	しゃめんせん じょうちたい せきぶつ	シーケンス層序学において、大陸棚斜面基部を中心に発達し、水路・自然堤防・オーバーバンクのたい積(堆積)物から構成される。海盆底扇状地堆積物を覆って発達するとされる。	slope fan deposit	155000000
d-101	海盆底扇状地たい積物 (海盆底扇状地堆積物)	かいぼんてい せんじょうち たいせきぶつ	シーケンス層序学において、大陸棚斜面を下刻し、海底谷が発達する時に、その末端部に形成される深海扇状地のたい積(堆積)物。	basin-floor fan sediment	156000000
d-102	砂漠・ステップたい積物 (砂漠・ステップ堆積物)	さばく・すてっ ぷたい せきぶつ	降水量が少なく乾燥し、植生の生育が困難な砂漠や、半乾燥のステップでみられるたい積(堆積)物。砂砂漠では、様々な規模や形態の砂丘が発達する。	desert, steppe	160000000

d-103	内陸サブカ積物	ないりくさぶかせきぶつ	内陸の乾燥地帯において、蒸発により塩類が表層に沈殿しているような平坦(平坦)な地域のたい積(堆積)物、蒸発岩のひとつ。	interior sabkha	161000000
d-104	ワジたい積物 (ワジ堆積物)	わじたいせきぶつ	雨季または豪雨の時にだけ形成される河川たい積(堆積)物。	wadi	162000000
d-105	砂床たい積物 (砂床堆積物)	さしょうたいせきぶつ	ベッドロードたい積(堆積)物、掃流堆積物。流れの底面やその直上に沿って移動する堆積物	bed load sediment	164000000
d-106	漂砂たい積物 (漂砂堆積物)	ひょうさいせきぶつ	浮遊たい積(堆積)物。浮遊によって運搬される堆積物	suspension sediment	165000000
d-107	レス	れす	広く均質に覆う風成の細粒たい積(堆積)物。粘土や細粒砂を含むが、主にシルトからなる。黄土。	loess	166000000
d-108	氷河たい積物 (氷河堆積物)	ひょうがたいせきぶつ	氷河の表面、内部、底面で運搬され、陸域や海域にたい積(堆積)した堆積物の総称。ティル、融氷河堆積物、氷山(iceberg)による堆積物などからなる。狭義には、氷河が運搬、堆積したティルを意味する。	glacial deposit, glacial drift deposit	170000000
d-109	ティル	ている	氷河の表面、内部、底面で直接運搬され、たい積(堆積)した堆積物。氷河が融けた融氷河堆積物とは区別される。ティライト Tillite。	till	171000000
d-110	融氷河堆積物 (融氷河堆積物)	ゆうひょうがたいせきぶつ	氷河の融けた水によって運搬、たい積(堆積)した堆積物。	fluvioglacial deposit, glaciofluvial deposit	172000000
d-111	河川流たい積物 (河川流堆積物)	かせんりゅうたいせきぶつ	河の流れによって運搬、たい積(堆積)した堆積物。	fluvial deposit	100010000
d-112	潮流たい積物 (潮流堆積物)	ちようりゅうたいせきぶつ	潮流によって運搬、たい積(堆積)した堆積物。干潮(低潮)から満潮(高潮)への上げ潮流と、満潮から干潮への下げ潮流、潮せき(潮汐)運動が作る平均的な流れの潮汐残差流などの流れによる。	tidal deposit	100020000
d-113	波浪たい積物 (波浪堆積物)	はろうたいせきぶつ	海や湖沼等で波浪によって運搬、たい積(堆積)した堆積物。ウエーブリップルなどが典型だが、あまり用いられない。	wave deposit	100030000
d-114	暴浪波たい積物 (暴浪波堆積物)	ぼうろうはたいせきぶつ	台風や大きな低気圧による暴浪に起因して、運搬、たい積(堆積)した堆積物。打ち上げられた波・高潮によるワッシュオーバー堆積物、沿岸域から沖合への海底面上の流れによる堆積物、暴浪による海底面のかくはんによる堆積物など。海域での洪水起源の堆積物も広義では含まれる。	storm deposit	100040000
d-115	風成たい積物 (風成堆積物)	ふうせいたいせきぶつ	風により運搬、たい積(堆積)した堆積物。風成砂丘、レスなど。	aeolian deposit	100050000
d-116	重力流たい積物 (重力流堆積物)	じゅうりょくりゅうたいせきぶつ	重力に起因する流れ、重力に起因する密度流(density current)によって運搬されたたい積(堆積)物。特に堆積物の浮遊による懸濁物濃度の上昇による重力に起因する流れを堆積物重力流と呼ぶ。	gravity-induced flow deposit, sediment gravity flow deposit	100060000
d-117	地すべりたい積物 (地すべり堆積物)	じすべりたいせきぶつ	斜面のある部分が継続的または間欠的にすべり下ったたい積(堆積)物。広義には、斜面におけるマスマーブメントの崩壊、流動、ほ行(匍行)の堆積物を意味する。	landslide deposit	100061000
d-118	岩せつなだれたい積物 (岩屑なだれ堆積物)	がんせつなだれたいせきぶつ	水の存在が流れに本質的でなく岩せつ(岩屑)が移動したたい積(堆積)物。岩せつ流(岩屑流)堆積物。	debris avalanche deposits	100062000
d-119	土石流たい積物 (土石流堆積物)	どせきりゅうたいせきぶつ	岩せつ(岩屑)、土砂や土壌等が水と一体となって粒子濃度が高い状態で斜面を下りたい積(堆積)した堆積物。不洩た(洩汰)で逆級化構造を示すことが多い。砂よりも荒い粒子が半分以上をしめる。	debris flow deposit	100063000
d-120	泥流たい積物 (泥流堆積物)	でいりゅうたいせきぶつ	細粒の岩せつ(岩屑)である土砂や土壌等が水と一体となって粒子濃度が高い状態で斜面を下りたい積(堆積)した堆積物。洩た(洩汰)は良くなく、逆級化構造が認められる場合もある。	mud flow deposit	100064000
d-121	岩せつ流たい積物 (岩屑流堆積物)	がんせつりゅうたいせきぶつ	岩せつ(岩屑)なだれたい積(堆積)物に同じ。	debris flow deposits	100065000
d-122	高密度流たい積物 (高密度流堆積物)	こうみつどりゅうたいせきぶつ	粗粒な砕せつ(碎屑)物粒子を多く含む高濃度の混濁流のたい積(堆積)物。逆級化構造やトラクションカーペット層理等が見られることが多い。高濃度タービダイト堆積物(high-concentration turbidity current deposit)	high-density turbidity current deposits	100066000
d-123	タービダイト	たーびだいと	混濁流によって運搬、たい積(堆積)した堆積物。下面が侵食的で、級化構造が顕著で、典型的なタービダイトはブーマ・シーケンスと呼ばれる規則的な堆積構造と粒度変化を示す。	turbidite	100067000
d-124	地震波たい積物 (地震波堆積物)	じしんはたいせきぶつ	削除		100070000

d-125	津波たい積物 (津波堆積物) ツナミアイト	つなみたいせきぶつ	津波によって運搬、たい積(堆積)した堆積物の総称。津波による打ち上げ(寄せ波)によって、浅海域から海浜が侵食され、陸に運ばれて堆積したものが多く。引き波による海底での堆積物、津波による海底の堆積物の再移動した堆積物も含まれる。	tsunamiite tsunami deposits	100071000
d-126	液状化・流動化たい積物 (液状化・流動化堆積物)	えきじょうか・りゅうどうかたいせきぶつ	たい積(堆積)物の粒子間げき(間隙)を満たす流体の圧力が高まって、粒子間を結びつける圧力を上回った時に、粒子が液状の状態になり(液状化)、流体として移動した(流動化)堆積物。	liquefied, fluidized deposit	100072000
d-127	生物じょう乱たい積物 (生物擾乱堆積物)	せいぶつじょうらんたいせきぶつ	生物の活動によって、初期のたい積(堆積)構造が破壊され、乱された堆積物。	bioturbated sediment	100080000
d-128	人工物	じんこうぶつ	人工的に構築された建造物。	artifact	100090000
d-129	干拓地	かんとくち	湖や海において、堤防等で閉め切り、排水して、陸地化された地域。	polder, polderland	100091000
d-130	埋立地	うめたてち	人工的に土砂等を運び込んで、水域を陸化した地域	reclaimed land	100092000
d-131	盛土(堤防・線路など)	もりど(ていぼう・せんろなど)	人工的に土砂等を運び込んでつくった高まり。土手、堤防など。	bank, embankment	100093000
d-132	ボタ山	ぼたやま	炭鉱において石炭または亜炭の採取の際に、不要な捨石が集積され形成された高まり。ずり山の一つ。	waste mound in a coal mine	100094000
d-133	ズリ山	ずりやま	鉱山の採掘の際に出た不要な岩石や土砂が集積して形成された高まり	waste mound in a mine	100095000
d-134	産業廃棄物	さんぎょうはいきぶつ	事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・陶磁器くずなど、鉱さい、がれき類、家畜ふん尿(糞尿)、家畜の死体、ばいじん、動物系固形不要物など指定された廃棄物。	industrial waste	100096000
d-135	放射性廃棄物	ほうしゃせいはいきぶつ	原子力を利用する時に発生する放射性物質を含んだ、または放射性物質によって汚染された廃棄物	radioactive waste	100097000
d-136	遺跡	いせき	土器や石器などの遺物や住居跡などの人間の構築物の遺構などが出土した土地	remains, ruins, historical sites	100098000
d-137	河岸平野たい積物 (河岸平野堆積物)	かがんへいやたいせきぶつ	河川の作用によって形成された平野のたい積(堆積)物。河床堆積物とはん濫(氾濫)原堆積物からなる。河川平野、沖積平野(alluvial plain)は河川の作用によって形成された平野を指すが、河川の作用によって形成された三角州平野などの海岸平野や湖岸平野も含む。	fluvial plain deposit, river plain deposit	100000100
d-138	湖岸平野たい積物 (湖岸平野堆積物)	こがんへいやたいせきぶつ	湖沼の沿岸平野を構成するたい積物。流入する河川がつくる三角州平野、浜堤が発達する浜堤平野、バリアーや湿地のたい積(堆積)物などからなる。湖沼沿岸平野堆積物に同じ。	lacustrine plain deposit	100000200
d-139	海岸平野たい積物 (海岸平野堆積物)	かいがんへいやたいせきぶつ	海岸に沿って発達する平野を構成するたい積(堆積)物。浜堤平野、三角州平野、チェニア平野などの総称。	coastal plain deposit	100000300
d-140	段丘たい積物 (段丘堆積物)	だんきゅうたいせきぶつ	河岸段丘や海岸段丘などが、放棄されて離水し、段丘化したたい積(堆積)物。埋没している場合は、埋没段丘堆積物(buried terrace deposit)	terrace deposit	100000400
d-141	河岸段丘たい積物 (河岸段丘堆積物)	かがんだんきゅうたいせきぶつ	谷底平野が下刻によって階段状に河に沿って離水・放棄された地形である河成段丘(河岸段丘)を構成するたい積(堆積)物。砂れき(礫)等の粗粒な堆積物のみが保存されることが多い。	fluvial terrace deposit, river terrace deposit	100000500
d-142	湖岸段丘たい積物 (湖岸段丘堆積物)	こがんだんきゅうたいせきぶつ	湖水位の変動によって、湖岸平野が離水・放棄されることによって形成される階段状の地形である湖岸段丘を構成するたい積(堆積)物。扇状地三角州が湖岸に形成されている場合は、扇状地面が階段状となる。	lacustrine terrace deposit	100000600
d-143	海岸段丘たい積物 (海岸段丘堆積物)	かいがんだんきゅうたいせきぶつ	海水準の変動に伴って、過去の海水準に対応して形成された海岸平野などのたい積(堆積)面や波食棚や海食台などの侵食面が、離水し、放棄され形成された階段状の海成段丘(海岸段丘)を構成する堆積物。堆積性の場合は、海岸平野堆積物からなり、侵食性の場合は残留性の砂れき(礫)からなることが多い。	marine terrace deposits	100000700
d-144	低海面期たい積体 (低海面期堆積体) 低海面期たい積物	ていかいめんきたいせきたい	シーケンス層序学において、低海水準期に形成される陸域から沿岸域を経由して深海までのたい積(堆積)システムを一括した地層の内、下面のシーケンス境界が海底谷につながり、上面は海進期堆積体と海進面で境される堆積体。	lowstand systems tract	100000010
d-145	海進期たい積体 (海進期堆積体) 海進期たい積物	かいいんきたいせきたい	シーケンス層序学において、海進期に形成される陸域から沿岸域を経由して深海までのたい積(堆積)システムを一括した地層。下面は低海水準期堆積体と海進面で、上面は高海水準期堆積体と最大海はん濫(氾濫)面で境される。	transgressive systems tract	100000020

d-146	高海面期たい積体 〔高海面期堆積体〕 高海面期たい積物	こうかいめんき たいせきたい	シーケンス層序学において、高海水準期に形成される陸域から沿岸域を経由して深海までのたい積(堆積)システムを一括した地層。下面は海進期堆積体と最大海はん濫(氾濫)面で、上面は上位のシーケンスとシーケンス境界で境される。	highstand systems tract	100000030
d-147	陸棚縁辺たい積体 〔陸棚縁辺堆積体〕 陸棚縁辺たい積物	りくだなえん べんたいせき たい	シーケンス層序学において、低海水準期に形成される陸域から沿岸域を経由して深海までのたい積(堆積)システムを一括した地層の内、下面のシーケンス境界が海底谷につながらず、海水準低下が大きくなく、上面は海進期堆積体と海進面で境される堆積体。陸棚外縁堆積体ともいう。	shelfmargin systems tract	100000040
d-148	大洋底たい積物 〔大洋底堆積物〕	たいようてい いせきぶつ	海洋のほとんどを占める水深4000-6000mの大洋底に分布するたい積(堆積)物。遠洋性堆積物(深海堆積物)からなることが多い。	ocean floor deposit	100000001
d-149	海溝たい積物 〔海溝堆積物〕	かいこうたい せきぶつ	大陸や島弧と大洋底の境界部にある急斜面で両側が境される細長い凹地の海溝を充てん(充填)するたい積(堆積)物。海溝の軸に沿うタービダイトや、陸側斜面の海底谷からのタービダイト、陸側斜面の崩壊、半遠洋性の堆積物などにより充填されている。	trench deposit	100000002
d-150	前弧盆たい積物 〔前弧盆堆積物〕	ぜんこぼんたい いせきぶつ	島弧海溝系において、海溝側の大陸棚斜面における構造的な高まりによって、その陸側に形成された凹地の前弧海盆を埋積するたい積(堆積)物。大陸棚斜面の海底谷などを通じてのタービダイトや半遠洋性の堆積物などで充てん(充填)されている。	forearc basin deposit	100000004
d-151	弧内リフトたい積物 〔弧内リフト堆積物〕	こないりふと いせきぶつ	島弧中央部に形成される横ずれやリフト系によって生じた凹地である弧内たい積(堆積)盆を充てん(充填)する堆積物。前弧や背弧の堆積盆の関係から命名されている。島弧内堆積盆たい積物、弧内リフト堆積盆堆積物。	intra-arc basin deposit, intra-arc rift deposit,	100000005
d-152	背弧盆たい積物 〔背弧盆堆積物〕	はいこぼんたい いせきぶつ	沈み込み帯において背弧地域の拡大によって生じた凹地である背弧海盆を充てん(充填)するたい積(堆積)物。島弧からのタービダイトや半遠洋性堆積物などからなる。	back-arc basin deposit	100000006
d-153	大陸リフトたい積物 〔大陸リフト堆積物〕	たいりくりふと たいせきぶつ	大陸のリフティングに伴う凹地を充てん(充填)するたい積(堆積)物。	continental rift deposit	100000007
d-154	河成平野たい積物 〔河成平野堆積物〕 河川平野堆積物	かせいへいや たいせきぶつ	河川の作用によって形成された平野のたい積(堆積)物。河床堆積物とはん濫(氾濫)原堆積物からなる。	fluvial plain deposit, river plain deposit	
d-155	海進期たい積物 〔海進期堆積物〕	かいしんき たいせきぶつ	海岸線が陸側に移動する海進期にたい積(堆積)した堆積物の総称。	transgressive deposit	
d-156	高海面期たい積物 〔高海面期堆積物〕	こうかいめんき たいせきぶつ	海水準が高い時期にたい積(堆積)した堆積物の総称。	highstand deposit	
d-157	礁原たい積物 〔礁原堆積物〕	しょうげんたい せきぶつ	サンゴ礁の外海側の礁斜面の陸側にある、干潮に露出する高まりである礁原のたい積(堆積)物。礁原の最も高い部分が礁れい(礁嶺)。造礁サンゴや石灰藻、またはこれらのれき(礫)からなる。	reef flat	
d-158	低海面期たい積物 〔低海面期堆積物〕	ていかいめん きたいせきぶ つ	海水準が低い時期にたい積(堆積)した堆積物の総称。	lowstand deposit	
d-159	浜堤外浜たい積物 〔浜堤外浜堆積物〕	ひんていがい ひんたいせき ぶつ	浜堤平野においては、海退に伴って、後浜、前浜、外浜が一連のものとして前進し、地層を形成し、浜堤平野を拡大してゆくことから、浜堤外浜たい積(堆積)システムとして、一連の上方浅海化のサクセッションとして理解されている。	strandplain- shoreface deposit	
d-160	陸棚縁辺たい積物 〔陸棚縁辺堆積物〕	りくだなえん べんたいせき ぶつ	低海水準期に形成される陸棚縁辺たい積(堆積)体の中心をなし、大陸棚の外縁に堆積する浅海性の堆積物で、低海水準期に形成される大陸棚斜面の最上部を構成する大陸棚外縁部の堆積物の総称。	shelfmargin deposit	
d-161	たい積物 〔堆積物〕	たいせきぶつ	砕せつ(砕屑)物や生物起源の物質が、水、風、氷河などによって運搬され、たまった物。	sediment deposit	
d-162	沿岸たい積物 〔沿岸堆積物〕	えんがんたい せきぶつ	水域と陸域の境界である海岸線や湖岸線の近傍である沿岸域にたい積(堆積)した堆積物。	coastal deposit	
d-163	流路内たい積物 〔流路内堆積物〕	りゅうろない たいせきぶつ	河川の河床を構成する主に砂れき(礫)からなるたい積物。蛇行河川では、河川の側方移動によって河床が埋積されてゆくことから上方細粒化、上方薄層化の累重を示す。網状河川では網状砂州の移動によることから、明りょうな細粒化を示さない。	channel deposit, in-channel deposit	

d-164	河口たい積物 (河口堆積物)	かこうたいせき ぶつ	河川が湖沼や海域に流入する時に河口付近にたい積(堆積)した堆積物。河口付近には流速の減少によって砂質な堆積物が沈積し、砂州が形成されることが多い(河口州堆積物)。	river-mouth deposit,	
d-165	三角州たい積物 (三角州堆積物)	さんかくすたい せきぶつ	河川が湖沼や海域に流入する時に河口付近に形成される水域側に突出した地形(三角州)を構成するたい積(堆積)物。デルタ平野、デルタフロント、プロデルタ堆積物などに区分されることが多い。	deltatic deposit	
d-166	砂州たい積物 (砂州堆積物)	さすたいせき ぶつ	水位が上昇した時に埋没するような砂の高まりのたい積(堆積)物の総称。河川における突州、網状砂州、沿岸域の沿岸州など。	bar deposit	
d-167	三角州前面たい積物 (三角州前面堆積物)	さんかくすぜい めんたいせき ぶつ	デルタフロントたい積(堆積)物に同じ	deltafront deposit	
d-168	三角州前縁たい積物 (三角州前縁堆積物)	さんかくすぜい えんたいせき ぶつ	プロデルタたい積(堆積)物に同じ	prodelta deposit	
d-169	後背湿地たい積物 (後背湿地堆積物)	こうはいしつち たいせきぶつ	はん濫(氾濫)原で自然堤防の背後に形成される沼沢地のたい積(堆積)物。	backmarsh deposit	
d-170	流路埋積たい積物 (流路埋積堆積物)	りゅうろまいせき ぶつ	放棄された河道を埋積するたい積(堆積)物。放棄河道埋積堆積物、放棄河道充てん(充填)堆積物。	abandoned channel fill	
d-171	バリア島たい積物 (バリア島堆積物)	ばりあとうたい せきぶつ	外海と潟湖を境するバリアーのたい積(堆積)物。島状のものをバリアー島、陸とつながっているものも含めて、広義には、バリアー、バリアー諸島と呼ばれる。前浜、後浜、浜堤、オーバーワッシュなどの堆積物からなる。	barrier island deposit	
d-172	海岸砂丘たい積物 (海岸砂丘堆積物)	かいがんさき ゆうたいせき ぶつ	海浜の陸側に形成された風成の砂丘たい積(堆積)物。海からの風により前浜や後浜から軽鉱物が運ばれて形成されることが多く、淘汰(淘汰)のよい砂からなることが多い。	coastal dune deposit	
d-173	湖流たい積物 (湖流堆積物)	こりゅうたいせき ぶつ	湖の中での定常的な流れによるたい積(堆積)物。あまり用いられない。		
d-174	ツナミアイト 津波たい積物	つなみあいと	津波によって運搬、たい積(堆積)した堆積物の総称。津波による打ち上げ(寄せ波)によって、浅海域から海浜が侵食され、陸に運ばれて堆積したものが多い。引き波による海底での堆積物、津波による海底の堆積物の再移動した堆積物も含まれる。	tsunamiite tsunami deposits	
d-175	海浜たい積物 (海浜堆積物)	かいひんたい せきぶつ	海浜は、狭義には前浜と後浜をいうが、広義には陸側の浜堤や砂丘、海側の外浜も含まれる。	beach sediment beach material	
d-176	海底扇状地たい積物 (海底扇状地堆積物)	かいていせん じょうちたい せきぶつ	海底谷の末端や大陸棚斜面の基部から深海に見られる扇状地である深海扇状地のたい積(堆積)物の総称。	deep-sea fan deposit	
d-177	後浜たい積物 (後浜堆積物)	こうひんたい せきぶつ	浜において前浜の陸側端であるちょう段(汀段)を超えて、平たん(平坦)から陸側に傾斜する場所の後浜のたい積(堆積)物。打ち上げ波の流れによるリップルや、植物根などが見られ、風による軽鉱物の移動により重鉱物が濃集することが多い。	backshore deposit	
e-1	火成岩	かせいがん	高温の溶融体(マグマ)が地球内部、表層、または地球外で固結してできた岩石。	igneous rock	200000000
e-2	カーボナタイト	かーぼなたい と	初生的な炭酸塩鉱物を50%以上含む火成岩。方解石、ドロマイトを主成分鉱物とする。	carbonatite	211000000
e-3	方解石カーボ ナタイト	ほうかいせき かーぼなたい と	主要な炭酸塩鉱物が方解石であるカーボナタイト。	calcite- carbonatite	211110000
e-4	ドロマイトカー ボナタイト	どろまいと かーぼなたい と	主要な炭酸塩鉱物がドロマイトであるカーボナタイト。	dolomite- carbonatite	211120000
e-5	鉄カーボナタイト	てつかーぼな たいと	鉄に富む(FeO+Fe ₂ O ₃ +MnO>MgO)カーボナタイト。	ferrocarbonatite	211130000
e-6	ソーダカーボナ タイト	そーだかーぼ なたいと	マグネシウムに富む(MgO>FeO+Fe ₂ O ₃ +MnO)カーボナタイト。	natrocarbonatite	211140000
e-7	カルシオカーボ ナタイト	かるしおかー ぼなたいと	カルシウムに富む(CaO/(CaO+MgO+FeO+Fe ₂ O ₃ +MnO)>0.8)カーボナタイト。	calciocarbonatite	211211000
e-8	マグネシオカー ボナタイト	まぐねしお かーぼなたい と	マグネシウムに富む(MgO>FeO+Fe ₂ O ₃ +MnO)カーボナタイト。	magnesiocarbonatite	211212000

e-9	けい酸カーボナタイト (珪酸カーボナタイト)	けいさんかーぼなたいと	シリカに富む (SiO ₂ >20%)カーボナタイト。	silicocarbonatite	211220000
e-10	メリライト含有岩	めりらいとがんゆうがん	メリライトを10%より多く含み、長石類が存在する場合はメリライト>長石類である火成岩。深成岩的なメリライト含有岩をメリリタイトと呼び、火山岩的なメリライト含有岩をメリリタイトと呼ぶ。	melilite-bearing rock	212000000
e-11	メリリタイト	めりりとらいと	メリライト含有岩。	melillitolite	212110000
e-12	アフリカンダイト	あふりかんだいと	メリリタイト(メリライトを10%より多く、かつ、長石類よりも多く含む深成岩的な岩石)のうち、ペロブスカイトを10%より多く含むもの。	afrikandite	212111000
e-13	クグダイト	くぐだいと	メリリタイト(メリライトを10%より多く、かつ、長石類よりも多く含む深成岩的な岩石)のうち、かんらん石を10%より多く含むもの。	kugdite	212112000
e-14	オカアイト	おかあいと	メリリタイト(メリライトを10%より多く、かつ、長石類よりも多く含む深成岩的な岩石)のうち、ハウインを10%より多く含むもの。	okaite	212113000
e-15	タージャイト	たーじゃいと	メリリタイト(メリライトを10%より多く、かつ、長石類よりも多く含む深成岩的な岩石)のうち、ネフェリンを10%より多く、かつ、メリライトより少なく含むもの。	turjaite	212114000
e-16	アンコンパーグライト	あんこんぱーぐらいと	メリリタイト(メリライトを10%より多く、かつ、長石類よりも多く含む深成岩的な岩石)のうち、輝石を10%より多く含むもの。	uncompahgrite	212115000
e-17	メリリタイト 黄長岩	めりりたいと	メリライトを10%より多く、かつ、長石類よりも多く含む火山岩的な岩石。黄長岩とも。	melilitite	212120000
e-18	かんらん石メリリタイト	かんらんせきめりりたいと	かんらん石/(メリライト+かんらん石+単斜輝石)>0.1であるメリリタイト。	olivine melilitite	212121000
e-19	カルシライト含有岩	かるしらいとがんゆうがん	カルシライトを含み、炭酸塩鉱物を50%以上またはメリライトを10%より多く含まない火成岩。	kalsilite-bearing rock	213000000
e-20	カルシリタイト	かるしりたいと	メリライトやリュースイトを含まないカルシライト含有岩。	kalsilitite	213120000
e-21	キンパーライト	きんぱーらいと	多量の蛇紋石化したかんらん石と量はさまざまだがフロゴパイト、斜方輝石、単斜輝石、炭酸塩鉱物、クローマイトを含む超苦鉄質岩。	kimberlite	214000000
e-22	ランプロアイト	らんぷろあいと	カリウムとマグネシウムに富む火山岩。チタンに富みアルミに乏しい金雲母(雲母)斑晶やチタンに富む金雲母石基、チタンとカリウムに富むヒテライト、フォルステライトに富むかんらん石、アルミとナトリウムに乏しい透輝石などを含む。	lamproite	215000000
e-23	リュースイト含有岩	りゅーさいとがんゆうがん	リュースイトを含み、ランプロアイトやキンパーライトに分類されない火成岩。	leucite-bearing rock	216000000
e-24	リュースイタイト	りゅーさいたいと	準長石/(長石+準長石)>0.6であるリュースイト含有岩。狭義ではその値が0.9以上のものをさす。	leucitite	216121000
e-25	テフライト質 リュースイタイト	てふらいとしつりゅーさいたいと	準長石/(長石+準長石)が0.6~0.9で、アルカリ長石<斜長石であるリュースイト含有岩。	tephritic leucitite	216122000
e-26	フォノライト質 リュースイタイト	ふののらいとしつりゅーさいたいと	準長石/(長石+準長石)が0.6~0.9で、アルカリ長石>斜長石であるリュースイト含有岩。	phonolitic leucitite	216123000
e-27	リュースイトテフライト	りゅーさいとてふらいと	準長石/(長石+準長石)が0.1~0.6で、アルカリ長石/長石<0.1、かんらん石<10%であるリュースイト含有岩。	leucite tephrite	216124000
e-28	リュースイトフォノライト	りゅーさいとふののらいと	準長石/長石+準長石)が0.1~0.6で、アルカリ長石/長石>0.9であるリュースイト含有岩。	leucite phonolite	216125000
e-29	ランプロファイア	らんぷろふあいあ	黒雲母(雲母)、角せん石(角閃石)、輝石によるはん状(斑状)組織の顕著な岩石。石基に少量の斜長石を含み、一般的には岩脈が小さい貫入岩として産出。	lamprophyre	217000000
e-30	ミネット	みねっと	アルカリ長石<斜長石で、準長石を含まず、黒雲母(雲母)を含むランプロファイア。	minette	217101000
e-31	ケルサンタイト	けるさんたいと	アルカリ長石<斜長石で、準長石を含まず、黒雲母(雲母)を含むランプロファイア。	kersantite	217102000
e-32	フォージェサイト	ふおーげさいと	アルカリ長石>斜長石で、準長石を含まず、黒雲母(雲母)を含まないランプロファイア。	vogesite	217103000
e-33	スペッサルタイト	すべっさるたいと	アルカリ長石<斜長石で、準長石を含まず、黒雲母(雲母)を含まないランプロファイア。	spessartite	217104000
e-34	サナイト	さないと	アルカリ長石>斜長石で、準長石を含むランプロファイア。	sannaite	217105000
e-35	カンプトナイト	かんぷとないと	アルカリ長石<斜長石で、準長石を含むランプロファイア。	camptonite	217106000
e-36	モンチカイト	もんちかいと	長石を含まないランプロファイア。	monchiquite	217107000
e-37	チャーノッカイト	チャーのっかいと	斜方輝石(またはファヤライトと石英)の存在で特徴付けられ、パーサイト、メソパーサイトまたはアンチパーサイトを持つ火成岩。	charnockite	218000000

e-38	斜方輝石アルカリ長石花こう岩 〔斜方輝石アルカリ長石花崗岩〕	しゃほうきせきあるかりちようせきかこうがん	チャーノックaitに属し(斜方輝石を含み、パーサイトが存在)、石英/(石英+長石)が0.2~0.6で、アルカリ長石/長石<0.1である深成岩。	orthopyroxene alkali feldspar granite	218110100
e-39	斜方輝石花こう岩 〔斜方輝石花崗岩〕	しゃほうきせきかこうがん	チャーノックaitに属し(斜方輝石を含み、パーサイトが存在)、石英/(石英+長石)が0.2~0.6で、アルカリ長石/長石が0.1~0.65である深成岩。	orthopyroxene granite	218110200
e-40	斜方輝石花こうせん緑岩 〔斜方輝石花崗閃緑岩〕	しゃほうきせきかこうせんりよくがん	チャーノックaitに属し(斜方輝石を含み、パーサイトが存在)、石英/(石英+長石)が0.2~0.6で、アルカリ長石/長石が0.65~0.9である深成岩。	orthopyroxene granodiorite	218110300
e-41	斜方輝石トーンナル岩	しゃほうきせきとーなるがん	チャーノックaitに属し(斜方輝石を含み、パーサイトが存在)、石英/(石英+長石)が0.2~0.6で、アルカリ長石/長石>0.9である深成岩。	orthopyroxene tonalite	218110400
e-42	斜方輝石アルカリ長石せん長岩 〔斜方輝石アルカリ長石閃長岩〕	しゃほうきせきあるかりちようせきせんちようがん	チャーノックaitに属し(斜方輝石を含み、パーサイトが存在)、石英/(石英+長石)が<0.05、アルカリ長石/長石<0.1である深成岩。	orthopyroxene alkali feldspar syenite	218110500
e-43	斜方輝石せん長岩 〔斜方輝石閃長岩〕	しゃほうきせきせんちようがん	チャーノックaitに属し(斜方輝石を含み、パーサイトが存在)、石英/(石英+長石)が<0.05、アルカリ長石/長石が0.1~0.35である深成岩。	orthopyroxene syenite	218110600
e-44	斜方輝石モンソナイト	しゃほうきせきもんどないと	チャーノックaitに属し(斜方輝石を含み、パーサイトが存在)、石英/(石英+長石)が<0.05、アルカリ長石/長石が0.35~0.65である深成岩。	orthopyroxene monzonite	218110700
e-45	モンソノーライト	もんぞのーらいと	チャーノックaitに属し(斜方輝石を含み、パーサイトが存在)、石英/(石英+長石)が<0.05、アルカリ長石/長石が0.65~0.9で、斜長石がAn-Anである深成岩。	monzonorite	218110800
e-46	ノーライト	のーらいと	斜長石と斜方輝石からなる深成岩。広義のはん(斑)れい岩に属し、単斜輝石/(斜長石+輝石)<0.05、かんらん石/(斜長石+輝石+かんらん石)<0.05、普通角せん石(角閃石)/(斜長石+輝石+普通角閃石)<0.05であるもの。	norite	218110900
e-47	斜長岩	しゃちようせがん	ほとんど斜長石からなる深成岩で、石英/けい長質鉱物が0.05以下、アルカリ長石/長石が0.1以下、苦鉄質鉱物が10%以下であるもの。	anorthosite	218111100
e-48	深成岩	しんせいがん	個々の結晶が肉眼で識別でき、比較的粗粒(>3mm程度)な火成岩。それらはマグマがゆっくり冷えて形成されたと考えられる。	plutonic rock	219000000
e-49	超苦鉄質岩	ちようくてつしつがん	苦鉄質鉱物類(雲母も雲母)、角せん石(角閃石)、輝石、かんらん石、不透明鉱物、副成分鉱物等)が90%以上である深成岩。	ultramafic rock	219110000
e-50	かんらん岩	かんらんがん	かんらん石/(かんらん石+輝石+普通角せん石(角閃石))が0.40以上である超苦鉄質岩。 	peridotite	219111000
e-51	ダナイト	だないと	かんらん石/(かんらん石+輝石+普通角せん石(角閃石))が0.9以上である超苦鉄質岩。(図:e-50「かんらん岩」を参照)	dunite	219111100
e-52	オリビナイト	おりびないと	スピネル鉱物が磁鉄鉱であるダナイト。	olivinite	219111101
e-53	ハルツバージャイト	はるつばーじゃいと	かんらん石/(かんらん石+輝石)が0.4~0.9で、単斜輝石/(輝石+かんらん石)が0.05以下である超苦鉄質岩。(図:e-50「かんらん岩」を参照)	harzburgite	219111200
e-54	レールゾライト	れーるぞらいと	かんらん石/(かんらん石+輝石)が0.40~0.9で、単斜輝石/(輝石+かんらん石)および単斜輝石/(輝石+かんらん石)がともに0.05以上である超苦鉄質岩。(図:e-50「かんらん岩」を参照)	herzolite	219111300
e-55	ウェールライト	うえーるらいと	かんらん石/(かんらん石+輝石)が0.4~0.9で、斜方輝石/(輝石+かんらん石)が0.05以下である超苦鉄質岩。(図:e-50「かんらん岩」を参照)	wehrlite	219111400

e-56	輝石かんらん岩	きせきかんらんがん	普通角せん石(角閃石)を少量含み,かんらん石/(かんらん石+輝石+普通角閃石)が0.9以下で,普通角閃石/(かんらん石+輝石+普通角閃石)が0.05以下であるかんらん岩。	pyroxene peridotite	219111500
e-57	輝石角せん石かんらん岩 (輝石角閃石かんらん岩)	きせきかくせんせきかんらんがん	かんらん石/(かんらん石+輝石+普通角せん石(角閃石))が0.9以下で,普通角閃石/(かんらん石+輝石+普通角閃石)が0.05以上,輝石/(かんらん石+輝石+普通角閃石)が0.05以下であるかんらん岩。	pyroxene hornblende peridotite	219111600
e-58	角せん石かんらん岩 (角閃石かんらん岩)	かくせんせきかんらんがん	普通角せん石(角閃石)を含み,かんらん石/(かんらん石+輝石+普通角閃石)が0.9以下で,輝石/(かんらん石+輝石+普通角閃石)が0.05以下であるかんらん岩。	hornblende peridotite	219111700
e-59	輝石岩 輝岩	きせきがん	かんらん石/(かんらん石+輝石)が0.4以下で,輝石>(輝石+普通角せん石(角閃石))が0.5以上である超苦鉄質岩。	pyroxenite	219112000
e-60	かんらん石斜方輝石岩	かんらんせきしゃほうきせきがん	単斜輝石/(かんらん石+輝石)が0.05以下で,斜方輝石/(かんらん石+輝石)が0.9以下である輝石岩。(図:e-50「かんらん岩」を参照)	olivine orthopyroxenite	219112100
e-61	かんらん石ウェブステライト	かんらんせきうえぶすてらいと	単斜輝石/(かんらん石+輝石),斜方輝石/(かんらん石+輝石),かんらん石/(かんらん石+輝石)がいずれも0.05以上である輝石岩。(図:e-50「かんらん岩」を参照)	olivine websterite	219112200
e-62	かんらん石単斜輝石岩	かんらんせきたんしゃきせきがん	斜方輝石/(かんらん石+輝石)が0.05以下で,斜方輝石/(かんらん石+輝石)が0.9以下である輝石岩。(図:e-50「かんらん岩」を参照)	olivine clinopyroxenite	219112300
e-63	斜方輝石岩	しゃほうきせきがん	斜方輝石/(かんらん石+輝石)が0.9以上である輝石岩。(図:e-50「かんらん岩」を参照)	orthopyroxenite	219112400
e-64	ウェブステライト	うえぶすてらいと	斜方輝石/(かんらん石+輝石)および単斜輝石/(かんらん石+輝石)がともに0.9以下でかんらん石/(かんらん石+輝石)が0.05以下である輝石岩。(図:e-50「かんらん岩」を参照)	websterite	219112500
e-65	単斜輝石岩	たんしゃきせきがん	単斜輝石/(かんらん石+輝石)が0.9以上である輝石岩。(図:e-50「かんらん岩」を参照)	clinopyroxenite	219112600
e-66	かんらん石輝石岩	かんらんせききせきがん	普通角せん石(角閃石)を含み,普通角閃石/(かんらん石+輝石+普通角閃石)が0.05以下で,輝石/(かんらん石+輝石+普通角閃石)が0.9以下である輝石岩。	olivine pyroxene rock	219112700
e-67	かんらん石角せん石輝石岩 (かんらん石角閃石輝石岩)	かんらんせきかくせんせききせきがん	普通角せん石(角閃石)/(かんらん石+輝石+普通角閃石)およびかんらん石/(かんらん石+輝石+普通角閃石)がともに0.05以上である輝石岩。	olivine hornblende pyroxene rock	219112800
e-68	角せん石輝石岩 (角閃石輝石岩)	かくせんせききせきがん	輝石/(かんらん石+輝石+普通角せん石(角閃石))が0.9以下で,かんらん石/(かんらん石+輝石+普通角閃石)が0.05以下である輝石岩。	hornblende pyroxene rock	219112900
e-69	角せん石岩 (角閃石岩)	かくせんせきがん	かんらん石/(かんらん石+輝石+普通角せん石(角閃石))が0.4以下で,輝石>(輝石+普通角閃石)が0.5以下である超苦鉄質岩。	hornblendite	219113000
e-70	かんらん石輝石角せん石岩 (かんらん石輝石角閃石岩)	かんらんせききせきかくせんせきがん	かんらん石/(かんらん石+輝石+普通角せん石(角閃石))と輝石/(かんらん石+輝石+普通角閃石)がともに0.05以上である角閃石岩。	olivine pyroxene hornblendite	219113100
e-71	かんらん石角せん石岩 (かんらん石角閃石岩)	かんらんせきかくせんせきがん	普通角せん石(角閃石)/(かんらん石+輝石+普通角閃石)が0.9以下で,輝石/(かんらん石+輝石+普通角閃石)が0.05以下である角閃石岩。	olivine hornblendite	219113200
e-72	輝石角せん石岩 (輝石角閃石岩)	きせきかくせんせきがん	普通角せん石(角閃石)/(かんらん石+輝石+普通角閃石)が0.9以下で,かんらん石/(かんらん石+輝石+普通角閃石)が0.05以下である角閃石岩。	pyroxene hornblendite	219113300
e-73	苦鉄質・けい長質深成岩 (苦鉄質・珪長質深成岩)	くてついつけいちょうしつしせいがん	苦鉄質鉱物類(雲母(雲母),角せん石(角閃石),輝石,かんらん石,不透明鉱物,副成分鉱物等)が90%以下である深成岩。超苦鉄質岩を除いた深成岩の総称。	mafic - felsic plutonic rock	219120000
e-74	石英岩	せきえいがん	石英/(石英+長石)が0.9以上である深成岩で,苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。	quartzolite	219121100
e-75	石英に富む花こう岩類 (石英に富む花崗岩類)	せきえいにとむかこうがんるい	石英/(石英+長石)が0.6~0.9である深成岩で,苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。	quartz-rich granitoid	219121200
e-76	花こう岩類 (花崗岩類)	かこうがんるい	石英/(石英+長石)が0.2~0.4である深成岩で,苦鉄質鉱物が90%以下であるものの総称。	granitoid	219122000

e-77	アルカリ長石花こう岩 〔アルカリ長石花崗岩〕	あるかりちようせきかこうがん	石英,アルカリ長石を含む深成岩で,石英/けい長質鉱物が0.2~0.6%,アルカリ長石/長石が90%以上,苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。色指数20以上が優黒質アルカリ長石花こう岩。(図:e-50「花崗岩類」を参照)	alkali feldspar granite	219122100
e-78	優黒質アルカリ長石花こう岩 〔優黒質アルカリ長石花崗岩〕	ゆうこくしつあるかりちようせきかこうがん	e-77「アルカリ長石花こう岩」を参照	alkali feldspar melagranite	219122102
e-79	花こう岩 〔花崗岩〕	かこうがん	石英,アルカリ長石,斜長石を含む深成岩で,石英/けい長質鉱物が0.2~0.6%,アルカリ長石/長石が0.35~0.9,苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。色指数5以下が優白質花こう岩,20以上が優黒質花こう岩。(図:e-77「花崗岩類」を参照)	granite	219122200
e-80	優白質花こう岩 〔優白質花崗岩〕	ゆうはくしつかこうがん	e-79「花こう岩」を参照	leucogranite	219122201
e-81	優黒質花こう岩 〔優黒質花崗岩〕	ゆうこくしつかこうがん	e-79「花こう岩」を参照	melagranite	219122202
e-82	せん長花こう岩 〔せん長花崗岩〕	せんちようかこうがん	花こう岩のうち,アルカリ長石/長石が0.65~0.9であるもの。色指数5以下が優白質せん長花こう岩,20以上が優黒質せん長花こう岩。	syenogranite	219122210
e-83	優白質せん長花こう岩 〔優白質せん長花崗岩〕	ゆうはくしつせんちようかこうがん	e-82「せん長花こう岩」を参照	leucosyenogranite	219122211
e-84	優黒質せん長花こう岩 〔優黒質せん長花崗岩〕	ゆうこくしつせんちようかこうがん	e-82「せん長花こう岩」を参照	melasyenogranite	219122212
e-85	モンゾ花こう岩 〔モンゾ花崗岩〕	もんぞかこうがん	花こう岩のうち,アルカリ長石/長石が0.35~0.65であるもの。色指数5以下が優白質モンゾ花こう岩,20以上が優黒質モンゾ花こう岩。	monzogranite	219122220
e-86	優白質モンゾ花こう岩 〔優白質モンゾ花崗岩〕	ゆうはくしつもんぞかこうがん	e-85「モンゾ花こう岩」を参照	leucomonzogranite	219122221
e-87	優黒質モンゾ花こう岩 〔優黒質モンゾ花崗岩〕	ゆうこくしつもんぞかこうがん	e-85「モンゾ花こう岩」を参照	melamonzogranite	219122222
e-88	花こうせん緑岩 〔花崗閃緑岩〕	かこうせんりよくがん	石英,アルカリ長石,斜長石を含む深成岩で,石英/けい長質鉱物が0.2~0.6%,アルカリ長石/長石が0.1~0.35,苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。色指数5以下が優白質花こうせん緑岩,25以上が優黒質花こうせん緑岩。(図:e-85「花崗岩類」を参照)	granodiorite	219122500
e-89	優白質花こうせん緑岩 〔優白質花崗閃緑岩〕	ゆうはくしつかこうせんりよくがん	e-88「花こうせん緑岩」を参照	leucogranodiorite	219122501
e-90	優黒質花こうせん緑岩 〔優黒質花崗閃緑岩〕	ゆうこくしつかこうせんりよくがん	e-88「花こうせん緑岩」を参照	melagranodiorite	219122502
e-91	トーンナル岩	とーなるがん	石英,斜長石を含む深成岩で,石英/けい長質鉱物が0.2~0.6,アルカリ長石/長石が0.1以下,苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。色指数10以下が優白質トーンナル岩,40以上が優黒質トーンナル岩。(図:e-88「花崗岩類」を参照)	tonalite	219122600
e-92	優白質トーンナル岩 トロニエム岩	ゆうはくしつとーなるがん	e-91「トーンナル岩」を参照	leucotonalite	219122601
e-93	優黒質トーンナル岩	ゆうこくしつとーなるがん	e-91「トーンナル岩」を参照	melatonalite	219122602
e-94	トロニエム岩	とろにえむがん	色指数が10以下のトーンナル岩。優白質トーンナル岩と同義。	trondhjemite	

e-95	せん長岩類 (閃長岩類)	せんちょうが んるい	石英/けい長質鉱物が0.2以下, 準長石/けい長質鉱物が0.1以下, アルカリ長石/長石が0.65以上である深成岩の総称で, 苦鉄質鉱物が90%以下。(図:e-91「花崗岩類」を参照)	syenitoid	219123000
e-96	石英アルカリ長石せん長岩 (石英アルカリ長石閃長岩)	せきえいある かりちょうせき せんちょうが ん	石英, アルカリ長石を含む深成岩で, 石英/けい長質鉱物が0.05~0.2, アルカリ長石/長石が0.9以上, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。色指数25以上が石英アルカリ長石優黒質せん長岩。(図:e-91「花崗岩類」を参照)	quartz alkali feldspar syenite	219123100
e-97	石英アルカリ長石優黒質せん長岩 (石英アルカリ長石優黒質閃長岩)	せきえいある かりちょうせき ゆうこくしつせ んちょうが ん	e-96「石英アルカリ長石せん長岩」を参照	quartz alkali feldspar melasyenite	219123102
e-98	アルカリ長石せん長岩 (アルカリ長石閃長岩)	あるかりちょう せきせんちょう が ん	アルカリ長石を含む深成岩で, 石英/けい長質鉱物が5%以下, アルカリ長石/長石が0.9以上, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。色指数25以上がアルカリ長石優黒質せん長岩(閃長岩)。(図:e-96「花崗岩類」を参照)	alkali feldspar syenite	219123200
e-99	優黒質アルカリ長石せん長岩 (優黒質アルカリ長石閃長岩)	ゆうこくしつあ るかりちょうせ きせんちょうが ん	e-98「アルカリ長石せん長岩」を参照	alkali feldspar melasyenite	219123202
e-100	準長石含有アルカリ長石せん長岩 (準長石含有アルカリ長石閃長岩)	じゅんちょうせ きがんゆうあ るかりちょうせ きせんちょうが ん	アルカリ長石, 準長石を含む深成岩で, 準長石/けい長質鉱物が0.1以下, アルカリ長石/長石が0.1以下, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。準長石の部分为主要な準長石鉱物名で置き換えることもできる。	foiid-bearing alkali feldspar syenite	219133300
e-101	石英せん長岩 (石英閃長岩)	せきえいせん ちょうが ん	石英, アルカリ長石, 斜長石を含む深成岩で, 石英/けい長質鉱物が5~20%, アルカリ長石/長石が0.65~0.9, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。色指数5以下が石英優白質せん長岩, 30以上が石英優黒質せん長岩。(図:e-98「花崗岩類」を参照)	quartz syenite	219123400
e-102	石英優白質せん長岩 (石英優白質閃長岩)	せきえいゆう はくしつせん ちょうが ん	e-101「石英せん長岩」を参照	quartz leucosyenite	219123401
e-103	石英優黒質せん長岩 (石英優黒質閃長岩)	せきえいゆうこ くしつせんち ょうが ん	e-101「石英せん長岩」を参照	quartz melasyenite	219123402
e-104	せん長岩 (閃長岩)	せんちょうが ん	アルカリ長石, 斜長石を含む深成岩で, 石英/けい長質鉱物が0.05以下, アルカリ長石/長石が0.65~0.9, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。色指数10以下が優白質せん長岩, 35以上が優黒質せん長岩。(図:e-101「花崗岩類」を参照)	syenite	219123500
e-105	優白質せん長岩 (優白質閃長岩)	ゆうはくしつせ んちょうが ん	e-104「せん長岩」を参照	leucosyenite	219123501
e-106	優黒質せん長岩 (優黒質閃長岩)	ゆうこくしつせ んちょうが ん	e-104「せん長岩」を参照	melasyenite	219123502
e-107	準長石含有せん長岩 (準長石含有閃長岩)	じゅんちょうせ きがんゆうせ んちょうが ん	アルカリ長石, 斜長石, 準長石を含む深成岩で, 準長石/けい長質鉱物が0.1以下, アルカリ長石/長石が0.65~0.9, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。準長石の部分为主要な準長石鉱物名で置き換えることもできる。	foiid-bearing syenite	219123600
e-108	石英モンソナイト	せきえいもん ぞないと	石英, アルカリ長石, 斜長石を含む深成岩で, 石英/けい長質鉱物が0.05~0.2, アルカリ長石/長石が0.35~0.65, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。色指数10以下が石英優白質モンソナイト, 35以上が石英優黒質モンソナイト。(図:e-104「花崗岩類」を参照)	quartz monzonite	219123700
e-109	石英優白質モンソナイト	せきえいゆう はくしつもん ぞないと	e-108「石英モンソナイト」を参照	quartz leucomonzonite	219123701
e-110	石英優黒質モンソナイト	せきえいゆうこ くしつもんぞ ないと	e-108「石英モンソナイト」を参照	quartz melamonzonite	219123702
e-111	モンソナイト	もんぞないと	アルカリ長石, 斜長石を含む深成岩で, 石英/けい長質鉱物が0.05以下, アルカリ長石/長石が0.35~0.65, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。色指数15以下が優白質せん長岩, 45以上が優黒質せん長岩。(図:e-108「花崗岩類」を参照)	monzonite	219123800
e-112	優白質モンソナイト	ゆうはくしつも んぞないと	e-111「モンソナイト」を参照	leucomonzonite	219123801
e-113	優黒質モンソナイト	ゆうこくしつも んぞないと	e-111「モンソナイト」を参照	melamonzonite	219123802

e-114	準長石含有モ ンゾナイト	じゅんちようせ きがんゆうもん ぞないと	アルカリ長石, 斜長石, 準長石を含む深成岩で, 準長石/けい長質鉱物が0.1以下, アルカリ長石/長石が0.35~0.65, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。準長石の部分を主要な準長石鉱物名で置き換えることもできる。	foid-bearing monzonite	219123900
e-115	せん緑岩類 (閃緑岩類)	せんりよくが んるい	石英/けい長質鉱物が0.2以下, 準長石/けい長質鉱物が0.1以下, アルカリ長石/長石が0.35以下, 斜長石のアーサイト組成が50以上である深成岩の総称で, 苦鉄質鉱物が90%以下。(図:e-111「花崗岩類」を参照)	dioritoid	219124000
e-116	石英モンゾせん 緑岩 (石英モンゾ閃 緑岩)	せきえいもん ぞせんりよくが ん	石英, アルカリ長石, 斜長石を含む深成岩で, 石英/けい長質鉱物が0.05~0.2, アルカリ長石/長石が0.1~0.35, 斜長石のアーサイト組成が50以下, 苦鉄質鉱物が10~90%であるもの。(図:e-111「花崗岩類」を参照)	quartz monzodiorite	219124100
e-117	石英優白質モ ンゾせん緑岩 (石英優白質モ ンゾ閃緑岩)	せきえいゆう はくしつもん ぞせんりよくが ん	色指数15以下の石英モンゾせん緑岩。	quartz leucomonzodiorite	219124101
e-118	石英優黒質モ ンゾせん緑岩 (石英優黒質モ ンゾ閃緑岩)	せきえいゆうこ くしつもんぞ せんりよくが ん	色指数40以上の石英モンゾせん緑岩。	quartz melamonzodiorite	219124102
e-119	モンゾせん緑岩 (モンゾ閃緑岩)	もんぞせんりよ くがん	アルカリ長石, 斜長石を含む深成岩で, 石英/けい長質鉱物が0.05以下, アルカリ長石/長石が0.1~0.35, 斜長石のアーサイト組成が50以下, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。(図:e-111「花崗岩類」を参照)	monzodiorite	219124200
e-120	優白質モンゾ せん緑岩 (優白質モンゾ 閃緑岩)	ゆうはくしつ もんぞせんりよ くがん	色指数20以下のモンゾせん緑岩。	leucomonzodiorite	219124201
e-121	優黒質モンゾ せん緑岩 (優黒質モンゾ 閃緑岩)	ゆうこくしつ もんぞせんりよ くがん	色指数50以上のモンゾせん緑岩。	melamonzodiorite	219124202
e-122	準長石含有モ ンゾせん緑岩 (準長石含有モ ンゾ閃緑岩)	じゅんちようせ きがんゆうもん ぞせんりよくが ん	アルカリ長石, 斜長石, 準長石を含む深成岩で, 準長石/けい長質鉱物が0.1以下, アルカリ長石/長石が0.65~0.9, 斜長石のアーサイト組成が50以下, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。	foid-bearing monzodiorite	219124300
e-123	石英せん緑岩 (石英閃緑岩)	せきえいせん りよくがん	石英, 斜長石を含む深成岩で, 石英/けい長質鉱物が0.05~0.2, アルカリ長石/長石が0.1以下, 斜長石のアーサイト組成が50以下, 苦鉄質鉱物が10~90%であるもの。(図:e-111「花崗岩類」を参照)	quartz diorite	219124400
e-124	石英優白質せ ん緑岩 (石英優白質閃 緑岩)	せきえいゆう はくしつせん りよくがん	色指数20以下の石英せん緑岩。	quartz leucodiorite	219124401
e-125	石英優黒質せ ん緑岩 (石英優黒質閃 緑岩)	せきえいゆうこ くしつせんりよ くがん	色指数45以上の石英せん緑岩。	quartz meladiorite	219124402
e-126	せん緑岩 (閃緑岩)	せんりよくが ん	斜長石を含む深成岩で, 石英/けい長質鉱物が0.05以下, アルカリ長石/長石が0.1以下, 斜長石のアーサイト組成が50以下, 苦鉄質鉱物が10~90%であるもの。色指数25以下が優白質せん緑岩, 50以上が優黒質せん緑岩。(図:e-111「花崗岩類」を参照)	diorite	219124500
e-127	優白質せん緑 岩 (優白質閃緑岩)	ゆうはくしつ せんりよくが ん	e-126「せん緑岩」を参照	leucodiorite	219124501
e-128	優黒質せん緑 岩 (優黒質閃緑岩)	ゆうこくしつ せんりよくが ん	e-126「せん緑岩」を参照	meladiorite	219124502
e-129	準長石含有せ ん緑岩 (準長石含有閃 緑岩)	じゅんちようせ きがんゆうせ んりよくが ん	斜長石, 準長石を含む深成岩で, 準長石/けい長質鉱物が0.1以下, アルカリ長石/長石が0.1以下, 斜長石のアーサイト組成が50以下, 苦鉄質鉱物が10~90%であるもの。	foid-bearing diorite	219124600
e-130	はんれい岩類 (斑れい岩類)	はんれいが んるい	石英/けい長質鉱物が0.2以下, 準長石/けい長質鉱物が0.1以下, アルカリ長石/長石が0.35以下, 斜長石のアーサイト組成が50以上である深成岩の総称で, 苦鉄質鉱物が90%以下。(図:e-126「花崗岩類」を参照)	gabbroid	219125000
e-131	石英モンゾはん れい岩 (石英モンゾ斑 れい岩)	せきえいもん ぞはんれいが ん	石英, アルカリ長石, 斜長石を含む深成岩で, 石英/けい長質鉱物が0.05~0.2, アルカリ長石/長石が0.1~0.35, 斜長石のアーサイト組成が50以上, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。	quartz monzogabbro	219125100
e-132	石英優白質モ ンゾはんれい 岩 (石英優白質モ ンゾ斑れい岩)	せきえいゆう はくしつもん ぞはんれいが ん	色指数20以下の石英モンゾはんれい岩。	quartz leucomonzogabbro	219125101

e-133	石英優黒質モンゾはんれい岩 〔石英優黒質モンゾ斑れい岩〕	せきえいゆうこくしつもんぞはんれいがん	色指数50以上の石英モンゾはんれい岩。	quartz melamonzogabbro	219125102
e-134	モンゾはんれい岩 〔モンゾ斑れい岩〕	もんぞはんれいがん	アルカリ長石, 斜長石を含む深成岩で, 石英/けい長質鉱物が0.05以下, アルカリ長石/長石が0.1~0.35, 斜長石のアーサイト組成が50以上, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。(図:e-126「花崗岩類」を参照)	monzogabbro	219125200
e-135	優白質モンゾはんれい岩 〔優白質モンゾ斑れい岩〕	ゆうはくしつもんぞはんれいがん	色指数25以下のモンゾはんれい岩。	leucomonzogabbro	219125201
e-136	優黒質モンゾはんれい岩 〔優黒質モンゾ斑れい岩〕	ゆうこくしつもんぞはんれいがん	色指数60以上のモンゾはんれい岩。	melamonzogabbro	219125202
e-137	準長石含有モンゾはんれい岩 〔準長石含有モンゾ斑れい岩〕	じゅんちようせきがんゆうもんぞはんれいがん	アルカリ長石, 斜長石, 準長石を含む深成岩で, 準長石/けい長質鉱物が0.1以下, アルカリ長石/長石が0.65~0.9%, 斜長石のアーサイト組成が50以上, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。	foiid-bearing monzogabbro	219125300
e-138	石英はんれい岩 〔石英斑れい岩〕	せきえいはんれいがん	石英, 斜長石を含む深成岩で, 石英/けい長質鉱物が0.05~0.2, アルカリ長石/長石が0.1以下, 斜長石のアーサイト組成が5以上, 苦鉄質鉱物が10~90%であるもの。(図:e-126「花崗岩類」を参照)	quartz gabbro	219125400
e-139	優白質石英はんれい岩 〔優白質石英斑れい岩〕	ゆうはくしつせきえいはんれいがん	色指数25以下の石英はんれい岩。	quartz leucogabbro	219125401
e-140	優黒質石英はんれい岩 〔優黒質石英斑れい岩〕	ゆうこくしつせきえいはんれいがん	色指数55以上の石英はんれい岩。	quartz melagabbro	219125402
e-141	はんれい岩 〔斑れい岩〕	はんれいがん	斜長石を含む深成岩で, 石英/けい長質鉱物が0.05以下, アルカリ長石/長石が0.1以下, 斜長石のアーサイト組成が50以上, 苦鉄質鉱物が10~90%であるもの。狭義には輝石が単斜輝石であるもの。(図:e-126「花崗岩類」を参照)	gabbro	219125500
e-142	優白質はんれい岩 〔優白質斑れい岩〕	ゆうはくしつはんれいがん	色指数35以下のはんれい岩。	leucogabbro	219125501
e-143	優黒質はんれい岩 〔優黒質斑れい岩〕	ゆうこくしつはんれいがん	色指数65以上のはんれい岩。	melagabbro	219125502
e-144	ドレライト	どれらいと	中粒のはんれい岩。	dolerite	219125503
e-145	かんらん石はんれい岩 〔かんらん石斑れい岩〕	かんらんせきはんれいがん	斜長石, かんらん石, 単斜輝石からなる深成岩。広義のはん〔斑〕れい岩に属し, 斜方輝石/(斜長石+輝石) <0.05 , かんらん石/(斜長石+輝石+かんらん石) >0.05 , 普通角せん石〔角閃石〕/(斜長石+輝石+普通角閃石) <0.05 であるもの。	olivine gabbro	219125520
e-146	かんらん石優白質はんれい岩 〔かんらん石優白質斑れい岩〕	かんらんせきゆうはくしつはんれいがん	斜長石/(斜長石+輝石+かんらん石)が0.65~0.9であるかんらん石はんれい岩。	olivine leucogabbro	219125521
e-147	かんらん石優黒質はんれい岩 〔かんらん石優黒質斑れい岩〕	かんらんせきゆうこくしつはんれいがん	斜長石/(斜長石+輝石+かんらん石)が0.1~0.35であるかんらん石はんれい岩。	olivine melagabbro	219125522
e-148	輝石角せん石はんれい岩 〔輝石角閃石斑れい岩〕	きせきかくせんせきはんれいがん	斜長石, 角せん石〔角閃石〕, 単斜輝石からなる深成岩。広義のはん〔斑〕れい岩に属し, 普通角閃石/(斜長石+輝石+普通角閃石) >0.05 , 斜方輝石/(斜長石+輝石) <0.05 , かんらん石/(斜長石+輝石+かんらん石) <0.05 であるもの。	pyroxene hornblende gabbro	219125530
e-149	輝石角せん石優白質はんれい岩 〔輝石角閃石優白質斑れい岩〕	きせきかくせんせきゆうはくしつはんれいがん	斜長石/(斜長石+輝石+普通角せん石〔角閃石〕)が0.65~0.9である輝石角閃石はんれい岩。	pyroxene hornblende leucogabbro	219125531
e-150	輝石角せん石優黒質はんれい岩 〔輝石角閃石優黒質斑れい岩〕	きせきかくせんせきゆうこくしつはんれいがん	斜長石/(斜長石+輝石+普通角せん石〔角閃石〕)が0.1~0.35である輝石角閃石はんれい岩。	pyroxene hornblende melagabbro	219125532

e-151	斜方輝石はんれい岩 (斜方輝石斑れい岩)	しゃほうきせきはんれいがん	斜長石, 単斜輝石, 斜方輝石を含み, 単斜輝石>斜方輝石である深成岩。広義のはん(斑)れい岩に属し, 斜方輝石/(斜長石+輝石)>0.05であるもの。	orthopyroxene gabbro	219125540
e-152	斜方輝石優白質はんれい岩 (斜方輝石優白質斑れい岩)	しゃほうきせきゆうはくしつはんれいがん	斜長石/(斜長石+輝石+普通角せん石(角閃石))または斜長石/(斜長石+輝石+かんらん石)が0.65~0.9である斜方輝石はんれい岩。	orthopyroxene leucogabbro	219125541
e-153	斜方輝石優黒質はんれい岩 (斜方輝石優黒質斑れい岩)	しゃほうきせきゆうこくしつはんれいがん	斜長石/(斜長石+輝石+普通角せん石(角閃石))または斜長石/(斜長石+輝石+かんらん石)が0.1~0.35である斜方輝石はんれい岩。	orthopyroxene melagabbro	219125542
e-154	角せん石はんれい岩 (角閃石斑れい岩)	かくせんせきはんれいがん	斜長石, 角せん石(角閃石)からなる深成岩。広義のはん(斑)れい岩に属し, 輝石/(斜長石+輝石+普通角閃石)<0.05であるもの。	hornblende gabbro	219125550
e-155	角せん石優白質はんれい岩 (角閃石優白質斑れい岩)	かくせんせきゆうはくしつはんれいがん	斜長石/(斜長石+輝石+普通角せん石(角閃石))が0.65~0.9である角閃石はんれい岩。	hornblende leucogabbro	219125551
e-156	角せん石優黒質はんれい岩 (角閃石優黒質斑れい岩)	かくせんせきゆうこくしつはんれいがん	斜長石/(斜長石+輝石+普通角せん石(角閃石))が0.1~0.35である角閃石はんれい岩。	hornblende melagabbro	219125552
e-157	はんれいノーライト (斑れいノーライト)	はんれいのーらいと	斜長石, 斜方輝石, 単斜輝石からなる深成岩。広義のはん(斑)れい岩に属し, 斜方輝石/(斜長石+輝石)と単斜輝石/(斜長石+輝石)がともに0.05以上, かんらん石/(斜長石+輝石+かんらん石)<0.05であるもの。	gabbro norite	219125610
e-158	優白質はんれいノーライト (優白質斑れいノーライト)	ゆうはくしつはんれいのーらいと	斜長石/(斜長石+輝石+普通角せん石(角閃石))または斜長石/(斜長石+輝石+かんらん石)が0.65~0.9であるはんれいノーライト。	leucogabbro norite	219125611
e-159	優黒質はんれいノーライト (優黒質斑れいノーライト)	ゆうこくしつはんれいのーらいと	斜長石/(斜長石+輝石+普通角せん石(角閃石))または斜長石/(斜長石+輝石+かんらん石)が0.1~0.35であるはんれいノーライト。	melagabbro norite	219125612
e-160	かんらん石はんれいノーライト (かんらん石斑れいノーライト)	かんらんせきはんれいのーらいと	斜長石, かんらん石, 単斜輝石, 斜方輝石からなる深成岩。広義のはん(斑)れい岩に属し, 斜方輝石/(斜長石+輝石)と単斜輝石/(斜長石+輝石)がともに0.05以上, かんらん石/(斜長石+輝石+かんらん石)>0.05。	olivine gabbro norite	219125620
e-161	かんらん石優白質はんれいノーライト (かんらん石優白質斑れいノーライト)	かんらんせきゆうはくしつはんれいのーらいと	斜長石/(斜長石+輝石+かんらん石)が0.65~0.9であるかんらん石はんれいノーライト。	olivine leucogabbro norite	219125621
e-162	かんらん石優黒質はんれいノーライト (かんらん石優黒質斑れいノーライト)	かんらんせきゆうこくしつはんれいのーらいと	斜長石/(斜長石+輝石+かんらん石)が0.1~0.35であるかんらん石はんれいノーライト。	olivine melagabbro norite	219125622
e-163	輝石角せん石はんれいノーライト (輝石角閃石斑れいノーライト)	きせきかくせんせきはんれいのーらいと	斜長石, 角せん石(角閃石), 斜方輝石, 単斜輝石からなる深成岩。広義のはん(斑)れい岩に属し, 普通角閃石/(斜長石+輝石+普通角閃石)>0.05, 斜方輝石/(斜長石+輝石)と単斜輝石/(斜長石+輝石)がともに0.05以上であるもの。	pyroxene hornblende gabbro norite	219125630
e-164	輝石角せん石優白質はんれいノーライト (輝石角閃石優白質斑れいノーライト)	きせきかくせんせきゆうはくしつはんれいのーらいと	斜長石/(斜長石+輝石+普通角せん石(角閃石))が0.65~0.9である輝石角閃石はんれいノーライト。	pyroxene hornblende leucogabbro norite	219125631
e-165	輝石角せん石優黒質はんれいノーライト (輝石角閃石優黒質斑れいノーライト)	きせきかくせんせきゆうこくしつはんれいのーらいと	斜長石/(斜長石+輝石+普通角せん石(角閃石))が0.1~0.35である輝石角閃石はんれいノーライト。	pyroxene hornblende melagabbro norite	219125632
e-166	優白質ノーライト	ゆうはくしつのーらいと	斜長石/(斜長石+輝石+普通角せん石(角閃石))または斜長石/(斜長石+輝石+かんらん石)が0.65~0.9であるノーライト。	leuconorite	219125711
e-167	優黒質ノーライト	ゆうこくしつのーらいと	斜長石/(斜長石+輝石+普通角せん石(角閃石))または斜長石/(斜長石+輝石+かんらん石)が0.1~0.35であるノーライト。	melanorite	219125712

e-168	かんらん石ノーライト	かんらんせきのーらいと	斜長石, かんらん石, 斜方輝石からなる深成岩。広義のはん(斑)れい岩に属し, 単斜輝石/(斜長石+輝石) <0.05 , かんらん石/(斜長石+輝石+かんらん石) >0.05 であるもの。	olivine norite	219125720
e-169	かんらん石優白質ノーライト	かんらんせきゆうはくしつの一らいと	斜長石/(斜長石+輝石+かんらん石)が0.65~0.9であるかんらん石ノーライト。	olivine leuconorite	219125721
e-170	かんらん石優黒質ノーライト	かんらんせきゆうこくしつの一らいと	斜長石/(斜長石+輝石+かんらん石)が0.1~0.35であるかんらん石ノーライト。	olivine melanorite	219125722
e-171	輝石角せん石ノーライト (輝石角閃石ノーライト)	きせきかくせんせきのーらいと	斜長石, 角せん石(角閃石), 斜方輝石からなる深成岩。広義のはん(斑)れい岩に属し, 普通角閃石/(斜長石+輝石+普通角閃石) >0.05 , 単斜輝石/(斜長石+輝石) <0.05 , かんらん石/(斜長石+輝石+かんらん石) <0.05 であるもの。	pyroxene hornblende norite	219125730
e-172	輝石角せん石優白質ノーライト (輝石角閃石優白質ノーライト)	きせきかくせんせきゆうはくしつの一らいと	斜長石/(斜長石+輝石+普通角せん石(角閃石))が0.65~0.9である輝石角閃石ノーライト。	pyroxene hornblende leuconorite	219125731
e-173	輝石角せん石優黒質ノーライト (輝石角閃石優黒質ノーライト)	きせきかくせんせきゆうこくしつの一らいと	斜長石/(斜長石+輝石+普通角せん石(角閃石))が0.1~0.35である輝石角閃石ノーライト。	pyroxene hornblende melanorite	219125732
e-174	単斜輝石ノーライト	たんしゃきせきのーらいと	斜長石, 斜方輝石, 単斜輝石を含み, 斜方輝石 $>$ 単斜輝石である深成岩。広義のはん(斑)れい岩に属し, 単斜輝石/(斜長石+輝石) >0.05 であるもの。	clinopyroxene norite	219125740
e-175	単斜輝石優白質ノーライト	たんしゃきせきゆうはくしつの一らいと	斜長石/(斜長石+輝石+普通角せん石(角閃石))または斜長石/(斜長石+輝石+かんらん石)が0.65~0.9である単斜輝石ノーライト。	clinopyroxene leuconorite	219125741
e-176	単斜輝石優黒質ノーライト	たんしゃきせきゆうこくしつの一らいと	斜長石/(斜長石+輝石+普通角せん石(角閃石))または斜長石/(斜長石+輝石+かんらん石)が0.1~0.35である単斜輝石ノーライト。	clinopyroxene melanorite	219125742
e-177	トロクトライト	とろくとらいと	斜長石とかんらん石からなる深成岩。広義のはん(斑)れい岩に属し, 輝石/(斜長石+輝石+かんらん石) <0.05 であるもの。	troctolite	219125810
e-178	優白質トロクトライト	ゆうはくしつとろくとらいと	斜長石/(斜長石+輝石+普通角せん石(角閃石))が0.65~0.9であるトロクトライト。	leucotroctolite	219125811
e-179	優黒質トロクトライト	ゆうこくしつとろくとらいと	斜長石/(斜長石+輝石+普通角せん石(角閃石))が0.1~0.35であるトロクトライト。	melatroctolite	219125812
e-180	準長石含有はんれい岩 (準長石含有斑れい岩)	じゅんちようせきがんゆうはんれいがん	斜長石, 準長石を含む深成岩で, 準長石/けい長質鉱物が0.1以下, アルカリ長石/長石が0.1以下, 斜長石のアンサイト組成が50以上, 苦鉄質鉱物が10~90%であるもの。	foid-bearing gabbro	219125900
e-181	石英斜長岩	せきえいしゃちようがん	石英, 斜長石からなる深成岩で, 石英/けい長質鉱物が0.05~0.2, アルカリ長石/長石が0.1以下, 苦鉄質鉱物が10%以下であるもの。	quartz anorthosite	219126100
e-182	準長石含有斜長岩	じゅんちようせきがんゆうしゃちようがん	斜長石, 準長石からなる深成岩で, 準長石/(長石+準長石)が10%以下, アルカリ長石/長石が0.1以下, 苦鉄質鉱物が10%以下であるもの。	foid-bearing anorthosite	219126300
e-183	準長石せん長岩類 (準長石閃長岩類)	じゅんちようせきせんちようがんるい	アルカリ長石, 準長石からなる深成岩で, 準長石/(長石+準長石)が0.1~0.6, アルカリ長石/長石が0.5以上のものの総称。苦鉄質鉱物は90%以下。	foid syenitoid	219127000
e-184	準長石せん長岩 (準長石閃長岩)	じゅんちようせきせんちようがん	アルカリ長石, 準長石からなる深成岩で, 準長石/(長石+準長石)が0.1~0.6, アルカリ長石/長石が0.9以上, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。	foid syenite	219127100
e-185	準長石モンゾせん長岩 (準長石モンゾ閃長岩)	じゅんちようせきもんぞせんちようがん	アルカリ長石, 斜長石, 準長石からなる深成岩で, 準長石/(長石+準長石)が0.1~0.6, アルカリ長石/長石が0.5~0.9, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。	foid monzosyenite	219127200
e-186	準長石せん緑岩類 (準長石閃緑岩類)	じゅんちようせきせんりよくがんるい	斜長石, 準長石からなる深成岩で, 準長石/(長石+準長石)が0.1~0.6, アルカリ長石/長石が0.5以下のものの総称。苦鉄質鉱物は90%以下。	foid dioritoid	219128000
e-187	準長石モンゾせん緑岩 (準長石モンゾ閃緑岩)	じゅんちようせきもんぞせんりよくがん	斜長石, アルカリ長石, 準長石からなる深成岩で, 準長石/(長石+準長石)が0.1~0.6, アルカリ長石/長石が0.1~0.5, 斜長石のアンサイト成分が50以下, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。	foid monzodiorite	219128100
e-188	準長石せん緑岩 (準長石閃緑岩)	じゅんちようせきせんりよくがん	斜長石, 準長石からなる深成岩で, 準長石/(長石+準長石)が0.1~0.6, アルカリ長石/長石が0.1以下, 斜長石のアンサイト成分が50以下, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。	foid diorite	219128200

e-189	準長石はんれい岩類 (準長石斑れい岩類)	じゅんちょうせきはんれいがん	斜長石, 準長石からなる深成岩で, 準長石/(長石+準長石)が0.1~0.6, アルカリ長石/長石が0.5以下, 斜長石のAn-サイト成分が50以上のものの総称。苦鉄質鉱物は90%以下。	foid gabbroid	219129000
e-190	準長石モンゾはんれい岩 (準長石モンゾ斑れい岩)	じゅんちょうせきもんぞはんれいがん	斜長石, アルカリ長石, 準長石からなる深成岩で, 準長石/(長石+準長石)が0.1~0.6, アルカリ長石/長石が0.1~0.5, 斜長石のAn-サイト成分が50以上, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。	foid monzogabbro	219129100
e-191	準長石はんれい岩 (準長石斑れい岩)	じゅんちょうせきはんれいがん	斜長石, 準長石からなる深成岩で, 準長石/(長石+準長石)が0.1~0.6, アルカリ長石/長石が0.1以下, 斜長石のAn-サイト成分が50以上, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。	foid gabbro	219129200
e-192	フォイドライト	ふあいどらいと	準長石に富む深成岩で, 準長石/(長石+準長石)が0.6以上, 苦鉄質鉱物が90%以下であるもの。	foidolite	219131000
e-193	ウルタイト	うるたいと	主要な準長石がネフェリンであるフォイドライトで, 色指数が30以下であるもの。	urtite	219131010
e-194	アイヨライト	あいよらいと	主要な準長石がネフェリンであるフォイドライトで, 色指数が30~70であるもの。	ijolite	219131020
e-195	メルテイジャイト	めるといじやいと	主要な準長石がネフェリンであるフォイドライトで, 色指数が70以上であるもの。	melteigite	219131030
e-196	イタライト	いたらいと	主要な準長石がリューサイトであるフォイドライトで, 色指数が30以下であるもの。	italite	219131040
e-197	フェルグサイト	ふえるぐさいと	主要な準長石がリューサイトであるフォイドライトで, 色指数が30~70であるもの。	fergusite	219131050
e-198	ミズーライト	みずーらいと	主要な準長石がリューサイトであるフォイドライトで, 色指数が70以上であるもの。	missourite	219131060
e-199	火山岩	かざんがん	個々の結晶が肉眼で識別できないような, 比較的細粒 (<1mm程度) な火成岩。	volcanic rock	221000000
e-200	流紋岩類	りゅうもんがんにるい	岩相から流紋岩とみなされる岩石に対する野外における仮の記載用語。	rhyolitoid	221110000
e-201	アルカリ長石流紋岩	あるかりちようせきりゅうもんがんにるい	QAPF図上でP/(P+A)<0.1である流紋岩。	alkali feldspar rhyolite	221111000
e-202	流紋岩	りゅうもんがんにるい	全岩アルカリ量が8%以上かつSiO ₂ 量が69%以上, およびTAS図上で全岩SiO ₂ 量, アルカリ量が69%, 8%; 77%, 0%の点を結ぶ線分よりも高SiO ₂ 側の組成を持つ火山岩。	rhyolite	221112000
e-203	デイサイト類	でいさいとるい	岩相からデイサイトとみなされる岩石に対する野外における仮の記載用語。	dacitoid	221120000
e-204	デイサイト	でいさいと	全岩SiO ₂ 量が63%以上で, TAS図上で全岩SiO ₂ 量, アルカリ量が69%, 8%; 77%, 0%の点を結ぶ線分よりも低SiO ₂ 側かつ63%, 7%; 69%, 8%の点を結ぶ線分よりも高SiO ₂ 側の組成を持つ火山岩。	dacite	221121000
e-205	粗面岩類	そめんがんにるい	岩相から粗面岩とみなされる岩石に対する野外における仮の記載用語。	trachytoid	221130000
e-206	石英アルカリ長石粗面岩	せきえいあるかりちようせきそめんがんにるい	QAPF図上でQ/(Q+A+P)が0.5~0.2で, かつP/(P+A)が0.1以下の火山岩。	quartz alkali feldspar trachyte	221131000
e-207	アルカリ長石粗面岩	あるかりちようせきそめんがんにるい	QAPF図上でP/(P+A)が0.1以下の粗面岩。	alkali feldspar trachyte	221132000
e-208	準長石含有アルカリ長石粗面岩	じゅんちょうせきがんにゆうあるかりちようせきそめんがんにるい	アルカリ長石粗面岩のうちQAPF図上でF/(F+A+P)が0~0.1であるもの。	foid-bearing alkali feldspar trachyte	221133000
e-209	石英粗面岩	せきえいそめんがんにるい	QAPF図上でQ/(Q+A+P)が0.5~0.2で, かつP/(P+A)が0.10~0.35の火山岩。	quartz trachyte	221134000
e-210	粗面岩	そめんがんにるい	TAS図上で全岩SiO ₂ 量, アルカリ量が57.6%, 11.7%; 61%, 13.5%; 63%, 7%および69%, 8%の各点を通る線分で囲まれる領域内の組成を持ち, かつノルム石英が20%以下の火山岩。	trachyte	221135000
e-211	準長石含有粗面岩	じゅんちょうせきがんにゆうそめんがんにるい	粗面岩のうちQAPF図上でF/(F+A+P)が0~0.1であるもの。	foid-bearing trachyte	221136000
e-212	石英レータイト	せきえいれーたいと	QAPF図上でQ/(Q+A+P)が0.5~0.2で, かつP/(P+A)が0.35~0.65の火山岩。	quartz latite	221137000
e-213	レータイト	れーたいと	粗面安山岩のうちK ₂ O量がNa ₂ O-2.0以下のもの。	latite	221138000
e-214	準長石含有レータイト	じゅんちょうせきがんにゆうれーたいと	レータイトのうちQAPF図上でF/(F+A+P)が0.0~0.1であるもの。	foid-bearing latite	221139000
e-215	安山岩類	あんざんがんにるい	岩相から安山岩とみなされる岩石に対する野外における仮の記載用語。	andesitoid	221140000
e-216	安山岩	あんざんがんにるい	全岩SiO ₂ 量が57から63%で, TAS図上で全岩SiO ₂ 量, アルカリ量が57%, 5.9%および63%, 7%の点を結ぶ線分よりも低アルカリ側の組成を持つ火山岩。	andesite	221141000

e-217	玄武岩類	げんぶがんに い	岩相から玄武岩とみなされる岩石に対する野外における 仮の記載用語。	basaltoid	221150000
e-218	フォノリトイド フォノライト類	ふおのりといど	長石を含み斜長石よりもアルカリ長石が多く、岩相から フォノライトとみなされる岩石に対する野外における仮の 記載用語。	phonolitoid	221160000
e-219	フォノライト	ふおのらいと	TAS図上で全岩SiO ₂ 量, アルカリ量が52.5%, 14%と 57.6%, 11.7%の点を通る直線および57.6%, 11.7%と 61% 13.5%の点を通る直線よりも高アルカリ側の組成を持 つ火山岩。	phonolite	220161000
e-220	テフライト質 フォノライト	てふらいとし つふおのらい と	QAPF図上でF/(F+A+P)が0.1~0.6かつP/(P+A)が0.5 以下の火山岩あるいはTAS図上で全岩SiO ₂ 量, アルカリ 量が48.4%, 11.5%; 53%, 9.3%; 57.6% 11.7%; 52.5%, 14%の領域 の組成を持つ火山岩。	tephritic phonolite	220162000
e-221	テフリトイド テフライト類	てふりといど	岩相からテフライトとみなされる岩石に対する野外におけ る仮の記載用語。	tephritoid	220170000
e-222	フォノライト質テ フライト	ふおのらいとし つてふらいと	QAPF図上でF/(F+A+P)が0.1~0.6かつP/(P+A)が 0.5~0.9の火山岩で、カンラン石含有量が10%以下のも の。	phonolitic tephrite	220171000
e-223	フォノライト質 ベイサナイト	ふおのらいとし つべいさな いと	QAPF図上でF/(F+A+P)が0.1~0.6かつP/(P+A)が 0.5~0.9の火山岩で、カンラン石を10%以上含むもの。	phonolitic basanite	220172000
e-224	テフライト	てふらいと	TAS図上で全岩SiO ₂ 量, アルカリ量が41%, 3%; 45%, 3 %; 45%, 5%; 49.4%, 7.3%; 41%, 3%; 45%, 9.4%; 41%, 7%の各 点を結ぶ線分で囲まれる領域の組成を持ち、ノルムカン ラン石が10%以下の火山岩。	tephrite	220173000
e-225	ベイサナイト	べいさな いと	TAS図上で全岩SiO ₂ 量, アルカリ量が41%, 3%; 45%, 3 %; 45%, 5%; 49.4%, 7.3%; 41%, 3%; 45%, 9.4%; 41%, 7%の各 点を結ぶ線分で囲まれる領域の組成を持ち、ノルムカン ラン石が10%以上の火山岩。	basanite	220174000
e-226	準長石火山岩 類	じゅんちよう せきかざん がんに い	岩相から準長石火山岩とみなされる岩石に対する野外 における仮の記載用語。	foiditoid	220180000
e-227	フォノライト質 準長石火山岩	ふおのらいとし つじゅんち ようせき かざんが ん	QAPF図上でF/(F+A+P)が0.6~0.9かつP/(P+A)が0.5 以下の火山岩。	phonolitic foid volcanic rock	220181000
e-228	フォノライト質 ネフェリナイト	ふおのらいとし つねふえり な いと	フォノライト質準長石火山岩のうち、主要な準長石がネ フェリンであるもの。	phonolitic nephelinite	220181100
e-229	フォノライト質 アナルシマイト	ふおのらいとし つあなるし まいと	フォノライト質準長石火山岩のうち、主要な準長石がア ナルシムであるもの。	phonolitic analcimite	220181300
e-230	フォノライト質 ソーダライタイ ト	ふおのらいとし つそーだら いた いと	フォノライト質準長石火山岩のうち、主要な準長石がソー ダふっ石であるもの。	phonolitic sodalite	220181700
e-231	テフライト質 準長石火山岩	てふらいとし つじゅんち ようせき かざんが ん	QAPF図上でF/(F+A+P)が0.6~0.9かつP/(P+A)が0.5 以上の火山岩。	tephritic foid volcanic rock	220182000
e-232	テフライト質 ネフェリナイト	てふらいとし つねふえり な いと	テフライト質準長石火山岩のうち、主要な準長石がネフェ リンであるもの。	tephritic nephelinite	220182100
e-233	テフライト質 アナルシマイト	てふらいとし つあなるし まいと	テフライト質準長石火山岩のうち、主要な準長石がア ナルシムであるもの。	tephritic analcimite	220182300
e-234	準長石火山岩	じゅんちよう せきかざん がんに い	SiO ₂ < 41%あるいはTAS図上でSiO ₂ , アルカリ量が41%, 7 %; 52.5%, 14%を結ぶ線分よりも低SiO ₂ 側の領域の火山 岩。	foidite	220184000
e-235	ネフェリナイト	ねふえりな いと	ネフェリンが主要な準長石相であるフォイダイト。	nephelinite	220184100
e-236	メリライト ネフェリ ナイト	めりらいと ねふえり な いと	TAS図上でフォイダイト, テフライトおよびベイサナイトに 区分される岩石のうち、カルシウムオルソケイ酸塩鉱物が ノルム10%以下の火山岩。	mellilite nephelinite	220184110
e-237	メリライト リュウ サイタイト	めりらいと りゅうさい た いと	メリライトを含むリュウサイタイト。	mellilite leucite	220184210
e-238	アナルシマイト	あなるし まいと	QAPF図上でF/(F+A+P) > 0.9かつアナルシムが主要な準 長石相である火山岩。	analcimite	220184300
e-239	ソーダライタイ ト	そーだら いた いと	フォイダイトのうちソーダライトが主要な準長石相である火 山岩。	sodalite	220184700
e-240	けい長質火山 岩 [珪長質火山岩]	けいちよう しつ かざん がんに い	SiO ₂ 量がおおよそ63%以上である火山岩。	felsic volcanic rock	221200700
e-241	高マグネシウム 火山岩	こうまぐね しう むかざん がんに い	SiO ₂ > 52%, MgO > 8%, TiO ₂ < 0.5%であるか, SiO ₂ = 30 ~ 52%, MgO > 12%, (Na O + K O) < 3%である火成岩。	high-magnesian volcanic rock	221210000

e-242	コマチャイト コマチャイト	こまちやいと	SiO <53%,MgO>18%,Na O+K O<1%かつTiO <1%の火山岩。	komatiite	221211100
e-243	メイメチャイト	めいめちやいと	SiO <53%,MgO>18%,Na O+K O<1%かつTiO >1%の火山岩。	meymechite	221212100
e-244	ピクライト	ぴくらいと	SiO <53%MgO>18%でNa O+K Oが1~2%の火山岩。	picrite	221213100
e-245	ボニナイト	ぼにないと	SiO >53%MgO>8%かつTiO <0.5%の火山岩。小笠原の古名,無人(ぶにん)にちなみ命名された。	boninite	221213400
e-246	非アルカリ・アルカリ火山岩	ひあるかり・あるかりかざんがん	アルカリ火山岩・非アルカリ火山岩。	subalkalic - alkalic volcanic rock	221220000
e-247	非アルカリ火山岩 サブアルカリ火山岩	ひあるかりかざんがん	ノルムネフェリンを含まない火山岩。	subalkalic volcanic rock	221230010
e-248	サブアルカリ火山岩	さぶあるかりかざんがん	e-247「非アルカリ火山岩」を参照	subalkalic volcanic rock	
e-249	アルカリ火山岩	あるかりかざんがん	ノルムネフェリンを含む火山岩。	alkali volcanic rock	221230020
e-250	過アルカリ火山岩	かあるかりかざんがん	Na OおよびK Oの分子量の合計がAl O よりも大きい火山岩。	peralkaline volcanic rock	221230030
e-251	ピクロ玄武岩	ぴくろげんぶがん	SiO 量が41~45%かつNa O+K O量が3%以下の火山岩。	picrobasalt	221224200
e-252	非アルカリ玄武岩	ひあるかりげんぶがん	ノルムネフェリンを含まない玄武岩。	subalkalic basalt	221224310
e-253	アルカリ玄武岩	あるかりげんぶがん	ノルムネフェリンを含む玄武岩。	alkali basalt	221224320
e-254	玄武岩質安山岩	げんぶがんしつあんざんがん	全岩SiO 量が52から57%で,TAS図上で全岩SiO 量,アルカリ量が52%,5%および57%,5.9%の点を結ぶ線分よりも低アルカリ側の組成を持つ火山岩。	basaltic andesite	221224400
e-255	過アルカリ流紋岩	かあるかりりゅうもんがん	Na OおよびK Oの分子量の合計がAl O よりも大きいアルカリ流紋岩。	peralkaline rhyolite	221224730
e-256	コメンダイト	こめんだいと	過アルカリ流紋岩のうちAl O 量がFeO*量×1.33+4.4よりも大きいもの。	comendite	221224731
e-257	パンテレライト	ぱんてれらいと	過アルカリ流紋岩のうちAl O 量がFeO*量×1.33+4.4よりも小さいもの。	pantellerite	221224732
e-258	粗面玄武岩	そめんげんぶがん	TAS図上で全岩SiO 量,アルカリ量が45%,5%;49.4%,7.3%;52%,5%の各点を結ぶ線分で囲まれる領域内の組成を持つ火山岩。	trachybasalt	221225300
e-259	ハワイアイト	はわいあいと	粗面玄武岩のうちK O量がNa O-2.0以上のもの。	hawaiite	221225301
e-260	カリ質粗面玄武岩	かりしつそめんげんぶがん	粗面玄武岩のうちK O量がNa O-2.0以下のもの。	potassic trachybasalt	221225302
e-261	玄武岩質粗面安山岩	げんぶがんしつそめんあんざんがん	TAS図上で全岩SiO 量,アルカリ量が49.4%,7.3%;53%,9.3%;57%,5.9%および52%,5%の各点を結ぶ線分で囲まれる領域内の組成を持つ火山岩。	basaltic trachyandesite	221225400
e-262	ミュージアライト	みゅーじあらいと	玄武岩質粗面安山岩のうちK O量がNa O-2.0以上のもの。	mugearite	221225401
e-263	ショショナイト	しよしよないと	玄武岩質粗面安山岩のうちK O量がNa O-2.0以下のもの。	shoshonite	221225402
e-264	粗面安山岩	そめんあんざんがん	TAS図上で全岩SiO 量,アルカリ量が53%,9.3%;57.6%,11.7%;63%,7%および57%,5.9%の各点を結ぶ線分で囲まれる領域内の組成を持つ火山岩。	trachyandesite	221225500
e-265	ベンモレライト	べんもれあいと	粗面安山岩のうち,Na O-2.0>K Oであるもの。	benmoreite	221225501
e-266	過アルカリ粗面岩	かあるかりそめんがん	Na OおよびK Oの分子量の合計がAl O よりも大きい粗面岩。	peralkaline trachyte	221225630
e-267	コメンダイト質粗面岩	こめんだいとしつそめんがん	過アルカリ粗面岩のうちAl O 量がFeO*量×1.33+4.4よりも大きいもの。	comenditic trachyte	221225631
e-268	パンテレライト質粗面岩	ぱんてれらいとしつそめんがん	過アルカリ粗面岩のうちAl O 量がFeO*量×1.33+4.4よりも小さいもの。	pantelleritic trachyte	221225632
e-269	フォノテフライト	ふおのてふらいと	TAS図上で全岩SiO 量,アルカリ量が45%,9.4%;49.4%,7.3%;53%,9.3%および48.4%,11.5%の各点を通る線分で囲まれる領域内の組成を持つ火山岩。	phonotephrite	221226400
e-270	テフリフォノライト	てふりふおのらいと	TAS図上で全岩SiO 量,アルカリ量が48.4%,11.5%;53%,9.3%;57.6%,11.7%および52.5%,14%の各点を通る線分で囲まれる領域内の組成を持つ火山岩。	tephriphonolite	221226500
e-271	粗面デイサイト	そめんていさいと	TAS図上で全岩SiO 量,アルカリ量が57.6%,11.7%;61%,13.5%;63%,7%および69%,8%の各点を通る線分で囲まれる領域内の組成を持ち,かつノルム石英が20%以上の火山岩。	trachydacite	221226600

e-272	アナルシイマイ ト	あなるしいま いと	QAPF図上でF/(F+A+P)が0.1~0.6かつP/(P+A)が0.9以上の火山岩で、主要な準長石相が方沸石であるもの。	analcimite	221227103
e-273	メラネフェリナイ ト	めらねふえり ないと	TAS図でフィールドU1またはFに入り、ノルム ne<20%でかつ、ノルムabが存在はするが5%以下であるもの。	melanephelinite	221227106
e-274	過アルカリフォ ノライト	かあるかり ふおのらいと	Na OおよびK Oの分子量の合計がAl O よりも大きいフォノライト。	peralkaline phonolite	221227630
e-275	黄長岩	おうちょうがん	e-17「メリリタイト」を参照	mellitite	
e-276	フォノライト類	ふおのらいとる い	e-218「フォノリトイド」を参照		
e-277	テフライト類	てふらいとる い	e-221「テフリトイド」を参照		
e-278	けい長質鉱物 (珪長質鉱物)	けいちょうしつ こうぶつ	Si, Al, K, Naに富む鉱物の総称。シリカ鉱物(石英, トレディマイト, クリストバライト), アルカリ長石, 斜長石, 準長石などを含む。	felsic minerals	
e-279	苦鉄質鉱物	くてつしつこう ぶつ	FeやMgに富む鉱物(雲母(雲母), 角せん石(角閃石), 輝石, かんらん石, 不透明鉱物など)の総称。	mafic minerals	
e-280	色指数	いろしすう	火成岩に含まれる有色鉱物(雲母(雲母), 輝石, 角せん石(角閃石), かんらん石, 不透明鉱物, 副成分鉱物などの苦鉄質鉱物から, 白雲母, アパタイトなどを除いたもの)の割合の100分率値。		
e-281	斜長石のアノー サイト組成	しゃちょうせき のあの一さい とせせい	斜長石中のアノーサイト(CaAl Si O)成分をモル百分率で表した値。	anorthite content of plagioclase	
e-282	高カリウム火山 岩	こうかりうむか ざんがん	SiO -K O図上でSiO , K O量が48%, 1.2%; 68%, 3.1%を結ぶ線よりも高K O側の組成を持つ火山岩。	high-K volcanic rock	
e-283	中カリウム火山 岩	ちゅうかりうむ かざんがん	SiO -K O図上でSiO , K O量が48%, 1.2%; 68%, 3.1%を結ぶ線と48%, 0.3%; 68%, 1.2%を結ぶ線の間の組成を持つ火山岩。	medium-K volcanic rock	
e-284	低カリウム火山 岩類	ていかりうむ かざんがん	SiO -K O図上でSiO , K O量が48%, 0.3%; 68%, 1.2%を結ぶ線よりも低K O側の組成を持つ火山岩。	low-K volcanic rock	
e-285	TAS図	たすず	100%規格化した, 全岩SiO に対する全岩Na O+K O量を示した図。	TAS diagram	
e-286	けい長質 (珪長質)	けいちょうしつ	火成岩が石英や長石などのけい長質(珪長質)鉱物(無色鉱物)に富むこと。国際地質科学連合による火成岩の命名法では非推奨用語。	felsic silicic	
e-287	苦鉄質	くてつしつ	火成岩が苦鉄質鉱物(有色鉱物)に富むこと。国際地質科学連合による火成岩の命名法では非推奨用語。	mafic	
e-288	超苦鉄質	ちゅうくてつし つ	火成岩が苦鉄質鉱物(有色鉱物)に著しく富むこと。国際地質科学連合による火成岩の命名法では「超苦鉄質岩」としてのみ使用される。	ultramafic	
e-289	優白質	ゆうはくしつ	火成岩岩石名の接頭辞として用いられる場合は, その基本名の岩石よりも色指数が低い岩石を示す。色指数のしきい値は基本となる岩石毎に定められている。一般的には火成岩の色指数が低いこと(10~35)を示す。	leuco, leucocratic	
e-290	優黒質	ゆうこくしつ	火成岩岩石名の接頭辞として用いられる場合は, その基本名の岩石よりも色指数が高い岩石を示す。色指数のしきい値は基本名の岩石毎に定められている。一般的には火成岩の色指数が高いこと(65~90)を示す。	mela-, melanocratic	
e-291	酸性	さんせい	火成岩がSiO に富むこと(63%以上)を示す。	acid	
e-292	中性	ちゅうせい	火成岩のSiO が中程度であること(52%~63%)を示す。	neutrality	
e-293	塩基性	えんきせい	火成岩がSiO に乏しいこと(45%~52%)を示す。	basic	
e-294	超塩基性	ちょうえんきせ い	火成岩がSiO に著しく乏しいこと(45%以下)を示す。	ultrabasic	
f-1	テフラ	てふら	火砕粒子が全体の体積の75%を超える未固結たい積物	tephra	211010000
f-2	細粒火山灰	さいりゅうかさ んばい	細粒火山灰粒子の大きさ(直径1/16mm未満)の粒子からなるテフラ	fine ash	211010100
f-3	ガラス質細粒 火山灰	がらすしつさい りゅうかさ んばい	その大半を火山ガラス片と軽石片もしくはスコリア片が占める細粒火山灰	vitric fine ash	211011100
f-4	結晶質細粒火 山灰	けっしょうしつ さいりゅうかさ んばい	その大半を結晶片が占める細粒火山灰	crysatl fine ash	211012100
f-5	石質細粒火山 灰	せきしつさい りゅうかさ んばい	その大半を岩片が占める細粒火山灰	lithic fine ash	211013100
f-6	粗粒火山灰	そりゅうかさ んばい	直径2mm未満から1/16mm以上までの粒子からなるテフラ	coarse ash	211010200
f-7	ガラス質粗粒 火山灰	がらすしつそ りゅうかさ んばい	その大半を火山ガラス片と軽石片もしくはスコリア片が占める粗粒火山灰	vitric coarse ash	211011200
f-8	結晶質粗粒火 山灰	けっしょうしつ そりゅうかさ んばい	その大半を結晶片が占める粗粒火山灰	crystal coarse ash	211012200

f-9	石質粗粒火山灰	せきしつそりゅうかざんばい	その大半を岩片が占める粗粒火山灰	lithic coarse volcanic ash	211013200
f-10	火山灰	かざんばい	火山灰粒子(直径2mm未満の火砕粒子)が全体の体積の75%を超える未固結たい積(堆積)物	ash	211010300
f-11	ガラス質火山灰	がらすしつかざんばい	その大半を火山ガラス片と軽石片もしくはスコリア片が占める火山灰	vitric ash	211011300
f-12	結晶質火山灰	けっしょうしつかざんばい	その大半を結晶片が占める火山灰	crystal ash	211012300
f-13	石質火山灰	せきしつかざんばい	その大半を岩片が占める火山灰	lithic ash	211013300
f-14	火山れきテフラ 〔火山礫テフラ〕	かざんれきてふら	直径2mm～64 mmの粒子からなるテフラ	lapilli tephara	211010400
f-15	石質火山れきテフラ 〔石質火山礫テフラ〕	せきしつかざんれきてふら	その大半を岩片が占める火山れきテフラ	lithic lapilli tephara	211013400
f-16	軽石火山れきテフラ 〔軽石火山礫テフラ〕	かるいしかざんれきてふら	その大半を軽石片が占める火山れきテフラ	pumice lapilli tephara	211014400
f-17	スコリア火山れきテフラ 〔スコリア火山礫テフラ〕	すこりあかざんれきてふら	その大半をスコリア片が占める火山れきテフラ	scoria lapilli tephara	211015400
f-18	火山岩塊テフラ	かざんがんかいてふら	火山岩塊(直径64mmよりも大きな火砕粒子)が全体の体積の75%を超え、火山灰粒子(直径2mm未満の火砕粒子)と火山れき(直径2mm～64 mmの火砕粒子)が全体の体積の75%未満を占める未固結たい積(堆積)物	block tephra	211010500
f-19	石質火山岩塊テフラ	せきしつかざんがんかいてふら	その大半を岩片が占める火山岩塊テフラ	lithic block tephra	211013500
f-20	軽石火山岩塊テフラ	かるいしかざんがんかいてふら	その大半を軽石片が占める火山岩塊テフラ	pumice block tephra	211014500
f-21	スコリア火山岩塊テフラ	すこりあかざんがんかいてふら	その大半をスコリア片が占める火山岩塊テフラ	scoria block tephra	211015500
f-22	火山弾テフラ	かざんだんてふら	その大半を火山弾(塑性変形した溶岩片)が占める火山岩塊テフラ	bomb tephra	211016500
f-23	火砕岩	かさいがん	火砕粒子が全体の体積の75%以上を占める固結たい積物	pyroclastic rock	210020000
f-24	アグルチネート	あぐるちねーと	主として火山れき(火山礫)や火山岩塊の大きさのスコリア、火山弾などからなり、軽度に溶結した火砕岩	agglutinate	210036500
f-25	流動アグルチネート(溶岩)	りゅうどうあぐるちねーと(ようがん)	主として火山れき(火山礫)や火山岩塊の大きさのスコリア、火山弾などからなり、強く溶結して流動した岩石	flow agglutinate	210046500
f-26	細粒凝灰岩	さいりゅうぎょうかいがん	細粒火山灰粒子の大きさ(直径1/16mm未満)の粒子からなる凝灰岩	fine tuff	211020100
f-27	ガラス質細粒凝灰岩	がらすしつさいりゅうぎょうかいがん	その大半を火山ガラス片と軽石片もしくはスコリア片が占める細粒凝灰岩	vitric fine tuff	211021100
f-28	結晶質細粒凝灰岩	けっしょうしつさいりゅうぎょうかいがん	その大半を結晶片が占める細粒凝灰岩	crystal fine tuff	211022100
f-29	石質細粒凝灰岩	せきしつさいりゅうぎょうかいがん	その大半を岩片が占める細粒凝灰岩	lithic fine tuff	211023100
f-30	粗粒凝灰岩	そりゅうぎょうかいがん	直径2mm未満から1/16mm以上までの粒子からなる凝灰岩	coarse tuff	211020200
f-31	ガラス質粗粒凝灰岩	がらすしつそりゅうぎょうかいがん	その大半を火山ガラス片と軽石もしくはスコリアが占める粗粒凝灰岩	vitric coarse tuff	211021200
f-32	結晶質粗粒凝灰岩	けっしょうしつそりゅうぎょうかいがん	その大半を結晶片が占める粗粒凝灰岩	crystal coarse tuff	211022200
f-33	石質粗粒凝灰岩	せきしつそりゅうぎょうかいがん	その大半を岩片が占める粗粒凝灰岩	lithic coarse tuff	211023200
f-34	凝灰岩	ぎょうかいがん	火山灰粒子(直径2mm未満の火砕粒子)が全体の体積の75%を超える固結たい積(堆積)物	tuff	211020300
f-35	ガラス質凝灰岩	がらすしつぎょうかいがん	その大半を火山ガラス片と軽石片もしくはスコリア片が占める凝灰岩	vitric tuff	211021300

f-36	結晶質凝灰岩	けっしょうしつぎょうかいがん	その大半を結晶片が占める凝灰岩	crystal tuff	211022300
f-37	石質凝灰岩	せきしつぎょうかいがん	その大半を岩片が占める凝灰岩	lithic tuff	211023300
f-38	火山れき凝灰岩 〔火山礫凝灰岩〕	かざんれきぎょうかいがん	火山岩塊もしくは火山弾(直径64mmよりも大きな火砕粒子)が全体の体積の25%未満で、火山灰粒子(直径2mm未満の火砕粒子)と火山れき(直径2mm～64mmの火砕粒子)が全体の体積の75%未満を占める固結たい積(堆積)物	lapilli tuff	212020400
f-39	石質火山れき凝灰岩 〔石質火山礫凝灰岩〕	せきしつかざんれきぎょうかいがん	その大半を岩片が占める火山れき凝灰岩	lithic lapilli tuff	212023400
f-40	軽石火山れき凝灰岩 〔軽石火山礫凝灰岩〕	かるいしかざんれきぎょうかいがん	その大半を軽石片が占める火山れき凝灰岩	pumice lapilli tuff	212024400
f-41	スコリア火山れき凝灰岩 〔スコリア火山礫凝灰岩〕	すこりあかざんれきぎょうかいがん	その大半をスコリア片が占める火山れき凝灰岩	scoria lapilli tuff	212025400
f-42	火山れき岩 〔火山礫岩〕	かざんれきがん	火山灰粒子(直径2mm未満の火砕粒子)と火山岩塊もしくは火山弾(直径64mmよりも大きな火砕粒子)がそれぞれ全体の体積の25%未満で、火山れき(直径2mm～64mmの火砕粒子)が全体の体積の75%を超える固結たい積(堆積)物	lapillistone	211020400
f-43	石質火山れき岩 〔石質火山礫岩〕	せきしつかざんれきがん	その大半を岩片が占める火山れき岩	lithic lapillistone	211023400
f-44	軽石火山れき岩 〔軽石火山礫岩〕	かるいしかざんれきがん	その大半を軽石片が占める火山れき岩	pumice lapillistone	211024400
f-45	スコリア火山れき岩 〔スコリア火山礫岩〕	すこりあかざんれきがん	その大半をスコリア片が占める火山れき岩	scoria lapillistone	211025400
f-46	凝灰角れき岩 〔凝灰角礫岩〕	ぎょうかいかくれきがん	火山岩塊もしくは火山弾(直径64mmよりも大きな火砕粒子)が全体の体積の25%以上75%以下を占める固結たい積物	tuff breccia	212020600
f-47	石質凝灰角れき岩 〔石質凝灰角礫岩〕	せきしつぎょうかいかくれきがん	その大半を岩片が占める凝灰角れき岩	lithic tuff breccia	212023600
f-48	軽石凝灰角れき岩 〔軽石凝灰角礫岩〕	かるいしぎょうかいかくれきがん	その大半を軽石片が占める凝灰角れき岩	pumice tuff breccia	212024600
f-49	スコリア凝灰角れき岩 〔スコリア凝灰角礫岩〕	すこりあぎょうかいかくれきがん	その大半をスコリア片が占める凝灰角れき岩	scoria tuff breccia	212025600
f-50	火砕角れき岩 〔火砕角礫岩〕	かさいかくれきがん	火山岩塊もしくは火山弾(直径64mmよりも大きな火砕粒子)が全体の体積の75%を超える固結たい積物	pyroclastic breccia	211020500
f-51	石質角れき岩 〔石質角礫岩〕	せきしつかくれきがん	その大半を岩片が占める角れき岩。石質火砕角れき岩〔角礫岩〕とも。	lithic pyroclastic breccia	211023500
f-52	軽石角れき岩 〔軽石角礫岩〕	かるいしかかくれきがん	その大半を軽石片が占める火砕角れき岩。軽石火砕角れき岩〔角礫岩〕とも。	pumice pyroclastic breccia	211024500
f-53	スコリア角れき岩 〔スコリア角礫岩〕	すこりあかくれきがん	その大半をスコリア片が占める火砕角れき岩。スコリア火砕角れき岩〔角礫岩〕とも。	scoria pyroclastic breccia	211025500
f-54	溶結火砕岩	ようけつかさいがん	熱と荷重で溶結した火砕岩	welded pyroclastic rock	210030000
f-55	溶結凝灰岩	ようけつぎょうかいがん	熱と荷重で溶結した凝灰岩	welded tuff	211030300
f-56	溶結火山れき凝灰岩 〔溶結火山礫凝灰岩〕	ようけつかざんれきぎょうかいがん	熱と荷重で溶結した火山れき凝灰岩	welded lapilli tuff	212030400
f-57	溶結凝灰角れき岩 〔溶結凝灰角礫岩〕	ようけつぎょうかいかくれきがん	熱と荷重で溶結した凝灰角れき岩、アグロメレートとも。	welded tuff breccia	212030600
f-58	流動溶結火砕岩	りゅうどうようけつかさいがん	熱と荷重で溶結し、流動した火砕岩	flow welded pyroclastic rock	210040000

f-59	流動溶結凝灰岩	りゅうどうようけつぎょうかいがん	熱と荷重で溶結し、流動した凝灰岩	flow welded tuff	211040300
f-60	流動溶結火山れき凝灰岩 〔流動溶結火山礫凝灰岩〕	りゅうどうようけつつかざんれきぎょうかいがん	熱と荷重で溶結し、流動した火山れき凝灰岩	flow welded lapilli tuff	212040400
f-61	流動溶結凝灰角れき岩 〔流動溶結凝灰角礫岩〕	りゅうどうようけつぎょうかいかくれきがん	熱と荷重で溶結し、流動した凝灰角れき岩、	flow welded tuff breccia	212040600
f-62	火山角れき岩 〔火山角礫岩〕	かざんかくれきがん	その大半を火山岩の粗粒な破片が占める砕せつ〔碎屑〕粒子の集合体。火砕角れき岩〔角礫岩〕よりも広義で、これと対応させて使う場合は直径は64mmを超える火山岩片が大半を占めるものをいう。もっと広く、れき岩〔礫岩〕に対応させて使う場合は直径2mmを超える火山岩片が大半を占めるものをいう。	volcanic breccia	200020600
f-63	火砕岩起源の再たい積岩 〔火砕岩起源の再堆積岩〕	かさいがんきげんのさいたいせきがん	火砕粒子または火山岩（火砕岩を含む）起源の砕せつ〔碎屑〕粒子が大半（全体積の75以下、25%以上）を占めるたい積（堆積）岩。	tuffite	221020000
f-64	凝灰質泥岩	ぎょうかいしつでいがん	火山灰粒子が大半（全体積の75以下、25%以上）を占める泥岩。	tuffaceous mudstone	221020100
f-65	凝灰質シルト岩	ぎょうかいしつしとがん	細粒火山灰粒子が大半（全体積の75以下、25%以上）を占めるシルト岩	tuffaceous siltstone	221020200
f-66	凝灰質砂岩	ぎょうかいしつさがん	火山灰粒子が大半（全体積の75以下、25%以上）を占める砂岩	tuffaceous sandstone	221020300
f-67	凝灰質れき岩 〔凝灰質礫岩〕	ぎょうかいしつれきがん	直径2mmを超える火砕粒子が大半（全体積の75以下、25%以上）を占めるれき岩	tuffaceous conglomerate	221020400
f-68	凝灰質角れき岩 〔凝灰質角礫岩〕	ぎょうかいしつかくれきがん	直径2mmを超える火砕粒子が大半（全体積の75以下、25%以上）を占める角れき岩	tuffaceous breccia	221020600
f-69	火砕たい積物 〔火砕堆積物〕	かさいたいせきぶつ	火砕粒子が全体積の75%を超えるたい積物	pyroclastic deposits	210000000
f-70	陸上火砕たい積物 〔陸上火砕堆積物〕	りくじょうかさいたいせきぶつ	陸上に定置した火砕たい積物	subaerial pyroclastic deposits	210100000
f-71	火砕降下たい積物 〔火砕降下堆積物〕	かさいこうかたいせきぶつ	大気中を降下し集積した火砕たい積物	pyroclastic air-fall deposits	211100010
f-72	火山灰降下たい積物 〔火山灰降下堆積物〕	かざんぱいこうかたいせきぶつ	火山灰粒子がその大半を占める火砕降下たい積物	ash air-fall deposits	211100310
f-73	軽石降下たい積物 〔軽石降下堆積物〕	かるいしこうかたいせきぶつ	軽石片がその大半を占める火砕降下たい積物	pumice air-fall deposits	211104410
f-74	スコリア降下たい積物 〔スコリア降下堆積物〕	すこりあこうかたいせきぶつ	スコリア片がその大半を占める火砕降下たい積物	scoria air-fall deposits	211105410
f-75	スパター降下たい積物 〔スパター降下堆積物〕	すばたーこうかたいせきぶつ	溶岩片（スパター粒子）がその大半を占める火砕降下たい積物	spatter air-fall deposits	211106010
f-76	火砕サージたい積物 〔火砕サージ堆積物〕	かさいさーじたいせきぶつ	火砕サージからのたい積（堆積）物。火砕流に比べて淘汰（淘汰）が良く、細粒で、一つ一つの流動堆積単位（フローユニット）は薄い。塊状の場合もあるが、多くは成層しており、流速や、火砕粒子の濃度・粒径、堆積面のれ（濡）れの程度などに応じて斜交層理や平行層理、逆級化または正常級化構造が生じている。	pyroclastic surge deposits	211100020
f-77	ベースサージたい積物 〔ベースサージ堆積物〕	べーすさーじたいせきぶつ	ベースサージ（火砕サージの一種で低温で湿っていることが多い）からのたい積（堆積）物。表面には砂紋が認められ、断面では、平行層理や砂波層理を持った一般に薄いフローユニット（流動堆積単位）の累積が認められる。	base surge deposits	211100321
f-78	グラウンドサージたい積物 〔グラウンドサージ堆積物〕	ぐらうんどさーじたいせきぶつ	火砕流たい積（堆積）物の基底部にところどころに認められる火砕サージ堆積物。	ground surge deposits	211100322
f-79	火山灰雲サージたい積物 〔火山灰雲サージ堆積物〕	かざんぱいろうんさーじたいせきぶつ	流動する火砕流から上昇する噴煙を火山灰雲と呼び、その一部が地表沿いに運動するものを火山灰雲サージ、そのたい積（堆積）物を火山灰雲サージ堆積物と呼ぶ。	ash cloud sarge deposits	211100323

f-80	火砕流たい積物 〔火砕流堆積物〕	かさいりゅうたいせきぶつ	火砕流からのたい積(堆積)物。火砕流本体から堆積物は、降下火砕堆積物や火砕サージ堆積物に比べて分級の程度が悪く、層理も不明りょうか認められないことが多く、また、上位に火山灰雲火砕サージたい積物を、下位にグラウンドサージたい積物を伴うことが多い。火山岩塊ないし火山れき(火山礫)の大きさのち密(緻密)な火山岩片や軽石、スコリア、火山灰粒子の大きさの火山ガラス片、結晶片、火山岩片などからなり、それらの量比によって火山灰流、軽石流、スコリア流、火山岩塊火山灰流などに区分される。地形の低い部分を流下した分布を示し、上面は平坦(平坦)で傾斜はきわめて緩いのが特徴。	pyroclastic flow deposits	212100030
f-81	火山灰流たい積物 〔火山灰流堆積物〕	かざんばいりゅうたいせきぶつ	その大半が火山灰からなる火砕流たい積(堆積)物。明確な定義はないが、火砕岩の粒度による分類の凝灰岩に対応するものとするれば、火山灰の全体積の3/4以上のものを火山灰流堆積物と呼ぶのが適当か。大規模な火砕流堆積物(>10km ³)のほとんどがけい長質(珩長質)の火山灰流堆積物である。	ash flow deposits	212100330
f-82	火山岩塊火山灰流たい積物 〔火山岩塊火山灰流堆積物〕	かざんがんかいがざんばいりゅうたいせきぶつ	その大半が火山灰と火山岩塊からなる火砕流たい積(堆積)物。	block ash flow deposits	212103030
f-83	スコリア流たい積物 〔スコリア流堆積物〕	すこりありゅうたいせきぶつ	火山灰流たい積(堆積)物に比べてスコリアの多い火砕流堆積物。火山灰流堆積物や軽石流堆積物に比べて小規模のものが多く。	scoria flow deposits	212105030
f-84	スパター流たい積物 〔スパター流堆積物〕	すばたーりゅうたいせきぶつ	その大半がスパター粒子とそれらの細片からなる火砕流たい積(堆積)物。	spatter flow deposits	212106030
f-85	水底火砕たい積物 〔水底火砕堆積物〕	すいていかさいたいせきぶつ	直接噴火によって生じ水底に定置した火砕粒子の集合体	subaqueous pyroclastic deposits	210200000
f-86	水底降下火砕たい積物 〔水底降下火砕堆積物〕	すいていこうかさいたいせきぶつ	水面上または水中に放出された火砕粒子が水中を降下し水底に定置した火砕粒子の集合体	subaqueous air-fall pyroclastic deposits	211200010
f-87	水底火山灰降下たい積物 〔水底火山灰降下堆積物〕	すいていかざんばいりゅうたいせきぶつ	火山灰粒子がその大半を占める水底火砕降下たい積物	subaqueous ash air-fall deposits	211200310
f-88	水底軽石降下たい積物 〔水底軽石降下堆積物〕	すいていかるいしこうかさいせきぶつ	軽石片がその大半を占める水底火砕降下たい積物	subaqueous pumice air-fall deposits	211204410
f-89	水底スコリア降下たい積物 〔水底スコリア降下堆積物〕	すいていすこりあこうかさいせきぶつ	スコリア片がその大半を占める水底火砕降下たい積物	subaqueous scoria air-fall deposits	211205410
f-90	水底スパター降下たい積物 〔水底スパター降下堆積物〕	すいていすばたーこうかさいせきぶつ	溶岩片(スパター粒子)がその大半を占める水底火砕降下たい積物	subaqueous spatter air-fall deposits	211206410
f-91	水底火砕サージたい積物 〔水底火砕サージ堆積物〕	すいていかさいさーじたいせきぶつ	水底火砕サージ(直接噴火に由来する火砕粒子とガスまたは水とが混合して水底を流れる密度流のうち、比較的粒子濃度が薄い流れ)からのたい積(堆積)物。直接噴火に由来する流れであっても、火砕粒子と水とが混合した流れからたい積したものについては低密度火砕タービダイトまたは低密度水底火砕密度流ということも多い。流体がガスまたは水のどちらであってもタービダイトに類似した堆積構造を示す。ほかの水底火砕流堆積物に比べて分級がよく細粒で、層理など成層構造が明りょう。また、一つ一つの流動堆積単位(フロー・ユニット)も薄く、着弾垂下構造(サグ構造)が認められるほか、火砕粒子が水冷破砕されていることがある。	subaqueous pyroclastic surge deposits	211200020
f-92	水底火砕流たい積物 〔水底火砕流堆積物〕	すいていかさいりゅうたいせきぶつ	水底火砕流(火砕粒子とガスまたは水とが混合して水底を流れる密度流のうち、比較的粒子濃度が濃い流れ)からのたい積(堆積)物。直接噴火に由来する流れであっても、火砕粒子と水とが混合した流れからたい積したものについては火砕タービダイトまたは水底火砕密度流ということもある。流体がガスまたは水のどちらであっても陸上の火砕流堆積物に類似した堆積構造を示すが、陸上の火砕流堆積物に比べて分級が良い。堆積構造は岩せつ流(岩屑流)堆積物やタービダイトにも類似する。直接噴火によって生じた火砕粒子が火口から放出された直後に水と混合して流れる場合は、直接噴火に由来する密度流として扱う。	subaqueous pyroclastic flow deposits	212200030

f-93	水底火山灰流たい積物 (水底火山灰流堆積物)	すいていかざんばいりゅうたいせきぶつ	主として火山灰からなる水底火砕流たい積(堆積)物。	subaqueous ash flow deposits	212200330
f-94	水底火山岩塊火山灰流たい積物 (水底火山岩塊火山灰流堆積物)	すいていかざんがんかいがざんばいりゅうたいせきぶつ	水底火砕流たい積(堆積)物のうち、ち密(緻密)なもしくは発泡の悪い火山岩塊と火山れき(火山礫)、火山灰からなる堆積物。火山の斜面上にある溶岩や溶岩ドームが崩壊して発生する。	subaqueous block flow deposits	212203030
f-95	水底軽石流たい積物 (水底軽石流堆積物)	すいていかるいしりゅうたいせきぶつ	主として軽石からなる水底火砕流たい積(堆積)物。	subaqueous pumice flow deposits	212204030
f-96	水底スコリア流たい積物 (水底スコリア流堆積物)	すいていすこりありゅうたいせきぶつ	主としてスコリアからなる水底火砕流たい積(堆積)物。	subaqueous scoria flow deposits	212205030
f-97	水底スパター流たい積物 (水底スパター流堆積物)	すいていすぱたーりゅうたいせきぶつ	主としてスパター粒子とその細片からなる水底火砕流たい積(堆積)物。	subaqueous spatter flow deposits	212206030
f-98	火山砕せつ物重力流たい積物 (火山砕屑物重力流堆積物)	かざんさいせつぶつじゅうりょくりゅうたいせきぶつ	火砕粒子と水などの流体とが混合し、重力に従って移動する流れからのたい積物。直接噴火に由来するものと、いったん定置した後に再移動してたい積するものがある。火山砕せつ物密度流たい積物とも。	pyroclastic gravity flow deposits	210200050
f-99	火砕岩起源の再たい積物 (火砕岩起源の再堆積物)	かさいがんきげんのさいたいせきぶつ	火砕粒子または火砕岩起源の砕せつ(砕屑)粒子が大半(全体積の75以下、25%以上)を占めるたい積物。	pyroclastic resedimentation deposits	220000000
f-100	火砕岩起源の陸上再たい積物 (火砕岩起源の陸上再堆積物)	かさいがんきげんのりくじょうさいたいせきぶつ	火砕粒子または火砕岩起源の砕せつ(砕屑)粒子が大半(全体積の75以下、25%以上)を占めるたい積物のうち、陸上にたい積したもの。	subaerial pyroclastic resedimentation deposits	220100000
f-101	ラハールたい積物 (ラハール堆積物)	らは一のたいせきぶつ	火山砕せつ(砕屑)粒子を主体とする固体粒子と水とが一体となって地表を流れるラハール(火山泥流)からのたい積(堆積)物。全体に淘汰(淘汰)が悪く、塊状もしくは逆級化ないし正常級化が認められるものと、比較的淘汰がよく級化層理が明りょうなものがある。高温のラハール堆積物では脱ガス構造や二次発泡孔などが認められることがある。	lahar deposits	220100051
f-102	火砕岩起源の水底再たい積物 (火砕岩起源の水底再堆積物)	かさいがんきげんのすいていさいたいせきぶつ	火砕粒子または火砕岩起源の砕せつ(砕屑)粒子が大半(全体積の75以下、25%以上)を占めるたい積物のうち、水底にたい積したもの。	subaqueous pyroclastic resedimentation deposits	220200000
f-103	水底岩せつなだれたい積物 (水底岩屑なだれ堆積物)	すいていがんせつなだれたいせきぶつ	水底に定置した岩せつなだれたい積物	subaqueous debris avalanche deposits	222200041
f-104	水底ラハールたい積物 (水底ラハール堆積物)	すいていらは一のたいせきぶつ	水底に定置したラハールたい積物。	subaqueous lahar deposits	220200051
f-105	水底岩せつ流たい積物 (水底岩屑流堆積物)	すいていがんせつりゅうたいせきぶつ	水底に定置した岩せつ流たい積物	subaqueous debris flow deposits	222200052
f-106	溶岩	ようがん	マグマ(岩石を構成する物質が溶融状態にあるもの)が地表または地表近くにあるもの。あるいはそれらが固結したもの。流れている状態にあるものを固結した溶岩と区別して溶岩流ということがある。	lava	230000000
f-107	陸上溶岩	りくじょうようがん	陸上を流れ、水と接触していない溶岩。	subaerial lava	230100000
f-108	パホイホイ溶岩	ぱほいほいようがん	溶岩の形態の一種。玄武岩または玄武岩質安山岩、カーボナタイトなど粘性の低いマグマが流出して生じる。pahoehoeとはハワイのポリネシア語で、この種の溶岩を指す。表面は平滑で丸みを帯び、なまこ(海鼠)板(うねり)状、縄状、しわ状、ろうそくの滴状などの表面形態を示す。多くのパホイホイ溶岩はトゥーと呼ばれる丸みを帯びたへん平(扁平)な袋状の筒の集合体からなっている。その厚さは30cm - 数mのものが多く、水平的広がりに比較して厚さは薄いのが特徴。流れる速度は比較的速く、緩い斜面を30m/h以上の速度で流下する例も少なくない。固結したパホイホイ溶岩の断面には多数の溶岩チューブが特徴的にみられる。パホイホイ溶岩は流れ下るにつれて温度が低下し、あるいは揮発成分が抜け出て粘性が	pahoehoe lava	230100010

			高まり, アア溶岩に変わることが少ない。		
f-109	アア溶岩	ああようがん	陸上溶岩の形態の一種。溶岩の表面は粗く、小さいとげが密集していて凹凸に富む。また、このような粗面の凹凸に富んだ岩塊(クリンカー)が溶岩の表面を覆う。溶岩の厚さは数m - 10数mくらいで、パホイホイ溶岩より厚い。aaはハワイのポリネシア語でアア溶岩を指す。粘性のやや高い玄武岩質の溶岩に多い。	aa lava	230100020
f-110	クリンカー	くりんかー	アア溶岩の表面に見られるぎざぎざに富んだ荒れた岩石。コークスの燃え殻または鉱さい(鉱滓)のようなみかけを呈する。ややシリカの多い玄武岩もしくは玄武岩質安山岩組成のアア溶岩が流動するとき、先に冷却固結した溶岩表面が内部の未固結部の流動により糸を引きながら引きちぎられるなどして生ずる。クリンカーを構成する岩片は溶岩自体の熱で再び溶融してほかの岩片と溶結していたり、急激に圧力が解放されるために岩片の表面が発泡して多孔質になっていることがある。	clinker	230100025
f-111	ブロック溶岩	ぶろっくようがん	平滑な破断面で囲まれた多面体型の岩片で覆われた溶岩流。岩塊(ブロック)の径は数十cm以上のものが多い。これらの岩片は、固結した厚い表皮が内部で流動する溶融部に引きずられて破碎するため生産される。溶岩流の内部は塊状で、厚い場合には柱状節理が発達する。ブロック溶岩は玄武岩質の溶岩流には少なく、安山岩質-流紋岩質のものに普通にみられる。	block lava	230100030
f-112	流動角れき岩 (流動角礫岩)	りゅうどうかくれきがん	アア溶岩やブロック溶岩の表面を覆う角れき(礫)の集合。溶岩の表面は内部より早く冷えて固化し、流動する内部の溶岩に引きずられて破断するので角礫となる。アア溶岩の場合は、表面が薄くやや可塑性があるためにぎざぎざの荒れた面で囲まれた多面体の集合となるが、ブロック溶岩では平滑な破断面で囲まれた多面体の集合となる。これらの多面体(角礫)は前進する溶岩に運ばれて溶岩フロントで前面に転動して崖すい(崖錐)状の斜面をなす。溶岩フロントに集積した角礫はさらに前進する溶岩の下敷きとなり、溶岩の下にも流動角れき岩(角礫岩)が集積することになる。アア溶岩の流動角礫岩はみかけがコークスの燃え殻や鉱さい(鉱滓)に似ていることからクリンカーと呼ばれることが多い。ブロック溶岩の流動角礫岩を構成する角礫の多くは直径数十cm以上。	flow breccia	230100035
f-113	水底溶岩	すいていようがん	水底に定置した溶岩。溶岩の表面形態による陸上の分類をあてはめると、パホイホイ表面に覆われるものと、ブロック表面に覆われるものがあるが、アア表面に覆われるものはない。パホイホイ表面に覆われるものを水底パホイホイ溶岩、ブロック表面に覆われるものを水底ブロック溶岩という。まくら状(枕状)溶岩は水底パホイホイ溶岩の一種。水底ブロック溶岩は水中自破碎溶岩にほぼ同じ。水底アア溶岩が存在しないのは、水圧と急激な冷却によって発泡や再溶融が抑制されるためと考えられる。	subaqueous lava	230200000
f-114	水底パホイホイ溶岩	すいていばほいほいようがん	パホイホイ表面で覆われた水底溶岩。まくら状(枕状)溶岩は、シート状の水底パホイホイ溶岩から溶岩ロープが枕状に枝分かれして積み重なったもので、水底パホイホイ溶岩の一部。	subaqueous pahoehoe lava	230200010
f-115	シート状溶岩	しーとじょうようがん	薄く板状に広がる溶岩	sheet lava	230200012
f-116	まくら状溶岩 (枕状溶岩)	まくらじょうようがん	まくら状(枕状)ロープと、それらの集合を覆う枕状角れき岩(礫岩)とからなる溶岩。	pillow lava	230200013
f-117	まくら状角れき岩 (枕状角礫岩)	まくらじょうかくれきがん	まくら状(枕状)ロープの破片からなる岩石。枕状ロープが成長し積み重なって前進するとき、差動運動で破断したロープの破片が前面に転動たい積(堆積)して生ずると考えられる。一種の転動角れき岩(角礫岩)もしくは流動角礫岩である。角れき(礫)と角礫との間は必ずしも同一起源の細かいガラス質岩片(ハイアロクラスタイト)で充たされているわけではなく、枕状溶岩の定置過程でハイアロクラスタイトが生産される量は限られていることに注意。	pillow breccia	230200015
f-118	水底ブロック溶岩	すいていぶろっくようがん	ブロック表面で覆われた水底溶岩。水冷自破碎溶岩ともいう。陸上のブロック溶岩、もしくはシリカに富むアア溶岩と同じ程度の組成をもつと考えられる。	subaqueous block lava	230200030
f-119	塊状溶岩	かいじょうようがん	溶岩のうち、塊状の部分。ブロック溶岩を塊状溶岩ということもあるが、これは和訳の誤り。	massive lava	230200031
f-120	水底溶岩ドーム	すいていようがんどーむ	水底から噴出して成長した水面下の溶岩ドーム。	subaqueous lava dome	230200034
f-121	ハイアロクラスタイト	はいあるくらすたいと	水冷破碎して生じた溶岩片の集合	hyaloclastite	230210035
f-122	貫入岩	かんにゅうがん	マグマが地下に定置し固結した岩石	intrusive rock	240000000
f-123	シート	しーと	板状貫入岩体の総称。	sheet	240000010
f-124	岩脈	がんにゃく	マグマが鉛直方向に板状に貫入して固結した岩石。	dike	240000020
f-125	シル	しる	マグマが地層面に平行かつほとんど水平に貫入して固結した岩石。	sill	240000030

f-126	潜在ドーム	せんざいどーむ	マグマがドーム状に地表近くまで上昇し定置したもの。	cryptodome	240000040
f-127	ラコリス餅盤	らこりす	底が平らで上面が上方に膨らみ、周囲の地層と調和的な貫入岩体。	laccolith	240000050
f-128	岩株	がんしゅ	底なしで、露出面積が100km ² 以下の小規模な深成岩体。	stock	240000060
f-129	バソリス底盤	ばそりす	底なしで、露出面積100km ² 以上の大規模で母岩と非調和な深成岩体。	batholith	240000070
f-130	ペペライト	ぺぺらいと	溶岩またはマグマが水を含んだたい積物に沿って流動し、あるいはそれらに貫入する過程で、破碎しつつたい積粒子と混合して生じた火山岩片とたい積粒子との集合。	peperite	240010000
f-131	再たい積物 〔再堆積物〕	さいたいせきぶつ	固体粒子が移動してある場所に集積した後に、何らかの営力ではかの場所に移動集積したもの。	redeposit	
f-132	固結	こけつ	液体が固体に変わる事。マグマが固まる事。または、固体粒子が結合または接着すること。	solidification	
f-133	溶結	ようけつ	火山噴火で放出され定置した火砕粒子が自らの荷重と熱で結合する現象。火砕粒子同士が接触しただけで結合する場合や、貫入岩の熱で結合する場合も広い意味では溶結であるが、狭義の溶結と区別するときは、それぞれ接着 (agglutination)、溶融 (fusion) ということがある。	welding	
f-134	流動溶結	りゅうどうようけつ	火砕粒子が密に溶結して流動する現象。	flow welding	
f-135	ジグソーパズル状割れ目	じくそーぱずるじょうわれめ	ずれ変位を伴わない割れ目。ジグソー割れ目ともいう。破断して生じた破片が回転せずにほぼ元の位置にとどまっていてジグソーパズルにも見えることから名付けられた。溶岩が急冷されて収縮して生ずる割れ目がその典型。		
f-136	火山ガラス	かざんがらす	マグマの急冷によって生じたガラス。その破片を火山ガラス片という。その多くは爆発的火山噴火によって生ずる。	volcanic glass	
f-137	結晶片	けっしょうへん	結晶の破片。火山爆発でマグマが引きちぎれるときやたい積 (堆積) 物が圧密を受けて変形するときなどに生ずる。	crystal fragment	
f-138	岩片	がんぺん	岩石の破片。火山爆発、流れの中での岩石同士の衝突、斜面崩壊、風化などで生ずる。	rock fragment	
f-139	軽石	かるいし	多孔質で白色ないし明るい灰色を呈する火山岩の破片、乾燥状態でのかさ密度は1 g/cm ³ よりも小さいことが多い。日本で単に軽石というときは、火山れき (火山礫) ないし火山岩塊の大きさのものを指し、火山灰の大きさのものはマイクロパミスまたは微小軽石として区別することがある。	pumice	
f-140	スコリア	すこりあ	多孔質で黒色や暗褐色などの暗い色を示す火山岩の破片。岩さい (岩滓) ともいう。多くの場合かさ密度は軽石より大きい、著しく小さい場合もある。	scoria	
f-141	火山弾	かざんだん	径が64mmよりも大きく、塑性変形している火山砕せつ (碎屑) 粒子。可塑性を保った状態で火口から放出されたマグマの破片で、塑性変形して紡錘状、リボン状、パン皮状などの形態を呈する。表面に近い部分は緻密 (緻密) で、内側は多孔質になっていることが多い。	volcanic bomb	
f-142	細粒火山灰粒子	さいりゅうかざんばいりゅうし	径が1/16mmを超えない火山灰粒子	fine ash	
f-143	粗粒火山灰粒子	そりゅうかざんばいりゅうし	径が1/16mm以上の火山灰粒子	coarse ash	
f-144	火山灰粒子	かざんばいりゅうし	径が2mmよりも小さな火山砕せつ (碎屑) 粒子。その成因は問わないので、マグマの爆発的噴火で生じたガラス片や結晶片から、既存の火山岩の破片までを含む。	ash grain	
f-145	火山れき 〔火山礫〕	かざんれき	径が2mm以上64mm以下の火山砕せつ (碎屑) 粒子。特定の外形や内部構造を持たないもの。多孔質のものは軽石またはスコリア、特定の外形を持つものは火山れきの大きさであっても火山弾と呼ぶことがある。	lapillus lapilli	
f-146	火山岩塊	かざんがんかい	径が64mmよりも大きな角張った火山砕せつ (碎屑) 粒子。径が64mmより大きくても塑性変形している場合は火山弾という。	volcanic block	
f-147	降下	こうか	重力に従ってポテンシャルの低い方向に物体が移動する現象。火山噴火で放出された火砕粒子が落下する現象は火砕降下という。卓越する火砕粒子の種類または粒径によって、軽石降下、火山灰降下ということもある。それらのたい積 (堆積) 物は降下火砕堆積物、降下軽石堆積物、降下火山灰堆積物などと称し、降下軽石、降下火山灰と略称することもある。	fall	
f-148	火砕サージ	かさいさーじ	火砕流の一つ。狭義の火砕流に比べて火砕粒子の濃度が低い。火砕サージに一括されるものに、マグマ水蒸気爆発など小規模の噴火によって生ずるベースサージ、より規模の大きいマグマの爆発的発泡などによる噴火で、火	pyroclastic surge	

			砕流に先駆けて発生するグラウンドサージ、火砕流の上部をなす火山灰雲サージ、山体崩壊に伴う爆発的噴火で発生するプラストサージがある。		
f-149	火砕流	かさいりゅう	噴火によって放出された火砕粒子と気体とが混合した状態で重力に従って地表または水底に沿って流れる現象。火砕密度流ともいう。重力流の一種であるが、周囲から取り込んだ流体が熱膨張し、また、火砕粒子から揮発成分が放出されるため、熱対流によって流れの後方で噴煙が上昇する。、流下するにつれて密度あるいは粒径の大きな火砕粒子が下方に沈降し濃集してくるので、火砕流の下部は層流またはこれに近い流れとなり、火砕流の上部は、火砕粒子濃度が低く乱流となって流れ続ける。火砕流下部に限定してこれを火砕流(狭義)といい、上部を火山灰雲サージということがある。	pyroclastic flow	
f-150	岩せつなだれ (岩屑なだれ)	がんせつなだれ	マグマの貫入や火山爆発、地震などが原因で、火山体の不安定な部分が崩壊し、高速で崩れ落ちる現象。多くは低温で、土石流や火山泥流またはラハールほど水は含まないので、ドライアバランシュと呼ばれたこともある。岩せつ流(岩屑流)と呼ばれたこともあるが、この言葉は、たい積(堆積)物重力流を維持する流動機構のひとつをさす言葉として用いられるので、混同を避けるために、現在では用いられていない。岩なだれともいう。	debris avalanche	
f-151	たい積物重力流 (堆積物重力流)	たいせきぶつじゅうりょくりゅう	固体粒子と液体または気体が混合した状態で重力に従って地表または水底に沿って流れる現象。	gravity flow deposits	
f-152	ベースサージ	ベーすさーじ	火砕サージの一種。マグマ水蒸気爆発で発生した噴煙柱の基部から地面または水面に沿って四方に広がる流れ。この用語は、最初、核爆発の際に観察された同様の流れに用いられた。これが火山噴火現象に用いられたのはタール火山の1965年噴火が最初である。	base surge	
f-153	火山灰雲サージ	かざんばいろうんさーじ	火砕流上部の粒子濃度が低い流れ。火砕流本体(狭義の火砕流)との境界はあいまい。	ash cloud sarge	
f-154	塊状	かいじょう	岩石やたい積(堆積)物を構成する要素(固体物質または固体粒子)が系統的に配列していない様子を形容することば。	massive	
f-155	まくら状 (枕状)	まくらじょう	溶岩またはマグマから分岐した部分がまくらに近い形態を呈するとき、そのような形態を形容する言葉。	pillow	
f-156	ローブ状	ろーぶじょう	溶岩またはマグマから分岐した部分が耳たぶ(ローブ)に近い形態を呈するとき、その形態を形容する言葉。	robe	
f-157	ドーム状	どーむじょう	釣り鐘状の形態を形容する言葉。溶岩が釣り鐘状の形態を呈するときは溶岩ドームという。	dome	
f-158	角れき状 (角礫状)	かくれきじょう	砕せつ(砕屑)粒子の角およびりょうの磨滅の度合である円磨度(=角およびりょうの平均半径/粒子の最大内接円の半径)が0-0.15以下を角れきといい、そのように角ばった岩石の破片が集合した状態を表すことば。	angular gravel	
f-159	溶岩ローブ	ようがんろーぶ	溶岩から分岐し突き出ている舌状で先が丸い部分	lava lobe	
f-160	水底	すいてい	海水淡水を問わず、水の中または水底に存在するもの、あるいは、そこで起こっている現象を形容することば。	subaqueous	
f-161	海底	かいてい	海中または海底に存在するもの、あるいは、そこで起こっている現象を形容することば。	submarine	
f-162	陸上	りくじょう	大気中または地表に存在するもの、あるいは、そこで起こっている現象を形容することば。	subaerial terrestrial	
f-163	アグロメレート	あぐるめれーと	火砕岩のうち、全体の75%を超える火山弾を含むもの。	agglomerate	
f-164	軽石質	かるいししつ	軽石に富むこと。あるいは、気泡に富み白～灰白色を呈する岩石。	pumiceous	
f-165	スコリア質	すこりあしつ	スコリアに富むこと。あるいは、気泡に富み黒～暗灰色を呈する岩石。	scoriaceous	
f-166	軽石流たい積物 (軽石流堆積物)	かるいしりゅうたいせきぶつ	火砕流たい積(堆積)物のうち、軽石に富むもの。	pumice flow deposit	
f-167	火砕	かさい	火山爆発で破断されて生じた砕せつ(砕屑)粒子、またはその集合体を形容することば。	pyroclastic	
f-168	火山砕せつ (火山砕屑)	かざんさいせつ	火山活動で破断されて生じた火山岩砕せつ(砕屑)粒子、またはその集合体を形容することば。火山岩以外の砕屑粒子と混合している場合でも用いることがある。	volcaniclastic	
g-1	組織	そしき	火成岩を構成する鉱物の大きさ、形、並び方など、顕微鏡下で見られるような構造的性質。組織は岩石の成因によるので、岩石を識別する際に役立つ。	texture	
g-2	はん状 (斑状)	はんじょう	火成岩を構成する鉱物が、大きい鉱物(はん晶(斑晶)という)と小さい鉱物又はガラス(石基という)とがはっきりした二群に分かれている組織。この場合、細粒及び粗粒は相対的なものである。	porphyritic	10
g-3	片麻状	へんまじょう	構成鉱物がしま状(縞状)をなす組織。	gneissose	20

g-4	ガラス質	がらすしつ	岩石の結晶度を表す語で、岩石や石基がガラスからなることを示す。	vitric	30
g-5	粒度	りゅうど	構成粒子の大きさを表す語。粗～細粒の境界値は対象とする岩石や使用する分類法により異なる。	grain size	
g-6	無はん晶 (無斑晶)	むはんしょう	火山岩において、はん晶(斑晶)を含まないか、含んでも極少量であることを示す組織。	aphyric	40
g-7	微文象状	びもんしょうじょう	カリ長石と石英の顕微鏡的な規模の連晶構造。	micrographic	50
g-8	文象状	もんしょうじょう	カリ長石と石英との特有な連晶構造。長石の結晶中に多数のくさび形文字状の石英が連晶し、石英が同一光学的方位をとる。	graphic	60
g-9	細粒	さいりゅう	相対的に粒度が小さいことを示す用語。	micro-grained	01
g-10	中粒	ちゅうりゅう	細粒や細粒に対し、粒度が中間的であることを示す用語。	medium-grained	02
g-11	粗粒	そりゅう	相対的に粒度が大きいことを示す用語。	coarse-grained	03
g-12	巨晶	きょしょう	粒度が極めて大きいことを示す用語。ペグマタイトなどに対しても用いられる。	pegmatitic	04
h-1	変成岩	へんせいがん	温度圧力などの物理条件の変化によりもとの岩石を構成する鉱物の種類及び岩石組織が改変された岩石。部分溶解や全岩組成の変化を伴う場合もある。	metamorphic rock	300000000
h-2	片岩	へんがん	片状構造を持つ変成岩。	schist	311010000
h-3	片麻岩	へんまがん	片麻状構造を持つ変成岩。	gneiss	311020000
h-4	グラノフェルス	ぐらのふえらす	片状構造のない岩石。鉱物粒子あるいはその集合体が等方的か、等方的でなくてもランダムな方位を持つ。鉱物の量比の違いによる層状構造があっても良い。	granofels	311030000
h-5	粘板岩	ねんばんがん	スレートへき開(劈開)が発達する極細粒ないし細粒の変成岩。	slate	312010000
h-6	千枚岩	せんまいがん	層状けい酸(珪酸)塩鉱物の平行配列による片理がよく発達し、光沢のある細粒ないし中粒の変成岩。	phyllite	312020000
h-7	ホルンフェルス	ほるんふえらす	接触変成作用で生じた塊状ち密(緻密)な変成岩で、個々の鉱物結晶が特定ののびを示さない等粒状組織をなす。接触変成岩の同義語として用いられることもあるが好ましくない用法。	hornfels	312030000
h-8	ミグマタイト	みぐまたいと	けい酸(珪酸)塩鉱物からなる複合的岩石。メソからメガスケールで均一。典型的には暗色部と明色部からなる。暗色部は通常変成岩的特徴を示し、明色部は深成岩的見かけを有する。	migmatite	312040000
h-9	緑色片岩	りょくしょくへんがん	アクチノセンセキ(閃石)、緑泥石、緑れん石などの存在により緑色を呈する片岩。	greenschist	312050000
h-10	角せん岩 (角閃岩)	かくせんがん	緑色、褐色もしくは黒色の角せん石(角閃石)と斜長石を主要構成鉱物とする片麻岩もしくはグラノフェルス。角閃石と斜長石が構成鉱物の75%以上を占める。角閃石は全鉄質鉱物の50%以上を占め、全体の30%以上を占める。	amphibolite	312060000
h-11	エクロジャイト	えくろじゃいと	高変成度の変成岩で、オンファス輝石とざくろ石が75%以上を占める斜長石を含まない変成岩。オンファス輝石とざくろ石が主要構成鉱物であり、どちらの鉱物とも単独では体積が75%を超えない。	eclogite	312070000
h-12	グラニュライト	ぐらにゅらいと	高変成度の変成岩で、鉄マグネシウムけい酸(珪酸)塩鉱物は無水のもの卓越する。長石を含み初生的白雲母(雲母)を含まない。	granulite	312080000
h-13	石灰けい質岩 (石灰珪質岩)	せっかいけいしつがん	主にCaに富むけい酸(珪酸)塩鉱物と5-50%の炭酸塩鉱物からなる変成岩。	calc-silicate rock	312090000
h-14	大理石	だいにせき	方解石、アラゴナイト、もしくはマグネサイトといった炭酸塩鉱物を50%以上含む変成岩。	marble	312110000
h-15	けい岩 (珪岩)	けいがん	広域ないし接触変成作用により、砂岩ないしチャートの再結晶により生じる主に石英からなる等粒状の変成岩。	quartzite	312120000
h-16	蛇紋岩	じゃもんがん	ほとんど蛇紋石よりなる岩石。	serpentinite	312130000
h-17	スカルン	すかるん	石灰岩やドロマイトにアルミニウム、シリコン、鉄、マグネシウムが大量に加わってできたカルシウムを含むけい酸(珪酸)塩鉱物からなる岩石。主に炭酸塩岩が接触変成を受けて生じる。	skarn	312140000
h-18	石英片岩	せきえいへんがん	主に線状あるいはレンズ状の石英粒子による面構造が発達する片岩。	quartz schist	312150000
h-19	黒色片岩	こくしょくへんがん	石墨を含み黒色を呈する泥質片岩の日本での通称。	black schist	312160000
h-20	断層角れき岩 (断層角礫岩)	だんそうかくれきがん		fault breccia	322010000
h-21	カタクラサイト	かたくらさいと	片理がないか発達が弱い固結した断層岩もしくは未固結の断層岩。角張ったボーフィロクラストや岩片がこれらと似かよった化学組成の細粒基質中に存在する。	cataclasite	322020000

h-22	マイロナイト	まいろないと	固結していて構造変形による粒径の減少による片理がよく発達する断層岩。丸みを帯びたポーフィロクラストや基質の鉱物と同様の組成の丸みを帯びた岩片を含む。	mylonite	322030000
h-23	砂質片岩	さしつへんがん	砂に富むたい積(堆積)岩を原岩とし、片理が発達した結晶質変成岩。	psammitic schist	
h-24	泥質片岩	でいしつへんがん	泥などの細かな砕せつ(碎屑)粒子に富むたい積(堆積)岩を原岩とし、片理が発達した結晶質変成岩。	pelitic schist	
h-25	断層岩	だんそうがん			320000000
h-26	シュードタキライト	シュードタキライト			322040000
i-1	広域変成岩	こういきへんせいがん	海洋底拡大、プレート衝突やたい積(堆積)盆の沈降に伴うような地殻の厚化など、大きなスケールの造構作用により広範囲に生じた変成岩。	regional metamorphic rock	310000000
i-2	造山変成岩	ぞうざんへんせいがん	造山帯の形成に伴って広範囲に形成された変成岩。	orogenic metamorphic rock	311000000
i-3	埋没変成岩	まいぼつへんせいがん	変形やマグマ活動を伴わずにたい積(堆積)岩-火山岩の積み重なり下に深く岩石が埋もれることで広範囲に生じた変成岩。	burial metamorphic rock	312000000
i-4	海洋底変成岩	かいようていへんせいがん	海洋底拡大軸近傍で見られる高地温こう配(勾配)下で広範囲あるいは局所的に生じた変成岩。	ocean floor metamorphic rock	313000000
i-5	局所変成岩	きやくしょへんせいがん	マグマの貫入や断層運動、いん石(隕石)の衝突など局所的な現象により限られた範囲に生じた変成岩。	local metamorphic rock	320000000
i-6	熱変成岩 接触変成岩	ねつへんせいがん	接触変成岩と同じ。	thermal metamorphic rock	321000000
i-7	接触変成岩	せつしよくへんせいがん	マグマの貫入によりその周囲に生じた変成岩。	contact metamorphic rock	321100000
i-8	熱水変成岩	ねっすいへんせいがん	熱水の活動により生じた変成岩。	hydrothermal metamorphic rock	321200000
i-9	高温スラブ変成岩	こうおんすらぶへんせいがん	構造的に移動してきた熱い岩体の直下で起きる局所的な変成作用により生じる変成岩。	hot-slab metamorphic rock	321300000
i-10	変位変成岩	へんいへんせいがん	せん断(剪断)帯や断層帯に伴う局所的な変成作用により形された変成岩。	dislocation metamorphic rock	322000000
i-11	衝撃変成岩	しょうげきへんせいがん	いん石(隕石)の衝突により惑星表面に局所的に生じる変成岩。ターゲットになった岩石の溶融や蒸発により生じた変成岩も含む。	impact metamorphic rock	323000000
i-12	高P/T型変成岩	こうピー/ていーがたへんせいがん	主に変成圧力の違いに起因する鉱物学的特徴に基づく広域変成コンプレックスの分類。地表面に露出した変成岩の低変成度から高変成度へ至る鉱物学的変化のうち、藍せん石(藍閃石)を生じている変成岩の存在で特徴づけられるタイプ。	high P/T metamorphic rock	303010000
i-13	低P/T型変成岩	ていピー/ていーがたへんせいがん	主に変成圧力の違いに起因する鉱物学的特徴に基づく広域変成コンプレックスの分類。地表面に露出した変成岩の低変成度から高変成度へ至る鉱物学的変化のうち、低温部で紅柱石が安定で、高温部でけい線石(珪線石)が安定なタイプ。	low P/T metamorphic rock	303020000
i-14	中P/T型変成岩	ちゅうピー/ていーがたへんせいがん	主に変成圧力の違いに起因する鉱物学的特徴に基づく広域変成コンプレックスの分類。地表面に露出した変成岩の低変成度から高変成度へ至る鉱物学的変化のうち、低温部でらん晶石(藍晶石)が安定で、高温部でけい線石(珪線石)が安定なタイプ。	medium P/T metamorphic rock	303030000
i-15	らんせん石片岩相 (藍閃石片岩相) 青色片岩相	らんせんせきへんがんそう	玄武岩組成の変成岩におけるらんせん石+緑れん石、らんせん石+ローソン石、らんせん石+ローソン石+ひすい輝石の鉱物共生で特徴づけられる変成相。	glaucophane-schist facies blueschist facies	303001000
i-16	青色片岩相	せいしよくへんがんそう	らんせん石片岩相と同じ。	blueschist facies	303001000
i-17	ローソン石・青色片岩亜相	ろーそんせき・せいしよくへんがんあそう	玄武岩組成の変成岩においてローソン石+藍せん石(藍閃石)の共生が安定ならんせん石片岩相の亜相。	lawsonite-blueschist sub-facies	303001100
i-18	緑れん石・青色片岩亜相	りよくれんせき・せいしよくへんがんあそう	玄武岩組成の変成岩において緑れん石+藍せん石(藍閃石)の共生が安定ならんせん石片岩相の亜相。	epidote-blueschist subfacies	303001200
i-19	エクロジヤイト相	えくろじゃいとそう	玄武岩組成の変成岩におけるオンファス輝石+ざくろ石+石英の鉱物共生で特徴づけられる変成相。	eclogite facies	303002000

i-20	ローソン石・エクロジイト亜相	ろーそんせき・えくろじやいとあそう	玄武岩組成の変成岩においてローソン石が安定なエクロジイト相の亜相。	lawsonite-eclogite subfacies	303002100
i-21	緑れん石・エクロジイト亜相	りょくれんせき・えくろじやいとあそう	玄武岩組成の変成岩において緑れん石が安定なエクロジイト相の亜相。	epidote-eclogite subfacies	303002200
i-22	らん晶石・エクロジイト亜相 (藍晶石・エクロジイト亜相)	らんしょうせき・えくろじやいとあそう	玄武岩組成の変成岩においてらん晶石(藍晶石)が安定なエクロジイト相の亜相。	kyanite-eclogite subfacies	303002300
i-23	角せん石・エクロジイト亜相 (角閃石・エクロジイト亜相)	かくせんせき・えくろじやいとあそう	バロアせんせき(閃石), 藍せん石(藍閃石)などの角せん石(角閃石)が安定なエクロジイト相の亜相。	amphibole-eclogite subfacies	303002400
i-24	緑色片岩相	りょくしょくへんがんそう	玄武岩組成の変成岩におけるアクチノせんせき(閃石) + アルバイト + 緑れん石 + 緑泥石の鉱物共生で特徴づけられる変成相。	greenschist facies	303003000
i-25	角せん岩相 (角閃岩相)	かくせんがんそう	玄武岩組成の変成岩におけるホルンブレンド + 斜長石(An17よりCaに富む)の鉱物共生で特徴づけられる変成相。	amphibolite facies	303004000
i-26	アルバイト・緑れん石・角せん岩相 (アルバイト・緑れん石・角閃岩相)	あるばいと・りょくれんせき・かくせんがんあそう	玄武岩組成の変成岩におけるホルンブレンド + アルバイト + 緑れん石 + (緑れん石)の鉱物共生で特徴づけられる変成相。	albite-epidote-amphibolite subfacies	303004100
i-27	グラニュライト相	ぐらにゅらいとそう	玄武岩組成の変成岩における単斜輝石 + 斜方輝石 + 斜長石(斜長石やざくろ石とかんらん石が安定に存在できない)の鉱物共生で特徴づけられる変成相。	granulite facies	303005000
i-28	ホルンブレンド・グラニュライト相	ほるんぶれんど・ぐらにゅらいとあそう	玄武岩組成の変成岩においてホルンブレンドが安定なグラニュライト相の亜相。	hornblende-granulite subfacies	303005100
i-29	輝石・グラニュライト相	きせき・ぐらにゅらいとあそう	ホルンブレンドが不安定なグラニュライト相の亜相。	pyroxene-granulite subfacies	303005200
i-30	準緑色片岩相	じゅんりょくしょくへんがんそう	玄武岩組成の変成岩におけるぶどう石 + パンペリ-石, パンペリ-石 + アクチノせんせき(閃石), ぶどう石 + アクチノ閃石の鉱物組合せで特徴づけられる変成相。ぶどう石・アクチノ閃石亜相, パンペリ-石・アクチノ閃石亜相を含む。	subgreenschist facies	303006000
i-31	パンペリー石・アクチノせん石相 (パンペリー石・アクチノ閃石相)	はんぺりーせき・あくちのせんせきあそう	玄武岩組成の変成岩におけるパンペリ-石 + アクチノせんせき(閃石) + 石英の鉱物共生で特徴づけられる変成相。	pumpellyite-actinolite subfacies	303006100
i-32	ぶどう石・アクチノせん石相 (ぶどう石・アクチノ閃石相)	ぶどうせき・あくちのせんせきあそう	玄武岩組成の変成岩におけるぶどう石 + アクチノせんせき(閃石) + 緑泥石の鉱物共生で特徴づけられる変成相。	prehnite-actinolite subfacies	303006200
i-33	沸石相	ふっせきそう	玄武岩組成の変成岩におけるローモントイト, ヒューランドイトなどのふっ石の出現で特徴づけられる変成相。	zeolite facies	303007000
i-34	輝石ホルンフェルス相	きせきほるんふえるすそう	玄武岩組成の変成岩における単斜輝石 + 斜方輝石 + 斜長石(かんらん石が斜長石と安定に存在できる)の鉱物共生で特徴づけられる変成相。	pyroxene hornfels facies	303008000
i-35	サニディナイト相	さにでいないとそう	ピジョン輝石やKに富むラブラドライトなどの高温を特注づける組成や多形の出現で特徴づけられる変成相。	sandinite facies	303009000
j-1	互層	ごそう	砂岩泥岩互層など, 異なる岩相の地層単元(単層など)が交互に繰り返り重なり合った地層。一般的に, 地層単元の厚さは数mm ~ 数mで, 重力流, 潮せき(潮汐)流, 波浪が生じるたい積(堆積)環境下で形成されることが多い。	alternating beds interbeds	1
j-2	混在岩	こんざいがん	泥岩基質に様々な大きさ種類の岩塊を含む複合岩石。泥質混在岩ともいう。岩塊は, 様々な形態を含むことでれき岩(礫岩)とは区別できる。メランジュの基質を構成する岩石に用いることが多い。	mixed rock	2
k-1	鉱物	こうぶつ	天然にあって, 物理的・化学的にほぼ一定で均一な性質を有する無機質固体物質。狭義には非晶質物質は除く。	mineral	
k-2	元素鉱物	げんそこうぶつ	天然で単体で産出する元素をさす鉱物群。合金, 炭化物, 窒化物, けい化(珪化)物, リン化物も, この類に分類する。代表例: 自然金, ダイヤモンド, 硫黄。	native element	110000000
k-3	ダイヤモンド	だいあもんど	天然に産する炭素の高圧相。モース硬度10で最大。比重3.52。八面体から十二面体の結晶が一般的。透明度の高いものは, 宝石になる。通常キンバレー岩などに産するが, 超高压変成岩にも微細結晶が含まれる。	diamond	111100000

k-4	グラファイト 石墨	ぐらふあいと 石墨	天然に産する炭素の低圧相。石墨、黒鉛とも。へき開(001)に完全、硬度1~2、比重2.09~2.23、黒色不透明。葉片状結晶、塊状ないし土状。主に高温変成作用を受けた片麻岩・結晶質石灰岩に伴って産出。	graphite	111200000
k-5	石墨	せきぼく	グラファイトと同義。	graphite	
k-6	アワル鉱	あわろう	NiとFeの合金鉱物で、組成はNi Fe。立方晶系。銀色粒状集合体ないし針状結晶。硬度5、比重8.3。蛇紋岩中に産し、ヒースルウッド鉱・磁鉄鉱・ペントランド鉱などと共存。	awaruite	111300000
k-7	硫化鉱物	りゅうかこうぶつ	金属元素および半金属(As, Sb, Bi)と硫黄が結合した化学組成の鉱物群。黄鉄鉱、せん亜鉛鉱、方鉛鉱などが代表例。金属資源として用いられるものも多い。	sulphide minerals	211000000
k-8	黄鉄鉱	おうてっこう	多様な岩石に産し、最も頻りに認められる硫化鉱物。FeS。立方晶系で、淡い真ちゅう(真鍮)色の正六面体、五角十二面体、正八面体などの結晶が特徴。ブドウ粒のような組織をなすことも。条こん(条痕)緑黒色。	pyrite	211100000
k-9	磁硫鉄鉱	じりゅうてっこう	呼ばれる六方晶系の鉱物。多くは不定比化合物である単斜晶系鉱物。赤みを帯びた真ちゅう(真鍮)色で、多くは粒状、まれに自形。磁性が特徴。	pyrrhotite	211200000
k-10	黄銅鉱	おうどうこう	CuFeS、正方晶系。四面体結晶をなすが、多くはち密(緻密)塊状。金属光沢、真ちゅう黄色だが、変色しにじ色(虹色)を呈することも多い。条こん(条痕)緑黒色。最も重要な銅鉱石で、多様なタイプの鉱床に産出。	chalcopyrite	211300000
k-11	せん亜鉛鉱 (閃亜鉛鉱)	せんあえんこう	ZnS。立方晶系。四面体結晶をなすが、塊状・粒状の場合も。完全な(011)へき開と樹脂状~ダイヤモンド光沢が特徴。半透明・あめ色だが、鉄が多いとほぼ黒色・不透明に。亜鉛の主要な鉱石鉱物。	sphalerite	211400000
k-12	方鉛鉱	ほうえんこう	PbS。立方晶系、鉛灰色不透明で金属光沢のある六面体~六八面体結晶。へき開(001)完全で、サイコロ状に割れる。鉛の最も重要な鉱石鉱物。接触交代鉱床・鉱脈鉱床・黒鉄鉱床などに普通に産出する。	galena	211500000
k-13	セレン化鉱物	せれんかこうぶつ	金属元素とセレン(Se)が結合した化学組成の鉱物群。硫化鉱物の硫黄の役割をセレンが果たすもの。代表例: ナウマン鉱Ag Se(輝銀鉱Ag Sのセレン置換体に相当する組成)。	selenides	220000000
k-14	テルル化鉱物	てるるかこうぶつ	金属元素とテルル(Te)が結合した化学組成の鉱物群。硫化鉱物の硫黄の役割をテルルが果たす。好んで金・銀鉱物を形成。代表例: コストフ鉱CuAuTe、シルバニア鉱AgAuTe。	tellurides	230000000
k-15	ひ化鉱物 (砒化鉱物)	ひかこうぶつ	金属元素とひ素(砒素)(As)が結合した化学組成の鉱物群。硫化鉱物の硫黄の役割を砒素が果たすもの。代表例: ひ鉄鉱(砒鉄鉱)FeAs、スクッテルド鉱CoAs、スベリー鉱PtAs。	arsenides	240000000
k-16	アンチモン化鉱物	あんちもんかこうぶつ	金属元素とアンチモン(Sb)が結合した化学組成の鉱物群。硫化鉱物の硫黄の役割をアンチモンが果たすもの。代表例: アンチモン銅鉱Cu Sb、アンチモンパラジウム鉱Pd Sb。	antimonides	250000000
k-17	ビスマス化鉱物	びすますかこうぶつ	金属元素とビスマス(Bi)が結合した化学組成の鉱物群。硫化鉱物の硫黄の役割をビスマスが果たすもの。代表例: マルドン鉱Au Bi、ソボレフスク鉱PdBi。	bismuthides	260000000
k-18	分類不明の硫化鉱物	ぶんるいふめいのりゅうかこうぶつ	硫化鉱物は、構成元素のパッキングと、陽イオン間あるいは陰イオン間の結合の有無を併用した体系で分類がなされている。この考え方による体系に区分できない硫化鉱物が、分類不明硫化鉱物である。	unspecified sulphide minerals	290000000
k-19	ハロゲン化鉱物	はろげんかこうぶつ	F, Cl, Br, Iのハロゲンを唯一の、ないしは主要な陰イオンとして含む一群の鉱物。岩塩、螢石、アタカマ石などが代表的。	halide minerals	310000000
k-20	螢石	ほたるいし	CaF ₂ 。立方晶系。立方体、八面体などの結晶で、しばしば貴入双晶。へき開(111)で完全。硬度4、比重3.18。本来は無色であるが、緑、紫色など多彩に着色して産することが多い。加熱により螢光を発する。	fluorite	311100000
k-21	酸化鉱物	さんかこうぶつ	1種類以上の陽イオンと、酸素の結合からなる鉱物。代表例は赤鉄鉱、コランダム。イオン性結晶の性格が強い。水酸基と結合しているものは水酸化鉱物と呼ばれるが、通常酸化鉱物の一部として取り扱われる。	oxide mineral	410000000
k-22	ペリクレーズ	ペリくれーず	MgO。立方晶系、へき開(001)完全。主に八面体の結晶をなすが、天然では丸みを持った粒状として産出。ガラス光沢、無色・灰色・緑色透明。ドロマイトが高温で変成され、生成することが多い。	periclase	411100000
k-23	すず石 (錫石)	すずいし	SnO ₂ 。正方晶系。結晶は柱状または低いすい状(錐状)。硬度6~7、比重6.99。ダイヤモンド光沢、赤褐色~黒褐色。すずの主要な鉱石鉱物で、高温熱水鉱脈・接触交代鉱床・気成鉱床に。砂鉱としても認められる。	cassiterite	411200000
k-24	コランダム	こらんだむ	-Al ₂ O ₃ 。鋼玉とも。六方晶系。純粋なものは無色透明。ファイアとして、宝石となる。Alに富む高温の変成岩や、特殊な玄武岩に産出。	corundum	411300000

k-25	赤鉄鉱	せきてっこう	FeO。三方晶系、硬度5~6、比重5.26。葉片状結晶から、暗褐色ぶどう(葡萄)状、また暗褐色~暗赤色塊状と、形態は多様。たい積(堆積)性のしま状鉄鉱層、接触交代鉱床、噴気性鉱床と産状も多様。最も重要な鉄鉱石鉱物。	hematite	411400000
k-26	イルメナイト	いるめないと	し葉片状結晶。黒色不透明、金属光沢、条こんは黒色。硬度5~6、比重4.72。火成岩・変成岩の副成分鉱物として一般的。漂砂チタン鉱床の主構成成分。	ilmenite	411500000
k-27	ルチル	るちる	TiO ₂ 。金紅石とも。正方晶系、柱状結晶であるが、{011}で接合した輪座双晶をなすことも多い。硬度6~6.5、比重4.23。ダイヤモンド光沢、赤褐色から黒色。TiO ₂ 組成の鉱物として最も普通。	rutile	411600000
k-28	アナターゼ	あなターゼ	TiO ₂ 。鋭すい石とも。正方晶系。普通はすい体結晶をなす。硬度5.5~6、比重3.90。光沢強く、帯黄褐色から黒色。2方向のへき開あり。チタン石などの変質によって生成。ルチル、板チタン石と多形。	anatase	411700000
k-29	板チタン石	いたちたんせき	TiO ₂ 。斜方晶系、板状結晶。硬度5.5~6、比重3.9~4.14。へき開(劈開){120}不明りょう。亜金属光沢、褐・黄・赤・黒色など。アナターゼ・ルチルと多形。各種岩石中に變質鉱物として広く分布する。	brookite	411800000
k-30	ペロブスカイト	ペロぶすかいと	CaTiO ₃ 。和名は灰チタン石。斜方晶系。立方体または八面体結晶。硬度5~5.5、比重4.01~4.04。黒・暗褐・琥珀(琥珀)色。透明ないし不透明。SiO ₂ 不飽和な高温変成岩や火成岩に産する。	perovskite	411900000
k-31	スピネル族	すびねるぞく	一般式MR ₂ O ₄ であらわされる酸化鉱物で、MにMg、Fe、Znなど2価の、RにAl、Fe、Crなど3価の陽イオンが入る。共通して立方晶系、八面体結晶をなす。酸素イオンが立方最密充填配列する結晶構造。	spinel group	412100000
k-32	スピネル	すびねる	スピネル族に属する代表的鉱物。MgAl ₂ O ₄ 。立方晶系、八面体結晶。超高温下を除き、石英と共存しない。SiO ₂ 不飽和でAlに富む高温変成岩に産出。純粋だと無色だが、天然では赤、青、紫色で、宝石になる。	spinel	412111000
k-33	鉄スピネル ヘルシナイト	てつすびねる	スピネル族に属する代表的鉱物。FeAl ₂ O ₄ 。立方晶系。超高温下を除き、石英と共存しない。エメリーなど、SiO ₂ 不飽和でAlに富む高温変成岩に産出。暗緑色から黒色。スピネルと連続固溶体をなす。	hercynite	412112000
k-34	ヘルシナイト	へるしないと	鉄スピネルと同義。		
k-35	亜鉛スピネル ガーナイト	あえんすびねる	スピネル族の鉱物。ZnAl ₂ O ₄ 。立方晶系、八面体結晶。ベグマタイトに産出し、石英と共存する。Zn十字石の分解生成物として、高温の泥質変成岩にも。暗青色。スピネル、鉄スピネルと連続固溶体をなす。	gahnite	412113000
k-36	ガーナイト	がーないと	亜鉛スピネルと同義。		
k-37	マンガンスピネル	まんがんすびねる	スピネル族の鉱物。MnAl ₂ O ₄ 。立方晶系、八面体結晶。色は赤から暗赤色、黒。スピネル、鉄スピネルと連続的固溶体関係。マンガに富む鉱脈鉱床に産出。	galaxite	412114000
k-38	マグネシオフェ ライト	まぐねしお ふえらいと	体結晶をなすが、通常粒状集合体。黒~褐黒色、不透明、金属光沢。へき開なし。硬度5.5~6.5、比重4.5~4.6。緑泥片岩・超苦鉄質岩等に産出。	magnesioferrite	412115000
k-39	磁鉄鉱	じてっこう	スピネル族の鉱物。Fe ₃ O ₄ 。立方晶系。硬度6、比重5.2。金属光沢、黒色、条こん(条痕)黒色。火成岩・変成岩に広く分布し、また正マグマ鉱床・接触交代鉱床などの鉱床を形成する。鉄鉱石として赤鉄鉱とともに重要。	magnetite	412116000
k-40	チタン磁鉄鉱	ちたんじてっこう	高温で生成し、Tiに富んだ組成の磁鉄鉱。火山岩に少量含まれる。冷却に伴って離溶し、ウルボスピネルのラメラを持つ磁鉄鉱に変化。	titano-magnetite	412116110
k-41	マグヘマイト	まぐへまいと	FeO。磁赤鉄鉱とも。化学組成は赤鉄鉱と同じだが、結晶構造はFeイオンの欠損したスピネル構造。正方晶系~立方晶系。硬度5、比重4.90。強磁性。磁鉄鉱の酸化変質物で、高温酸化した火成岩に産出。	maghemite	412117000
k-42	チタノマグヘマ イト	ちたのまぐへ まいと	チタン磁鉄鉱の酸化変質で生成したマグヘマイト。	titanomaghemite	412117110
k-43	ウルボスピネル	うるぼすびねる	中に離溶ラメラとして産出。チタン磁鉄鉱・苦鉄質岩などに産出する。	ulvo spinel	412118000
k-44	フランクリン鉄 鉱	ふらんくりん てっこう	黒色、不透明、条こん赤褐~黒色。硬度5.5~6.5、比重5.1~5.2。アメリカ、スターリング鉱山の亜鉛鉱床に量産する以外は、産出まれ。	franklinite	412119000
k-45	ヤコブス鉱	やこぶすこう	置き換えたもの。立方晶系、自形は八面体結晶、普通は微細な粒状結晶の塊状集合。黒色、不透明。変成層状マンガ鉱床に産出。	jacobsite	412121000

k-46	トレボライト	とれぼらいと	き換えたものに相当。立方晶系。自形結晶はまれ。普通は微細な粒状結晶の塊状集合。黒色、不透明。正マグマ性ニッケル鉱床に少量産出。	trevorite	41212000
k-47	マグネシクロマイト	まぐねしくろまいと	MgCrO。スピネル族で、クロム鉄鉱と連続的に組成変化。超苦鉄質岩のいわゆるクロム鉄鉱は、含鉄マグネシオクロマイトであることが多い。立方晶系、八面体結晶だが、通常は塊状・細粒状。	magnesiochromite	412123000
k-48	クロム鉄鉱 クロマイト	くろむてつこう クロマイト	FeCrO。スピネル族で、マグネシオクロマイトとともにクロム鉄鉱系列をなす。立方晶系、自形は八面体結晶だが、塊状・細粒状が普通。クロム鉄鉱系列は超苦鉄質岩中に鉱床規模で産出し、Cr資源となる。	chromite	412124000
k-49	クロマイト	くろまいと	クロム鉄鉱と同義。	chromite	
k-50	けい酸鉱物 [珪酸鉱物]	けいさんこうぶつ	SiOおよびそれに水分子が加わった化学組成の酸化鉱物の一群。石英、トリディマイト、クリストバライト、コース石、ステショバイト、オパールが知られる。テクトけい酸[珪酸]塩鉱物として分類されることもある。	silicates	440000000
k-51	水酸化鉱物	すいさんかこうぶつ	1種類以上の陽イオンと、水酸基OHが結合した鉱物。イオン性結晶としての性格が強い。ギブサイト、ブルース石など、低温低圧下の酸化条件下で生成する鉱物が多い。通常、酸化鉱物の一部として取り扱われる。	hydroxides	450000000
k-52	ブルース石 ブルーサイト	ぶるーすせき ブルーサイト	Mg(OH)。六方晶系。白色、板状結晶ないし繊維状集合体をなす。比重2.3、硬度2.5でつめで傷がつく。蛇紋岩に伴って広く産出。また、接触変成したドロマイトの後退生成物としても一般的。	brucite	451100000
k-53	ギブサイト	ぎぶさいと	-Al(OH)。和名は水ばん土石。単斜晶系。{001}に完全なへき開をもつ六角板状結晶。通常は細粒集合体。風化作用で生成し、ポーキサイトやラテライトの主要構成鉱物。火山岩の変質鉱物としても。	gibbsite	451200000
k-54	ダイアスポア	だいあすぽあ	-AlOOH。ペーマイトと多形関係。斜方晶系。淡色、強いガラス光沢。短柱状自形結晶。硬度6.5~7、へき開{010}に完全、比重3.38。火山岩等の熱水変質で生成、またポーキサイトの主成分をなす。	diaspore	451300000
k-55	ペーマイト	ペーまいと	-AlO(OH)。ダイアスポアと多形。斜方晶系、板状結晶。硬度3~4。比重3.01~3.06。ポーキサイトの構成鉱物。また、火山岩の変質鉱物としてパイロフィライト、ダイアスポアなどと共生。	boehmite	451400000
k-56	ゲーサイト	げーさいと	-FeOOH。針鉄鉱とも。斜方晶系、電子顕微鏡下で針状結晶だが、肉眼的には繊維状で、ぶどう(葡萄)状集合体をなす場合も。硬度5~6。比重4.28。鉄鉱物の風化生成物で、鉄鉱石としての利用もある。	goethite	451500000
k-57	レピドクロサイト りん鉄鉱	れびどくろさいと りん鉄鉱	-FeO(OH)。りん鉄鉱(鱗鉄鉱)とも。針鉄鉱と多形。結晶構造上は、ペーマイトに近縁。斜方晶系、結晶はりん片(鱗片)状で、ばら花状ないし雲母(雲母)状集合体をなすことも。帯褐色透明、条こんオレンジ色。鉄鉱物の風化生成物。	lepidocrocite	451600000
k-58	褐鉄鉱	かってつこう	微細粒~土状の酸化鉄・水酸化鉄鉱物の集合体。主要構成鉱物は、ゲーサイト。鉄鉱床の上部の焼け、鉄鉱物を含む岩石の地表面近くなどに、風化産物として産出。温泉沈殿物としても。ときに鉄鉱石として採掘・利用。	limonite	451700000
k-59	テルル酸塩鉱物	てるるさんえんこうぶつ	テルル酸基(TeO ²⁺ 、TeO ⁺ など)と陽イオンの結合した鉱物。自然テルルの分解によって二次的に生成。比較的産出はまれ。代表例: マグノライトHgTeO、手稲石CuTeO·2H ₂ O。	tellurates	460000000
k-60	硝酸塩鉱物	しょうさんえんこうぶつ	満たない。硝酸基の分子形態に規制され、結晶の対称性は低い。南米、チリ海岸沿いの乾燥地帯が主産地。代表例: 硝石KNO ₃ 。	nitrates	510000000
k-61	炭酸塩鉱物	たんさんえんこうぶつ	炭酸基の分子形態に規制され、結晶の対称性は全般に低い。地表近くで二次的に生成されることが多い。量的には、石灰岩の主成分の方解石が重要。	carbonates	520000000
k-62	方解石	ほうかいせき	CaCO ₃ 。三方晶系。結晶はひし形、柱状、犬が状(犬牙状)など多様。細粒集合体も一般的。純粋なものは無~白色で、不純物によりさまざまに着色。へき開{1011}に完全、硬度3、比重2.71。石灰岩の主成分。	calcite	521100000
k-63	マグネサイト	まぐねさいと	MgCO ₃ 。りょう苦土鉱とも。三方晶系。微細粒状~繊維状結晶の塊、まれにりょう形(菱形)などの自形結晶。ガラス光沢。へき開{1011}に完全。無色透明~灰色半透明。方解石より硬度・比重ともに高い。蛇紋岩に伴う。	magnesite	521200000
k-64	りょうマンガン 鉱 [菱マンガン 鉱]	りょうまんがんこう	MnCO ₃ 。三方晶系。ひし形・犬が状(犬牙状)結晶。多くは粒状結晶の塊。灰色~ピンク色~赤色、透明~半透明。へき開{1011}に完全。硬度3.5~4、比重3.5~3.7。たい積(堆積)性ないし熱水脈性マンガンの主要鉱物。	rhodochrosite	521300000

k-65	シデライト	しでらいと	FeCO ₃ 。りょう鉄鉱とも。三方晶系。面の湾曲したひし形結晶。粒状結晶集合体としても。灰色～褐色、ガラス光沢。へき開{1011}に完全。硬度4。比重3.96。層状たい積(堆積)性鉄鉱床のほか、鉱脈など産状多様。	siderite	521400000
k-66	ドロマイト	どろまいと	CaMg(CO ₃) ₂ 。苦灰石とも。三方晶系。自形はりょう面体結晶。粒状集合体も一般的。方解石より硬度・比重ともわずかに高い。純粋なものは無色～白色透明。方解石を交えて石灰岩として多産。	dolomite	521500000
k-67	アンケライト	あんけらいと	の鉱物。三方晶系。りょう面体結晶、塊状・粒状も一般的。硬度3.5～4。比重2.95～3.1。鉱床の脈石鉱物など。	ankerite	521600000
k-68	ハントライト	はんたいと	CaMg(CO ₃) ₂ 。三方晶系。自形は端のつがった六角柱状。無色透明～灰色半透明。水溶性。蒸発岩に生成。	huntite	521700000
k-69	アラゴナイト	あらごないと	CaCO ₃ 。斜方晶系。長柱状～針状結晶、結晶質個体は擬六方柱などの双晶。方解石より硬度・比重ともわずかに高い。方解石の高圧相だが、準安定的に低圧の鉱脈、温泉華、海底たい積(堆積)物にも生成。	aragonite	521800000
k-70	ストロンチアン石	すとろんちあんせき	SrCO ₃ 。斜方晶系。柱状・針状・繊維状・粒状結晶の集合。無～白～灰色、透明～半透明。ガラス～樹脂光沢。硬度3.5、比重3.79。石灰岩・泥灰岩中に脈やノジュールをなす。金属鉱脈の脈石としても産出。	storntianite	521900000
k-71	ウィザリング石 毒重土石	ういざりんぐせき	BaCO ₃ 。毒重土石とも。斜方晶系。連晶により擬六方両すい体、また柱状・板状結晶。硬度3～3.5、比重4.291。ガラス光沢。無色・乳白・灰色、透明～半透明。低温熱水性脈にて重晶石・方解石と共生。	witherite	522100000
k-72	毒重土石	どくじゅうどせき	ウィザリング石と同義。	witherite	
k-73	ほう酸塩鉱物 (硼酸塩鉱物)	ほうさんえんこうぶつ	(BO) ₃ ⁻ と(BO) ₄ ⁻ を基本的錯陰イオンとし、さらにそれらが重合した錯陰イオングループが骨格となって陽イオンと結合した、一群の鉱物。蒸発岩の主要鉱物。また、高圧下で安定な高硬度の鉱物も存在。	vanadates	530000000
k-74	硫酸塩鉱物	りゅうさんえんこうぶつ	硫黄の周りに4個の酸素を置く、硫酸基四面体(SO ₄) ²⁻ をもつ鉱物群。石こうが代表的。Na, Mg, Fe, Cu等の硫酸塩鉱物には、水溶性・潮解性を示すものが多い。金属鉱床二次鉱物、蒸発岩などに産出。	sulphates	610000000
k-75	重晶石	じゅうしょうせき	BaSO ₄ 。斜方晶系。板状結晶の他、塊状・繊維状集合体をなす。2方向のへき開。硬度3～3.5、比重4.50。無色～白色だが、着色する場合も。中～低温鉱床の脈石、また蒸発岩に産出。	barite	611100000
k-76	天青石	てんせいせき	SrSO ₄ 。斜方晶系。自形結晶は板状、通常短冊状・粒状結晶の集合体。2方向のへき開。硬度3.5。比重3.97。ガラス光沢、無色～淡青色、透明～半透明。主に蒸発岩中に石こう(石膏)などととも産出。	celestite	611200000
k-77	硬石こう (硬石膏)	こうせっこう	CaSO ₄ 。斜方晶系。厚板状結晶、また粒状・繊維状集合体。へき開{010}完全。硬度3.5。比重2.98。ガラス光沢、無色また淡青色・薄紫色。たい積(堆積)性硫化物鉱床、蒸発岩に産出。火山岩の微はん晶(斑晶)でも。	anhydrite	611400000
k-78	みょうばん石 (明礬石)	みょうばんせき	KAl[(OH)(SO ₄) ₂]。りょう面体晶系。白・灰・淡褐色。ガラス光沢。自形は六角板状。硬度3.5～4、へき開{0001}に完全。比重2.82。酸性火山岩類の酸性熱水変質の代表的生成物。	alunite	611500000
k-79	クロム酸塩鉱物	くるむさんえんこうぶつ	(SO ₄) ²⁻ のSのかわりにCrを置くクロム酸イオンを、構造の基本とする鉱物群。代表例: 紅鉛鉱PbCrO ₄ 。超苦鉄質岩に伴うクロム鉱床での二次鉱物としての産状が一般的。	chromates	620000000
k-80	モリブデン酸塩 鉱物	もりぶでんさんえんこうぶつ	(MoO ₄) ²⁻ 四面体を基本の錯陰イオンとする鉱物群。多くは(MoO ₄) ²⁻ 四面体が重合せず、単独で存在。この分類群に所属する鉱物は少ない。代表例: モリブデン鉛鉱PbMoO ₄ 。	molybdates	630000000
k-81	タングステン酸 塩鉱物	たんぐすてんさんえんこうぶつ	(WO ₄) ²⁻ 四面体を基本の錯陰イオンとする鉱物群。多くは(WO ₄) ²⁻ 四面体が単独で存在。代表例: 灰重石 CaWO ₄ 。鉄マンガン重石(Fe,Mn)WO ₄ をこの分類に含めるか否かは、研究者による。	tungstates	640000000
k-82	りん酸塩鉱物 (燐酸塩鉱物)	りんさんえんこうぶつ	リン酸基(PO ₄) ³⁻ を基本の錯陰イオンとする鉱物群。PO ₄ 四面体が他の陽イオンの作る配位多面体と重合し、複雑な構造を形成する。P-As間で同形置換が存在。酸素酸塩のなかではけい酸(珪酸)塩に次いで種類が多い。	phosphates	710000000
k-83	アパタイト	あぱたいと	正確にはりん灰石族。Ca(PO ₄)(F,Cl,OH)。フッ素りん灰石、塩素りん灰石、水酸りん灰石に細分。六方晶系。自形は六角柱状～板状結晶。色は多彩。硬度5。いん石をふくむ広範な岩石に産出。	apatite	711100000
k-84	モナズ石	もなずせき	(Ce, La, Nd)(PO ₄) ₃ 。卓越する希土類元素により3種に細分。単斜晶系。つぶした封筒型の短柱状結晶。比重4.6～5.4。黄褐～赤褐色。ペグマタイトに出現。花こう岩(花崗岩)類・片麻岩の副成分鉱物としても。	monazite	711200000

k-85	ひ酸塩鉱物 (砒酸塩鉱物)	ひさんえんこうぶつ	ひ酸基(AsO) ₃ -を基本の錯陰イオンとする鉱物群。AsO四面体が他の陽イオンの作る配位多面体と重合し、複雑な構造を形成。P-As間で同形置換が存在。硫化砒床の二次鉱物としての産出が多い。	arsenates	720000000
k-86	バナジウム酸塩 鉱物	ばなじんさんえんこうぶつ	造の基本とする鉱物群。この多面体はいくつかの形があり、また多面体同士が重合して複雑な構造をとる点があり、りん酸塩・ひ酸塩と異なる。主に酸化帯に産出。	vanadates	730000000
k-87	分類不明のけい 酸塩鉱物 (分類不明の珪 酸塩鉱物)	ぶんるいふめいのけいさんえんこうぶつ	けい酸塩鉱物の多くは、SiO ₄ 四面体の重合度によってネソけい酸塩以下6グループに分けられる。分類不明であるものには、既存分類の中間的構造のもの、まったく合わないもの、構造データの無いものが相当。	unspecified silicates	800000000
k-88	ネソけい酸塩 鉱物 (ネソ珪酸塩 鉱物)	ねそけいさんえんこうぶつ	孤立したけい酸基SiO ₄ 四面体を持つけい酸塩。オルソけい酸塩とも。各SiO ₄ 四面体は、他の四面体とSi以外の金属イオンを介して結合。四面体のSiは、通常Alに置き換えられない。一般に硬度と比重が高い。	nesosilicates	810000000
k-89	かんらん石族	かんらんせきぞく	一般式X SiO ₃ , X = Mg, Fe ²⁺ , Mn ²⁺ , Caである斜方晶系の鉱物。3価の金属イオンをほとんど含まない。Fe-Mgかんらん石は造岩鉱物として重要。多くは低圧ではシリカ鉱物と共存しない。	olivine group	811100000
k-90	かんらん石	かんらんせき	かんらん石族の主要造岩鉱物で、マグネシウムかんらん石と鉄かんらん石の固溶体。斜方晶系。一般に粒状、ときに短柱状自形結晶。オリーブ緑～帯緑褐色。ガラス光沢。シリカ不飽和な火成岩に特徴的。	olivine	811111000
k-91	フォルステライト	ふおるすてらいと	MgSiO ₃ 。かんらん石のMg端成分。マグネシウムかんらん石とも。斜方晶系。純粋で無色、天然では淡緑色～オリーブ緑色。かんらん石固溶体として超苦鉄質岩、玄武岩、ドロマイト起源変成岩に産出。	forsterite	811111110
k-92	ファイヤライト ファヤライト	ふあいやらいと	Fe SiO ₃ 。かんらん石のFe端成分。鉄かんらん石とも。斜方晶系。帯褐緑色～褐色～黒色。かんらん石固溶体として存在。端成分組成に近いものはシリカ鉱物と共存し、けい長質(珪長質)火山岩やペグマタイトに産出。	fayalite	811111120
k-93	モンチセライト	もんちせらいと	かんらん石族の鉱物。CaMgSiO ₃ 。斜方晶系。柱状結晶をなすが、通常粒状結晶の集合。無色～帯緑灰色。ガラス光沢。硬度5.5。比重3.1～3.2。主に高温スカルン、超苦鉄質岩の造岩鉱物。	monticellite	811112000
k-94	ヒューマイト族	ひゅーまいとぞく	フォルステライト構造の層とブルーサイト構造の層が、(010)に平行に互層した構造の一群の鉱物。両層の割合は、整数比。一般式Mg(OH)・n Mg SiO ₃ 。スカルン鉱物。高圧で安定なものもある。	humite group	811200000
k-95	ノルベルジャイト	のるべるじゃいと	ヒューマイト族の鉱物。Mg (SiO ₃)(F, OH)。斜方晶系。短柱状～板状結晶、粒状集合。黄褐～だいたい色(橙色)、透明～半透明。へき開なし。硬度6～6.5。比重3.18。石灰岩・苦灰岩起源のスカルン中に産する。	norbergite	811211000
k-96	コンドロダイト	こんどろだいと	ヒューマイト族。Mg (SiO ₃)(F, OH)。単斜晶系。短柱状～板状結晶。(001)での集片双晶が普通。黄～褐～赤色。スカルン、カーボナタイト中に産出。高チタンのもはキンパーライト中にも。	chondrodite	811212000
k-97	ヒューマイト	ひゅーまいと	Mg (SiO ₃)(F, OH)。ヒューム石とも。斜方晶系。短柱状～板状結晶、通常粒状集合体。黄～暗とう(橙)～褐色。へき開なし。硬度6。比重3.20～3.25。石灰岩や苦灰岩起源のスカルン中に広く産する。	humite	811213000
k-98	クリノヒューマイト	くりのひゅーまいと	ヒューム石族の鉱物。Mg(OH, F)・4Mg SiO ₃ 。単斜晶系。黄～褐色。自形は板状結晶だが、粒状集合状体が普通。ドロマイト・スカルンに一般的。上部マントル岩や超高压変成岩に高Tiの変種が産出。	clinohumite	811214000
k-99	ジルコン	じるこん	ZrSiO ₄ 。正方晶系。多くは正方長柱状の自形結晶。硬度7.5。色は多彩。ときに宝石質。けい長質(珪長質)火成岩を中心に各種岩石に微小結晶をなし広く産す。不純物のU, Thによる年代測定に利用される。	zircon	811300000
k-100	スフェーン チタン石	すふえーん	国際鉱物学連合の認める正式名称はチタン石。CaTiSiO ₅ 。単斜晶系。自形はくさび形の板状結晶、通常粒状・葉片状結晶の集合。無色～緑～黄褐色。硬度5～5.5。比重3.5。火成岩・変成岩の副成分鉱物として広く産する。	sphene	811400000
k-101	チタン石	ちたんせき	スフェーンと同義。国際鉱物学連合の認める正式名称は、チタン石のほうである。	titanite	
k-102	ざくろ石	ざくろいし	一般式X ₂ Y ₃ [SiO ₃] ₆ の、主として立方晶系のけい酸塩鉱物。主な固溶体系列は、AがCaであるグランダイト 各種変成岩に広く産出。	garnet	811500000
k-103	アルマンディン	あるまんでいん	色、時に宝石質。自形は斜方十二面体・へんりょう二十四面体。比重4.31。けい長質(珪長質)火山岩、同ペグマタイト、泥質・苦鉄質変成岩中に産出。	almandine	811511000

k-104	アンドラダイト	あんどらだいと	固溶体形成にともない対称性低下。自形結晶は斜方十二面体が基調。通常グロシュラー成分を多量に固溶。酸化的な石灰質変成岩に広く産出。	andradite	811512000
k-105	グロシュラー	ぐろしゅらー	Ca Al [SiO]。灰ばんざくろ石とも。立方晶系。天然では多彩な色調。自形は斜方十二面体が基調。アンドラダイトとの固溶体は、スカルンに一般的。高压下ではバイラルスピイトに相当量固溶。	grossular	811513000
k-106	パイロープ	ぱいーろーぷ	Mg Al [SiO]。苦ばんざくろ石とも。立方晶系。純粋組成で無色～白色。天然ではFeやCrにより赤色、時に宝石質。高压鉱物で、エクロジャイト相変成岩や上部マントルの岩石の主要構成鉱物。	pyrope	811514000
k-107	スペッサルティン	すぺっさるていん	Mn Al [SiO]。満ばんざくろ石とも。立方晶系。自形はへんりょう二十四面体・斜方十二面体。通常、多量のFeを含む。黄～とう(橙)～赤色。けい長質(珪長質)火山岩、同ペグマタイト、変成層状マンガニウム床に産出。	spessartine	811515000
k-108	ウバロバイト	うばろばいと	Ca Cr [SiO]。灰クロムざくろ石とも。立方晶系。特徴的な緑色。自形は斜方十二面体が基調。通常ごく細粒の皮殻状～脈状集合体。超苦鉄質岩中のクロム鉱床に一般的。特殊な硫化鉄鉱床中にも産出。	uvarovite	811516000
k-109	ハイドログロシュラー	はいどろぐろしゅらー	加水した灰ばんざくろ石の総称。一般式 Ca Al [(Si, H)O]。1>Si>0.5のヒプシャイト, 0.5>Si>0の加とう石(加藤石)を一括。立方晶系。白色。ロディンジャイトの主成分。	hydrogrossular	811517000
k-110	ムライト ムル石	むらいと	間げき(間隙)あり。斜方晶系。無色。硬度6.5。へき開1方向明りょう, 比重3.1。火山岩中の泥質捕獲岩など、パイロ変成作用で生成。	mullite	811600000
k-111	けい線石 (珪線石)	けいせんせき	Al SiO 。斜方晶系。針状, 長柱状。へき開{010}良好。硬度6.5～7.5。比重3.23～3.27。無色, 時に着色。紅柱石・らん晶石と多形。角せん岩(角閃岩)相・輝石ホルンフェルス相以上の泥質変成岩で安定。	sillimanite	811700000
k-112	紅柱石	こうちゅうせき	Al [O]SiO]。けい線石・らん晶石とは多形。斜方晶系。桃色・白色, 緑色の変種あり。自形は柱状。硬度6.5～7.5。へき開{110}完全。比重3.15。低圧泥質変成岩, 花こう岩(花崗岩)ペグマタイトなどに。	andalusite	811800000
k-113	らん晶石 (藍晶石)	らんしょうせき	Al SiO 。けい線石・紅柱石と多形。三斜晶系。長柱状結晶。へき開2方向。伸長方向と直交方向で硬度が著しく異なる。青～白色。Alに富む中～高压～超高压型変成岩に特徴的。	kyanite	811900000
k-114	トバズ	とばず	Al SiO (F, OH)。黄玉とも。斜方晶系。柱状。へき開{001}完全。硬度8。比重3.4～3.6。ガラス光沢。無色～黄とう色(黄橙色)～淡青色。ペグマタイト中に、宝石質美晶。気成鉱床の脈石として一般的。	topaz	812100000
k-115	十字石	じゅうじせき	Al, Feに富む, 組成の複雑なネソけい酸塩鉱物。単斜晶系。暗褐・黄褐・赤褐色。柱状結晶, 十字形の双晶が普通。Alに富む中圧以上の泥質変成岩に産出。Mg端成分は超高压変成作用にて安定。	staurolite	812200000
k-116	クロリトイド	くろりといど	形あり。暗灰～緑黒色の葉片状結晶。比重3.51～3.80。低～中温のAlに富む泥質変成岩に一般的。超高压下ではMgに富む。	chloritoid	812300000
k-117	オットレ石	おつとれせき	(Mn ²⁺ , Fe ²⁺ , Mg)Al [(OH)O]SiO]。単斜晶系。Mn端成分に富む単斜クロリトイド。黄緑色。板状結晶, 底面へき開(劈開)あり。比重3.52。ベルギー, Stavelot山塊が模式地。	ottrelite	812311000
k-118	ラーナイト	らーないと	-Ca SiO 。単斜晶系。不完全な板状結晶, また粒状集合。通常{100}で集片双晶。無色～灰色。透明～半透明。へき開{100}に明りょう。硬度～6。比重3.28。高温スカルンにスパーライトなどと産出。	larnite	812400000
k-119	マーウィナイト	まーういないと	Ca Mg(SiO)。単斜晶系。通常は粒状結晶, しばしば集片双晶。無～淡緑色。透明～半透明。へき開{100}。硬度6。比重3.15。高温スカルン中にスパーライト・ゲーレナイト等と産する。	merwinite	812500000
k-120	スパーライト	すぱーらいと	Ca [CO](SiO)]。パラスパーライトと多形。単斜晶系。白・灰・紫灰色。ガラス光沢。へき開{001}に良好。硬度5, 比重3.025。シリカ不飽和な高温スカルンに産し, ゲーレナイト等と共存。	spurrite	812600000
k-121	ダトー石	だとーせき	CaBSiO (OH)。単斜晶系。自形は短柱状, 通常細粒結晶の塊状集合体。無～白色, 淡緑・ピンク等。透明～半透明。ほうけい酸(珪酸)塩鉱物としては電気石に次いで多産。火成岩中の脈, またスカルン・緑色岩にも。	datolite	812700000
k-122	ソロけい酸塩鉱物 (ソロ珪酸塩鉱物)	そろけいさんえんこうぶつ	けい酸基SiO 四面体が2個, 頂点の酸素を共有して重合したSiO 基を構造の基本に持つ鉱物。ベスプ石, 緑れん石族のように, 独立したSiO 基をあわせ持つこともある。	sorosilicate	820000000

k-123	ベスブ石	べすぶせき	Ca (Fe,Mn,Al,Mg) Al (OH) (SiO) (SiO)。正方晶系。四角柱状および粒状。緑～褐～赤褐色。硬度6～7。比重3.3～3.5。主にスカルン、火山岩中の石灰質捕獲岩に。	vesuvianite	821100000
k-124	緑れん石族	りょくれんせきぞく	一般式X Y Si(O,OH)。通常、XにCa、軽希土、YにFe,Al,Mnなど3価のイオンが入る。AlO 六面体鎖の伸びに規制され、b軸方向に伸長した結晶になる。単斜晶系と斜方晶系のものがある。	epidote group	821200000
k-125	ゾイサイト	ぞいさいと	Ca Al [OH]O[SiO] [SiO]。灰れん石とも。クリノゾイサイトと多形。斜方晶系、b軸伸長の柱状結晶。淡褐～淡緑色。へき開{100}完全、比重3.36。苦鉄質および石灰質変成岩に。	zoisite	821211000
k-126	クリノゾイサイト	くりのぞいさいと	Ca Al (SiO) (OH)。斜灰れん石とも。ゾイサイトと多形。単斜晶系。b軸伸長の柱状結晶、また粒状・塊状。無～灰色、ピンク色変種あり。Caに富む変成岩に。変質苦鉄質岩に斜長石の分解物として。	clinozoisite	821212000
k-127	緑れん石	りょくれんせき	晶、放射状～粒状集合体。黄緑色。低～中温の苦鉄質・石灰質変成岩に。	epidote	821213000
k-128	紅れん石	こうれんせき	緑れん石と一連の固溶体。単斜晶系。b軸伸長の柱状結晶。淡桃～濃紅色。紅れん石石英片岩、マンガン鉱床に産する。	piemontite	821214000
k-129	褐れん石	かつれんせき	Ca(Ce,Y,La,Ca)(Al,Fe) Si O (OH)。緑れん石族の一種。単斜晶系。褐～黒色。柱状～板状結晶。硬度5.5～6。比重4.0。花こう岩(花崗岩)質岩の副成分鉱物。大型結晶はペグマタイト中に。	allanite	821205000
k-130	ローソン石	ろーそんせき	CaAl Si O (OH) · H O。斜方晶系。硬度6。比重3.05～3.10。無～白色。化学組成の似るアノーサイトに比べ著しく高比重。藍せん石(藍閃石)片岩相の低温部にて、藍閃石、緑泥石などと共生。	lawsonite	821300000
k-131	パンペリー石	ぱんペリーせき	体。沸石相～藍せん石(藍閃石)片岩相の変成岩に。	pumpellyite	821400000
k-132	メリライト族	めりらいとぞく	ゲーレナイト - オケルマナイト系固溶体系列に構造と組成の類似する、ソロけい酸塩鉱物。Beを含むグリア石、Znを含むハーディソン石、ほう素(硼素)を含むおか山石(岡山石)が、所属する。	melilite group	821500000
k-133	ゲーレナイト	げーれないと	メリライト族。Ca Al[AlSiO]。正方晶系。自形は正方短柱状。オケルマナイトと連続固溶体。比重3.04。硬度5.5。薄片で{001}へき開を認めることも。シリカ不飽和なアルカリ火山岩、また高温スカルンに。	gehlenite	821511000
k-134	メリライト	めりらいと	ゲーレナイト - オケルマナイト系固溶体系列の鉱物。黄長石とも。正方晶系。Caを多少のNa,Kが、Mg・Alを少量のBe,Znが置換。シリカ不飽和な火山岩、高温スカルンなどに特徴的な鉱物。	melilite	821512000
k-135	オケルマナイト	おけるまないと	メリライト族。Ca MgSi O。正方晶系。ゲーレナイトと連続固溶体。短柱状または板状結晶。へき開1方向存在。硬度5～6。比重2.944。不純石灰岩起源の高温スカルンや、鉱さい中に産する。	akermanite	821513000
k-136	ランキン石	らんきんせき	Ca Si O。キルコアン石(斜方晶系)と多形。単斜晶系。無色。硬度5.5。比重3.0。石灰岩の高温接触変成作用や交代作用を受けた、シリカ不飽和な岩石中などに産する。	rankinite	821600000
k-137	ティレー石	ていれーせき	Ca Si O (CO)。単斜晶系。灰色～灰黒色、粒状結晶集合体、時に大型塊状結晶。へき開{100}完全。比重2.84。高温接触変成作用を特徴付けるCaO-SiO-CO系スカルン鉱物。	tilleyite	821700000
k-138	サイクロけい酸塩鉱物 (サイクロ珪酸塩鉱物) 環状けい酸塩鉱物	さいくろけいさんえんこうぶつ	構造中にSiO四面体が結合したリングを持つけい酸塩。環状けい酸塩とも。リングを作るために必要な四面体は、最低3個(例:ベニト石)。6個の四面体からなるリングを持つものには、重要な鉱物が多い。	cyclosilicates	830000000
k-139	環状けい酸塩鉱物 (環状珪酸塩鉱物)	かんじょうけいさんえんこうぶつ	サイクロけい酸塩鉱物と同義。		
k-140	緑柱石	りょくちゅうせき	Be Al Si O。ベリルとも。六方晶系。六角柱状結晶。淡緑～緑色、変種に淡青色・黄・桃色。硬度7.5～8。比重2.64。しばしば宝石質。花こう岩(花崗岩)質ペグマタイト、広域変成岩、気成鉱床に広く産する。	beryl	831100000
k-141	きん青石 (重青石)	きんせいせき	を含むことも。斜方晶系。しばしば疑六方双晶。硬度7～7.5。比重2.53～2.78。中～高温・低圧の泥質変成岩に多産する。	cordierite	831200000

k-142	大隅石	おおすみし	重2.64, 肉眼では暗青ないし黒色。自形結晶は火山岩空孔に気相成長。またAlに富む超高温変成岩に特徴的。	osumilite	831300000
k-143	電気石	でんきせき	一般式XYZ(BO)(SiO)(O, OH)(OH, F)。複雑な組成のほうけい酸(珪酸)塩鉱物のグループ名。三方晶系。結晶形態は異極像で、圧電性・焦電性あり。花こう岩(花崗岩)質岩・たい積(堆積)岩源変成岩に広く産する。	tourmaline	831400000
k-144	おの石 (斧石)	おのいし	H(Ca, Fe, Mn, Mg)AlBSiO。ほうけい酸(珪酸)塩鉱物のグループ。三斜晶系。くさび形(楔形)結晶。通常は淡紫～褐色, Mnを多く含むと黄～とう(橙)赤色。気成鉱床の脈石として産出, たい積(堆積)岩源変成岩にも少量産出。	axinite	831500000
k-145	イノけい酸塩鉱物 (イノ珪酸塩鉱物) 鎖状けい酸塩鉱物	いのけいさん えんこうぶつ	SiO四面体が1次元方向に連なった鎖状構造を基本とする, けい酸塩。鎖状けい酸塩とも。単鎖構造の輝石族と, 二重鎖構造の角せん石(角閃石)族が代表的。鉱物数も多く, 岩石学的には重要。柱状～繊維状結晶が多い。	inosilicate	840000000
k-146	鎖状けい酸塩 鉱物 (鎖状珪酸塩鉱物)	さじょうけいさん えんこうぶつ	イノけい酸塩鉱物の別名。		
k-147	輝石	きせき	SiO四面体による単鎖構造を持つ, 重要な苦鉄質造岩鉱物のグループ。一般式 方晶系と単斜晶系のものがある。	pyroxene	841100000
k-148	斜方輝石	しゃほうきせき	斜方晶系に属する輝石の総称。通常, エンスタタイト-フェロシライト系固溶体を指す。この系には, 多形関係にある単斜晶系二成分固溶体系列が存在。各種火成岩, グラニュライト相変成岩の重要な造岩鉱物。	orthopyroxene	841111000
k-149	エンスタタイト	えんすたいた と	Mg[SiO]。斜方輝石固溶体系列のMg端成分から, Mg>Feである中間組成の物を指す。灰色～灰緑色。硬度5.5。比重3.32。へき開(210)完全。超苦鉄質岩の主要鉱物, またいん石に。	enstatite	841111110
k-150	ブロンザイト 古銅輝石	ぶろんざいと	エンスタタイト成分90-70%, フェロシライト成分10-30%の組成範囲の斜方輝石に対して用いられた名称。国際鉱物学連合での再定義(1988)で, 鉱物名として廃止。	bronzite	841111111
k-151	ハイパーシ ン しそ輝石	はいぱーしん	エンスタタイト成分70-50%, フェロシライト成分30-50%の組成範囲の斜方輝石に対して用いられた名称。国際鉱物学連合での再定義(1988)で, 鉱物名として廃止。	hypersthene	841111112
k-152	紫そ輝石 (紫蘇輝石)	しそきせき	ハイパーシンと同義。	hypersthene	
k-153	フェロシライト	ふえろしらいと	Fe[SiO]。鉄けい輝石, 斜方鉄けい輝石とも。固溶体系列のFe端成分から, Fe>Mgなる中間組成の物を指す。端成分に近い組成は, 高压グラニュライト相の条件で安定。Mgを含むものは火成岩に産出。	ferrosilite	841111120
k-154	ユーライト	ゆーらいと	エンスタタイト成分30-10%, フェロシライト成分90-70%の組成範囲の斜方輝石に対して用いられた名称。国際鉱物学連合での再定義(1988)で, 鉱物名として廃止。	eulite	841111121
k-155	フェロハイパー シン りん鉄鉱	ふえろはい ぱーしん	エンスタタイト成分50-30%, フェロシライト成分70-50%の組成範囲の斜方輝石に対して用いられた名称。国際鉱物学連合での再定義(1988)で, 鉱物名として廃止。	ferrohypersthene	841111122
k-156	りん鉄鉱 (鱗鉄鉱)	りんてっこう	Fe ₃ +PO ₂ ·2H ₂ O。斜方晶系。擬八面体ないし板状結晶, また繊維状結晶の放射状～皮殻状集合。無色ないし淡～濃紫, 紅色。透明ないし半透明。ガラス光沢。硬度3.5～4.5。比重2.85～2.87。へき開(劈開)(010)に良好, (001)にわずか。主に, たい積(堆積)岩やリン酸塩ペグマタイト中の鉄に富むリン酸塩鉱物の分解によって生成される。	lepidocrocite	
k-157	加納輝石	かのうきせき	6内外。比重3.60～3.66。へき開(110)完全。ドンピーコー輝石は斜方晶系多形に相当。変成マンガン鉱床に産出。	kanoite	841111130
k-158	単斜輝石	たんしゃきせき	単斜晶系に属する輝石の総称。現在クリノエンスタタイト-フェロシライト系・アルカリ輝石系・カルシウム輝石系・リシア輝石系の4系列に細分。第二・第三の系列は, 基本的に同構造, また系列間に中間相が存在。	clinopyroxene	841112000
k-159	クリノエンスタ タイト	くりのえんす たたいと	Mg[SiO]。単斜エンスタタイトとも。クリノフェロシライトと固溶関係があるが, 中間組成はまれ。無色～淡緑褐色。へき開(110)に完全。火山岩のはん晶(斑晶)としてまれに産出。いん石中にも。	clinoenstatite	841112110
k-160	クリノフェロシ ライト	くりのふえろし らいと	FeSiO。単斜鉄けい輝石, 単斜フェロシライトとも。クリノエンスタタイトと固溶体をつくるが, 中間組成的組成のものはまれ。	clinoferrosilite	841112120

k-161	ビジョン輝石	びじょんきせき	石。CaSiO ₅ 5～15%含む。短柱状結晶、へき開〔劈開〕{110}。急冷した火山岩のはん晶〔斑晶〕・石基に。深成岩中ではハイパーシンに転移。	pigeonite	841112130
k-162	オーザイト 普通輝石	おーじゃいと	普通輝石とも。一般化学組成式 20～45%。単斜晶系。多く短柱状。苦鉄質・超苦鉄質火成岩・高度変成岩の主要鉱物。	augite	841112140
k-163	普通輝石	ふつうきせき	オーザイトと同義。	augite	
k-164	ディオプサイド	ていおふさいど	系列のMg端成分。同固溶体系列のMg>Feであるものもこの名称。白色から、Fe増加につれ暗緑色に。各種スカルン及び超苦鉄質岩の構成鉱物。	diopside	841112150
k-165	ヘデン輝石	へでんきせき	体系列のFe端成分。同固溶体系列のFe>Mgであるものもこの名称。灰緑色～暗緑色。硬度6、比重3.64。各種スカルンの主要構成鉱物。	hedenbergite	841112160
k-166	オンファス輝石	おんふぁすきせき	オーザイトとひすい輝石の中間組成のアルカリ輝石。単斜晶系。緑～暗緑色。短柱状結晶。へき開{110}。硬度5～6、比重3.29～3.39。Mgに富むざくろ石とともにエクロジャイトの主要構成鉱物。	omphacite	841112170
k-167	エジリンオーザイト	えじりんおーじゃいと	エジリン - オーザイト固溶体系列の中間組成であるアルカリ輝石。単斜晶系。暗緑～黒・緑・黄緑・茶色。柱状結晶。硬度6、比重3.40～3.55。アルカリ火成岩分化末期に晶出。またけい質〔珪質〕結晶片岩中にも。	aegirineaugite	841112180
k-168	エジリン エジル輝石	えじりん	成でほぼ白色、多く暗緑色～褐色。硬度6、比重3.58。自形結晶は先のとが〔尖〕った柱状、通常粒状。アルカリ火成岩、また変成層状マンガン鉱床中に。	aegirine	841112190
k-169	エジル輝石	えじるきせき	エジリンと同義。	aegirine	
k-170	ひすい輝石	ひすいきせき	NaAl[SiO ₃]。アルカリ単斜輝石の一種。通常、粒状結晶の集合体。純粋組成で白色、Cr、Fe等不純物で着色し、しばしば宝石質。高圧・低温条件の広域変成岩を構成。アルバイトがひすい輝石+石英に分解する反応はよく高圧変成の指標とされる。また伴う超苦鉄質岩中に団塊をなす。	jadeite	841112210
k-171	コスモクロア	こすもくろあ	NaCr[SiO ₃]。アルカリ輝石の一種。単斜晶系。粒状結晶の集合体。エメラルド緑、ガラス光沢。比重3.60。へき開〔劈開〕{110}。いん石〔隕石〕から発見。超苦鉄質岩に伴うクロム鉱床に。緑色ひすいを着色する成分。	kosmochlor	841112220
k-172	スポジュメーン リシア輝石	すぼじゅーめん	LiAlSiO ₄ 。リチア輝石とも。単斜晶系。柱状～板柱状結晶。無～白色、時にピンク・黄・緑色・透明で、宝石質。へき開{110}完全。硬度6.5～7.5。比重3.2。リチウムベグマタイトの構成鉱物。	spodumen	841112230
k-173	リシア輝石	りしあきせき	スポジュメーンと同義。	spodumene	
k-174	けい灰石 〔珪灰石〕	けいかいせき	CaSiO ₃ 。全部で3種類の多形の中、天然で最も一般的。三斜晶系。板状～柱状、また繊維状集合体。へき開〔劈開〕あり。硬度4.5～5。比重2.87～3.09。石灰質接触・広域変成岩、またアルカリ火成岩などに。	wollastonite	841200000
k-175	ペクトライト	べくとらいと	NaCaSiO(OH)。ソーダけい灰石〔珪灰石〕とも。三斜晶系。繊維状～板柱状結晶の集合体。無～白色。青色の変種は飾り石に。へき開〔劈開〕2方向。硬度4.5～5。比重2.88。高圧変成岩に伴う超苦鉄質岩中に脈などを形成。	pectolite	841300000
k-176	バラ輝石	ばらきせき	晶の集合体。ピンク～紅色。へき開〔劈開〕{110}・{110}に完全。硬度5.5～6.5。比重3.6～3.8。変成層状マンガン鉱床中に多産。	rhodonite	841400000
k-177	バスタム石	ばすたむせき	(Mn, Ca)SiO ₃ 。三斜晶系。柱状～繊維状の集合結晶。淡灰～灰桃色～淡褐色。へき開{110}・{001}完全。硬度5.0～6.0。比重3.4～3.5。輝石などと共に、変成層状マンガン鉱床に産出。	bustamite	841500000
k-178	パイロクスマン ジャイト	ぱいろくすま んじゃいと	Mn[SiO ₃]。三斜晶系。桃紅・濃紅・帯褐紅色。ガラス光沢。厚板状結晶、また粒状結晶集合体。硬度5.5～6。比重3.91。へき開2方向に完全。変成層状マンガン鉱床中に。ばら輝石と識別困難。	pyroxmangite	841600000
k-179	サフィリン	さふいりん	(Al, Mg)(Al, Si)O ₃ 。酸化物としての性格が強い。単斜型が一般的。板状結晶、普通は粒状。青～青緑灰～緑色。透明、ガラス光沢。硬度7.5。比重3.4～3.5。超高温変成作用に特徴的。	sapphirine	841700000
k-180	エニグマ石	えにぐませき	黒色、ガラス光沢。へき開2方向。硬度5.5。比重3.85。アルカリ火山岩中の微はん晶〔斑晶〕として。また方ソーダ石せん長岩などに。	aenigmatite	841800000

k-181	角せん石 (角閃石)	かくせんせき	一般化学式A ~ B C T O (OH, F, Cl) で表され、(Si, Al) O 二重鎖を基本構造とするけい酸塩鉱物の総称。化学組成の変化きわめて顕著、鉱物種多数。斜方晶系と単斜晶系のものあり。	amphibole	841900000
k-182	鉄マグネシウム 角せん石 (鉄マグネシウム 角閃石)	てつまぐねしう むかくせんせき	化学組成(Mg,Fe) (Si,Al) O (OH, F, Cl)。斜方晶系の直せん石 - ゼードルせん石系列、プロト構造のプロト直せん石系列、単斜晶系のカミングトンせん石 - グリュネルせん石系列がある。	iron-magnesium amphibole	841911000
k-183	直せん石 (直閃石)	ちよくせんせき	種。Alに乏しい。白～灰緑色、長柱状～繊維状結晶の集合体。へき開{210}完全。超苦鉄質岩の変成作用・交代作用で生成。Mgに富む変成岩にも。	anthophyllite	841911110
k-184	ゼードルせん石 (ゼードル閃石)	ぜーどるせん せき	晶系鉄マグネシウム角せん石(角閃石)。黄褐～濃褐色。長柱状～針状結晶、しばしば集合体。へき開(劈開){210}完全。変成岩に産出。	gedrite	841911120
k-185	フェロゼードル せん石 (フェロゼードル 閃石)	ふえろぜーど るせんせき	マグネシウム角せん石(角閃石)。柱状～繊維状結晶。褐緑～褐灰色。へき開(劈開){110}に完全。鉄に富むたい積(堆積)岩起源の接触変成岩に産出。	ferrogedrite	841911130
k-186	ホルムキストせ ん石 (ホルムキスト閃 石)	ほるむきすと せんせき	Fe - Mg - Mn - Li角せん石(角閃石)の一種。 針状結晶。暗紫～淡天青色。へき開{110}に完全。単斜型の多形あり。	holmquistite	841911140
k-187	カミングトンせ ん石 (カミングトン閃 石)	かみんぐとん せんせき	シウム角せん石(角閃石)。淡緑～緑色、長柱状～繊維状。角せん岩相の変成岩、苦鉄質～中間組成の深成岩に。Kに乏しいサイトなどにも。	cumingtonite	841911150
k-188	グリュネルせん 石 (グリュネル閃 石)	ぐりゆねるせ んせき	シウム角せん石(角閃石)。灰褐・暗緑色。柱状～繊維状。硬度5～6、比重3.54。へき開{110}。低度変成されたしま状(縞状)鉄鉱層の構成鉱物。	grunerite	841911160
k-189	カルシウム角 せん石 (カルシウム角閃 石)	かるしうむかく せんせき	一般式A ~ B C T O (OH, F, Cl) 中のB席について、(Ca+Na) 1.50かつ0.50<Na<1.50である単斜晶系の角せん石(角閃石)の総称。代表例:ホルンブレンド、エデンせん石など。	calcium amphiboles	841912000
k-190	トレモラせん石 (トレモラ閃石)	とれもらせん せき	透せん石とも。Ca Mg Si O (OH)。FeによるMgの置換とAlによるSiの置換は0.5原子まで許容される。単斜晶系、無色～灰色、長柱状結晶ないし繊維状集合体。中～低温の変成石灰岩に産する。	tremolite	841912110
k-191	アクチノせん石 (アクチノ閃石)	あくちのせん せき	換。単斜晶系、柱状結晶。淡緑～灰緑色。緑色片岩相の苦鉄質変成岩に産する。	actinolite	841912120
k-192	フェロアクチノ せん石 (フェロアクチノ 閃石)	ふえろあくち のせんせき	斜晶系、濃緑色～黒色。長柱状～針状結晶。変成しま状(縞状)鉄鉱層に産出。	ferroactinolite	841912130
k-193	ホルンブレンド 族	ほるんぶれん どぞく	従来は、エデンせん石 - チェルマクせん石 - パーガスせん石およびトラモラせん石間の固溶体を指したが、国際鉱物学連合の再定義(1997)により、現在は有色のカルシウム角せん石(角閃石)の総称に内容変更。	hornblende group	841912140
k-194	ホルンブレンド 普通角閃石	ほるんぶれん ど	カルシウム角せん石(角閃石)に属し、酸素数22にてA席のアルカリが0.5以下で4配位席が6.5<Si<7.5Alなる角閃石系列。Mg側の苦土ホルンブレンドとFe側の鉄ホルンブレンド間の固溶体。	hornblende	841912141
k-195	エデンせん石 (エデン閃石)	えでんせんせ き	カルシウム角せん石(角閃石)に属し、酸素数22のときA席のアルカリが0.5以上で4配位席がSi>6.5である角閃石系列。Mg側のエデンせん石とFe側の鉄エデンせん石の固溶体。アルカリ深成岩ペグマタイト中に産出。	edenite	841912142
k-196	ツェルマクせん 石 (ツェルマク閃 石)	つえりまくせん せき	カルシウム角せん石(角閃石)に属し、酸素数22のときA席のアルカリが0.5以下で5.5<Si<6.5である角閃石系列。Mg側のツェルマクせん石とFe側の鉄ツェルマクせん石の間の固溶体。	tschermakite	841912143
k-197	パーガスせん 石 (パーガス閃石)	ぱーがすせん せき	カルシウム角せん石(角閃石)に属し、酸素数22のときA席のアルカリが0.5以上で5.5<Si<6.5である角閃石系列。Mg側のパーガスせん石とFe側の鉄パーガスせん石の間の固溶体。火成岩、変成岩に広く産出。	pargasite	841912144
k-198	ヘスチングスせ ん石 (ヘスチングス閃 石)	へすちんぐす せんせき	色。柱状ないし針状結晶。かすみ石せん長岩、花こう岩(花崗岩)、鉄に富む高度変成岩などに産出。	ferrohastingsite	841912145
k-199	ケルスートせん 石 (ケルスート閃 石)	けるすーとせ んせき	Tiに富むカルシウム角せん石(角閃石)。NaCa (Mg Ti) Al Si O (OH)。単斜晶系、柱状結晶。暗褐～黒色。ガラス光沢。比重3.3。へき開{110}完全。アルカリ火山岩、せん長岩などに産する。	kaersutite	841912150

k-200	パーケビセン石 (パーケビ閃石)	ぱーけびせんせき	鉄パーガスせん石質ホルンブレンドの同義語とする解釈と、鉄ホルンブレンドの同義語とする解釈とがある。現在は鉱物名として認められていない。	barkevikite	841912160
k-201	アルカリ角せん石 (アルカリ角閃石)	あるかりかくせんせき	従来、角せん石(角閃石)の一般化学式 $A \sim B C T O (OH)$ において、B席Na 1.34のものに対する総称。現在の定義でのナトリウム角閃石とナトリウム-カルシウム角閃石の一部を包含。	alkali amphiboles	841913000
k-202	らんせん石 (藍閃石)	らんせんせき	Na Mg Al Si O (OH)。単斜晶系。高压変成岩に特徴 称としても使われる。	glaucophane	841913110
k-203	マグネシオリーベックせん石 (マグネシオリーベック閃石)	まぐねしおリーべっくせんせき	綿状集合体。暗青～黒色。らんせん石系列と固溶体形成。産出条件が広いが、高压型結晶片岩が典型的。アルカリ花こう岩にも産出。	magnesian riebeckite	841913120
k-204	リーベックせん石 (リーベック閃石)	リーべっくせんせき	石綿状結晶。暗青～黒色。高压型結晶片岩、Naに富む花こう岩・せん長岩、弱変成されたしま状鉄鉱層と産出条件が広い。	riebeckite	841913130
k-205	エケルマンせん石 (エケルマン閃石)	えけるまんせき	NaNa Mg AlSi O (OH)。単斜晶系。暗緑色の長柱状結 せんせき(閃石)系列と固溶関係に。アルカリ火成岩に産出。	eckermannite	841913140
k-206	アルベゾンせん石 (アルベゾン閃石)	あるべぞんせんせき	 換してエケルマンせんせき(閃石)系列と固溶関係に。アルカリ火成岩に産出。	arfvedsonite	841913150
k-207	ナトリウム-カルシウム角せん石 (ナトリウム-カルシウム角閃石)	なとりうむ-かるしうむかくせんせき	一般式 $A \sim B C T O (OH,F,Cl)$ において、B席が $(Ca+Na) > 1.00, 0.50 < Na < 1.50$ であるもの。旧来、サブカルシック角せん石(角閃石)とも呼称。例: パロアせん石、タラムせん石。	soidi calcic amphibole	841914000
k-208	ウィンチせん石 (ウィンチ閃石)	ういんちせんせき	置換するが、中間組成よりMg側のみ知られる。青～青紫色の針状結晶。けい酸マンガングル、低温の高压型変成岩に産出。	winchite	841914110
k-209	パロアせん石 (パロア閃石)	ぱろあせんせき	パロアせん石に向かう。単斜晶系。らんせん石片岩相・緑れん石角せん岩相に属する苦鉄質変成岩の主要構成鉱物。	barroisite	841914120
k-210	リヒテルせん石 (リヒテル閃石)	りひてるせんせき	ルせん石に向かう。単斜晶系。褐色～暗緑色の柱状結晶。アルカリせん長岩、同質ペグマタイト、変成層状マンガングル床に産出。	richterite	841914130
k-211	カトフォルせん石 (カトフォル閃石)	かとふあるせんせき	苦土カトフォルせん石に向かう。単斜晶系。暗褐～青黒色、柱状・針状結晶。粗面岩などアルカリ火成岩に産出。	katophorite	841914140
k-212	マグネシオカトフォルせん石 (マグネシオカトフォル閃石)	まぐねしおかとふあるせんせき	カトフォルせん石に向かう。単斜晶系。暗赤褐～暗褐色、柱状・針状結晶。粗面岩などアルカリ火成岩に産出。	magnesiokatophorite	841914150
k-213	タラムせん石 (タラム閃石)	たらむせんせき	 換。かすみ石せん長岩などアルカリ火成岩に産出。	taramite	841914160
k-214	フィロけい酸塩鉱物 (フィロ珪酸塩鉱物) 層状けい酸塩鉱物	ふいろけいさんえんこうぶつ	SiO ₄ 四面体が2次元的に重合した層構造をもつ鉱物。層状けい酸塩とも。この四面体層は、酸素・OHが各種金属イオンを正八面体に配位する八面体層と組み合わせる。底面へき開明りょうな板状・薄片状結晶が一般的。	phyllosilicates	850000000
k-215	層状けい酸塩鉱物 (層状珪酸塩鉱物)	そうじょうけいさんえんこうぶつ	フィロけい酸(珪酸)塩鉱物と同義。		
k-216	雲母 (雲母)	うんも	$X Y \sim Z O (OH,F)$ 。層間のX席は12配位で大型イオン(K,Na等)が入る。八面体層を2個陽イオン3個が占めるトリオクタヘドラル型と、3個の陽イオン2個と空席が占めるディオクタヘドラル型がある。	mica	851100000
k-217	白雲母 (白雲母)	しろうんも	$K Al (Si Al) O (OH, F)$ 。ディオクタヘドラル型雲母(雲母)。単斜晶系。六角板状結晶。へき開(劈開) {001}完全。無色、ガラス状光沢。花こう岩(花崗岩)ペグマタイト、泥質変成岩に産出。細粒集合体はロウ石鉱床にも。	muscovite	851111000
k-218	フェンジャイト	ふえんじやいと	Fe, Mgに富むディオクタヘドラル型雲母。白雲母がチェルマク型置換により2Alに変わって(Mg,Fe)Siを導入。高压型～超高压型変成岩の白色雲母として一般的。低下下できん青石の変質等でも生成。	phengite	851111110

k-219	パラゴナイト	ぱらごないと	NaAl (Si Al)O (OH, F)。ディオクタヘドラル型雲母。ソーダ雲母とも。単斜晶系。無色～淡黄色。へき開{001}完全。ガラス状光沢。Alに富む結晶片岩や、石英脈に。白雲母にも少量固溶。	paragonite	851112000
k-220	海緑石	かいりょくせき	ヘドラル型雲母(雲母)。単斜晶系。青緑色の粉末塊。浅海成たい積(堆積)岩中に青緑色のペレット状粒子として産する。	glauconite	851113000
k-221	フロゴパイト 金雲母	ふるごぱいと 金雲母	KMg (Si Al)O (OH, F)。トリオクタヘドラル型雲母。黒雲母固溶体のMg-Si端成分。銀灰・黄・褐色を示す六角柱状～板状結晶。超苦鉄質岩、カーボナタイト、またドロマイトスカルンに産出。	phlogopite	851114000
k-222	金雲母 (金雲母)	きんうんも	フロゴパイトと同義。	phlogopite	
k-223	アナイト	あないと	KFe (Si Al)O (OH, F)。トリオクタヘドラル型雲母。黒雲母固溶体のFe-Si端成分。濃褐色～黒色。アルカリせん長岩ペグマタイトに産する。	annite	851114110
k-224	黒雲母 (黒雲母)	くろうんも	トリオクタヘドラル型雲母。アナイト、シデロフィライト、金雲母も、仮想的成分イーストナイトの4者の固溶体。暗褐・暗緑色。六角板状結晶。へき開{001}完全。比重2.7～3.3。火成岩・変成岩に広く産出。	biotite	851115000
k-225	レピドライト リシア雲母	れびどらいと リシア雲母	K(Li,Al) (Si,Al) O (F,OH)。トリオクタヘドラル型雲母。現在の定義では、ポリリシオナイト-トリリシオナイト固溶系列。単斜晶系・三方晶系。桃～紫色、無色。リチウムペグマタイトの主要鉱物。	lepidolite	851116000
k-226	リシア雲母 (リシア雲母)	りしあうんも	レピドライトと同義。	lepidolite	
k-227	チンワルド雲母 (チンワルド雲母)	ちんわるとうんも	Liを含むトリオクタヘドラル型雲母。化学式ス光沢。自形は六角板状。花こう岩(花崗岩)ペグマタイトやグライゼン中に産する。	zinnwaldite	851117000
k-228	マーガライト	まーがらいと	ぜい雲母の一種。CaAl Si AlO (OH)。単斜晶系。無色～白色、自形は六角板状。へき開{001}完全。ばん土けつ岩起源変成岩やエメリーの熱水変質、アルミノけい酸塩鉱物の加水変質で生成。	margarite	851118000
k-229	クリントナイト	くりんとないと	理想式CaMg Al(OH) [Al SiO]。通常、よりAlに乏しく(Mg+Si)に富む。単斜晶系。無色～淡緑色。へき開{001}完全。自形は六角板状。比較的けい酸分に乏しい高温スカルンに産出。	clintonite	851119000
k-230	スティルブノメレン	すちるぶのめれん	四面体層 - 八面体層 - 四面体層の3層構造を、6個のSiO四面体の二重リングが結び付ける、複雑な層状けい酸塩。三斜晶系。暗緑色～褐色。化学組成も見かけも黒雲母に酷似。しま状(縞状)鉄鉱層、低温の広域変成岩に産出。	stilpnomelane	851200000
k-231	星葉石	せいようせき	(K,Na) (Fe,Mn) Ti Si O (O, OH)。三斜晶系。古銅黄色の柱状・刃状結晶、ときに星状集合体。へき開{010}完全。亜金属状～真珠光沢。かすみ石せん長岩、Naに富む花こう岩中に産出。	astrophyllite	851300000
k-232	パイロフィライト	ぱいるふいらいと	Al Si O (OH)。ディオクタヘドラル型含水アルミニウムけい酸塩。単斜晶系と三斜晶系。葉状片または塊状。白～帯褐緑色。真珠光沢。カオリナイトより高温で生成。熱水鉱脈等に長石等の変質物として。	pyrophyllite	851400000
k-233	滑石	かっせき	Mg Si O (OH)。単斜晶系、三斜晶系。葉片状集合または緻密(緻密)な細粒集合体。白色～黄緑色。硬度1。比重2.78。超苦鉄質岩起源の変質帯・変成岩、Mgに富む超高压変成岩、接触変成ドロマイトに産出。	talc	851500000
k-234	緑泥石	りょくでいせき	滑石型層1枚とブルーサイト型層1枚を積層単位とする層単斜晶系、一部に三斜晶系。低温変成岩、たい積(堆積)岩、熱水変質火成岩に産する。	chlorite	851600000
k-235	蛇紋石	じゃもんせき	一般式Mg Si O (OH)。SiO四面体層とブルーサイト型層の積層からなる。電子顕微鏡下の性状により、クリソタイル、リザダイト、アンチゴライトに3分類、さらに晶系で細分。蛇紋岩の構成鉱物。	serpentine	851700000
k-236	リザダイト	りざだいと	Mg Si O (OH)。板状形態をなす蛇紋石族。5種類のポリタイプを包含。六方晶系、三方晶系、単斜晶系。通常は細粒状。緑黄～濃緑～帯青色。塊状蛇紋岩の主要構成鉱物として他の蛇紋石族とともに産出。	lizardite	851711000
k-237	アンチゴライト	あんちごらいと	板状形態で、X軸方向に波状の超構造をとる蛇紋石族の一種。単斜晶系。濃緑～淡緑～黄色。塊状あるいは繊維状。硬度2.5～3.5。蛇紋岩の主成分鉱物として他の蛇紋石族とともに産出。	antigorite	851712000
k-238	クリソタイル	くりそたいる	Mg Si O (OH)。蛇紋石族。繊維状をなし、電子顕微鏡下では管状、断面は同心円状またはらせん状をなす。単斜晶系、斜方晶系(2種類)の3種類の多形あり。アスベスト(温石綿)として使用された。	chrysotile	851713000

k-239	粘土鉱物	ねんどこうぶつ	粘土の構成鉱物。大部分は、層状けい酸塩に分類される含水アルミノけい酸塩。一般にごく微細な結晶の、土状集合体をなす。風化作用、熱水変質作用、続成作用により、既存の鉱物を分解して生成することが多い。	clay minerals	851800000
k-240	カオリナイト	かおりないと	Al Si O (OH)。カオリン族中もっとも一般的。三斜晶系。火山岩の熱水変質、また雲母・長石・火山ガラスなどの風化で生成し、たい積(堆積)岩、土壌中に産する。窯業材料としてきわめて重要。	kaolinite	851811000
k-241	ディッカイト	でいっかいと	Al Si O (OH)。カオリン族のディオクタヘドラル型粘土鉱物。カオリナイトの構造を基本に、その2倍を単位とする規則的積層をなす結晶構造。単斜晶系。りん片状～粉末塊。カオリナイトと多形。	dickite	851811120
k-242	ナクライト	なくらいと	Al Si O (OH)。カオリン族のディオクタヘドラル型粘土鉱物。カオリナイトの構造を基本に、その6倍を単位とする規則的積層をなす。単斜晶系。カオリナイトと多形で、互いに共存する。	nacrite	851811130
k-243	ハロイサイト	はろいさいと	カオリン族のディオクタヘドラル型粘土鉱物。カオリナイトと同組成の層構造が不規則に積層。層間に水の1分子層を含み、含水率がカオリナイト多形より高い。単斜晶系。火山灰等の風化生成物。よう業材料、製紙用として利用。	halloysite	851811140
k-244	イライト	いらいと	ディオクタヘドラル型雲母族粘土鉱物の総称。一般に、雲母層と少量のぼうじゅん層を有する雲母層の混合層鉱物。たい積(堆積)岩続成作用で、埋没の進行とともにぼうじゅん層の脱水がすすみ、ぼうじゅん層を含まぬ白雲母に移行する。	illite	851812000
k-245	スメクタイト	すめくたいと	2:1型の層状けい酸塩粘土鉱物。層間に交換性陽イオンと水分子を有する。ディオクタヘドラル型とトリオクタヘドラル型あり。過剰の水分子を含んで層間を開く、ぼうじゅん性が特徴。有機物分子をも層間に吸着する。	smectites	851813000
k-246	モンモリロナイト	もんもりろないと	Na・(H O) (Al, Mg) [(OH) Si O]。ディオクタヘドラル・スメクタイトの一種。単斜晶系。白～淡黄～淡褐色、土状。酸性火山岩・火山砕せつ岩の熱水変質帯やたい積(堆積)岩に産出。	montmorillonite	851813110
k-247	バイデライト	ばいでらいと	(Ca, Na) ~ , Al [(H O) OH) Al, Si, O]。ディオクタヘドラル・スメクタイトの一種。単斜晶系。白～褐色、土状。火山岩・火山砕せつ岩の熱水変質帯や、たい積(堆積)岩に産出。	beidellite	851813120
k-248	ノントロナイト	のんとろないと	ル・スメクタイトの一種。単斜晶系。粉末の場合は黄褐色～暗褐色、土状。苦鉄質鉱物などの分解生成物。	nontronite	851813130
k-249	サボナイト	さぼないと	リオクタヘドラル・スメクタイトの一種。単斜晶系。淡緑～緑灰色。苦鉄質鉱物などの分解生成。	saponite	851813140
k-250	ヘクトライト	へくとらいと	Na・(Mg, Li) [(H O) OH, F) Si O]。Mg:Li ~ 8:1。トリオクタヘドラル・スメクタイトの一種。単斜晶系。白色～灰色、土状。けい長質火山岩の熱水変質などで生成。	pectlite	851813150
k-251	ソーコナイト	そーこないと	(Zn, Mg) [(OH) (Si, Al) O]・(1/2Ca, Na)X(H O)。多量のZnを含むトリオクタヘドラル・スメクタイト。単斜晶系。白～黄褐色、土状。亜鉛鉱床の酸化帯に生成。	sauconite	851813160
k-252	パーミキュライト	ぱーみきゅらいと	石とも。単斜晶系。淡緑～淡褐色、葉片状～土状。超苦鉄質岩の熱水変質などで生成。加熱処理し骨材利用。	vermiculite	851814000
k-253	アポフィライト	あぽふいらいと	Kを含む含水アルミノけい酸塩のグループ。OHのF置換、KのNa置換により4種が存在。両端のものが(尖)った正方柱状結晶。無色～白色、時に淡青色透明。(001)へき開完全。変質火山岩の空洞、ペグマタイトなどに産出。	apophyllite	851900000
k-254	ぶどう石 (葡萄石)	ぶどうせき	Ca Al[(OH) AlSi O]。斜方晶系または単斜晶系。無～淡緑色。ガラス光沢。硬度6～6.5。比重2.94。自形は直方体ないし柱状、しばしばぶどう状集合体。変質火山岩の空洞に、また低温の変成岩に産出。	prehnite	852100000
k-255	テクトけい酸塩 鉱物 (テクト珪酸塩鉱物) 網状けい酸塩鉱物	てくとけいさんえんこうぶつ	SiO四面体頂点の酸素が互いに結合し、3次元的な骨組み構造を作る鉱物。SiをAlが置換して生じる正電荷の不足を、Na, Caなどの半径の大きな陽イオンが中和する。シリカ鉱物以外、すべてアルミノけい酸塩。	tectosilicate	860000000
k-256	網状けい酸塩 鉱物 (網状珪酸塩鉱物)	もうじょうけいさんえんこうぶつ	テクトけい酸塩と同義。		
k-257	シリカ鉱物 けい酸鉱物	しりかこうぶつ	SiO およびそれに水分子が加わった化学組成の酸化鉱物の一群。石英、トリディマイト、クリストバライト、コース石、スティショバイト、オパールが知られる。酸化鉱物として分類することもある。	silica mineral	861100000

k-258	石英	せきえい	SiO ₂ 。シリカ鉱物。重要な造岩鉱物。高温型(六方晶系)があるが、常温では全て低温型(三方晶系)に転移。硬度7、比重2.65。通常無色～白色、着色変種あり。シリカ飽和の火成岩・変成岩・たい積(堆積)岩の主要構成鉱物。	quartz	861111000
k-259	カルセドニー	かるせどにー	SiO ₂ 。微小結晶のち密(緻密)な集合体として産する石英。不規則塊状、またぶどう状集合体。色や組織により、めのう、へき玉(碧玉)、フリントなどと呼ばれる。たい積(堆積)岩の自生鉱物、また低温熱水脈や火山岩中の空孔に産する。	chalcedony	861111110
k-260	トリディマイト	とりでいまいと	SiO ₂ 。シリカ鉱物。りんけい石とも。低温型は単斜晶系、高温型は斜方晶系。無色～白色、ガラス光沢。六角薄板状結晶、普通は双晶をなす。流紋岩・デイサイトの空けき(空隙)に気相成長による自形結晶として産出。	tridymite	861112000
k-261	クリストバライト	くりすとばらいと	SiO ₂ 。シリカ鉱物。石英やトリディマイトと多形。低温型は正方晶系、高温型は立方晶系。低温型は皮かく状・脈状に生成、また「オパール」を構成。高温型は火山岩の空けき(空隙)に結晶をなすほか、細粒の石基を構成する。	cristobalite	861113000
k-262	コーサイト	こーさいと	SiO ₂ 。シリカ鉱物の高圧相。単斜晶系。無色、ガラス状光沢。へき開(劈開)なし。硬度8。合成結晶では六方小板状自形を認める。いん石の衝突による衝撃変成で、石英から転移して生成。超高压変成岩を特徴づける鉱物でもある。	coesite	861114000
k-263	スティショバイト	すていしょばいと	SiO ₂ 。シリカ鉱物の高圧相で、中部マントル相当の高圧下で安定。正方晶系。他のシリカ鉱物と異なり、Siは6配位で、結晶構造はルチル型。地表付近では、いん石の激突などによる衝撃変成作用で石英から生成。	stishovite	861115000
k-264	オパール	おばーる	結晶度の悪い、天然に産する加水けい酸の総称。化学式SiO ₂ ・nH ₂ O。塊状のもの他、けい藻(珪藻)の殻やイネ科植物の茎などに含まれるけい酸もオパールと称する。結晶構造の異なる3種類が存在。ときに宝石質。	opal	861116000
k-265	オパール-A	おばーるえー	オパールと総称されるもののうち、X線的にはほぼ非晶質とみなされるもの。光学的には等方体。宝石質オパールの大部分、けい藻(珪藻)土などが該当する。	opal-A	861116110
k-266	オパール-CT	おばーるしーていー	オパールと総称されるもののうち、乱れた構造を持つ低温型クリストバライトとトリディマイトからなるもの。光学的には、細かい針状結晶の集合体。オパールとして最も普通。	opal-CT	861116120
k-267	長石	ちようせき	一般式WZ O ₂ 。通常W = Na, K, Ca, まれにBa, Sr。Z = Si, Al。Na-Ca系長石は三斜晶系、K長石ではSiとAlの分布の秩序度で対称性が変わる。地殻岩石での重要な造岩鉱物。	feldspar	861200000
k-268	アルカリ長石	あるかりちようせき	Or(KAlSi ₃ O ₈)-Ab(NaAlSi ₃ O ₈)系列の長石。Caをほとんど含まず。高温で連続固溶体を形成するが、低温では広い不混和域が存在。アノーソクレーズ、正長石、アルバイトが代表。	alkali feldspar	861211000
k-269	正長石	せいちようせき	KAlSi ₃ O ₈ 。単斜晶系のアルカリ長石。Al・Siが部分的に秩序配列。約650℃でサニディンから転移。硬度6、比重2.56。へき開2方向。通常、アルバイト成分を20%ほど固溶。	orthoclase	861211110
k-270	サニディン	さにでいん	KAlSi ₃ O ₈ 。高温型のカリ長石。Al・Siが無秩序配列。単斜晶系。へき開(劈開)2方向。硬度6。比重2.56。無色～白色。ガラス光沢。流紋岩・粗面岩等Kに富むけい長質～中性の火山岩に産出。	sanidine	861211120
k-271	マイクロクリン 微斜長石	まいくろくりん	KAlSi ₃ O ₈ 。微斜長石とも。三斜晶系のアルカリ長石。Al・Siが秩序配列。硬度6、比重2.55。へき開2方向。Kを置換してNaを最大30%ほど含む。花こう岩・片麻岩・ペグマタイトなどに産出。	microcline	861211130
k-272	微斜長石	びしゃちようせき	マイクロクリンと同義。斜長石との混同をさけるため、用いないほうが望ましい。	microcline	
k-273	アノーソクレーズ	あのーそくれーず	アルカリ長石固溶体系列で、アルバイト成分を20%以上含む、Na-K長石。三斜晶系。へき開(001)顕著、(010)良好。硬度6、比重2.56～2.6。アルカリに富むけい長質火山岩のはん晶として産出。	anorthoclase	861211140
k-274	斜長石	しゃちようせき	Ab(NaAlSi ₃ O ₈)-An(CaAl ₂ Si ₂ O ₈)系列に属する長石。少量のK等を含む。すべて三斜晶系。比重2.62～2.76。へき開(001)完全、(010)良好。地殻を構成する岩石で特に重要な鉱物。	plagioclase	861212000
k-275	アルバイト 曹長石	あるばいと	NaAlSi ₃ O ₈ 。斜長石固溶体のNa端成分。アノーサイト成分の固溶量は10%まで。低温型と高温型があり、Si・Alの秩序度変化で連続的に転移。ともに三斜晶系。ペグマタイト、低温の変成岩に産出。	albite	861212110
k-276	オリゴクレーズ	おりごくれーず	アルバイト成分70-90%、アノーサイト成分10-30%である組成の斜長石。けい長質深成岩・火山岩や、中温以上の変成岩での主要鉱物。	oligoclase	861212120
k-277	アンデシン	あんでしん	アルバイト成分50-70%、アノーサイト成分30-50%である組成の斜長石。主として中性の深成岩・火山岩および中温以上の変成岩の主要鉱物。	andesine	861212130

k-278	ラブラドライト	らぶらどらいと	アルバイト成分30-50%, アノーサイト成分50-70%である組成の斜長石。主にやや苦鉄質の深成岩・火山岩および中温以上の変成岩の主要鉱物。	labradorite	861212140
k-279	バイトウナイト	ばいとうないと	アルバイト成分10-30%, アノーサイト成分70-90%である組成の斜長石。苦鉄質の深成岩・火山岩および中～高温の同質変成岩の主要鉱物。	bytownite	861212150
k-280	アノーサイト 灰長石	あの一さいと	CaAl ₂ SiO ₇ 。斜長石固溶体系列のCa端成分。アルバイト成分の固溶量は10%まで。三斜晶系。自形は厚板状結晶。超苦鉄質岩、石灰質変成岩、火山のほう出(抛出)結晶として産する。	anorthite	861212160
k-281	バリウム長石	ばりうむちようせき	一般式WZ ₂ O ₇ において、Wの大部分にBaが入る長石。構造的にカリ長石と近縁。鉱物種としてはセルシアンとハイアロフェンがある。		861213000
k-282	セルシアン	せるしあん	BaAl ₂ SiO ₇ 。重土長石とも。単斜晶系。自形は短柱状結晶、通常塊状集合体。無～白～淡黄色、ガラス光沢。比重3.1～3.4。へき開2方向。変成マンガン鉱床の他、変成苦鉄質岩中に産出。	celsian	861213110
k-283	ハイアロフェン	はいあるふえん	ハイアロフェン(K, Ba)Al(Al, Si) ₂ O ₇ 。カリ長石とセルシアンの中間的固溶体にあたる長石。マンガン鉱床のほかフォノライト・片麻岩にも産出。	hyalophane	861213120
k-284	準長石	じゅんちようせき	かすみ石、カリオフィライト、白りゅう石(白榴石)など、特にSiO ₂ に乏しいアルカリ火成岩にて長石の代わりに産するけい酸(珪酸)塩鉱物の総称。長石からSiO ₂ を数分子引いた化学組成をもつ点が共通。シリカ鉱物とは共存しない。	feldspathoid	861300000
k-285	ネフェリン	ねふえりん	Naにとむシリカ不飽和な火成岩を構成する準長石族。NaAlSi ₃ O ₈ 。Naは相当量Kによって置換。六方晶系。自形はまれで、多くは粒状～不規則塊状。白～灰色、ガラス状もしくは油脂状光沢。比重2.6、硬度6。	nepheline	861311000
k-286	カルシライト	かるしらいと	準長石。KAlSi ₃ O ₈ 。六方晶系。硬度6。比重2.59～2.625。無色、白、灰色。ガラス光沢。ネフェリンと高温で連続固溶体。天然ではカルシライト成分40%程度が限界。K ₂ Oに富むアルカリ火山岩の石基に産する。	kalsilite	861312000
k-287	カリオフィライト	かりおふいらいと	準長石。KAlSi ₃ O ₈ 。六方晶系。産状はカルシライトと同一で、諸物性も非常に似るが、空間群が異なる。カルシライトに対し準安定と考えられる。	kaliophilite	861313000
k-288	ペタライト	べたらいと	Li ₂ [AlSi ₂ O ₇]。構造分類上はイノけい酸塩。単斜晶系。無・白色、ガラス光沢。硬度6～6.5、比重2.45。へき開一方向に完全。リチウム・ペグマタイト中に長石・石英・レピドライトなどと産する。	petalite	861314000
k-289	リューサイト 白榴石	りゅーさいと	準長石。K[AlSi ₃ O ₈]。和名は白りゅう石(白榴石)。正方晶系。無・白・灰色。ガラス光沢。硬度5.5-6。比重2.47。へき開なし。カリウムに富むアルカリ火山岩に産出。高温では相当量のNaを固溶。	leucite	861315000
k-290	白りゅう石 (白榴石)	はくりゅうせき	リューサイトと同義。	leucite	
k-291	ソーダライト 方ソーダ石	そーだらいと (ほうそーだせき)	準長石。Na ₂ [Cl (AlSiO ₃) ₂]。立方晶系。自形は珍しく、普通塊状。無・白・淡青ないし濃青色、ガラス光沢。硬度5.5-6、比重2.31。へき開(劈開)なし。かすみ石せん長岩、同質ペグマタイトに産出。	sodalite	861316000
k-292	方ソーダ石	ほうそーだせき	ソーダライトと同義。	sodalite	
k-293	ノゼアン	のぜあん	準長石。Na ₂ [Al ₂ Si ₂ O ₇]SO ₄ ・H ₂ O。ゆう方石(黝方石)とも。立方晶系。十二面体結晶、通常粒状。白・灰、半透明、着色することも。硬度5.5、比重2.3。フォノライトなどアルカリ火山岩のはん晶(斑晶)として産出。	nosean	861317000
k-294	アウイン	あういん	準長石。Na ₂ Ca(Si ₂ Al ₂)O ₇ (SO ₄)。立方晶系。通常は粒状。特徴的の青色、他に白・灰色、透明～半透明。硬度5.5-6、比重2.47-2.50。フォノライトなどアルカリ火山岩のはん晶鉱物。	hauyne	861318000
k-295	カンクリナイト	かんくりないと	準長石。Na ₂ Ca[CO ₃ (AlSiO ₃) ₂]・2H ₂ O。六方晶系。多くは塊状。白～灰色、淡黄色など。へき開一方向に完全。かすみ石せん長岩・同質ペグマタイト、けい酸分に乏しいスカルンなどに産出。	cancrinite	861319000
k-296	ビシンバイト	びしんぱいと	カンクリナイト系の準長石。(Na,K)[SO ₄ (AlSiO ₃) ₂]・2H ₂ O。六方晶系。多く塊状時に六角柱状。白～灰色が代表的。へき開(劈開)一方向に完全。かすみ石せん長岩や同質ペグマタイトに産出。	vishnevite	861321000
k-297	スカポライト	すかぼらいと	柱石とも。準長石の一つ。マリアライト(Na端成分)-メイオナイト(Ca端成分)二成分固溶体をなす。メイオナイト成分75%にて固溶関係は不連続で、置換形式や空間群が変わる。淡色の正方柱状結晶。	scapolite	861322000
k-298	マリアライト	まりあらいと	柱石系のNa端側の鉱物。Na ₂ Al ₂ Si ₂ O ₇ Cl ₂ 。正方晶系。自形はc軸に伸びた柱状。白色～無色、淡色に着色の場合も。硬度5～6。へき開(100)完全。Naに富みシリカに乏しい火成岩中に産出。	marianite	861322010

k-299	メイオナイト	めいおないと	柱石系のCa端側の鉱物。Ca Al Si O CO。正方晶系。自形はc軸に伸びた柱状。白色～無色、淡色に着色の場合も。硬度5～6。へき開(100)完全。高変成度の角せん岩、スカルンなどに産出。	meionite	861322020
k-300	沸石	ぶっせき	(Al+Si)とOの比が1:2で、構造を壊すことなく失うことができる結晶水を持ち、陽イオン交換能を有する、含水アルミノけい酸塩の総称。交換性陽イオンの種類による系列を形成。主に変質岩やたい積(堆積)岩に産出。	zeolite	861400000
k-301	アナルサイム アナルサイト	あなるさいむ	沸石族。Na(AlSiO)・H ₂ O。典型的には立方晶系。無色透明～白色、ガラス光沢の偏りょう形(菱形)二十四面体結晶、また不規則塊状。比重2.24～2.29。アルカリ岩の変質作用、たい積(堆積)岩の続成作用で生成。	analcime	861411000
k-302	アナルサイト	あなるさいと	アナルサイムと同義。	analcite	
k-303	ワイラカイト	わいらかいと	高温の熱水変質にて生成する、カルシウム沸石の一種。CaAlSiO ₂ ・2H ₂ O。単斜晶系。アナルサイムと同形だが、固溶関係はほとんどない。白色半透明、ガラス光沢。多くは塊状で自形はまれ。	wairakite	861412000
k-304	ナトロライト	なとららいと	比較的低温でアルカリに富む変質作用で生成する沸石。Na(AlSiO ₂)・2H ₂ O。斜方晶系。無色透明～白色半透明。針状～繊維状結晶が多いが、ときに柱状に。結晶は、玄武岩質岩の空洞中などに生成。	natrolite	861413000
k-305	メソライト	めそらいと	沸石族。NaCa(AlSiO ₂)・8H ₂ O。斜方晶系。白色半透明～不透明。針状～繊維状結晶、しばしば球状の集合体をなす。安山岩～玄武岩質岩の変質に伴い、空洞などを埋めて生成。	mesolite	861414000
k-306	トムソナイト	とむそないと	沸石族。トムソン沸石NaCa(AlSiO ₂)・6H ₂ Oと、NaをSrが置き換えたストロンチウムトムソン沸石がある。斜方晶系。針状結晶集合体、しばしばソーダ沸石と連晶。苦鉄質火成岩の空洞中に産出。	thomsonite	861415000
k-307	ハーモトーム	はーもとーむ	(Ba, Ca, K, Na)(AlSiO ₂)・12H ₂ O。別名は重土十字沸石。単斜晶系。通常貫入複合双晶を形成し、十字形。無色透明～白色半透明。しばしばマンガン鉱化作用に伴う。	harmotome	861416000
k-308	フィリップサイト	ふいりつぷさいと	(K, Na, Ca)～4(Al, Si)O ₂ ・12H ₂ O。卓越する交換性陽イオン種により灰十字沸石・ソーダ十字沸石・カリ十字沸石の3種に区分。単斜晶系。無色透明～白色。複雑に双晶した柱状結晶が特徴。	phillipsite	861417000
k-309	ギスモンディン	ぎすもんでいん	沸石族。Ca(AlSiO ₂)・4H ₂ O。単斜晶系、自形結晶は擬正方両すい体。白色～無色。硬度4.5、比重2.27。へき開(劈開)(101)明りょう。変質玄武岩の空洞などに、しばしばフィリップサイトとともに産出。	gismondine	861418000
k-310	チャバザイト	ちゃばざいと	(Ca, Na, K, Sr)(AlSiO ₂)・12H ₂ O。Ca種、Na種、K種、Sr種の4種が知られる沸石系列。Ca種(灰りょう沸石(灰菱沸石))が最も一般的。擬立方体結晶。変質玄武岩・安山岩などに産出。	chabazite	861419000
k-311	エリオナイト	えりおないと	(K, Na, Ca)(AlSiO ₂)・～30H ₂ O。K種、Na種、Ca種の3種類が知られる沸石系列。六方晶系。無色透明。針状～毛状結晶。変質火山岩・凝灰岩に産出、ときに沸石岩を形成。	erionite	861421000
k-312	グメリナイト	ぐめりないと	(Na, K, Ca)(AlSiO ₂)・22H ₂ O。Na種、Ca種、K種の種類が知られる沸石系列。六方晶系。しばしばチャバザイトと連晶。主に変質玄武岩質岩の空げき(空隙)中に産出。	gmelinite	861422000
k-313	ヒューランドイト	ひゅーらんだいと	(Ca, Na, K, Sr)(AlSiO ₂)・24H ₂ O。Ca種、Na種、K種、Sr種の4種が知られる沸石系列。Ca種が普通。単斜晶系、擬六角板状結晶。変質火山岩の空洞、たい積(堆積)岩に産出。	heulandite	861423000
k-314	クリノタイロライト	くりのたいららいと	(Ca, Na, K)(AlSiO ₂)・20H ₂ O。Ca種、Na種、K種の3種類が知られる沸石系列。単斜晶系、板状結晶だが、通常微細集合体。ガラス質凝灰岩を交代した沸石岩として産出。	clinoptilolite	861424000
k-315	スティルバイト	すていりばいと	(Ca, Na, K)(AlSiO ₂)・28H ₂ O。Ca種とNa種が知られる沸石系列。単斜晶系。将棋のこま(駒)型の結晶が特徴。好んで束状集合体。変質火山岩の空洞や、沸石相変成岩中に産出。	stilbite	861425000
k-316	モルデナイト	もるでないと	沸石族。(Na, K, Ca)(AlSiO ₂)・28H ₂ O。組成範囲が広いが、現在のところ細分されていない。斜方晶系、針状または繊維状結晶。無色～白色。変質火山岩、たい積(堆積)岩中に産出。沸石岩を形成。	mordenite	861426000
k-317	ローモンタイト	ろーもんたいと	高温条件で生成するカルシウム沸石。CaAlSiO ₂ ・18H ₂ O。単斜晶系、斜めに切られたような端面を持つ四角柱状結晶。脱水、白色粉末化することも多い。変質苦鉄質火山岩、鉱床母岩などに産出。	laumontite	861427000
k-318	有機鉱物	ゆうきこうぶつ	化学的に有機物の定義に当てはまる、天然に産する結晶質固体物質。有機酸塩、高分子炭化水素が主体で、30種以上が知られている。	organic minerals	910000000

k-319	分類不明の鉱物	ぶんるいふめいのこうぶつ	鉱物分類に必要な化学組成および結晶構造のデータが完備せず、分類ができない鉱物。または、分類群の中間的特性を持つことで帰属の決まらない鉱物。	unspecified minerals	990000000
k-320	金	きん	自然界に産する金。立方晶系。正八面体自形結晶はまれで、微細結晶による樹枝状、はく状(箔状)、もしくは塊状集合体。延性が顕著。金色。石英脈中に肉眼鉱として、また硫化鉱脈に微細結晶で分散して産出。砂鉱もあり。	gold	
k-321	銀	ぎん	自然界に産する銀。立方晶系。自形結晶はまれで、微細結晶として硫化鉱脈に分散して産することが多い。肉眼的には、樹枝状、はく状(箔状)、ひげ状など。延性が顕著。銀色。比較的低温の硫化鉱脈およびその酸化帯に産出。	silver	
k-322	白金	はっきん	自然界に産する白金。立方晶系。自形は正八面体、通常は粒状。銀色。超苦鉄質岩中に少量含まれる。砂鉱としても産する。なお、砂白金とされるものには同じく自然界に産する白金族元素鉱物であるイリドスミンも含まれる。	platinum	
k-323	い黄 (硫黄)	いおう	天然に産するいおう。斜方晶系。黄色、樹脂状光沢。火山の噴気孔周辺に、火山ガスより析出して産するものは、樹枝状あるいは塊状。蒸発岩中のもは、透明度のある大型結晶をなし、しばしば自形。可燃性でもよい。		
k-324	水銀	すいぎん	自然界に産する水銀。常温で液体である特異な鉱物。銀色、表面張力が強く球形。硫化鉱物、ヒ化鉱物とともに低温の熱水鉱脈に産出。	mercury	
k-325	白鉄鉱	はくてっこう	FeS。黄鉄鉱と多形関係にある、硫化鉱物。斜方晶系、自形はつぶれた箱型、おおくは板状集合体。淡真ちゆう色、条こんは灰黒色。黄鉄鉱より低温・アルカリ性環境下で安定。空気中の水分と反応し、保存性は不良。	marcasite	
k-326	硫ひ鉄鉱	りゅうひてっこう	FeAsS。単斜晶系、ひしもち(餅)型の自形結晶になりやすい。銀白色だが、酸化して黄色味を帯びる。条こんは暗灰黒色。高温型鉱脈鉱床やスカルンにて、せん亜鉛鉱など他の硫化鉱物と共存。	arsenopyrite	
k-327	硫塩鉱物	りゅうえんこうぶつ	硫化鉱物のうち、金属の硫化物と半金属(As, Bi, Sb)の硫化物の複塩に相当する構造式を持つ一群の鉱物を特に識別する名称。代表例は四面銅鉱(Cu(Fe,Zn)SbS)。	sulfosalts	
k-328	ビリオム石	びりおむせき	化学式NaF。立方晶系、岩塩型構造。へき開{100}に完全。同組成の人工物は無色だが、天然では濃赤色。水溶性。かすみ石せん長岩や同質ペグマタイトに産出。	villiumite	
k-329	クトノホライト	くとのほらいと	成の鉱物。三方晶系。りょう面体(菱面体)結晶、塊状・粒状も一般的。硬度3.5~4。比重2.95~3.1。鉱床の脈石鉱物などとして産出。	kutnohorite	
k-330	テフロアイト	てふるあいと	かんらん石族の鉱物。MnSiO。斜方晶系。通常、粒状結晶の集合。帯緑灰~帯褐灰色、ガラス光沢。硬度5.5。比重3.1~3.2。高温で変成された層状マンガン鉱床に産出し、石英と共存しない。	tephroite	
k-331	準輝石族	じゅんきせきぞく	イノけい酸塩のうち、SiO四面体のつながる単鎖構造で輝石族に似るが、より複雑な鉱物群。四面体数個分の繰り返しに相当する長周期をもつ。Ca,Mnなどやや大型のイオンに対応した構造である。例:けい灰石(珪灰石)。	pyroxinoid	
k-332	鉄-マグネシウムマンガンリチウム角せん石 (鉄-マグネシウムマンガンリチウム角閃石)	てつ-まぐねしうむ-まんがん-りちうむかくせんせき	角せん石(角閃石)の大区分のひとつで、一般化学式A~BC TO(OH,F,Cl)において、Bが大区分には、斜方晶系のものが存在。	Fe-Mg-Mn-Li amphibole	
k-333	ナトリウム角せん石 (ナトリウム角閃石)	なとりうむかくせんせき	一般式A~BC TO(OH,F,Cl)中のB席について、Na 1.50である単斜晶系角せん石(角閃石)の総称。代表例:らんせん石、リーベックせん石。	sodic amphibole	
k-334	鉄らんせん石 (鉄らん閃石)	てつらんせんせき	NaFeAlSiO(OH)。単斜晶系。高压変成岩に特徴量のMgを含む。	ferroglaucophane	
k-335	ピリボール	ぴりぼーる	SiO四面体による輝石的な単鎖構造と角せん石(角閃石)的な二重鎖構造を併せ持つ鉱物。層状けい酸塩的なSiO四面体をも構造単位に含むものあり。電顕による構造研究で存在が明らかに。例:ジムトンブソン石。	pyribole	
k-336	ディオクタヘドラル型層状けい酸塩 (ディオクタヘドラル型層状珪酸塩)	でいおくとへどらるがたそうじょうけいさんえん	層状けい酸塩のうち、SiO四面体層に組み合わさる金属イオンとOおよびOHからなる八面体層が、ギブサイトと同様の構造であるもの。八面体席の2/3はAlが占め、1/3は空位。代表例:白雲石。	dioctahedral phyllosilicate	

k-337	トリオクタヘドラル型層状けい酸塩 〔トリオクタヘドラル型層状珪酸塩〕	とりおくとへどらるがたそうじょうけいさんえん	層状けい酸塩のうち、SiO ₄ 四面体層に組み合わさる金属イオンとOおよびOHからなる八面体層が、ブルーサイトと同様の構造であるもの。八面体席のすべてを金属イオンが占有。代表例：黒雲母。	trioctahedral phyllosilicate	
k-338	ぜい雲母 (ぜい雲母)	ぜいいうんも	雲母の一般式XY ~ ZO (OH,F)において、層間の12配位をアルカリ土(Ca, Ba)が占める一群の鉱物。雲母より産出はまれ。代表例：マーガライト、クリントナイト。	brittle mica	
k-339	ポリリシオナイト	ぼりりしおないと	レビドライト固溶体のSi側端成分に相当するトリオクタヘドラル型雲母。K ₂ Al ₂ Si ₂ O ₇ (F,OH)。	polyolithionite	
k-340	トリリシオナイト	とりりしおないと	レビドライト固溶体のAl側端の組成を持つトリオクタヘドラル型雲母。K ₂ Al ₃ Si ₃ O ₁₀ (F,OH)。	trilithionite	
k-341	カオリン族	かおりんぞく	SiO ₄ 四面体からなる層1層と、AlO ₄ 組成の八面体層1層の積層を基本単位とする、テリオクタヘドラル型粘土鉱物。	kaoline	
k-342	混合層粘土鉱物	こんごうそうねんどこうぶつ	天然に単独で存在する2種類以上の異なった粘土鉱物の単位格子が、一定の結晶学的方位関係で組み合わさった粘土鉱物。組み合わせの方向は、C軸方向への積層であるのが普通。例：雲母ノスメクタイト混合層鉱物。	mixed-layer clay mineral	
k-343	オパール-C	おぱーるしー	オパールと総称されるもののうち、結晶度の高いクリストパライトからなることがX線的に確認できるものをさす。火山岩に伴われることが多い。	opal-C	
k-344	湯河原沸石	ゆがわらふっせき	高温条件下で生成するカルシウム沸石。CaAl ₃ Si ₃ O ₁₂ ・4H ₂ O。単斜晶系、三斜晶系。屋根型板状結晶。変質苦鉄質火山岩の空洞や脈中に、また鉱床母岩などに産出。	yugawaralite	
k-345	ポルックス石	ぼるっくすせき	沸石族。(Cs,Na)(AlSi) ₃ O ₇ ・nH ₂ O。アナルサイムと同形で、立方晶系、二十四面体の自形結晶。Cs含有量増加とともに、結晶水が減少。Csの主要鉱物。リチウム・ペグマタイトに産出。	pollucite	
l-1	鉱産物	こうさんぶつ	人類に有用な鉱物や鉱石などの総称。		
l-2	鉄鉱石	てつこうせき	鉄を主成分として含む鉱物には自然鉄、コバルト、クロム、ニッケルなどとの合金、けい化(珪化)物、窒化物、炭化物、硫化物、塩化物、酸化物、炭酸塩、硫酸塩、ほう酸(硼酸)塩、タングステン酸塩、モリブデン酸塩、リン酸塩、ひ酸(砒酸)塩、バナジン酸塩、けい酸(珪酸)塩、有機物が存在する。鉄鉱石として重要な鉱物は硫化物の黄鉄鉱、磁硫鉄鉱、白鉄鉱と、酸化物の赤鉄鉱、磁鉄鉱、針鉄鉱、褐鉄鉱(針鉄鉱と非晶質の鉄の酸化物)などである。炭酸塩のりょう鉄鉱(菱鉄鉱)も鉄鉱石として扱われた。鉄の珪酸塩はファイヤライト、輝石、角せん石(角閃石)、雲母(雲母)など多くの造岩鉱物を作る。古代においてはいん鉄(隕鉄)の主成分である自然鉄、鉄とニッケルとの合金が利用された。	Iron ore	11111
l-3	マンガン鉱石	まんがんこうせき	マンガン主成分として含む鉱物には硫化物、塩化物、酸化物、炭酸塩、ほう酸(硼酸)塩、硫酸塩、リン酸塩、ひ酸(砒酸)塩、バナジン酸塩、けい酸(珪酸)塩等の鉱物が存在する。マンガンの鉱石鉱物には酸化物の軟マンガン鉱、硬マンガン鉱、ハウスマン鉱、エヌスタ鉱、炭酸塩のりょう(菱)マンガン鉱、珪酸塩のパラ輝石、テフロ石等がある。	Manganese ore	11122
l-4	ニッケル鉱石	につけるこうせき	ニッケル主成分として含む鉱物には自然ニッケル、鉄との合金、炭化物、けい化(珪化)物、ひ素(砒素)、アンチモン、セレン、テルルなどの化合物、硫化物、塩化物、酸化物、炭酸塩、硫酸塩、リン酸塩、ひ酸(砒酸)塩、けい酸(珪酸)塩が存在する。ニッケルの鉱石鉱物には硫化物(砒化物)、硫化物のこうひ(紅砒)ニッケル鉱、針ニッケル鉱、ペントランド鉱、四三ニッケル鉱、黄鉄ニッケル鉱(ニッケルを含む黄鉄鉱)などの硫化物と、ペコラ石、ネボウ石などのニッケルを含む蛇紋石からなるけい(珪)ニッケル鉱がある。	Nickel ore	11131
l-5	コバルト鉱石	こばるとこうせき	コバルト主成分とする鉱物には鉄との合金、炭化物、硫化物、セレン化合物、テルル化合物、酸化物、炭酸塩、硫酸塩、ひ酸(砒酸)塩、けい酸(珪酸)塩がある。ウールシン石は唯一のコバルトの珪酸塩鉱物がある。コバルトの鉱石鉱物にはヘテロゲン鉱などの酸化物、輝コバルト鉱、ほうひ(方砒)コバルト鉱、カーロール鉱などの硫化物がある。酸化物の呉す土(呉須土)は陶磁器の彩料として古くから利用されている。深海のマンガンクラストは0.3%のコバルトを含む。	cobalt	11141
l-6	クロム鉱石	くろむこうせき	クロム主成分とする鉱物には自然クロム、鉄との合金、炭化物、窒化物、塩化物、酸化物、クロム酸塩、炭酸塩、硫酸塩、けい酸(珪酸)塩がある。クロムの鉱石鉱物はクロム鉄鉱、苦土クロム鉄鉱などの酸化物である。珪酸塩のウヴァロバイト、コスモクロア輝石は美しい緑色を呈して宝石として利用される。クロム酸塩の紅鉛鉱は鉛の発見の端緒となった。	chromium	11152

1-7	バナジウム鉱石	ばなじうむこうせき	バナジウムを含む鉱物には炭化物、硫化物、酸化物、硫酸塩、バナジン酸塩、けい酸(珪酸)塩等がある。バナジウムの鉱石にはウラニウムを含むバナジン酸塩のチュアムン石、カルノー石、ウヴァナイト等があるが、原油の精製や、重油の燃焼の過程でバナジウムが回収されている。	vanadium	11162
1-8	チタン鉱石	ちたんこうせき	チタンを含む鉱物として自然チタン、炭化物、窒化物、酸化物、硫化物、炭酸塩、ほう酸(硼酸)塩、バナジン酸塩、けい酸(珪酸)塩等がある。チタンの鉱石鉱物としてはチタン鉄鉱、ルチル、アナターゼ等の酸化物がある。造岩鉱物としてチタン石、角せん石(角閃石)、輝石などの珪酸塩鉱物がある。	titanium	11171
1-9	鉄 マンガン鉱石	てつ-まんがんこうせき	鉄鉱石、マンガン鉱石参照。	iron-manganese	11183
1-10	金鉱石	きんこうせき	金を含む鉱物として自然金、銀、銅、水銀、白金族との合金鉱物、テルル化物、セレン化物、硫化物等がある。金の鉱石鉱物には銀、銅等を固溶する自然金(エレクトラム)、ペッツ鉱、シルバニア鉱、クレンネル鉱、カラベラス鉱などのテルル化物、硫化物がある。	gold	12111
1-11	銀鉱石	ぎんこうせき	銀を含む鉱物として自然銀、金、水銀との合金、セレン化物、テルル化物、硫化物、ハロゲン化物、酸化物、硫酸塩等がある。銀の鉱石鉱物には自然銀、銀を固溶する金(エレクトラム)、輝銀鉱、濃紅銀鉱、雑銀鉱、銀安四面銅鉱、ヘッス鉱、ナウマン鉱等のテルル化物、セレン化物、硫化物がある。銀の二次鉱物である塩化物の角銀鉱、硫酸塩の銀鉄明ばん石(明礬石)も鉱石として利用される。	silver	12121
1-12	金 銀鉱石	きんぎんこうせき	金銀は同一の鉱床に産することが多く、金、銀を含む硫化物、テルル化物、セレン化物が鉱石鉱物となる。鉱物については金鉱石、銀鉱石の項参照。	gold and silver	12131
1-13	白金鉱石	はっきんこうせき	白金族のルテニウム、オスミウム、ロジウム、イリジウム、パラジウム、白金は単独の元素鉱物となるほか、多くはこれらの合金鉱物や硫化物、ひ化物(砒化物)、テルル化物をつくる。プラチナは鉄、銅、すず(錫)などと合金を作る。白金族は共生して鉱床から産することが多く、合金鉱物や砒化物のひ白金鉱(砒白金鉱)として砂鉱床や超塩基性岩中の鉱床に産する。	platinum group	12143
1-14	銅鉱石	どうこうせき	銅を含む鉱物は自然銅、及び金、銅、白金族、水銀、アルミニウム、すず(錫)との合金、ひ化物(砒化物)、アンチモン化物、セレン化物、テルル化物、硫化物、塩化物、よう化物、酸化物、炭酸塩、ほう酸(硼酸)塩、硫酸塩、リン酸塩、ひ酸(砒酸)塩、バナジン酸塩、けい酸(珪酸)塩がある。銅の鉱石鉱物として、自然銅、黄銅鉱、輝銅鉱、はん銅鉱(斑銅鉱)などの硫化物、銅鉱床の二次富化帯に産するアタカマ鉱、赤銅鉱、黒銅鉱、孔じゃく石(孔雀石)、らん銅鉱(藍銅鉱)、プロシャン銅鉱、緑鉛鉱、が知られている。	copper	13111
1-15	鉛鉱石	なまりこうせき	鉛を含む鉱物として自然鉛、及び水銀、白金族との合金、テルル化物、セレン化物、硫化物、塩化物、酸化物、炭酸塩、硫酸塩、リン酸塩、ひ酸(砒酸)塩、バナジン酸塩、クロム酸塩、けい酸(珪酸)塩等がある。鉛の鉱石鉱物は硫化物の方鉛鉱が重要であり、二次富化帯に酸化物の金蜜だ(金蜜陀)、鉛丹、炭酸塩の白鉛鉱、硫酸塩の硫酸鉛鉱、リン酸塩の緑鉛鉱等が生成する。	lead	13122
1-16	亜鉛鉱石	あえんこうせき	亜鉛を含む鉱物として自然亜鉛、銅等との合金、硫化物、酸化物、亜鉛を含む二次鉱物として炭酸塩、硫酸塩、リン酸塩、ひ酸(砒酸)塩、バナジン酸塩の鉱物がある。亜鉛の重要な鉱物としてせん亜鉛鉱(閃亜鉛鉱)、ウルツ鉱(転移して閃亜鉛鉱であることが多い)があり、二次鉱物ではりょう亜鉛鉱(菱亜鉛鉱)、ターバット石、アダム鉱、デクロワソー石などがある。酸化物では紅亜鉛鉱、フランクリン鉄鉱、けい酸(珪酸)塩鉱物としてけい亜鉛鉱(珪亜鉛鉱)、異極鉱などがある。	zinc	13132
1-17	銅鉛亜鉛鉱	どうなまりあえんこう	銅、鉛、亜鉛の鉱石鉱物は同一の鉱床で共生することが多く、鉱石の品位によって銅、鉛、亜鉛が卓越する場合に鉱石となる。黄銅鉱、方鉛鉱、せん亜鉛鉱(閃亜鉛鉱)からなる鉱石が一般的である。鉱石鉱物については各項目について参照。	copper, lead and zinc	13143
1-18	鉛亜鉛鉱	なまりあえんこう	鉛の鉱石である方鉛鉱はせん亜鉛鉱(閃亜鉛鉱)を伴うことが多く鉛亜鉛鉱として扱われるものがある。	lead and zinc	13152
1-19	銅鉛鉱	どうなまりこう	鉱石の品位が銅、鉛に卓越するもの。黄銅鉱、方鉛鉱からなる鉱石。	copper and lead	13163
1-20	銅亜鉛鉱	どうあえんこう	鉱石の品位が銅亜鉛に卓越するもの。黄銅鉱、せん亜鉛鉱(閃亜鉛鉱)からなる鉱石。	copper and zinc	13173
1-21	カドミウム鉱	かどみうむこう	カドミウムを含む鉱物として自然カドミウム、硫化物、酸化物、炭酸塩、ひ酸(砒酸)塩等があるが、鉱物種としては20種に満たない。硫化物の硫カドミウム鉱、方硫カドミウム鉱が鉱石鉱物として扱われるが、せん亜鉛鉱(閃亜鉛鉱)が最大4%のカドミウムを含むので亜鉛の精錬の過程	cadmium	13181

			で回収される。		
1-22	リン鉱石 (燐)	りんこうせき	りん(燐)を含む鉱物として、鉄とのりん化合物(燐化物)、及び(PO)を含むふっ化物、硝酸塩、炭酸塩、ほう酸(硼酸)塩、けい酸(珪酸)塩等と、400種を超えるリン酸塩がある。燐の鉱石として利用される鉱物はアパタイトグループのふっ素アパタイト、塩素アパタイト、水酸アパタイト、炭酸ふっ素アパタイト、炭酸水酸アパタイトの中でもふっ素アパタイトが多い。アパタイトの鉱床はアルカリ岩や熱水脈中のもの、たい積(堆積)岩を構成するもの、海鳥の排せつ物が蓄積したものなどがある。	phosphorous	14114
1-23	砒素鉱石 (砒素)	ひそこうせき	ひ素(砒素)を含む鉱物として単体の自然ひ(自然砒)、アーセランブライト、アンチモンとの合金、塩化物、酸化物、ほう酸(硼酸)塩、けい酸(珪酸)塩等を作るが、砒素の主要鉱物はひ化物(砒化物)、硫化物、(AsO)を持つひ酸(砒酸)塩で、砒素の鉱石鉱物は砒化物、硫化物の鶏冠石、石黄、りゅうひ(硫砒)鉄鉱、ひ鉄鉱(砒鉄鉱)硫砒銅鉱等である。各種の鉱脈鉱床、スカルン鉱床、マグマ性鉱床などに産する。ミメット鉱、アダム鉱、オリーブ銅鉱等の砒酸塩は鉱床の二次富化帯に産することが多い。	arsenic	14124
1-24	アンチモン鉱	あんちもんこう	アンチモンを含む鉱物は自然アンチモン、白金、ひ素(砒素)との合金、アンチモン化合物、硫化物、塩化物、酸化物、ほう酸(硼酸)塩、硫酸塩、ひ酸(砒酸)塩、けい酸(珪酸)塩がある。アンチモンの鉱石鉱物は輝安鉱、ペルチエ鉱、アンチモンの硫塩鉱物の四面安銅鉱、毛鉱等がある。アンチモンの酸化物には方安華、ヴァレンティン鉱、黄安華等がある。輝安鉱だけの鉱脈鉱床を作ることが多いが、金や水銀を伴うこともある。	antimony	14132
1-25	ビスマス鉱	びすますこう	ビスマスを含む鉱物は自然ビスマス、テルル化合物、硫化物、ハロゲン化合物、酸化物、炭酸塩、硫酸塩、りん酸(燐酸)塩、ひ酸(砒酸)塩、バナジン酸塩、けい酸(珪酸)塩がある。ビスマスの鉱石鉱物として輝そう鉛鉱(輝蒼鉛鉱)、硫テルルそうえんこう(蒼鉛鉱)、ビスマスの硫塩鉱物のマチルダ鉱、エンブレクト鉱等がある。鉱脈鉱床、スカルン鉱床に産する。	bismuth	14141
1-26	水銀鉱	すいぎんこう	水銀を含む鉱物は自然水銀、金、銀、銅、鉛などとの合金、セレン化合物、テルル化合物、硫化物、塩化物、酸化物、硫酸塩、ひ酸(砒酸)塩、けい酸(珪酸)塩がある。水銀の鉱石鉱物は、自然水銀、しん砂(辰砂)、黒辰砂などがある。各種の硫化物鉱床の副産物として回収される。辰砂だけの鉱脈鉱床を作ることが多く、輝安鉱を伴うこともある。	mercury	14151
1-27	タリウム鉱	たりうむこう	タリウムを含む鉱物は硫化物、酸化物、硫酸塩等がある。主要鉱物は硫化物のカーリン鉱、クルークス鉱、ロランド鉱、ハッチンソン鉱、ワリス鉱等30数種がある。熱水性鉱床に産する。せん亜鉛鉱(閃亜鉛鉱)、方鉛鉱の精錬の過程で回収される。	thallium	14161
1-28	イリジウム鉱	こう	イリジウムは白金族に属し、オスmium、パラジウム、白金等と合金を作るほか、硫化物がある。白金族鉱石の項参照。	iridium	14171
1-29	錫鉱 (錫)	すずこう	すず(錫)を含む鉱物には自然すず(自然錫)、パラジウムとの合金、硫化物、酸化物、ほう酸(硼酸)塩、けい酸(珪酸)塩がある。鉱石鉱物として硫化物のヘルツェンベルグ鉱、ペルント鉱、黄すず鉱(黄錫鉱)等と、酸化物のすず石(錫石)がある。錫石は最も重要な鉱石で、ペグマタイト、気成鉱床、スカルン鉱床、熱水鉱床、風化残留鉱床に産する。	tin	15112
1-30	タングステン鉱	たんぐすてん こう	タングステンを含む鉱物は硫化物、酸化物、タングステン酸塩、けい酸(珪酸)塩がある。酸化物の鉄マンガン重石(鉄重石・マンガン重石)と(WO)酸基を持つタングステン酸塩の灰重石はタングステンの重要な鉱石である。ペグマタイト、スカルン鉱床、鉱脈鉱床に産する。	tungsten	15124
1-31	モリブデン鉱	もりぶでんこう	モリブデンを含む鉱物には硫化物、塩化物、酸化物、モリブデン酸塩、りん酸(燐酸)塩、ひ酸(砒酸)塩がある。硫化物の輝水鉛鉱はモリブデンの重要な鉱石鉱物であり、結晶構造の異なる2H型と3R型があり、非晶質のものはヨルディス鉱という。ペグマタイト、気成鉱床、ポーフィリーカッパー鉱床、スカルン鉱床、熱水鉱床に産する。	molybdenum	15134
1-32	インジウム鉱	いんじうむこう	インジウムを含む鉱物は自然インジウム、硫化物、酸化物がある。主要な鉱石鉱物としてインジウム銅鉱、硫インジウム鉄鉱、さくら井鉱(櫻井鉱)等の硫化物と、インジウムを含むせん亜鉛鉱(閃亜鉛鉱)、黄すず鉱(黄錫鉱)族鉱物等がある。熱水性鉱床、鉱脈鉱床に産する。	indium	15141
1-33	ウラン鉱	うらんこう	ウランを含む鉱物には酸化物及びウラニル基(UO)をもつ炭酸塩、硫酸塩、りん酸(燐酸)塩、ひ酸(砒酸)塩、バナジン酸塩、けい酸(珪酸)塩、有機物がある。酸化鉱物のせん(閃)ウラン鉱はウランの重要な鉱石鉱物である。ウランの鉱石として炭酸塩のアンダーソン石、硫酸塩のウラノピライト、チッペ石、燐酸塩ではりん(燐)灰ウラン石、燐銅ウラン石、人形石等、砒酸塩では	uranium	16111

			ひどう(砒銅)ウラン石, パナジン酸塩ではカルノー石, チュヤムン石, 珪酸塩ではコフィン石, ウラノフェン等がある。花こう岩(花崗岩)ペグマタイト, 熱水鉱床, たい積(堆積)岩, 古期堆積岩などの中に鉱床を作る。		
I-34	トリウム鉱	とりうむこう	トリウムを含む鉱物には酸化物, 炭酸塩, りん酸(燐酸)塩, けい酸(珪酸)塩, 有機物がある。トリウムの鉱石鉱物は酸化物の方トリウム石, トリウムを含むエスキソ石, ユークセン石等, 燐酸塩トリウムを含むモナズ石, 珪酸塩のトール石, イトリア石などがある。ペグマタイトや風化残留鉱床などに産する。	thorium	16121
I-35	スカンジウム鉱	すかんじうむこう	スカンジウムを主成分として含む鉱物は10種に満たない。りん酸(燐酸)塩のコルベック石, けい酸(珪酸)塩のトルトペイト石, 灰スカンジウム石等がある。スカンジウムはウラン鉱の処理の際に副産物として得られる。	scandium	16131
I-36	イットリウム鉱	いっとりうむこう	イットリウムを含む鉱物はふっ化物, 酸化物, 炭酸塩, ほう酸(硼酸)塩, りん酸(燐酸)塩, ひ酸(砒酸)塩, パナジン酸塩, けい酸(珪酸)塩がある。イットリウムの鉱石鉱物として酸化物ではユークセン石, フェルグソン石等, 炭酸塩ではゼノタイム, イットリウムプリト石等, 砒酸塩のアカガード石, パナジン酸塩のウェイクフィールド石, 珪酸塩ではガドリソ石, イットリウム褐れん石, タレン石等がある。ペグマタイト鉱床に産する。	yttrium	16141
I-37	ジルコニウム・ハフニウム鉱	じるこにうむ・はふにうむこう	ジルコニウムを含む鉱物は酸化物とけい酸(珪酸)塩が大部分を占め, 炭酸塩, ほう酸(硼酸)塩, 硫酸塩, りん酸(燐酸)塩がある。ジルコニウムの鉱石鉱物はパデレイ石, カルシルタイト等の酸化物とジルコン, ユーリアル石等の珪酸塩がある。特にパデレイ石, ジルコンが重要である。ハフニウムの鉱物にはジルコンと同構造のハフノンがある。ジルコンはHfO ₂ で数パーセント含むのでハフニウムの鉱石鉱物となる。	zirconium and hafnium	16151
I-38	ニオブ・タンタル鉱	におぶ・たんだるこう	ニオブとタンタルを含む鉱物は炭化物, 酸化物, 炭酸塩, ほう酸(硼酸)塩, りん酸(燐酸)塩, けい酸(珪酸)塩がある。タンタルは単体の自然タンタルがある。ニオブとタンタルは化学的によく似ており, 鉱石鉱物は両方の元素を含む酸化物のタンタル石, コルンブ石系鉱物, パイロクロア, ベタフォ石, マイクロ石, ユークセン石, フェルグソン石等がある。ペグマタイト鉱床に産出する。	niobium and tantalum	16162
I-39	タンタルの鉱石	たんだるのこうせき	ニオブ・タンタル鉱参照。	tantalum	16172
I-40	希土類元素鉱	きどるいげんそこう	希土類はスカンジウム, イットリウム及びランタノイド元素(La~Lu)の総称である。スカンジウムの鉱物, イットリウムの鉱物については各項目を参照。ランタノイド元素は化学的によく似ているため同一の鉱物に含まれることが多い。希土類元素を含む鉱物として, ふっ化物のフルオセル石, 酸化物のフェルグソン石, デイヴィド石, 炭酸塩のバストネス石, ランタン石, りん酸(燐酸)塩のモナズ石, ゼノタイム, ラブドフェン等, けい酸(珪酸)塩のガドリソ石, セル石, 褐れん石等がある。特にバストネス石, モナズ石, ゼノタイムは重要な鉱石鉱物である。	rare earth elements	16182
I-41	ベリリウム鉱	べりりうむこう	ベリリウムの鉱物は酸化物, ほう酸(硼酸)塩, りん酸(燐酸)塩, ひ酸(砒酸)塩, けい酸(珪酸)塩がある。ベリリウムの鉱石鉱物としてフェナカイト, ベルトランド石, 緑柱石等がある。酸化物の金緑石は宝石(アレキサンドライト)として利用される。ペグマタイトに産する。	beryllium	17111
I-42	マグネシウム鉱	まぐねしうむこう	マグネシウムを含む鉱物は硫化物, ハロゲン化物, 酸化物, 硝酸塩, 炭酸塩, 硫酸塩, ほう酸(硼酸)塩, ひ酸(砒酸)塩, けい酸(珪酸)塩がある。鉱石鉱物として重要なものは炭酸塩のマグネサイト, ドロマイト, 硫酸塩の舎利塩等がある。珪酸塩ではかんらん石, 滑石, 蛇紋石等があり, 輝石, 角せん石(角閃石), 雲母(雲母)などは造岩鉱物として重要である。	magnesium	17121
I-43	カルシウム鉱	かるしうむこう	カルシウムを含む鉱物は硫化物, ハロゲン化物, 酸化物, 硝酸塩, 炭酸塩, ほう酸(硼酸)塩, 硫酸塩, クロム酸塩, モリブデン酸塩, りん酸(燐酸)塩, ひ酸(砒酸)塩, パナジン酸塩, けい酸(珪酸)塩がある。カルシウムの重要な鉱物として炭酸塩の方解石, ネフェリン, ドロマイト, 硫酸塩の石こう(石膏), 硬石膏などがある。	calcium	17131
I-44	ストロンチウム鉱	すとろんちうむこう	ストロンチウムを含む鉱物はふっ化物, 酸化物, 炭酸塩, ほう酸(硼酸)塩, 硫酸塩, りん酸(燐酸)塩, ひ酸(砒酸)塩, けい酸(珪酸)塩がある。ストロンチウムの鉱石鉱物として炭酸塩のストロンチアン石, 硫酸塩の天青石がある。	strontium	17141
I-45	バリウム鉱	ばりうむこう	バリウムを主成分とする鉱物はふっ化物, 酸化物, 硝酸塩, 炭酸塩, 硫酸塩, りん酸(燐酸)塩, ひ酸(砒酸)塩, けい酸(珪酸)塩である。バリウムの鉱石鉱物として硫酸塩の重晶石や炭酸塩の毒重土石がある。	barium	17151
I-46	リチウム鉱	りちうむこう	リチウムを主成分とする鉱物は硫化物, ふっ化物, 酸化物, ほう酸(硼酸)塩, りん酸(燐酸)塩, けい酸(珪酸)塩がある。重要なリチウムの鉱石鉱物として, 燐酸塩のアンプリゴ石, モンブラ石, 珪酸塩ノベタル石, リチア輝石, レピドライトなどがある。ペグマタイトに産する。	lithium	18111

1-47	ナトリウム鉱	なとりうむこう	ナトリウムを含む鉱物は硫化物、ハロゲン化物、酸化物、硝酸塩、炭酸塩、ほう酸(硼酸)塩、硫酸塩、りん酸(燐酸)塩、ひ酸(砒酸)塩、バナジン酸塩、けい酸(珪酸)塩がある。ナトリウムの鉱石鉱物として塩化物の岩塩、硝酸塩のチリ硝石、炭酸塩の天然ソーダ(ナトライト)、硫酸塩のテナルド石がある。ナトリウムはカリウムと共に珪酸塩として長石などの造岩鉱物を作る。	sodium	18121
1-48	カリウム鉱	かりうむこう	カリウムを主成分とする鉱物は硫化物、ハロゲン化物、酸化物、硝酸塩、炭酸塩、ほう酸(硼酸)塩、硫酸塩、クロム酸塩、りん酸(燐酸)塩、ひ酸(砒酸)塩、バナジン酸塩、けい酸(珪酸)塩、有機物がある。カリウムの鉱石鉱物として塩化物のカリ岩塩、硝酸塩の硝石、硫酸塩の明ばん石(明礬石)がある。カリウムはナトリウムと共に珪酸塩として長石などの造岩鉱物を作る。	pottasium	18131
1-49	ルビジウム鉱	るびじうむこう	ルビジウムを主成分として含む鉱物は少なく、ほう酸(硼酸)塩のロディサイト、けい酸(珪酸)塩のルビジウム長石等数種である。レビドライト、ボルクス石、リューサイト、カリ長石、カーナライトなどに極微量含まれるが、レビドライトからリチウム製造の副産物として得られる。	rubidium	18141
1-50	セシウム鉱	せしうむこう	セシウムを主成分とする鉱物は硫化物、ふっ化物、酸化物、ほう酸(硼酸)塩、りん酸(燐酸)塩、バナジン酸塩、けい酸(珪酸)塩等10種あまりである。主要鉱物はボルクス石であるが、レビドライトからリチウムを製造する副産物として得られる。	caesium	18151
1-51	硫黄の鉱石 (硫黄)	いおうのこうせき	硫黄を含む鉱物として単体の自然硫黄、硫化物、ハロゲン化物、酸化物、硫酸塩、りん酸(燐酸)塩、ひ酸(砒酸)塩、けい酸(珪酸)塩がある。硫化物には輝銀鉱、黄銅鉱、方鉛鉱、せん亜鉛鉱(閃亜鉛鉱)、硫カドミウム鉱、輝水鉛鉱、しん砂(辰砂)などの重要な金属鉱物がある。硫酸塩には石膏、舎利塩等がある。硫黄の鉱石として自然硫黄、黄鉄鉱、白鉄鉱、磁硫鉄鉱等の硫化鉄鉱が、今日では天然ガスや原油中の硫黄が利用されている。	sulphur	19114
1-52	セレンの鉱石	せれんのこうせき	セレンを含む鉱物として自然セレン、セレン化物、硫化物、酸化物、セレン酸塩がある。セレン化物、硫化物にはアギラル鉱、ナウマン鉱、ベルツエリウス鉱等の重要な鉱石鉱物がある。最大約5%の硫黄を含む。セレンは金属の精錬の過程で回収される。	selenium	19121
1-53	テルルの鉱石	てるるのこうせき	テルルは自然テルル及びテルル化物、硫化物が大部分を占め、金、銀、白金族、ビスマス等の鉱物があり、ペッツ鉱、クレンネル鉱、シルバニア鉱、ヘッス鉱などは金銀の鉱石鉱物として知られる。テルルは金属の電解精錬の過程で得られる。	tellurium	19131
1-54	ふっ素の鉱石 (弗素の鉱石)	ふっそのこうせき	ふっ素を主成分とする鉱物はふっ化物、酸化物、炭酸塩、硫酸塩、りん酸(燐酸)塩、けい酸(珪酸)塩等がある。ふっ化物にはフッ石、カロロピ石、蛍石、水晶石等があり、蛍石がふっ素の重要な鉱石鉱物である。炭酸塩のバステネス石、燐酸塩のアパタイト、珪酸塩のトバズ、角せん石(角閃石)、雲も(雲母)等に含まれる。	fluorine	19144
1-55	塩素の鉱石	えんそのこうせき	塩素を主成分にする鉱物は塩化物、硫化物、酸化物、硝酸塩、ほう酸(硼酸)塩、硫酸塩、りん酸(燐酸)塩、けい酸(珪酸)塩、有機物などがある。塩化物には岩塩、カリ岩塩、角銀鉱、カーナライト、アタカマ鉱等があり、カリ岩塩、岩塩が塩素の重要な鉱石鉱物である。	chlorine	19154
1-56	臭素の鉱石	しゅうそのこうせき	臭素を主成分として含む鉱物は臭化物及び一部の塩化物で10種あまりが知られている。臭化銀鉱、コマンチ鉱等がある。臭素は岩塩及び海水、かん水から精製される。	bromine	19164
1-57	よう素の鉱石 (沃素の鉱石)	ようそのこうせき	よう素を主成分とする鉱物はよう化物及びよう酸塩でマーンシュ石、よう化銀鉱などがある。よう素は地下水やチリ硝石から精製される。	iodine	19174
1-58	ほう素の鉱石 (硼素の鉱石)	ほうそのこうせき	ほう素(硼素)を含む鉱物はほう酸(硼酸)塩及びけい酸(珪酸)塩が大部分を占めるが、ふっ化物、酸化物、硫酸塩も知られている。硼素の鉱石鉱物は硼酸塩のほう砂(硼砂)、ウレクサイト、コールマン石、カーン石、ブライス石等がある。珪酸塩鉱物ではおの石(斧石)、電気石等のほう珪酸塩(硼珪酸塩)がある。	boron	21114
1-59	アルミニウムの 鉱石	あるみにうむ のこうせき	アルミニウムを含む鉱物は自然アルミニウム、硫化物、ハロゲン化物、酸化物、硝酸塩、炭酸塩、ほう酸(硼酸)塩、硫酸塩、りん酸(燐酸)塩、ひ酸(砒酸)塩、バナジン酸塩、けい酸(珪酸)塩、有機物がある。アルミニウムの酸化物ではコランダム、スピネル、アルミニウムの重要な鉱石であるボーキサイトの主成分鉱物のギブス石、ベーム石、ダイアスポア等がある。珪酸塩では多くのアルミニウムを含む長石、輝石、角せん石(角閃石)、雲も(雲母)等の造岩鉱物や粘土鉱物がある。アルミニウムの珪酸塩の紅柱石、けい線石(珪線石)、らん晶石(藍晶石)は高アルミナ鉱物として重要である。	aluminium	21122

I-60	ガリウムの鉱石	がりうむのこうせき	ガリウムを含む鉱物は硫化物、水酸化物等で種類は多くない。硫化物のガリウム銅鉱、水酸化物のショーンゲ石等がある。ガリウムはせん亜鉛鉱(閃亜鉛鉱)、ゲルマン鉱、ポーキサイトにごく微量含まれ副産物として得られる。	gallium	21132
I-61	けい素の鉱物 (珪素の鉱物)	けいそのこうせき	けい素(珪素)を主成分とする鉱物は自然珪素、けい化(珪化)物、炭化物、ハロゲン化合物、酸化物、りん酸(磷酸)塩、ひ酸(砒酸)塩、バナジン酸塩、けい酸(珪酸)塩である。珪酸塩は珪酸基四面体(SiO ₄)を基本構造に持つ鉱物グループで造岩鉱物の大部分を占め、地殻を構成している。珪素の鉱石鉱物は酸化物である石英で、けい砂(珪砂)、けい石(珪石)として利用される。珪石はけい岩(珪岩)、脈石英、珪化岩、酸性火山岩などの石英に富むものを言う。玉髓、めのうは細粒の石英の集合であり、オパールと共に珪石として扱われる場合もある。珪石、珪砂の項参照。	silicon	21144
I-62	ゲルマニウムの鉱石	げるまにうむのこうせき	ゲルマニウムを主成分とする鉱物は硫化物、酸化物、硫酸塩、けい酸(珪酸)塩がある。ゲルマニウムは硫ゲルマン銀鉱、硫すず(錫)銀鉱、ゲルマン鉱等と少量のゲルマニウムを含むせん亜鉛鉱(閃亜鉛鉱)の精錬の副産物として得られる。	germanium	21154
I-63	炭素の鉱石	たんそのこうせき	炭素を主成分とする鉱物はダイヤモンド、石墨等の単体鉱物のほかに炭化物、酸化物、炭酸塩、硫酸塩、りん酸(磷酸)塩、ひ酸(砒酸)塩、けい酸(珪酸)塩、有機物として存在する。炭素の鉱石として扱われる鉱物は石墨だけで、緻密には結晶構造が異なる2H型と3R型が存在する。鉱石としては黒鉛と称し結晶質のうろこ状(鱗状)のもの、微晶質の塊状(土状)のもの、隠微晶質又は非晶質のものに分けられる。	carbon	22114
I-64	炭素系原料	たんそけいげんりょう		carbon materials	31009
I-65	石油	せきゆ		petroleum	31139
I-66	炭化水素ガス	たんかすいそがす		hydrocarbon gas	31149
I-67	けい素系原料 (珪素系原料)	けいそけいげんりょう		silicon materials	32009
I-68	けい石 (珪石)	けいせき	けい石(珪石)とは石英を主体とするけい酸(珪酸)質工業用原料の名称で、クリスタル石、トリディマイト、オパールを含む。ペグマタイトや鉱脈の石英は粗粒の結晶の集合となるが、熱水変質岩、砂岩、けい岩(珪岩)、チャート、石英片岩などは細粒石英の集合となる。珪石は板ガラス用、陶磁器用、フェロシリコン、金属シリコンなどの製造、耐火物原料、研磨剤として利用される。光学ガラス用にはペグマタイトや鉱脈性の純度の高い石英が利用される。	silica stone	32119
I-69	けい砂 (珪砂)	けいさ	砂状石英の総称で、ガラス、鋳物などに利用される。海成のたい積(堆積)物をそのまま精製したものや、けい石(珪石)を粉砕、整粒したものがある。外国では中・古生代の石英に富む砂岩が鉱床を作るが、我国では鮮新世の堆積物中の石英砂が採掘されている例や、熱変成で再結晶したチャートは容易に粉砕され粒状のけい砂(珪砂)になり、後者は鋳物用として利用される。	silica sand	32129
I-70	けい藻土 (珪藻土)	けいそうど	けい藻(珪藻)のけい質(珪質)の殻が集積した土状または軟質岩石である。白亜紀、新第三紀、第四紀の湖成、汽水成、海成のたい積(堆積)物中に産する。一般的に海成のものが孔げき(孔隙)率の大きな吸着能の高いものが多い。ろ過(濾過)助材、吸収材、研磨材、断熱材、防音材等に用いられる。	diatomaceous earth	32139
I-71	粘土系原料	ねんどけいげんりょう	4ミクロン以下の砕せつ(碎屑)物の集合したもの。主として粘土鉱物と呼ばれる含水けい酸(珪酸)塩鉱物よりなる。カオリナイト、イライト、モンモリロナイト等の層状珪酸塩で代表される。粘土鉱物は、母岩が風化分解しCa、Na、Kなどの水溶性成分が失われ水を含むAlの珪酸塩になったもので、風化のみならず海底風化、温泉作用、熱水変質作用等で生成される。粘土は窯業用として煉が(煉瓦)、かわら(瓦)、陶管、耐火物などのheavy claywareと、せつ器、陶器、工業用セラミック等のfine claywareに利用される。	clay materials	33009
I-72	陶石	とうせき	陶磁器製造用の白色、塊状の岩石名。主として約70%の石英と、約30%のセリサイト、カオリン等の粘土鉱物からなる。	pottery stone	33119
I-73	カオリン	かおりん	ほぼ Al ₂ Si ₂ O ₇ (OH) の組成を持ち、[SiO ₄] が作る層とアルミニウムの作る八面体層が交互に重なるオクタヘドラル型の構造を持つ粘土鉱物である。カオリン鉱物にはデッカイト、ナクライト、カオリナイトのポリタイプがある。カオリンの名称は原料を示すものでカオリナイトとは区別する。けい長質(珪長質)岩石の風化作用又は熱水作用で生成される。耐火材料、陶磁器、せつ器及びタイル用などに利用される。	kaoline	33139

1-74	ろう石	ろうせき	化学組成 $Al_2SiO_5(OH)$ で表される層状けい酸(珪酸)塩のパイロフィライトを主とする窯業用材料にこの名称を用いる。ち密(緻密)、軟質でろう感を持つ岩石で古くから彫刻用、石筆用に利用された。パイロフィライトは耐火度が高く、セラミック用に用いられ耐火煉瓦(煉瓦)、タイル、陶器などに用いられるほかに、紙のてん料(填料)及び塗被用、農薬のキャリアー、ペンキ、化粧品のフィラーに用いられる。比較的高温の熱水変質によって生成される。	pyrophyllite	33149
1-75	ベントナイト	べんとないと	スメクタイト族のモンモリロナイトからなる粘土の名称。通常石英、クリストバライト、沸石、長石などを含む。吸水性(水中での膨潤性)、陽イオン交換性、可塑性、結合性などの性質が著しく、ボーリング用泥水調整材、鋳物用砂型結合材、農薬用キャリアー、土壌改良用、塗料助剤等に利用される。	montmorillonite	33169
1-76	酸性白土	さんせいはいと	モンモリロナイトを主とし、石英、クリストバライト、カオリン、沸石等を含む白色の粘土。懸濁液が酸性であることからこの名がついた。ベントナイトと異なって膨潤性はなく、吸着性が強い。凝灰岩や流紋岩の変質によって生成。油脂類、糖みつ(糖蜜)の精製、脱色、乾燥剤、医薬品などに利用される。	acid clay	33179
1-77	雲母系原料 (雲母系原料)	うんもけいげんりょう	$Z = Si, Al$ で表される層状けい酸(珪酸)塩のグループ名。ディオクタヘドラル雲母(雲母)とトリオクタヘドラル雲母に分類され多くのポリタイプが存在する。白雲母、ソーダ雲母、金雲母、黒雲母、チンワルド雲母、レピドライト、真珠雲母等がある。雲母は最も普通の造岩鉱物でけい長質(珪長質)~苦鉄質火成岩、変成岩、たい積(堆積)岩に含まれる。大きくて透明な結晶は工業用に利用する。	mica	34009
1-78	セリサイト	せりさいと	化学組成は白雲母(雲母)に近く、Kが少なく水分が多い。微細りん(鱗)片状の粘土鉱物で絹糸又は真珠光沢を持つ。鉱床の母岩の変質帯、熱水変質岩、変成岩などに産する。良質のものはペンキ、化粧品などのフィラーとして利用される。	sericite	34129
1-79	アスベスト(石綿)	あすべすと	鉱物学的には蛇紋石族と角せん石(角閃石)族に分けられ、前者はクリソタイル(白石綿)、後者にはクロシドライト(青石綿)、アモサイト(茶石綿)がある。柔軟性、引っ張り強度、耐腐食性、耐熱性、絶縁性に優れた繊維状鉱物。優れた物理的性質から断熱材、耐火材、布、セメント添加剤、プラスチック、クラッチ、ブレーキなどに利用されている。石綿に起因する健康障害、即ち石綿繊維の吸入による肺疾患の危険性が確認され使用禁止の動きが広がっている。	asbestos	34169
1-80	網状けい酸塩系原料 (網状珪酸塩系原料)	もうじょうけいさんえんけいげんりょう		framework silicates	35009
1-81	炭酸塩系原料	たんさんえんけいげんりょう		carbonate materials	36009
1-82	石灰石	せっかいせき	カルシウムの炭酸塩である方解石を主成分とするたい積(堆積)岩を石灰岩といい、原料名として石灰石を用いる。熱~亜熱帯、温帯域の浅海で生物の遺がい(遺骸)や破砕片が堆積したもので、先カンブリア時代から現世までの堆積岩に見られる。一部は化学的沈殿物によるものも存在する。石灰石はセメント、モルタル、石灰等の建築用、金属精錬用、カーバイド、石灰窒素、ソーダ、等の化学工業用、製紙用、土壌中和剤、食品工業等に利用される。	limestone	36129
1-83	岩石原料	がんせきげんりょう		rock material	37009
1-84	パーライト	ぱーらいと	真珠光沢で、真珠岩とも呼ばれる。球状の組織を持つ流紋岩質又は安山岩質の火山ガラス。流理構造を示すことが多い。2~5%の水を含む。これを760~1,280 で加熱した多孔質の膨張したものを膨張パーライトという。軽量骨材、断熱材、園芸用材、ろ過(濾過)材、充てん(充填)材、防虫剤、農薬希釈用及びキャリアー等に利用される。	pearlite	37119
1-85	硫化鉄鉱	りゅうかてっこう	黄鉄鉱、磁硫鉄鉱、白鉄鉱等硫黄と鉄の化合した鉱物からなる鉄石の名称。かつて硫黄、硫酸、鉄の原料として重要であったが、石油、天然ガスの精製に伴う副産物として硫黄が回収されるようになり資源としての利用は薄れた。火山性の硫化鉄鉱床、層状鉄鉱床、各種の鉄脈鉄床等に産する。	iron sulfide ore	9100
1-86	レアアース	れああーす	Sc(原子番号21)、Y(原子番号39)、La(原子番号57)からLu(原子番号71)までの17元素の総称。希土類元素ともいう。	rare earth	
1-87	耐火粘土	たいかねんど	加熱したときに軟化する温度が高い粘土。カオリン鉱物を主体とする。	refractory clay	

I-88	亜炭	あたん	石炭化度が泥炭と褐炭,または亜れき青炭(瀝青炭)との中間にある石炭。褐色～褐黒色を呈する。	lignite	
m-1	モネラ界 原核生物界	もねらかい	生物分類上の一界。原核生物からなる分類群で,広い意味でのバクテリアや細菌からなる。E.H.ヘッケルのガストリア起原説における仮想的な祖先動物として最初に着想された。R.H.ホイタッカーの五界説では,細胞核を持たない原核生物をモネラ界として区分している。	prokaryotae	100000000
m-2	メタン細菌門 古細菌門	めたんさいきんもん	偏性嫌気性,無孢子性のメタン生成細菌の一群で,原核生物に含まれる古細菌に属する。3目7科に分けられる。リボソームRNAの塩基配列,細胞壁物質の組成,脂質の種類において一般の細菌と異なる。汚泥・沼や哺乳類(哺乳類)の消化管などに分布し,代謝産物としてメタンを発生するメタン発酵(methane fermentation)を行う。メタン生成系には6種の補酵素が関与していることが示された。		101000000
m-3	化学合成細菌門	かがくごうせいさいきんもん			102000000
m-4	シアノバクテリア門 らん藻門	しあのかくてりあもん	植物分類系中の一門で,核膜に包まれた核および葉緑体をもたない藻類。細胞・細胞壁の構造やその生化学的特徴,有性生殖を行わない増殖方法などに原核生物の特徴をもつことから,らん色細菌(藍色細菌)(シアノバクテリア)ともよばれる。現生種のみで23科160属1,500種ほどが知られている。分布は広く,80℃の熱に耐えるものもある。西オーストラリアの33～35億年前の地層から,糸状,群体性のらん藻(藍藻)様の微化石が発見されている。		103000000
m-5	ストロマトライト	すとりまとらいと	糸状体のシアノバクテリアが,粘液質の物質を分泌した堆積(堆積)物粒子をとりこんだり,代謝活動の結果として堆積物粒子を結合させたり,炭酸カルシウムを沈殿させて作る堆積構造の結果生じた岩石を指す。石灰質のものが圧倒的に多い。形態は多様で,水平のマット状のものから,葉理が重なったドーム状,分岐した柱状構造を呈するものまである。先カンブリア時代に多産する化石で,最古のものは約35億年前の地層から知られている。		104000000
m-6	プロトクチスタ界 原生生物界	ぷろとくちすたかい	生物分類上の一界で,単独または群体をつくる単細胞性真核生物の一群。C.vonリンネ(1735)以来,生物の大分類として置かれていた植物・動物界に対して,E.H.ヘッケル(1866,1878)が第三の生物界として設定した。R.H.ホイタッカー(1969)の五界説では原生生物は基本的に真核単細胞生物と規定されているが,提案されているいくつかの生物大分類の体系により原生生物の位置づけ・定義も多様である。	protista protocista	200000000
m-7	石灰藻類	せっかいそうるい	藻類のうち石灰質の硬組織をもつものの総称。紅藻類のサンゴモ科(Corallinaceae)の400種が主であり,千島・アラスカなどの北方にも産するが最も繁茂するのは熱帯圏で,サンゴ礁やバンクの形成に貢献している。そのほか,緑藻類のカサリ科も熱帯系の石灰藻である。円石藻は浮遊性有孔虫とともに外洋性石灰岩をつくる。紅藻・緑藻ともに化石が知られ,ことにカサリ科は古生代に発達した。		201000000
m-8	石灰質ナンブ ランクトン	せっかいしつなんのぶらんくとん	微小プランクトンのうち,体の表面や内部に石灰質の殻をもつ単細胞生物の総称。ハプト藻類に属するコッコリソフォアが主で,コッコリスと呼ばれる石灰質小盤で覆われた体表をもち,球体やだ円(楕円)体のコックスフェアを形づくる。大きさは一般に2～30 μmで,60 μmに達するものもある。大部分が海生で,汽水に生息するものは数が少く,淡水に生息するものは見つかっていない。通常,無性生殖で増殖する。		202000000
m-9	渦べん毛藻門 (渦鞭毛藻門)	うずべんもうそうもん	植物界ではえん色(焰色)植物門渦べん毛藻綱に属する単細胞藻類,動物界では原生動物門有べん虫綱に属する単細胞生物に分類される。大きさは数μm～1,000 μm。生息環境は寒帯から熱帯の淡水,汽水,海水域である。多くはべん状の横べん毛と羽片状の縦べん毛を持ち単体で浮遊生活を営むが,大形藻や底質に付着する付着性のほか寄生性・共生性の種類もある。最古の化石は後期シルル期。	dinoflagellates	203000000
m-10	根足虫門	こんそくちゅうもん	肉質虫綱の一亜目に属する原生動物の一種で,葉状の仮足と原形質からなる。原菌虫類・菌虫類・アメーバ類・有殻アメーバ類・有孔虫類の5目からなる。	rhizopoda	204000000
m-11	アカンソポディ ナ綱	あかんそぼでいなこう		acanthopodina	204010000
m-12	黄金色藻門	おうごんしよくそうもん	植物の一分類群で,細胞壁をもたずカロチンやキサントフィルを多量に含み黄緑色あるいは金褐色を呈する藻類。べん毛(鞭毛)のあるものと無いもの,単細胞,コロニーおよび糸状の組織をつくるものなどが区別される。黄金色藻綱(Chrysophyceae),けい藻(珪藻)綱(Bacillariophyceae),黄緑藻綱(Xanthophyceae)が所属。約300属6,000種が含まれ,このうち4分の3は淡水生で残りか海生。	chrysophyta	205000000

m-13	クリソモナダレス綱	くりそもなだれすこう		chrysomonadales	205010000
m-14	クリソスフェラレス綱	くりそすふえられすこう		chrysosphaerales	205020000
m-15	クリソトリカレス綱	くりそとりかれすこう		chrysotrichales	205030000
m-16	けい質べん毛藻綱 (珪質鞭毛藻綱)	けいしつべんもうそうこう	黄色べん毛藻類に属する単細胞の海生植物プランクトンの一種で、骨格とその中の原形質からなる。大きさは20～80ミクロン。原形質はカ粒(顆粒)と色素体を持ち細胞膜で被われ、外側には仮足と1本のべん毛がのびている。骨格はオパール質シリカからなり、その形態は刺状突起を持った単純な環状構造から複雑なドーム状構造まで多様である。前期白亜紀に出現してから現在に至るまで、基本的な形態はほとんど変化していない。	silicoflagellales	205040000
m-17	ハプト藻門	はぷとそうもん	遊走細胞がハプトべん毛(鞭毛)をもつ藻類。一般に、遊走細胞は前端に2本の等長の尾型鞭毛をもち、さらにハプト鞭毛(haptonema)をもつ。ハプト鞭毛は正常な複合鞭毛より細く、周囲をとりまく三重の膜と内部を縦走る6～7本の小繊維などからなる。主な構成属として Isochrysis, Hymenomonas, Pleurochrysis, Coccolithus などがある。	haptophyta	206000000
m-18	黄緑色藻門	おうりょくしよくそうもん		xanthophyta	207000000
m-19	ユーステグマト植物門	ゆうすてぐまとしよくぶつもん		eustigmatophyta	208000000
m-20	けい藻門 (珪藻門)	けいそうもん	褐色植物に属する単細胞藻類で、15,000種以上に分類される。ペクチン質の厚い細胞壁中にけい酸(珪酸)質殻が2枚組み合わさって一個体をなす。大きさは数ミクロン～20ミクロン程度である。ジュラ紀初期に出現し白亜紀に形態的に発達した種が多数現れ、第三紀ころ(頃)に非常に繁栄した。淡水域ならびに海水域に生息する。	bacillariophyta diatoms	209000000
m-21	褐藻門	かっそうもん	褐色植物に属する多細胞藻類で、約240属1,500種が知られる。光合成色素としてクロロフィルa, cのほか -カロチン, ビオラキサンチン, フコキサンチンを含む。無性生殖は遊走子によるほか、単孢子, 四分孢子, はい芽(胚芽), 栄養繁殖などが、有性生殖は同形配偶子接合がある。オルドビス紀に出現し現在でも海域に生息。	phaeophyta	211000000
m-22	紅藻門	こうそうもん	藻類の一種で、単細胞の紅藻類も見られるが多くは多細胞である。光合成色素としてクロロフィルa, フィコエリトリン, フィコシアニン, アロフィコシアニンをもち、赤色はフィコエリトリンによる。海生が多数を占め、少数が淡水生であり、多くは熱帯環境に生育する。原生代から現在までその生息が知られている。約400属, 4000種。	rhodophyta	212000000
m-23	ウシケリ綱	うしけりこう		bangiales	212010000
m-24	真正紅藻綱	しんせいこうそうこう		floridaeae	212020000
m-25	接合藻門	せつごうそうもん	体細胞接合を行う藻類の一分類群。光合成色素としてクロロフィルaおよびbを多量に含む。単細胞のもの(Mesotaeniaceae, Desmidiaceae), 一列の糸状組織のもの(Zygnemataceae)がある。単細胞性のものには糸状に群体をつくることがある。らせん形・帯状・星形などの葉緑体があり、属の標徴とされる。	gamophyta	213000000
m-26	緑藻門	りよくそうもん	緑色植物のうちもっとも簡単な体制をもち、光合成色素としてクロロフィルaおよびbを多量に含む緑色の藻類の一大分類群。425属約6,500種が知られる。最近では、核や細胞の分裂様式、遊走細胞のべん毛(鞭毛)装置の構造、光合成産物グリコール酸の代謝経路の違いなどから、緑藻類(狭義、主に陸水に生育)、車軸藻類(陸上植物進化系列)、アオサ藻類(主に海に生育)に分類する傾向が強い。	chlorophyta	214000000
m-27	ミドリゲ綱	みとりげこう		siphonales	214010000
m-28	車軸藻綱	しゃじくそうこう	中軸細胞と各節からの輪生枝からできている緑色の多細胞植物で、緑藻類とコケ植物の中間に位置する。有性生殖を行い、節間部に造卵器、造精器を生ずる。造卵器は、5つの細長い被覆細胞がらせん状に取り巻き成熟すると石灰を沈着する。後期デボン紀に栄養体の一部が知られ、生殖器官の化石は世界各地の古生代以降の地層から見い出されている。	charales	214020000
m-29	ブラシノ藻綱	ぶらしのそうこう	藻類の一分類群で、単細胞性または群体性の体制をもつ藻類。同化色素組成や貯蔵物質は緑藻類に似るが、光合成によりマンニトールを生成すること、遊走細胞の前端が凹形に陥入しその底部からべん毛(鞭毛)が生ずること、細胞または鞭毛の表面をりん片(鱗片)状物体と小毛が被うこと、および鱗片または細胞壁が構成物質として2 keto sugar acidを含むことなどから、緑藻類から分離して独立した群として扱う場合が多い。	prasinophycates	214030000

m-30	軸足虫門	じくそくちゅうもん		actinopoda	215000000
m-31	太陽虫綱	たいようちゅうこう	肉質綱軸足虫亜綱の一目(太陽虫目)に属する原生生物。	heliozoa	215010000
m-32	放射虫目	ほうさんちゅうもく	原生動物の旧分類体系においては肉質虫綱軸足虫亜綱の一目、新分類体系では肉質虫綱軸足虫上綱のきょく針綱(棘針綱)、多泡綱、濃彩綱に分類される。原形質の軟体部と、非晶質のけい酸(珪酸)(SiO ₂)または硫酸ストロンチウム(Sr SO ₄)の骨格および殻を持つ。	radiolaria	215010100
m-33	有孔虫門	ゆうこうちゅうもん		foraminifera	216000000
m-34	有孔虫綱	ゆうこうちゅうこう			216010000
m-35	有孔虫目	ゆうこうちゅうもく	旧分類では肉質虫綱根足虫亜綱の一目、新分類体系では肉質虫綱根足虫上綱の一目に属する原生動物。原形質と複数の房室を持つ数百μm程度の殻からなる。殻の形態と組成は様々であり、これに基づき分類され、カンブリア紀以降の化石として38,000種以上が記載されている。		216010100
m-36	紡錘虫上科	ぼうすいちゅうじょうか	有孔虫目に属し、前期石炭紀に小型有孔虫より進化した。後期石炭紀以降の急速な形態発達に伴って、100属5,000種以上に分化し、ペルム紀末に絶滅。世界各地の熱帯から亜熱帯域の浅海に生息した。外形は棒状、紡錘形、球形をなした石灰質の殻をもち、殻の直径は0.2mmから1cm程度で、10cmに達するものも知られている。後期古生代の代表的な示準化石の1つ。	fusulinids fusulinidae	216010101
m-37	底生有孔虫	ていせいゆうこうちゅう	有孔虫類のうち、底生生活を送るものの総称。潮間帯から超深海帯までのあらゆる海域に生息し、水塊の水平・垂直分布に対応した特徴的な群集を構成する。そのため、海底環境を復元する手段として重要視されている。	benthic foraminifer	216010102
m-38	浮遊性有孔虫	ふゆうせいゆうこうちゅう	有孔虫類のうち、表層水中で浮遊生活を送るものの総称。後期ジュラ紀に出現し白亜紀末にはほとんど絶滅したが、中新世ころ(頃)に再び繁栄した。短期間に広範囲に伝搬する点から、地質時代判定のために重要視されているほか、生息する水塊の性質を反映することから表層水環境を復元する手段としても利用される。	planktonic foraminifer planktic foraminifer	216010103
m-39	小型有孔虫	こがたゆうこうちゅう	有孔虫類のうち、大型有孔虫以外のものをいう。		216010104
m-40	大型有孔虫	おおがたゆうこうちゅう	有孔虫の分類学上の単位ではなく慣習上の呼び名。殻は一般に大きく、内部構造も複雑である。成体は底生で潮間帯から水深80~90mの浅海域に生息するものが多い。前期石炭紀~ペルム紀のフズリナ類、前~中期白亜紀のオルビトリナ類、前期白亜紀以降のアルベオリナ類、後期白亜紀~後期新第三紀のオルビトイド有孔虫類などは示準化石として用いられる。		216010105
m-41	繊毛虫門	せんもうちゅうもん	原生生物界の一門。かつては滴虫類と同義とされ、旧分類体系では原生動物門有毛虫門(Ciliophora)の繊毛虫綱(Ciliata)とされていた。生活史の一時期に繊毛または繊毛器官を備え、大核と小核という2種類の核を同一細胞内にもついわゆる二核性を示す。すべて従属栄養で、えさ(餌)は細胞口から取り込み、細胞こう門(肛門)から排出する。	ciliophora	217000000
m-42	多膜綱	たまくこう		polyhymenophora	217010000
m-43	有鐘目	ゆうしょうもく		tintinnida	217010100
m-44	菌界	きんかい	細菌類と粘菌類(真性粘菌類)・細胞性粘菌類・ラビリンツラ類を除く菌類の総称。5界説などでいう菌類はこの範囲をさすことが多い。8万以上の種が記載されている。水生から陸生へ、腐生から寄生へ移行する一般的傾向があり、また種々の型のホモタリズムのものと同様にヘテロタリズムのものがあり、性に関しては極めて複雑である。隔壁のある菌糸が発達するものが多い。	fungi	300000000
m-45	担子菌門	たんしきんもん	菌類のうち、有性世代として担子器を生じ、その上に担子胞子を外生するもの。約1,100属1万6千種がある。担子器果の有無、担子器の形態とそのできかたによって、クロボキン類・サビキン類、キクラゲ・シロキクラゲ・シタケ・マツタケなどを含む菌しん類(菌蕈類)、キツネノチャブクロ・スポンタケなどを含む腹菌類に分類される。軟質・硬質のきのこ類のほとんどがここに属す。		301000000
m-46	植物界	しょくぶつかい	生物を2分したとき動物と対置される、クロロフィルをもち光合成を行う一群。植物的進化傾向としては、細胞を積み重ねる方式による個体発生、細胞壁の形成、クロロフィルによる同化作用(光合成)にもとづく独立栄養系など独自の物質代謝の型の成立がある。非運動性などはこれの付随的なものである。	plantae	400000000
m-47	コケ植物門 蘚苔植物門	こけしょくぶつもん	緑色植物の一門。緑藻類から進化した群と推定され、主に陸上植物である。ツノコケ類(綱)・たい類(苔類)(綱)・せん類(蘚類)(綱)の3群からなる。葉状体または茎葉体を形成するが、維管束をもたない。蘚類では通道組織と	bryophyta	401000000

			して道束を分化する。化石としては最古のものはデボン紀に記録され、中期石炭紀以後にウロコゴケ(苔類)、後期石炭紀以後に蘚類、白亜紀以後にミズゴケが発見されている。		
m-48	ツノゴケ綱	つのごけこう	コケ植物門の一群。たい類(苔類)に分類されることや独立したツノゴケ植物門(Anthocerotophyta)とされることがある。世界に約320種が知られる。	anthocerotopsida	401010000
m-49	たい類綱 苔類	たいるいこう	コケ植物門の一群。せん類(蘚類)、ツノゴケ類に対する。独立のたい類(苔類)植物門(Hepatophyta)とされることがある。世界に約8,500種、日本には500~700種が知られる。	hepatopsida	401020000
m-50	せん類綱 蘚類	せんるいこう	コケ植物門の一群。たい類(苔類)、ツノゴケ類に対する。独立したせん類(蘚類)植物門(Bryophyta(狭義))とされることがある。葉と茎からなる茎葉体を形成し、茎には中心束、葉には主脈が分化する最も体制の進んでいるコケ類の一群である。世界に約2万種、日本には約1,500種が知られる。	bryopsida	401030000
m-51	リニア門	りにあもん		rhyniophyta	402000000
m-52	トリメロフィトン門	とりめろふいとんもん		trimerophytophyta	403000000
m-53	ゾステロフィルム門	ぞすてるふいるむもん		zosterophyllophyta	404000000
m-54	ヒカゲノカズラ門 小葉門	ひかげのかずらもん	維管束植物のうち、小葉をもち孢子繁殖するシダ段階の植物。現生のヒカゲノカズラ・イワヒバ・ミズニラ類を含む。後期シルル紀~デボン紀に、大葉系維管束植物と並んでリニア類から分化した。石炭紀に最も繁栄し、沼沢性の巨大森林を形成した。ペルム紀から小型化と多様性の消失が起こり、現生では木本生のものはない。ミズニラ類にはこん跡(痕跡)的な2次木部がみられる。	lycopodiophyta lycophyta	405000000
m-55	ヒカゲノカズラ綱 無ぜつ綱	ひかげのかずらこう	維管束植物のうち、小葉類(リコプシダ)の一群。小葉類(Microphyllinae)と同義に用いられることもある。小形の小葉をもち同形孢子を生ずるが、小舌は生じない。地質時代に繁栄した植物で、現存種の数は少なく、約300種(日本に25種)である。	lycopodiopsida lycopsida, aglossopsida	405010000
m-56	ミズニラ綱 有ぜつ綱	みずにらこう	小葉類(リコプシダ)に属する水生シダ植物の一群。細長い柱状の小葉をもち、葉の基部には小舌を生じ、その下に大孢子のう(孢子嚢)・小孢子嚢を作り、異形孢子を生じる。世界で60種、日本には3種知られる。	isoe topsida glossopsida	405020000
m-57	トクサ門 木賊類	とくさもん	緑色植物維管束植物の一群。有節類とも。直立する茎は一般に中空で節があり、節から小葉および小枝が輪生する。根茎も有節で、節部から根とりん片(鱗片)状の小葉を輪生する。孢子葉は茎頂に群生し、ツクシのような球果状の花葉穂となる。トクサ類は一貫して湿地性の生育環境に適応し、ペルム紀から三畳紀にかけて一定の生態的地位を占めてきたが、ジュラ紀以降急激に減少する。現生種は20種弱。	equisetophyta sphenophyta, arthrophyta	406000000
m-58	シダ門 羊歯類	しだもん	植物維管束植物の一群。茎はすべて根茎である。木生シダをのぞけば地中生、着生または地表生で、葉と根を生ずる。葉は大葉で、単葉からシダ型4~5回羽状複葉まであり、一般に平面的である。多くは葉の裏面または葉縁に孢子のう(孢子嚢)群をつける。世界で約9,000種、日本では約600種弱が知られる。化石としてのみ知られるシダ類(化石シダ)が多くあり、最盛期の石炭紀~ペルム紀には世界中で大森林をつくった。	filicophyta pterophyta	407000000
m-59	古生シダ綱	こせいしだこう		primofilicopsida primofilicidea	407010000
m-60	ハナヤスリ綱	はなやすりこう		ophioglossopsida	407020000
m-61	リュウビнтаイ綱	りゅうびんたいこう		marattiopsida	407030000
m-62	シダ綱	しだこう	シダ門。		407040000
m-63	前裸子植物門	ぜんらししよくぶつもん	裸子植物の進化上の先駆植物。シダ段階と裸子植物段階の間にある植物群と考えられる。中期デボン紀にトリメロフィトン類から分岐し、前期石炭紀に絶滅した。代表的なアーキオブレチスは、茎が裸子植物の針葉樹類のように2次木部を形成し肥大成長するが、シダ状の羽状複葉があり、孢子のう(孢子嚢)をもつ植物であった。	progymnospermophyta	408000000
m-64	シダ種子門 ソテツシダ門	しだしゅしもん	ソテツシダ類という名称は一般的でなく、シダ種子類が現在は使用されている。絶滅した裸子植物の総称。	pteridospermophyta	409000000
m-65	ソテツ門	そてつもん	維管束植物類のうち裸子植物段階の一群。シダ種子類・カイトニア類・狭義のソテツ類・ベネティテス類などを含む。羽裂した大葉を太い茎上に密集してつける。茎には2次木部があり、その中は仮道管を主とする。孢子のう(孢子嚢)は大葉上につく。雌雄分化し、雄性のものはべん毛(鞭毛)をもった精子をつくり、雌性のものは大形で厚い被殻を生ずる。中生代に最も繁栄した。	cycadophyta	411000000

m-66	イチョウ門	いちょうもん	維管束植物類の一群。裸子植物イチョウ目に属する植物の総称。葉に二又分枝の葉脈が発達し、べん毛(鞭毛)のある精子を生ずるなど原始的な形質がみられる。現在は東アジアの原産で栽培状態のイチョウ(<i>Ginkgo biloba</i>)1種を残すだけとなったが、地史的にはペルム紀から中生代の中ごろ(中頃)までに全世界的に繁茂した。日本では、鮮新世からイチョウの葉の化石が見出される。	ginkgophyta	412000000
m-67	マツ門 球果類 針葉樹類	まつもん	維管束植物類のうち裸子植物段階の一群。すべて木生で、枝に針状葉を密につける。花は雌雄両花で、雄花は花粉のう(花粉嚢)をつけたりん片(鱗片)葉の穂となる。雌花は鱗片(苞りん(包鱗))葉えき(葉腋)にはい珠(胚珠)を伴った種りん(種鱗)が密生した球状花序で、熟して球果となる。主に北半球に分布し、高木および純群落を作るものが多い。後期石炭紀に出現し、400種ほどの現生種がある。	pinophyta coniferophyta	413000000
m-68	コルダボク綱	こるだぼくこう		cordaitopsida	413010000
m-69	マツ綱	まつこう		pinopsida coniferopsida	413020000
m-70	グネツム門 マオウ門	ぐねつむもん	維管束植物類の裸子植物段階の一群。茎の二次木部には仮道管だけでなく道管をも併せもつ。雌雄両花をつけ、いずれも花被で包まれる。グネツム・ウェルウィチアおよびマオウと形態的に多様な3属が現生し、単系統をなすとされている。化石の報告はない。	gnetophyta	414000000
m-71	モクレン門 被子植物門	もくれんもん	種子植物を2分した場合の裸子植物に対する一群。心皮は柱頭、花柱、子房の3部に分化し、これが何らかの形ではい珠(胚珠)を覆い、雌ずいに子房を形成する植物の総称。子葉の数によって、双子葉植物と単子葉植物の2綱に分ける。子房の発達による種子の保護化、重複受精による幼植物の栄養確保、通導組織として一般に道管を有することなど、裸子植物にはみられない特徴がある。	magnoliophyta angiospermae	415000000
m-72	モクレン綱 双子葉綱	もくれんこう	はい(胚)における子葉の数が2枚の被子植物の一群。単子葉類と対する。約16万5千種を含む。	magnoliopsida dicotyledoneae	415010000
m-73	モクレン亜綱	もくれんあこう		magnoliidae	415020000
m-74	キンボウゲ亜綱	きんぼうげあこう		ranunculidae	415030000
m-75	マンサク亜綱	まんさくあこう		hamamelididae	415040000
m-76	ナデシコ亜綱	なでしこあこう		caryophyllidae	415050000
m-77	ビワモドキ亜綱	びわもどきあこう		dilleniidae	415060000
m-78	バラ亜綱	ばらあこう		rosidae	415070000
m-79	キク亜綱	きくあこう		asteridae	415080000
m-80	ユリ綱 単子葉綱	ゆりこう	はい(胚)における子葉が単数(1枚)の被子植物の一群。双子葉類と対する。約5万5千種を含む。葉の主脈は平行、茎は不斉中心柱で通常形成層を欠き、花は三数性、胚は発芽後まもなく幼根を失って不定根と交代する。	liliopsida monocotyledoneae	415090000
m-81	オモダカ亜綱	おもだかあこう		alismatidae	415110000
m-82	ユリ亜綱	ゆりあこう		liliidae	415120000
m-83	ヤシ亜綱	やしあこう		arecidae	415130000
m-84	花粉・孢子	かふん・ほうし	花粉は種子植物のやく(葯)から出た粉状の雄性の配偶体で、大きさ、形はさまざまで、一般に径は25~100 μ m。裸子植物および被子植物の花粉母細胞(2n)の減数分裂によって生じる。孢子は菌類や植物が無性生殖の手段として形成する生殖細胞で、配偶子とちがって、単独で新個体(世代)となることができる。特定の全数(2n)の細胞から減数分裂の結果生じる真正孢子と、体の一部がそのまま分裂してできる栄養孢子がある。	pollen spore	416000000
m-85	種実・球果	しゅじつ・きゅうか	種子は、高等植物において、受精後、はい珠(胚珠)が発達して形成される普遍的な散布体で、はい(胚)とはい乳(胚乳)および種皮からなる。球果は、木化したりん片(鱗片)が集まって球形あるいはだ円(楕円)体となった果実状の構造で、マツ類の松傘(まつぼっくり)がこれにあたる。		417000000
m-86	葉化石	ようかせき			418000000
m-87	材・根化石	ざい・こんかせき			419000000
m-88	けい化木・化石林 (珪化木・化石林*)	けいかばく・かせきりん	植物が地層中に埋没する間に、細胞壁中やその他の部位にけい酸(珪酸)溶液がしみ込み、細胞の一部または全部が二酸化けい素(珪素)(SiO ₂)で置換された化石のうち、材の場合をけい化(珪化)木という。		421000000
m-89	石炭・亜炭	せきたん・あたん	過去の植物の遺がい(遺骸)がたい積(堆積)し、分解・炭化して生じた物質で、主に沼沢地、河口・湖または内湾性の堆積物中に存在する。温暖気候と大形のシダ植物の繁茂が相まって形成された石炭紀後半の炭層が大規模かつ最重要で、ヨーロッパ・アジア・アメリカの各大陸に分布する。中生代以降の炭層は比較的規模が小さい。日本で最も重要なのは古第三紀・新第三紀前半のもの		422000000

			ので、時代が新しいわりには炭化度が進んでいる。炭化作用は、初期炭化作用と続成作用とに分けられる。初期作用としては、空気を伴う場合と空気のない還元分解作用とが挙げられる。前者は酸化分解作用で、大部分の木質部はメタンなどのガスとしてなくなり、残留炭だけ残る。後者では嫌気性細菌の作用が重要である。続成作用は、長期にわたる圧力・熱の添加により揮発分が抜け炭化度が進む作用である。		
m-90	コハク	こはく	樹脂の化石。C ₂ H ₂ O(またはC ₂ H ₄ O)の化学式が与えられるが、時代や環境により樹脂を分泌した木の種類を異にし、たい積(堆積)後の変質の状況も違うので化学成分は一定せず、C、H、Oの比もかなり違いがある。大部分は白亜紀以後の地層に含まれる。透明～不透明、比重は1.05～1.1、硬度は2～2.5。世界的には北欧バルト海沿岸が、日本では岩手県久慈市周辺が有名である。		423000000
m-91	動物界	どうぶつかい	生物をいくつか大別したときの1群。	animalia	500000000
m-92	古杯動物門	こはいどうぶつもん	海綿動物に近縁と考えられる原始的無せきつい動物。石灰質の骨格をもち、外形は逆円錐(円錐)形で中空。壁は外壁と内壁からなり、その間に多孔質壁が発達する。カンブリア紀初頭に出現し、熱帯の浅海水域に生息した。シベリア・オーストラリア・南ヨーロッパ・北アメリカに産するが、特にアジアのカンブリア系に著しい。中期カンブリア紀には地球上で動物群として初めて化石礁を形成した。代表属はArchaeocyathus。	archaeocyatha	501000000
m-93	海綿動物門	かいめんどうぶつもん	後生動物で最も原始的な一門。石灰海綿類、六放海綿類、普通海綿類、硬骨海綿類の4綱からなる。体はつぼ型(壺型)で、高さあるいは直径が1mを越す種もある。下端で着生し、上端に1個の大孔、体壁に無数の小孔がある。体内に襟細胞で覆われた内こう(内腔)をもつが、組織や器官はほとんど分化しない。体壁の間充ゲルには石灰質またはけい質(珪質)の骨片がある。現生は約6千種。ほとんどが海生で、少数は淡水生。カンブリア紀以降豊富な化石記録がある。	porifera	502000000
m-94	石灰海綿綱	せっかいかいめんこう	海綿動物門の一綱。体は小形、個性性は比較的明りょうで管状または瓶状をなし、単体のものと群体のものがある。水溝系には、アスコン型・シコン型・リュウコン型などの諸段階がある。骨片はすべて炭酸カルシウムを主成分とし、三ふく体(三輻体)・四ふく体(四輻体)またはかん状体(桿状体)であり、主大骨片と微小骨片との区別はない。すべて海生で、カンブリア紀に出現し、現在も浅海に多く生息している。	calcareia	502010000
m-95	六放海綿綱	ろっぽうかいめんこう	海綿動物門の一綱。体は比較的大形で、個性性が明りょうであり、放射相称的で、管状・漏斗状をなす。三軸六放射相称のけい質(珪質)の骨片をもち、主大骨片と微小骨片の区別は明りょうで、柱りょう(柱梁)組織網中に規則正しく配列して複雑・精巧・堅固な骨格を構成する。すべて海生で、生息深度は石灰海綿より深く、数百mから数千mの深海に及ぶ。カンブリア紀から現在まで知られている。	hexactinellidea	502020000
m-96	普通海綿綱	ふつうかいめんこう	海綿動物門の一綱。尋常海綿類とも呼ばれる。四放海綿類、同骨海綿類、角質海綿類の3亜綱に分類される。骨格はけい質(珪質)の骨片、海綿質繊維、あるいはその両者である。珪質骨片は三軸型ではなく、一般に主大骨片と微小骨片とに分化している。多くは海生であるが、淡水生のももあり、はん世界的(汎世界的)に分布する。カンブリア紀から現在まで知られている。	desmospongia	502030000
m-97	硬骨海綿綱	こうこつかいめんこう	海綿動物門の一綱。炭酸カルシウムないしけい質(珪質)の骨片をもつとともに、炭酸カルシウムを主成分とするち密(緻密)あるいは多孔質の非常に固い基盤骨格を形成する。骨格はアラゴナイトからなるものと方解石からなるものがある。現生種は太平洋、大西洋の浅海に知られ、海底洞くつ(洞窟)やサンゴ礁のすき間(隙間)など目立たぬところに生息する。オルドビス紀以後、化石も多く報告されている。	sclerospongia	502040000
m-98	層孔虫綱 ストロマトポラ綱	そうこうちゅうこう	石灰質の骨格をもつ海生動物の一群で、塊状または層状の群体の化石だけが知られ、動物体は未知。ストロマトポラは層孔虫類の代表的な一属で、外形は変化に富むが、内部の骨格形態は特有の融合構造で特徴付けられる。当初、刺胞動物ヒドロ虫綱に属すると考えられたが、硬骨海綿類との類似から海綿動物に位置づける説が提出され、分類上の位置が議論されている。オルドビス紀から白亜紀まで生息し、シルル紀ごろには最も重要な造礁性動物であった。	stromatoporata	502050000
m-99	刺胞動物門	しほうどうぶつもん	後生動物の一門で、放射相称、二はい葉(二胚葉)性の動物。現生はヒドロ虫類、鉢虫類、箱虫類、花虫類の4綱からなる。体制の基本型として固着生活に適したポリプ形と、遊泳生活に適したクラゲ形がある。ほとんどが海生で、少数の淡水および汽水生種を含め現生約9,600種が知られる。先カンブリア時代末期以降、サンゴに代表される多数の化石種が知られているが、その一部(エディアカラ動物群)は全く異質な絶滅生物であるともいわれ	cnidaria	503000000

			る。		
m-100	原クラゲ綱	げんくらげこう			503010000
m-101	双ろく動物綱 ディプロイロゾア綱	そうろくどうぶつこう			503020000
m-102	鉢虫綱	はちむしこう	刺胞動物門の一綱。ポリプは鉢ポリプとよばれ、体長数mm程度の小形の単体性で、包皮の発達は悪く、群体を形成するものはまれ。胃こう(胃腔)部にある4枚の隔膜により、ポリプは四放射相称型をとる。クラゲは大形の鉢クラゲであり、縁膜を欠き、直径1mを越すものもある。縁弁器官・口腕をそなえ、四、六あるいは八放射相称型。すべて海生で現生約200種が知られる。先カンブリア時代末期のエディアカラ動物群が知られているが、帰属には異論もある。	scyphozoa	503030000
m-103	コニユリア亜綱	こにゆりりあこう	絶滅した海生無せきつい動物。古くから分類上の位置が転々としたが、最近では鉢クラゲ類との類縁性が明らかになり、コニユリア亜綱として落ちつく傾向にある。角錐(角錐)状の石灰質殻と、四角を基本型とする“ふた(蓋)”をもつ。角錐の先端側で附着して生活した固着性の動物とみられるが、沖合性・深海性の腐泥相に見いだされるので、浮遊性または他物に附着した擬浮遊性生物であった可能性が高い。カンブリア紀から三疊紀にかけて見いだされる。		503040000
m-104	ヒドロ虫綱	ひどろちゅうこう	刺胞動物門の一綱。最も多くの型の刺胞をもち、既知の型の2/3以上を占める。ポリプ形とクラゲ形の両方をもち、真正世代交代をするものとしていないものがある。ポリプはヒドロポリプとよばれ、最も単純な構造をもつ。間充ゲルは細胞を含まず、体の構造は四放射相称か多放射相称。クラゲはヒドロクラゲで、傘縁に縁膜を備える特徴を示す。現生約2,700種のほとんどは海生で、淡水生の種もある。先カンブリア時代末期以後の化石記録がある。	hydrozoa	503050000
m-105	花虫綱 サンゴ綱	かちゅうこう	刺胞動物門の一綱。ポリプ形だけがあり、底生で附着生活をおくる。分裂・出芽により群体を構成するものが多い。石灰質や角質の外骨格または内骨格が発達しているものもある。ほとんどが海生、まれに汽水生。造礁サンゴ類、ウミトサカ類、ウミエラ類、イソギンチャク類などの約6,000種がこの類に属し、現生の刺胞動物のうち約2/3を占める。また、古生代を中心に四放サンゴ類や床板サンゴ類などの化石種が多数知られている。	anthozoa	503060000
m-106	四放サンゴ亜綱	しほうさんごあこう	花虫綱の絶滅亜綱。炭酸カルシウムの骨格をもち、多くは単体、ときに群体をなす。個体の外形は皿状・円錐(円錐)状・円柱状・スリッパ状などで、群体は樹枝状・束枝状・塊状など。隔壁の配列は左右相称または放射状で、その数は4の倍数をなす。その他、泡まつ状(泡沫状)構造、床板、外皮のさび(皺)などが特徴である。全て海生で、オルドビス紀からペルム紀にかけて生息し、シルル紀から石炭紀に最盛で代表的な造礁生物であった。500種以上が知られる。	rugosa	503070000
m-107	床板サンゴ亜綱	しょうばんさんごあこう	花虫綱の絶滅亜綱。群体型のみで、非常に原始的な骨格構造をもつ。外形は通常、円筒形ないし柱状である。きょう壁(莖壁)に囲まれた個虫の入る部分よう(莖)が、床板と隔壁との縦横の内部構造のみからなることが特徴である。海生で、オルドビス紀からペルム紀にかけて生存し、造礁生物として重要な位置を占めた。ハチノスサンゴやクサリサンゴなどが代表種で、日本では北上山地・飛だ(飛驒)山地・西南日本などのシルル系・デボン系に多い。	tabulata	503080000
m-108	異放サンゴ亜綱	いほうさんごあこう	花虫綱の絶滅亜綱。化石サンゴ類の中でも特異なグループで、1目1科2属より構成される。直径1~2mmで円形、だ円(楕円)形あるいは多角形状の小さく細長いサンゴ個体からなり、厚い壁と単純な隔壁と床板をもっている。附着・固着性の生活様式を有した。四放サンゴ類から派生したとする考えがある。石炭紀のビゼーアン世から前期三疊紀に限って産出する示準化石で、日本でも北上山地の鬼丸層とその相当層から報告がある。	heterocorallia	503090000
m-109	八放サンゴ亜綱	はっぽうさんごあこう	刺胞動物門花虫綱の一亜綱。八射サンゴ類とも呼ばれる。群体を形成するが、石灰質の堅固な骨格を持つものは少なく、群体の共肉中に特殊な形状の骨片をもつ種類が多い。生体のポリプが、8枚の隔壁および羽毛状の突起がある8本の触手をもつことが特徴である。	octocorallia	503110000
m-110	六放サンゴ亜綱	ろっぽうさんごあこう	刺胞動物門花虫綱の一亜綱。触手と隔膜は6の倍数を基本とし、アラゴナイトの骨格も6つの原隔壁の形成から6の倍数で後隔壁が増える。群体と単体があり、群体は直径5m以上に達するものもある。単体は円盤状、杯状、円筒状、コップ状などの外形をもつ。主として動物プランクトンを捕食し、造礁性と非造礁性のものがある。中期三疊紀に出現し、現在も赤道をはさんで北・南緯30°の範囲に主な造礁サンゴの分布がある。	hexacorallia	503120000
m-111	石サンゴ目	いしさんごもく			503120100

m-112	軟体動物門	なんたいどうぶつもん	後生動物の一門で、真体こう(真体腔)類の旧口動物に属する。単板綱・多板綱・無板綱・腹足綱・掘足綱・二枚貝綱・頭足綱に区分される。体は無体節、左右相称で、頭・足・内蔵塊よりなる。内蔵塊上皮から伸びる外とう膜(外套膜)から貝殻が分泌される。水生と陸生があり、水生種の多くは底生で、一部は遊泳もしくは浮遊性。先カンブリア時代末期に出現し、前期カンブリア紀に放散したとされ、現生約10万種のほか、多数の化石種が知られる。	mollusca	504000000
m-113	双神経亜門	そうしんけいあもん	軟体動物門のヒザラガイ類(多板類)とカセミズ類(溝腹・無板類)の2綱を含む群で、原始的な体制をもつ。体は左右相称で、ヒザラガイ類ではだ円(楕円)形、カセミズ類では細長くぜん虫(蠕虫)様である。神経系は最も特徴的で、口を囲む神経索(脳)と、これとこう門(肛門)の間を縦走する2対の神経幹(内方の足神経幹と外側の内臓神経幹)がある。本亜門には単板類が入れられたことがある。単板類・腹足類・掘足類・二枚貝類・頭足類からなる有殻亜門に対置させ双神経亜門とされることもある。	amphinula	505000000
m-114	無板綱	むばんこう	軟体動物門の一綱で、無殻類あるいは溝腹類ともいう。サンゴノヒモ目とケハダウミヒモ目の2目が知られる。体は左右相称の細長いぜん虫(蠕虫)状で、前端に口、後端にこう門(肛門)が開孔する。頭部に眼・触角を欠く。殻はもたないが、背面に外とう膜(外套膜)をもち、その外側に石灰質の針骨を含むクチクラ層が分泌される。すべて海生で、18~6,000 m以上の泥底にす(棲)む。化石は知られていないが、古生代の初めには既に出現していたと考えられている。	aplacophora	505010000
m-115	多板綱	たばんこう	軟体動物門の一綱。多殻類、ヒザラガイ類とも。体はへん平(扁平)なだ円(楕円)形で左右相称。外とう膜(外套膜)は体背部の全面をおおい、1列にならぶ8枚の石灰質殻板をもつ。頭部に眼・触角を欠き、足は扁平で吸着・匍(く)ふく(匍匐)の用をなす。すべて海生で、岩礁海岸に主に生息するが、深海にも分布する。後期カンブリア紀に出現、新生代に増加し、現生は約600種が知られる。	polyplacophora	505020000
m-116	曲体亜門	きよくたいあもん			506000000
m-117	単板綱	たんばんこう	軟体動物門の一綱。長さ3~4cmの貝殻は低平な円錐(円錐)形で、一見腹足類のヨメガキサなどに似る。しかし、軟体部も左右相称で消化管も直走する。1列のえら(鰓)葉をもった5体の鰓、5対のじん管(腎管)が前後に体節的に配列する。背腹筋が頭部に3対、足に5対着く。神経系は左右相称的で、体こう(体腔)は広大・明りょうであるが体節的区画はない等、軟体動物と環形動物の特徴を兼ね具え、いわゆる「失われた環」の一例とされる。海生で古生代カンブリア紀に出現。	monoplacophora	506010000
m-118	腹足綱 巻貝綱	ふくそくこう	軟体動物門曲体亜門の一綱。現生種は約4万種あるいは約11万種と見積られる。基本体制は、頭・足・内臓塊・外とう膜(外套膜)の区分が明りょう、らせん状の1個の殻をもつ、頭部に歯舌を有する口・触角・眼がある、足は扁平で匍(く)ふく(匍匐)性でその後背面にふた(蓋)がある、脳・内臓などの神経節が分化している、などを特徴とする。水生と陸生があり、水生のほとんどは底生だが、固着性、浮遊性のものである。食性は多様。古生代カンブリア紀に出現。	gastropoda	506020000
m-119	前さい亜綱 巻貝亜綱/前鰓類	ぜんさいあこう	軟体動物門腹足綱の一亜綱。れい神経類(掠神経類)とも呼ばれる。腹足類中最大の亜綱。外とう(外套)・えら(鰓)・心臓・神経などの特性によって分類される。内臓部のねじれによる神経交差が明りょうである。外とう腔(外套腔)は体の前方に開き、1対または1個のえら(鰓)は心臓の前方に位置するのでこの名称がある。カンブリア紀から現在まで知られている。	prosobranchia	506030000
m-120	後さい亜綱 ウミウシ亜綱/後鰓類	こうさいあこう	軟体動物門腹足綱の一亜綱。えら(鰓)は体の右側後方に1個、あるいは消失している。貝殻は一般に薄質、形態変化に乏しく、退化・消失したものが多く、石炭紀から現在まで知られている。	opisthobranchia	506040000
m-121	有肺亜綱 マイマイ亜綱	ゆうはいあこう	軟体動物門腹足綱の一亜綱。えら(鰓)を消失し外とう腔(外套腔)の一部が肺となり、空気呼吸者となったもの。一部は二次えら(二次鰓)により水中で生活する。石炭紀から現在まで知られている。	pulmonata	506050000
m-122	頭足綱 イカ綱	とうそくこう	軟体動物門曲体亜門の一綱。現生はオウムガイ類とイカ類(コウイカ類・ツツイカ類・コウモリダコ類・タコ類)の2亜綱からなり、約730種が知られる。絶滅したものにアンモナイト類やバクトリーテス類がある。体部は前方に向かって内臓塊・頭・足からなり、頭部に足がつくためこの名がある。後期カンブリア紀に出現し、オウムガイ類は前期古生代に栄えた。アンモナイト類は古生代後期から中生代末まで生息した。さや形類(鞘形類)の出現はシルル紀とされる。	cephalopoda	506060000
m-123	バクトリテス亜綱	ばくとりてすあこう			506070000

m-124	オウムガイ亜綱	おうむがいあこう	軟体動物門頭足綱の一亜綱。頭足綱の中では最も原始的なグループに属す。約75科300属3,500種が知られる。殻の形は円錐(円錐)状から巻いたものまで多様で、その内部は主に真珠質の隔壁により多くの気房に分れ、隔壁の中央または殻内縁に沿って体管が走る。古生代のものは体管内に複雑な石灰質の沈でん(沈澱)物をもつ。後期カンブリア紀に出現し、古生代前半の海洋に栄えた。現生種は1属4(ないし6種)が南西太平洋の亜深海に生息する。	nautiloidea	506080000
m-125	直角石目	ちよっかくせきもく	軟体動物門頭足綱オウムガイ亜綱中の一目。殻はまっすぐかわずかに曲がった長円錐(円錐)状で、皿状の隔壁をもつ気房と、1本の横溝と3本の縦溝が発達する住房からなる。連室細管は、殻のほぼ中心を通り、各気室内で肥大しない。気室内や連室細管内に石灰質沈殿物を形成する。殻表には、細隆起線による網状装飾がある。オルドビス紀から後期三疊紀まで生存するが、中期オルドビス紀から中期シルル紀にかけて特に繁栄した。		506080100
m-126	オウムガイ目	おうむがいもく	オウムガイ亜綱。		506080200
m-127	アンモナイト亜綱	あんもないとあこう	軟体動物門頭足綱の絶滅亜綱。一般に、らせん状に巻いたら環(螺環)をもち、中は隔壁により多数の部屋に仕切られている。軟体部は古生代のものについて軟X線で確認され、タコのような数本の触腕をもつ。軟体部は最も外側の住房に収容され、気房とは連室細管によってつながれている。デボン紀に出現し白亜紀末に絶滅するまで、世界の海洋に繁栄した代表的な示準化石の一つである。現在までに3目8亜目255科1万種以上が知られている。	ammonoidea	506090000
m-128	さや形亜綱 イカ亜綱/鞘形類	さやがたあこう	軟体動物門頭足綱の一亜綱。イカ・タコの仲間。外とう膜(外套膜)に被覆された内殻性の直すい状(錐状)ないし曲錐状の殻をもつ。殻は先端から前方に向かってさや(鞘)・閉錐・前甲の3部分からなる。頭部には吸盤ないしはかぎ(鉤)をもった8本または10本の腕をもつ。デボン紀にバクトリテス類から進化したと考えられている。化石としては矢石目のさや(鞘)の部分が多く、層準は下部石炭系から上部白亜系にわたり、特に中生代の地層中に多産し種類も多く示準化石となる。	coleoidea	506110000
m-129	矢石目	やいしもく	頭足綱さや形亜綱の絶滅目。体内に3部分に分かれた殻(円錐(円錐)状の閉すい(閉錐)、その後方に円筒状のさや(鞘)、前方にへら状の前甲)をもつ。軟体部は不明だが、ドイツのジュラ系から得られたものは、かぎ(鉤)のある腕と墨汁のう(墨汁嚢)をもつ。海生。石炭紀初期から白亜紀末まで生息し、ジュラ紀から白亜紀の陸棚には特に繁栄した。なお、酸素アイソトープ含有比から古水温を測定する材料として最初に使われたのは白亜紀ベレムナイトの鞘である。	さや形亜綱の絶滅目	506110100
m-130	ツツイカ目	つづいかもく			506110200
m-131	コウイカ目	こういかもく			506110300
m-132	八腕目	はちわんもく			506110400
m-133	直体亜門	ちよくたいあもん			507000000
m-134	ふん殻綱 ロストロコング綱/ 吻殻類	ふんかくこう	軟体動物の絶滅綱。古生代のみ知られる。コップ状の胎殻から左右対称に伸びる石灰質の2枚の殻をもつ。外見上は二枚貝に似るが、じん帯(靱帯)はなく、殻は背面で連続している。ロストロコング類にはリベリア目、イシュリニア目、コノカーディウム目に分けられ、約400種が知られている。ロストロコング類は、二枚貝と掘足類の祖先と考えられており、それら3綱を合わせて直体亜門という。		507010000
m-135	掘足綱 ツノガイ綱	くっそくこう	軟体動物門直体亜門の一綱。ツノガイ目とクチキレツノガイ目からなる。殻は左右対称の角状の管からなる。軟体部は左右対称で頭部を欠き、砂を掘るのに適した円筒状の大きな足をもつ。本さい(本鰓)はなく呼吸は外とう(外套)溝で行われる。海生で、足で砂・泥底を掘り、殻口部を下にして半ば埋もれて斜めに立つ。中・古生代ではわずかにしか知られていないが、新生代になると種数、個体数とも急増する。日本では第三系に多産する。	scaphopoda	507020000
m-136	ふ足綱 二枚貝綱	ふそくこう	軟体動物門直体亜門の一綱。体は左右相称で、2枚の外とう膜(外套膜)が体のほとんど全部を覆い左右2枚の同形の貝殻を分泌する。貝殻は殻頂の関節歯により関節し、前後2個の閉殻筋(貝柱)の収縮・弛緩(弛緩)、じん帯(靱帯)の弾性により開閉する。大部分は海生だが、淡水生のもも少なくない。カンブリア紀に出現して以降、多数の化石種が報告され、約2万種に及び現生種が知られている。	bivalvia	507030000
m-137	古多歯亜綱 クルミガイ亜綱	こたしあこう		palaeotaxodonta	507040000
m-138	潜歯亜綱 キヌタレガイ亜綱	せんしあこう		cryptodonta	507050000
m-139	翼形亜綱 ウグイスガイ亜綱	よくけいあこう		pteriomorphia	507060000

m-140	古異齒亞綱 三角貝亞綱	こいしあこう		palaeoheterodonta	507070000
m-141	異齒亞綱 ハマグリ亜綱	いしあこう		heterodonta	507080000
m-142	異じん帯亜綱 ウミタケガイモド キ亜綱	いじんたいあ こう		anomalodesmata	507090000
m-143	貝類化石*	かいるいかせ き			508000000
m-144	ヒオリテス門	ひおりてすも ん	軟体動物の絶滅門。古生代のみ知られる。ヒオリテス目、オルソテカ目、トクソユーモルフォラ目からなる。ヒオリテス目は、小型で、細長い円錐(円錐)形の石灰質の殻をもち、殻口部はだ円(楕円)形ないし亜三角形のふた(蓋)で覆われ、さらに殻口部内より側方に伸びる湾曲した2本の付属きよく(付属棘)をもつ。厚い殻をもち、底生生物と考えられているが、詳細は不明。特に古生代初期の地層から多産し、現在までに約500種が報告されている。		509000000
m-145	環形動物門	かんけいどう ぶつもん	後生動物の一門で、左右相称、裂体こう(裂体腔)性の真体こう(真体腔)をもつ旧口動物。多毛類(ゴカイ類)・貧毛類(ミズ類)・ヒル型類の3綱からなる。体は多数の同規的体節からなり、体外面の体節区画に対応して真体腔は隔膜で仕切られる。体節が分化し頭・胸(胸と腹)・尾の区別を生じるものがある。約1万5千の現生種が知られ、化石としては多毛類の巣穴・ほ跡(匍跡)、がく吻(顎吻)・環虫歯が産出する。先カンブリア時代末にはそれらしい化石が知られている。	annelida	511000000
m-146	多毛綱 ゴカイ綱	たもうこう	環形動物門の一綱。体は一般に長くぜん虫(蠕虫)形で、体の横断面は円形またはややへん平(扁平)。環節区分は外観上明りょうで、等体節が分化して不等体節となり、頭と胸、または頭・胸・腹・尾部などに分化する。胸部の体節にはいぼ足(疣足)があり、剛毛が突出する。最後体節のこう節(肛節)には長い対の肛触しゅ(肛触鬚)がある。口こう(口腔)といん頭(咽頭)の内面はクチクラにおおわれ、肉食性のもものではこの部分が翻出してふん(吻)となる。ふん(吻)に顎や多数の小歯をもつものがある。ほとんとすべて海生。オールドビス紀以降知られる。	polychaeta	511010000
m-147	吸口虫綱 スイクテムシ綱	すいくちちゅう こう	環形動物門の一綱。ジュラ紀の化石が知られている。	myzostomaria	511020000
m-148	貧毛綱 ミズ綱	ひんもうこう	環形動物門の一綱。体は長く、横断面は円形で、まれにへん平(扁平)。体節は明りょうで、真体こう(真体腔)は隔膜仕切られる。いぼ足(疣足)はなく、剛毛は少数、構造も簡単で、各体節の体表上に一定の配列で直接つく。触手や触しゅ(触鬚)を欠き、一般にえら(鰓)はない。体節はほとんど等体節で、頭部および尾部の分化は不明りょうである。口は体の前端の腹面に開き、あご(顎)や小歯はなく、こう門(肛門)は体の後端にある。淡水生および陸生で、海生は少数である。石炭紀の化石が知られている。	oligochaeta	511030000
m-149	有しゅ動物門	ゆうしゅどうぶ つもん	後生動物の一門で、左右相称、真体こう(真体腔)をもつ旧口動物。ヒゲムシ綱とハオリムシ綱に分けられる。極めて細長いぜん虫(蠕虫)状で、体長は0.3~1.5mに達するのに対し、直径は2mm~4cmである。自ら分泌したキチン質の長いせい管(棲管)の中にす(棲)む。海生、一般に深海から採集される場合が多いが、浅海生の種もある。ガラバゴスハオリムシ(チューブワーム)は、熱水噴出孔周辺に高密度で生息している。現生約100種。第三紀漸新世以降の化石が知られている。		512000000
m-150	ハオリムシ綱	はおりむしこう			512010000
m-151	節足動物門	せつそくどうぶ つもん	後生動物の一門で、左右相称、裂体こう(裂体腔)をもつ旧口動物。体は左右相称をなし、明りょうな体節制を示し、原型として各体節に関節のある付属肢(関節肢)をもつ。体節には分化・癒合があり、頭・胸・腹の区別の生じたものが多い。一般に、体表は硬いクチクラにおおわれ、成長に伴い脱皮を行う。体長0.1mmくらいから1~2mのものまである。先カンブリア時代末期の海で生じたと推定される。現生はきょう角類(鋏角類)と大がく(大顎)類の2亜門よりなり、現生種は100万を越す。	arthropoda	513000000
m-152	三葉虫形上綱	さんようちゅう けいじょうこう		trilobitoidea	513010000
m-153	三葉虫形綱	さんようちゅう けいこう			513020000
m-154	三葉虫綱	さんようちゅう こう	節足動物門の絶滅綱。体は頭部、体節をもった胸節、尾板に分れ、横には軸部と左右のろく部(肋部)の3葉に分れ、背甲をもつ。体表はキチン質の膜で、背甲は著しく石灰化(リン酸(燐酸)カルシウム質)する。体長は最大のもので約75cmになる。主に海底を匍ふく(匍匐)し、遊泳するものや泥の中にもぐるものもあった。カンブリア紀から中期ペルム紀まで生息し、特にカンブリア紀~オールドビ	trilobita	513030000

			ス紀に繁栄した。1,500属, 1万種が報告されている。		
m-155	きょう角上綱 鋏角類	きょうかくじょうこう	節足動物の一群で、カブトガニ類、ウミサソリ類、クモ類、ウミグモ類を含む。体は基本的には6体節からなる前体部と12体節からなる後体部にわかれ、後体部の末端に尾をもつ。前体部には通常6対の付属肢があり、第一対はきょう角(鋏角)、第二対は触肢となる。クモ類は陸生、それ以外の3綱は海生で、書さい(書鰓)、書肺または気管で呼吸し、呼吸器を欠くものもある。化石はカンブリア紀から知られ、三葉虫類から分化したものと考えられる。	chelicerata	513040000
m-156	節口綱	せっこうこう	節足動物門きょう角(鋏角)亜門(上綱)のウミサソリ類とカブトガニ類を合わせた一群。単眼と複眼をもつへん平(扁平)な頭胸部と腹部からなる。下面の口の周囲に6対の付属肢がつく。第一肢は鋏角、他は歩脚で咀嚼(咀嚼)器を兼ねる。腹部は約10の体節からなり末端に剣尾を有する。カンブリア紀から現在まで知られている。	merostomata	513050000
m-157	剣尾亜綱 カブトガニ亜綱	けんびあこう	節足動物門きょう角(鋏角)亜門(上綱)の一亜綱。体は背腹にへん平(扁平)で、前体部(頭胸部)と後体部(腹部)に分かれ、後端に長い剣尾が付く。キチン質の背甲は三葉化し、口のまわりに10対以内の付属肢がつく。体長5~7.5cmのものが多いが、最大で60cmに達する。カンブリア紀から完新世に知られ、現生はカブトガニ目のみ。3属4種、すべて海生で沿岸の泥砂底に生息する。	xiphosura	513060000
m-158	広翼亜綱 ウミサソリ亜綱	こうよくあこう	節足動物門きょう角(鋏角)亜門(上綱)の絶滅亜綱。ウミサソリ類とも。体は延長形、前体、7節の中体、5節の後体と剣尾からなる。前体背面に無柄の側眼と正中眼がある。汽水~淡水域の底生・遊泳生活者と考えられる。オルドビス紀~ペルム紀に知られる。	eurypteria	513070000
m-159	しゅ形綱 蛛形類	しゅけいこう	節足動物門きょう角(鋏角)亜門の一綱。サソリ類、クモ類、ダニ類の3亜綱よりなる。前体部に6対の付属肢を備える。付属肢の第一対は鋏角、第二対は触肢、第三~六対は歩脚となる。触肢、歩脚に感覚器や交尾器などを備えるものがある。ダニ類は体が小さく、前体と後体が合一して体節が消失している。大部分が陸生で、多くは肉食性である。現生約6万種。デボン紀から現在まで知られている。	arachnoidea	513080000
m-160	広腹亜綱 サソリ亜綱	こうぶくあこう		latigastra	513090000
m-161	胸甲亜綱	きょうこうあこう		stethostoma	513110000
m-162	単独亜綱	たんどくあこう		soluta	513120000
m-163	柄腹亜綱 クモ亜綱	えぶくあこう		caulogastra	513130000
m-164	ウミグモ綱	うみぐもこう	節足動物門きょう角(鋏角)亜門の一綱。体は体節からなり、頭部は小さく、背面の眼突起上に4個の単眼がある。胸部は明りように4体節に分かれる。腹部は短く分節しない小隆起として胸部後端に着く。付属肢は、きょう肢(鋏肢)(きょう脚(鋏脚))、触肢、担卵肢(雄のみ)および4対の長い歩肢である。体長は数mmから1cm程度だが、付属肢を含めると70cmにもなる種もある。すべて海生で、大部分は底生生活者である。現生約1,000種が知られる。デボン紀以後の化石記録がある。	pycnogonida	513140000
m-165	甲殻上綱	こうかくじょうこう	節足動物門大がく亜門(大顎亜門)の一上綱。体は、群により一定の体節からなる頭・胸・腹の3部に分かれる。頭に触角・えら(鰓)・複眼をもち、中央部に単眼をもつことがある。腹部から出る肢は分化し、遊泳・ほ行(匍行)・呼吸をつかさどる。キチン質の外骨格はカルシウムを含み厚く堅い甲皮となる。主に水生肉食。幼生は変態し、ノープリウス期・ゾエア期を経る。成長につれて脱皮する。カンブリア紀~完新世に知られる。	crustacea	513150000
m-166	えら脚綱 ミジンコ綱	えらあしこう		branchiopoda	513160000
m-167	介形虫綱 貝形虫類	かいけいちゅうこう	節足動物門甲殻亜門(上綱)の一亜綱(綱)。オストラコーダとも呼ばれる。体は小さく、左右不同の石灰質の背甲に包まれている。分節は明りようではない。背甲は半円形で、背縁部で接合し二枚貝状を呈する。体長はふつう0.5~4mm、最大で10mmに及ぶ。カンブリア紀から現在まで知られている。	ostracoda	513170000
m-168	かい脚綱 橈脚類	かいあしこう		copepoda	513180000
m-169	軟甲綱	なんこうこう	節足動物門甲殻亜門(上綱)の一綱。エビの仲間。体は胸部・腹部の区別が明確である。8胸節・6腹節・尾節からなり、各節に付属肢をつける。有柄複眼があり、その後方に5対の付属肢をつける。背甲は発達するかこん跡(痕跡)的である。海生と陸生の両方があり、デボン紀に出現し現世にいたる。	malacostraca	513190000
m-170	コノハエビ亜綱	このはえびあこう		phyllocarida	513210000
m-171	真軟甲亜綱 エビ亜綱	しんなんこうあこう		eumalacostraca	513220000

m-172	十脚目	じゅっきゃくもく		513220100
m-173	つる脚綱 フジツボ綱/蔓脚類	つるあしこう		513230000
m-174	多足上綱	たそくじょうこう	節足動物門大がく亜門〔大顎亜門〕の一上綱で、ヤスデ類・エダヒゲムシ類・ムカデ類・コムカデ類の4綱を含む。成虫の歩脚が9対以上ある。シルル紀から現在まで知られている。	513240000
m-175	倍脚綱 ヤスデ綱	ばいきゃくこう	節足動物門大がく亜門〔大顎亜門〕の一綱。体は円筒形で、同規的な20～200個の体節からなり、頭部・胸部・腹部または頭部と胴部に分けられる。頭部には1対の集眼とこん棒〔棍棒〕状の触角、大がく〔大顎〕と小がく〔小顎〕が基部で癒合した特有のがく唇〔顎唇〕がある。胸部は、肢がない第一胴節〔けい節〔頸節〕〕と1対の肢がある第二～第四胴節を併せたものをいう。腹部は2対の歩脚のあるそれ以下の体節をさす。外骨格にカルシウムを含み体は固い。陸生で、約8,000の現生種が知られる。デボン紀以後知られる。	513250000
m-176	少脚綱 ヤスデモドキ綱	しょうきゃくこう	節足動物門大がく亜門〔大顎亜門〕の一綱。小型の頭、11節の胴、尾節からなり、肢は10対で第一～第十胴節にある(第一対はこん跡〔痕跡〕的)。触角が3本のべん状毛〔鞭状毛〕に終る点で極めて特異である。口器は大がく〔大顎〕と1対の小がく〔小顎〕とからなりがく肢〔顎肢〕はなく、小顎の構造はヤスデ類のがく唇〔顎唇〕に似る。体長数mmで白色、キチン質の外骨格にカルシウムを含まないため体は軟らかい。枯葉や石の下などの陰湿地を好む。約500種の現生種が知られる。化石は未発見。	513260000
m-177	唇脚綱 ムカデ綱	しんきゃくこう	節足動物門大がく亜門〔大顎亜門〕の一綱。体は長く背腹にへん平〔扁平〕で、頭部と同規的な16～200の体節からなる。頭部には多数の小節からなる1対の長い触角、数個の単眼または1対の複眼がある。口器は大がく〔大顎〕、第一・第二小がく〔小顎〕および毒あご〔毒顎〕からなる。胴部の体節には最後の2～3体節を除いて1対の歩脚があり、体節の背板・側板・腹板は明りょうに区別される。キチン質の外骨格にはカルシウムを含まず体は比較的軟らかい。現生種は約3,000。石炭紀以後知られる。	513270000
m-178	結合綱 コムカデ綱	けつごうこう	節足動物門大がく亜門〔大顎亜門〕の一綱。体長数mm、純白で形はややムカデに似る。体は頭部とそれに続くほぼ同様な15体節からなる。頭には極めて多数の節からなる糸状の触角が1対あり、眼はない。最後体節には尾さい〔尾叉〕のような1対の突起があり、その先端に紡績せん〔紡績腺〕が開く。クチクラにはカルシウムを含まず、体は軟らかい。枯葉の下、石の下など陰湿の場所にす〔棲〕む。約200の現生種が知られる。古第三紀漸新世以後の化石記録がある。	513280000
m-179	六脚綱 昆虫綱	ろっきゃくこう	節足動物門大がく亜門〔大顎亜門〕の一綱。カマアシムシ類、トビムシ類、無し〔無翅〕昆虫類、有し〔有翅〕昆虫類の4亜綱からなる。体は頭部・胸部・腹部に明りょうに区分される。頭部には1対の触角、大がく〔大顎〕・小がく〔小顎〕・下唇および1対の複眼と通常3個の単眼がある。胸部は3体節で、3対の脚と一般に2対のはね〔翅〕がある。腹部は一般に11体節で、有翅昆虫類の成体では付属肢がない。海中を除く様々な環境に生息し、現生100万種以上。デボン紀から知られ、化石種も多い。	513290000
m-180	ホウキムシ動物門	ほうきむしどうぶつもん	後生動物の一門で、左右相称、真体こう〔真体腔〕をもつ旧口動物。体は柔らかく、先端に馬てい形〔馬蹄形〕または渦巻状の触手冠をもつ。単立・固着性で、自ら分泌したキチン質のせい管〔棲管〕中にす〔棲〕む。しばしば密集して群生するが、各個体間に連絡はない。すべて海生で、現生は2属10種ほどが知られる。古生代前期の生こん〔生痕〕化石scolithusを含めるとする考えもある。	514000000
m-181	腕足動物門	わんそくどうぶつもん	後生動物の一門で、左右相称、真体こう〔真体腔〕をもつ旧口動物。無関節類と有関節類に分けられる。単立・固着性で2枚の殻をもつ。多数の細い触手をそなえた触手冠は外とう腔〔外套腔〕内に突出して、摂食と呼吸に役立つ。触手冠以外の体の主要部は背腹2枚の外とう膜〔外套膜〕と殻の間に収まる。外套膜は感覚をつかさどると考えられる剛毛をそなえる。全て海産で、26,000を越す化石種と約350の現生種がある。	515000000
m-182	無関節綱	むかんせつこう	腕足動物門の一綱。シャミセンガイ類に代表され、ふくらみの少ない殻をもつ。殻はちょう番〔蝶番〕を欠き筋肉だけで支えられるため、殻の内部には有関節類のような石灰質の構造が発達しない。背腹両殻の間から伸びた肉茎を泥の中に挿入するか、あるいは肉茎を欠く種では腹殻で直接岩石などに付着する。	515010000
m-183	有関節綱	ゆうかんせつこう	腕足動物門の一綱。チョウチンガイ類やホウズキガイ類を含む。炭酸カルシウムを主成分とし、関節構造によって連結されたふくらみのある殻をもつ。殻頂孔を通して伸びた肉茎で岩石などに付着する。背殻内部の後端には	515020000

			主基, 緒元, 腕骨などよばれる複雑な石灰質構造が発達し, ちょう番(蝶番), 触手冠の支持, 筋肉の付着などの役を果たす。		
m-184	コケムシ動物門	こけむしどうぶつもん	後生動物の一門で, 左右相称, 真体こう(真体腔)をもつ旧口動物。狭こう網・被口網・裸口網に3分される。大きさ1mm前後の個虫が多数集まり, 水中の岩石や他生物などの表面を被覆または上に起立し, しげみ状・樹状・枝状など様々な形の群体を作り生活する。個虫は虫室・虫体・筋肉で構成される。虫体は前端に触手冠をもち, 消化管はU字型でこう門(肛門)は触手冠の外に開く。被こう網は淡水生, 裸こう網と狭こう網は海生または汽水生で, 約4,000の現生種が知られている。		516000000
m-185	狭こう網	きょうこうこう	コケムシ動物門の一網。クダコケムシ目と5つの絶滅目に分けられる。石灰質の骨格を形成し, 全て海生と考えられる。クダコケムシ目の個虫は口上突起を欠き, 円形の触手足をもち, 円筒形の虫室を形成する。		516010000
m-186	裸こう網	らこうこう	コケムシ動物門の一網。フクロコケムシ目, フサコケムシ目に分けられる。個虫は口上突起を欠き, 円形の触手冠をもち, 個虫間の境界ははっきりしている。全て海生または汽水生である。		516020000
m-187	被こう網	ひこうこう	コケムシ動物門の一網。個虫は口上突起と馬てい形(馬蹄形)の触手冠をもち, 体こう(体腔)を共有, 自身で分泌した寒天質の中に埋まる。休芽を作って悪環境に耐える。淡水生種だけを含む。		516030000
m-188	きょく皮動物門 棘皮動物類	きょくひどうぶつもん	後生動物の一門で, 腸体こう(腸体腔)性ないし裂体こう(裂体腔)性の真体こう(真体腔)をもつ新口動物。現生はウミユリ類・ヒトデ類・クモヒトデ類・ウニ類・ナマコ類の5綱がある。5放射相対の対称性, 特殊な循環器系(水管系), 内骨格性の高マグネシウム方解石からなる骨格または骨片などが特徴である。成体は一般に数cmから数十cmになる。海生で, 深海を含むあらゆる海底に生息する。約3万の化石種, 6,000以上の現生種が知られる。	echinodermata	517000000
m-189	ゆり形亜門 百合形類	ゆりがたあもん		crinozoa	518000000
m-190	ウミユリ綱	うみゆりこう	きょく皮(棘皮)動物門の一綱。ウミユリ類などでは冠部と柄(あるいは莖)部からなるが, ウミシダ類では柄部がなく冠部から直接何本もの巻枝が出る。冠部はがく(萼)・腕などからなる。腕は5本, または分岐しその倍数となる。腕には管足が発達しデトリタスをこ(濾)しとる。柄部あるいは巻枝は萼の反口面から突出し, 海底に固着または付着する。オルドビス紀に現れ地質時代に大繁栄し, 多くの化石種が知られる。現生は600種を越す。	crinoidea	518010000
m-191	ウミユリ目	うみゆりもく			518010100
m-192	ウミシダ目	うみしだもく			518010200
m-193	ウミツボミ亜門	うみつぼみあもん			519000000
m-194	ウミリンゴ綱	うみりんごこう	きょく皮(棘皮)動物門の絶滅綱。茎の上に石灰質の小板に覆われる球形・卵形または半球形のがく(萼)部とえさ(餌)を取るための細長い複列の腕をもつ。萼の上面に口があり, 側面の1ヶ所にこう門(肛門)がある。萼の上面に5つ, またはそれ以下の数の食溝が走る。有柄がふつうで, まれに無柄。カンブリア紀に出現し, オルドビス紀・シルル紀に全盛を極め, 石炭紀の初期に絶滅した。	cystoidea	519010000
m-195	ウミツボミ綱	うみつぼみこう	きょく皮(棘皮)動物門の絶滅綱。球形・卵形・つぼみ形(蕾形)のがく(萼)があり, それに続く石灰質環状小節からなる短柄があるが, ときに無柄で, 他物に固着する。萼は五放射状に規則正しく配列する通常30の萼板に包まれる。中央の口から5本の歩帯溝が放射状にでて, 口と歩帯溝は可動性のある小板に覆われる。歩帯溝縁に羽状の付属肢がある。オルドビス紀からペルム紀末まで継続したが, 石炭紀初期に多い。	blastozoa	519020000
m-196	星形亜門 ヒトデ綱	ほしがたあもん		asterozoa	521000000
m-197	体星綱 ムカンヒトデ綱	たいせいこう		somasteroidea	521010000
m-198	星形綱	せいけいこう	きょく皮(棘皮)動物門の一綱。一般に体は, へん平(扁平)な盤とそこから明りょうな起点なしで放射状に突出し星形を呈する5本の腕からなる。多孔体は盤の上面の中心近くに開口する。管足は腕の下面に列生し, 移動や摂食(摂餌)などに働く。口は下面に, こう門(肛門)は上面に位置し, 両者を連ねる短い消化管から各腕の中に大形の幽門盲のう(盲嚢)が深く進入する。管足や体上面の皮さい(皮鱗)で呼吸する。原則として肉食性。現生に1,500ないし2,000種が知られる。		521020000
m-199	蛇尾綱 クモヒトデ綱	じゃびこう	きょく皮(棘皮)動物門の一綱。4目のうち2目は絶滅種。体は, 少数の板または多数の小りん片(小鱗片)に覆われるへん平(扁平)な盤と, これから放射状に出て自由に動く5ないし6本の腕からなり, 両者は明りょうに区別でき	ophiuroida	521030000

			る。腕は分岐して極めて多数になることがある。潮間帯～深海の、泥・砂・れき(礫)・岩礁・サンゴ礁などに生息する。特に漸深海底では高密度で生息することが有名。オルドビス紀に現れ、約2,000種の現生種が知られる。		
m-200	有きょく亜門 有棘類	ゆうきょくあもん		echinozoa	522000000
m-201	ウニ綱	うにこう	きょく皮(棘皮)動物門の一綱。体は、規則正しい五放射相称を示しこう門(肛門)が反口面にある正形ウニ類と、左右相称性が加わり肛門が口面または体後端にある不正形ウニ類とに区別されるが、中間的なものもある。骨板は規則正しく配列し、互いに縫合して堅固な殻を構成する。殻の内側には消化管・生殖巣・水管系等の軟体部がある。骨格の一部は長い可動のとげ(棘)となって突出する。オルドビス紀に現れ、現生約千種が知られる。	echinoidea	522010000
m-202	ら板綱 螺板類	らばんこう		helicoplacoidea	522020000
m-203	座ヒトデ綱	ざひとでこう	きょく皮(棘皮)動物門の絶滅綱。体壁は可とう性(可撓性)で、不規則に並ぶかかわら状(瓦状)に重なった小石灰板を含む。上面の中央に小板に囲まれた開口部があり、これから5本の歩帯溝が放射状にでる。歩帯溝は直線状かかま形(鎌形)に曲り、2列に互生する歩帯板(床板)と被板がある。歩帯板間の間げき(間隙)、または板上に、管足の通る小孔がある。こう門(肛門)と水孔は後間ふく(後間幅)にあり、ウニ類の二歩帯区に相当する2本の歩帯溝に挟まれた位置にある。カンブリア紀から石炭紀に報告がある。	edriasteroidea	522030000
m-204	円盤綱	えんばんこう	きょく皮(棘皮)動物門の絶滅綱。円盤状・球状の殻は石灰質の小板で表面が覆われ、柔軟性に富んでいた。体の上表面には5本の歩帯溝、口、こう門(肛門)があり、歩帯溝は中央の口へとつながる。自由生活を送るものもいたが、多くは腕足類等の殻に固着していた。前期カンブリア紀から前期石炭紀に知られる。	cyclocystoidea	522040000
m-205	ナマコ綱 海鼠類	なまここう	きょく皮(棘皮)動物門の一綱。体は円筒状、左右相称、前端に口、後端にこう門(肛門)が開く。骨板は微小な骨片となって体壁中に散在する。口の周囲には石灰環とよばれる内骨格が発達する。口を環状に取り囲みときに樹状分岐する触手を使って、えさ(餌)であるデトリタスを取り込む。管足は5本の歩帯に列生するが、背側では退化あるいははいほ足(疣足)などへの分化が見られる。通常底生で、深海では優占種ともなる。浮遊性の種もある。現生に約千種が知られる。	holothuroidea	522050000
m-206	海果亜門	かいかあもん	きょく皮(棘皮)動物門に属する絶滅群。口～こう門(肛門)方向にへん平(扁平)で、棘皮動物に特有な五放射対称性をもたない。がく(萼)は不規則な多くの多角板におおわれ、前端近くに口と肛門がある。柄の上部は中空で伸縮する。小さな歩帯溝のあるものもあるが、指枝はない。中期カンブリア紀からデボン紀初期に生存した。	homalozoa	523000000
m-207	半索動物門	はんさくどうぶつもん	後生動物の一門で、左右相称、裂体こう(裂体腔)性ないし腸体こう(腸体腔)性の真体こう(真体腔)をもつ新口動物。ギボシムシ綱(腸さい類、ぜん体類(蠕体類))、フサカツギ綱(翼さい類、羽さい類)、筆石綱の3綱に分類するのが一般的である。すべて海生で、ギボシムシ類は内在性、フサカツギ類は表在附着性、筆石類は表在附着性あるいは浮遊性とされる。潮間帯から深海にまで生息し、現生は90種が知られる。	hemichordata	524000000
m-208	筆石綱	ふでいしこう	半索動物門の絶滅綱。キチン質の硬質物をもつ群体を形成し、群体の最初の胞(剣盤)から枝状に個体が発芽する。個体には単胞・双胞・枝胞の3型がある。海底に固着するもの、他物附着による浮遊性のもの、浮遊する器官をもつものがある。海生で、中期カンブリア紀から前期石炭紀に生存した。黒色けつ岩(頁岩)に密集して産し、特有の生物区をつくることもある。進化速度が速く対比上きわめて有効である。	graptolithina	524010000
m-209	コノドント門	このどんともん	カンブリア紀から三疊紀末まで生存した動物。リン酸(磷酸)カルシウムからなる1mmほどの角型・くし型(櫛型)・プラットフォーム型などの部分化石が示準化石として極めて有用。同一の生物体に属したと思われる自然集合体を含む個体は、ナメクジウオと類似点をもち原索動物の一類とする説もあるが、最近ではコノドント動物として独立の門を認める人が多い。	conodonta	525000000
m-210	せき索動物門 脊索動物類	せきさくどうぶつもん	後生動物の一門。左右相称、裂体こう(裂体腔)性ないし腸体こう(腸体腔)性の真体こう(真体腔)をもつ新口動物。一生あるいは一時期にせき索(脊索)とその背方の神経管とさい裂をもつ。個体発生の途上で脊索の周囲にせきついで骨が形成されるせきついで動物亜門、これが形成されず、脊索だけを終生体全長にもち続ける頭索動物亜門(ナメクジウオ類)、脊索を終生あるいは一時期尾部にもつ尾索動物亜門(ホヤ類、タリア類、オタマゴヤ類)に分類される。海・陸・空で繁栄し、現生約5万種。	chordata	526000000

m-211	尾索亜門	びさくあもん	せき索(脊索)動物門の一亜門。終生あるいは幼生期に限って尾部に脊索をもつが、せきつい骨は形成されず、表皮が分泌する被のう(被囊)に体が常に包まれる。ホヤ綱、オタマボヤ綱、タリア綱の3綱からなる。体は数mmから数十cmの長さにおよぶ。汽水生~海生で、全世界の潮間帯から超深海にまで分布。遊泳性のもとは固着生活をするものがあり、群体をつくるものも多い。2,400種以上の現生種が知られる。	urochordata	527000000
m-212	頭索動物亜門	とうさくどうぶつあもん	せき索(脊索)動物門の一亜門。体長数cm,細長く、左右相称で左右にへん平(扁平)となり、両端ののが(尖)った魚形を呈する。頭部は分化せず、眼をもたない。せきつい骨を形成せず、脊索を終生体全長にわたってもつ。ナメクジウオ型循環系とよばれる不完全な閉鎖血管系をもち、心臓はないが一部の血管壁が脈動する。すべて海生で、全世界の温暖な浅海底の砂中に生息する。現生約35種が知られる。	cephalochorda	528000000
m-213	せきつい動物亜門 脊椎動物類	せきついでうぶつあもん	せき索(脊索)動物門の一亜門。一般に現生はメクラウナギ類・ヤツメウナギ類・軟骨魚類・硬骨魚類・両生類・は虫類・鳥類・ほ乳類(哺乳類)の8綱に区別する。体の中軸骨格として、脊索の周囲に軟体ないし骨のつい骨(椎骨)を形成する。中枢神経は管状で、脊索の背側に存在し、頭端が膨らんで脳を形成する。捕食・呼吸器としてのさいちよう(鰓腸)と消化器としての小腸などをもつ。現生約4万5千種のほか、化石種も多い。	vertebrata	529000000
m-214	魚類上綱	ぎょるいじょうこう	せきつい動物門の一上綱。四肢動物上綱に対置される。無がく類・きよく魚類・板皮類・軟骨魚類・硬骨魚類の5綱の総称。一般には、無がく類を除いた4綱の総称として用いられることが多い。	pisces	529010000
m-215	無がく綱 無頸類	むがくこう	せきつい動物亜門の一下門。有がく動物下門と対置される。現生はメクラウナギ類とヤツメウナギ類の2綱からなる。上下のあごをもたない。体はウナギ様で、やすり状の角質歯をもつ。うろこ(鱗)をもたず体表に粘液を分泌し、動脈球・心臓球・ひ臓(脾臓)・胆のう(胆嚢)・うきぶくろは全くなく、アンモニアを排出する。化石はカンブリア紀最末期から発見され、オルドビス紀からデボン紀にかけて発展し、デボン紀末にほとんどが絶滅した。約90の現生種が知られる。	agnatha	529020000
m-216	頭甲亜綱	とうこうあこう	せきつい動物亜門の一綱。あごをもたない最古のせきつい動物。古生代前期の甲皮類との比較により、分類されるようになった。異甲類・テロドゥス類・メクラウナギ類の3目がある。口から吸い込んだ水を5~15対のさいこう(鰓孔)から出すときに、微生物をろ過(濾過)して小腸に送るとともに呼吸を行う。	cephalaspidomorphi monorhina	529030000
m-217	翼甲亜綱	よくこうあこう	せきつい動物亜門の一綱。あごをもたない最古のせきつい動物。古生代前期の甲皮類との比較により、分類されるようになった。骨甲類・ガレアスピス類・欠甲類・ヤツメウナギ類の4目がある。口から吸い込んだ水を5~15対のさいこう(鰓孔)から出すときに、微生物をろ過(濾過)して小腸に送るとともに呼吸を行う。	pteraspidomorphi diplorhina	529040000
m-218	きよく魚綱 棘魚類	きよくぎょこう	せきつい動物亜門有がく動物下門魚形上綱の絶滅綱。尾びれ(尾鰭)を除く各ひれ(鰭)の前端に大きいとげ(棘)をもつ。頭骨はよく骨化し、つい骨(椎骨)の神経きよく(神経棘)・血管きよく(血管棘)は骨化しているがつい骨(椎骨)は骨化せず、したがってせき索(脊索)は非分節である。尾鰭は異尾で、方形のりりん(小鱗)が体表を覆い、さい蓋状(鰓蓋状)構造が発達している。体は左右にへん平(扁平)であるから、中層または表層を遊泳していたと推定される。後期シルル紀に出現し、前期ペルム紀まで繁栄した。	acanthodii	529050000
m-219	板皮綱	ばんぴこう	せきつい動物亜門有がく動物下門魚形上綱の絶滅綱。いわゆる甲ちゅう魚類(甲冑魚類)の一部をなす。頭部と胸部前半とを覆う二つの互いに関節する大型の骨性装甲をもつ。軟骨魚類に近縁で、せき索(脊索)は分節せず、内骨格は軟骨性。尾びれ(尾鰭)は異尾で、腹びれ(腹鰭)に付属する交尾器をもつものがある。体は背腹にへん平(扁平)で、ごく一部を除いて底生であったと推定される。シルル紀の淡水域に出現し、淡水域および海域に栄えたが、デボン紀末にはほとんど絶滅している。	placodermi	529060000
m-220	軟骨魚綱	なんこつぎょこう	せきつい動物亜門有がく動物下門魚形上綱の一綱。内骨格は軟骨性で、頭がい(頭蓋)は軟骨頭蓋である。サメ・エイ類など多数を含む板さい類と、ギンザメを含む全頭類との2亜綱からなる。肉食に適応してあごと歯が発達し、胸びれ(胸鰭)・腹びれ(腹鰭)の対き(対鰭)を備え、尾びれ(尾鰭)はわい尾(歪尾)ないし細長く伸びた原尾、外骨格として体表にじゅん鱗(楯鱗)を持ち、内骨格として部分的に石灰化した軟骨を発達させている。デボン紀の中期から繁栄し始め、現世に至る。現生に約900種が知られる。	chondrichthyes	529070000

m-221	板さい亜綱 板鰓類	ばんさいあこう	軟骨魚綱の一亜綱。現生のサメ・エイで代表される。体表はじゅん鱗(楯鱗)で覆われ、内骨格はすべて軟骨からなる。さい弁は板状に配列する。さいがい(蓋)はなく、5~7対のさい裂はそれぞれ開口する。上がくをつくる口がい(口蓋)方形軟骨は脳頭がい(頭蓋)と癒着せずに、可動性の関節によって連結する。	elasmobranchii	529080000
m-222	全頭亜綱	ぜんとうあこう	軟骨魚綱の一亜綱。ギンザメ類に代表されるグループで、かみ砕き型の歯ないし歯板をもつ。上がくをつくる口がい(口蓋)方形軟骨が脳頭がい(頭蓋)に癒着し、またさいがい(蓋)でさい裂が覆われる点で板さい類と異なる。日本では、石炭~ペルム系からコクリオドゥス類とペタロドゥス類の歯化石が、漸新統~中新統からギンザメ類の歯板化石が発見されている。	holocephali	529090000
m-223	硬骨魚綱	こうこつぎょう	せきつい動物亜門有がく動物下門魚形上綱の一綱。内骨格は少なくとも一部が骨性で、頭がい(頭蓋)は数多くの膜骨で覆われる一群。肺魚類・総き類・腕き類・糸き類の4亜綱を含む。現生の硬骨魚類の多くを含むのは、糸き亜綱新き下綱である。汽水起原と考えられているが、その後ただちに淡水・海水の両領域に広く分散し、様々な食性・分布・行動を示すものが発展している。デボン紀初期から繁栄し始め、現世に至る。現生約21,000種以上。	osteichthyes	529110000
m-224	糸き亜綱 糸鱗類	じょうきあこう	硬骨魚類の一亜綱。糸き類は軟質類と新き類の2下綱に区分される。糸き類の最古のものは軟質類で後期シルル紀に出現した。軟質類は主に古生代、新き類は古生代後期~中生代初期に適応放散が起こり、中生代後期はその一グループである真骨類が主流となる。	actinopterygii	529120000
m-225	総き亜綱 総鱗類	そうきあこう	硬骨魚類の一亜綱。絶滅種のみを含む扇き類、オニコドゥス類、現生種を含むシーラカンス類からなる。扇き類は中期デボン紀~前期ペルム紀に生存した。シーラカンスは中部デボン系~白亜系から化石が発見されており、白亜紀に絶滅したと考えられていたが、1938年に南アフリカ東岸で生きた個体が発見された。総き類と初期の肺魚類の区別点は、総き類の神経頭がい(頭蓋)が前後二つの部分に分かれることである。	crossopterygii	529130000
m-226	肺魚亜綱	はいぎょうあこう	硬骨魚類の一亜綱。淡水生。歯板をもち、口がい(口蓋)方形骨が神経頭がい(頭蓋)と癒合していること、後鼻孔が移動したと考えられる内鼻孔があること、神経頭蓋が前後に分かれないことなどが特徴で、うきぶくろ(鰓)から変化した肺でも呼吸することができる。前期デボン紀に出現し、現在まで存続する。現生の肺魚類はオーストラリア・南米・アフリカにおり、 Gondwana型分布を示す。	dipnoi	529140000
m-227	四肢動物上綱	ししどうぶつじょうこう	せきつい動物亜門有がく動物下門の一上綱。水中を泳ぐ魚類上綱と対置される。両生類・は虫類・鳥類・ほ乳類(哺乳類)の4綱よりなる。原始魚類の胸びれと腹びれに由来する3節からなる四肢をもち、各肢の末節は原則として5本の指をもつ。大脳は両半球に分れ、内鼻孔がある。少なくとも成体の聴覚器は耳であって、耳小骨を含む中耳をもつ。成体の呼吸器官は通常、肺であり、心臓は2心房をもつ。	tetrapoda	529150000
m-228	両生綱	りょうせいこう	せきつい動物亜門の一綱。現生はイモリ類(有尾類)・アシナシイモリ類(無足類)・カエル類(無尾類)の3目がある。絶滅群は、せきつい骨の形態等により、迷歯類と空つい類の2亜綱に分けられる。成体は四肢をもち、体表はうろこ(鱗)・羽毛・毛に覆われず、生きた細胞が裸出する。一般に肺呼吸をする一方、幼生は水中で生活し初期にはえら呼吸をする。変温性。後期デボン紀に出現し古生代後期に最も栄えた。約4,600の現生種が知られる。	amphibia	529160000
m-229	迷歯亜綱	めいしあこう	両生綱の絶滅亜綱。後期デボン紀に総き類から進化し、石炭~ペルム紀に繁栄した。白亜紀に絶滅。体表はうろこ(鱗)で覆われていた。石炭紀に迷歯類の一部からは虫類が派生した。	labyrinthodontia	529170000
m-230	空つい亜綱 空椎類	くうついあこう	両生綱の絶滅亜綱。後期デボン紀に総き類から進化し、石炭~ペルム紀に繁栄した。体表はうろこ(鱗)で覆われていた。ペルム紀に絶滅した。	lepospondyli	529180000
m-231	平滑亜綱	へいかつあこう	両生綱の一亜綱。イモリ類・アシナシイモリ類・カエル類の3目の総称。骨格の骨質が消失・退縮する傾向が強いこと、中耳の耳小骨としてあぶみ骨(鐙骨)のほかにかい板(蓋板)をもつこと、歯の基部と歯冠の間にぜい弱(脆弱)な層があることなどの特徴を共有する。いずれもジュラ紀に出現し、現在に至る。	lissamphibia	529190000
m-232	無尾目	むびもく			529190100
m-233	有尾目	ゆうびもく			529190200
m-234	は虫綱 (爬虫綱) 爬虫類	はちゅうこう	せきつい動物亜門の一綱。眼か(眼窩)の後方にある側頭窓と後眼か骨(後眼窩骨)・りん状骨(鱗状骨)の2骨との関係によって、無弓類・魚き類・広弓類・単弓類・双弓類に分類される。皮膚は一般に硬く、羽毛をもたず、表皮の変形した角質りん(角質鱗)で覆われるか、その下に皮骨性の外骨格が存在する場合がある。骨格形成が両生類よりも著しく、一般に丈の高い頭骨をもつ。えらは幼体にもなく、終生肺呼吸を行う。現生種は変温性。現生	reptilia	529210000

			に約6,600種が知られる。		
m-235	無弓亜綱	むきゆうあこう	は虫綱の一亜綱。杯竜目・カメ目・中竜目が含まれる。祖型で側頭窓のない一群である。	anapsida	529220000
m-236	カメ目	かめもく			529220100
m-237	単弓亜綱	たんきゆうあこう	は虫綱の一亜綱。盤竜目・獣弓目が含まれる。側頭部の下方に側頭窓が開き、側頭窓の上縁で後眼か骨(後眼窩骨)とりん状骨(鱗状骨)が接合する一群である。ほ乳類(哺乳類)型は虫類が属する。	synapsida	529230000
m-238	獣弓目	じゅうきゅうもく			529230100
m-239	広弓亜綱	こうきゆうあこう	は虫綱の一亜綱。原始竜目・クビナガリュウ目・板歯目・魚竜目がある。側頭部の上の方に側頭窓が開く一群で、側頭窓の下縁で後眼か骨(後眼窩骨)とりん状骨(鱗状骨)が接合する。クビナガリュウが代表的である。	euryapsida	529240000
m-240	クビナガリュウ目	くびながりゅうもく	は虫綱広弓亜綱の一目で、三疊紀から白亜紀に生存した。原始的なPistosauriaと進化程度の高いPlesiosauroideaの2亜目に分類される。魚竜類に劣らず水中生活によく適応した大形の一群。頭は割合に小さく、体は幅広くへん平(扁平)で、体長は最大13mに達する。尾は比較的短く、四肢はかい状(權状)に変形。いわき市の上部白亜系双葉層群から報告されたイワキリュウ、フタバスズキリュウはともにPlesiosauroideaに属する。		529240100
m-241	魚竜目	ぎょりゅうもく	は虫綱広弓亜綱の一目で、三疊紀初期に出現し、後期白亜紀に絶滅した。大きさはイルカ類に似て、イルカや大形魚類と同様な生活様式で、非常に速く泳げたと想像される。迷歯類や杯竜類と同様、迷路歯をもつ。四肢はひれあしとなっており、尾びれと肉質の背びれが各1枚あった。眼が大きく、行動は視覚に頼った。卵胎生であったとされる。		529240200
m-242	双弓亜綱	そうきゆうあこう	は虫綱の一亜綱。りん竜下綱(鱗竜下綱)と主竜下綱に区分される。側頭窓が2つ開く一群で、後眼か骨(後眼窩骨)とりん状骨(鱗状骨)は2つの穴の中間で接合する。	diapsida	529250000
m-243	トカゲ目	とかげもく			529250100
m-244	槽歯目	そうしもく	は虫綱双弓亜綱主竜上目の絶滅目。主竜上目の根幹となった群で、三疊紀中だけに存続した。前がく類、偽がく類、側がく(植竜)類などの亜目に分けられる。がく骨の縁に槽生(テコドント、歯ががく骨の穴である歯槽にはまること)した鋭い歯が並ぶ。鎖骨をもつ点で他の主竜類から区別される。最近の研究では複数の系統を含む人為的な群と考えられている。		529250200
m-245	ワニ目	わにもく			529250300
m-246	竜盤目	りゅうばんもく			529250400
m-247	鳥盤目	ちょうばんもく			529250500
m-248	翼竜目	よくりゅうもく			529250600
m-249	恐竜類	きょうりゅうるい	は虫綱双弓亜綱主竜形下綱の絶滅群。現在は通俗名として残る。骨盤の構造の違いによって竜盤目と鳥盤目に分けられる。三疊紀から白亜紀にかけて非常な発展をとげ、白亜紀末に絶滅した。分布は全大陸にまたがり、種々の環境に適応した。化石は約350種におよぶ。		529250700
m-250	鳥綱	ちょうこう	せきつい動物亜門の一綱。古鳥類(始祖鳥のみ)と新鳥類の2亜綱に分け、新鳥類を歯がく類、古がく類、現世の新がく類の3上目に分類する。構造上は虫類との共通点が多い。飛しょう(飛翔)生活に適応した恒温動物の一群。前肢は翼となり、皮膚に羽毛がある。心臓は2心房2心室で、大動脈は右側だけに発達する。卵生で、親は卵を温め、ふ化(孵化)後もひな(雛)の養育をする。後期ジュラ紀の始祖鳥が最古の鳥類とされる。現生約8,600種。	aves	529260000
m-251	古鳥亜綱	こちょうあこう		archaeornites	529270000
m-252	新鳥亜綱	しんちょうあこう		neornithes	529280000
m-253	ほ乳綱(哺乳綱)哺乳類	ほにゅうこう	せきつい動物亜門の一綱。体表は毛で覆われ、皮膚には独特の毛・皮脂せん(皮脂腺)・汗せん(汗腺)がある。歯は二生歯性で、食性に依りて特徴的に分化している(異歯性)。心臓は2心房2心室で、心室の隔壁は完全。大動脈弓は体の左側だけに存在。肺呼吸を行う。恒温性。卵生のカモノハシ類(単孔類)を除き胎生。幼体は雌の母乳によってほ育(哺育)される。新生代に陸上を中心に分布を拡げ、多様な生態的地位を占めている。現生約4,120種。	mammalia	529290000
m-254	原獣亜綱	げんじゅうあこう	せきつい動物亜門ほ乳綱の一亜綱。最も原始的なほ乳類(哺乳類)。現生ではカモノハシ類(単孔類)が知られる。卵生で子を乳で育てる。	prototheria	529310000
m-255	三すい歯目	さんすいしもく			529310100
m-256	異獣亜綱	いじゅうあこう	せきつい動物亜門ほ乳綱のうち、ジュラ紀～漸新世に生存した絶滅亜綱。こう頭歯(咬頭歯)をもつ。	allotheria	529320000
m-257	多丘歯目	たきゅうしもく			529320100

m-258	真獣亜綱	しんじゅうあこう	せきつい動物亜門ほ乳綱獣亜綱の一下綱。正獣下綱とも。白亜紀末期以後に繁栄し、胎盤をもち、大脳の発達著しい。	theria	529330000
m-259	食虫目	しょくちゅうもく			529330100
m-260	翼手目	よくしゅもく			529330200
m-261	霊長目	れいちょうもく			529330300
m-262	ヒト科ヒト属ヒト	ひとかひとぞくひと	現生の人類。直立二足歩行を行うこと、ヒト特有の文化をもつことで類人猿とは区別され、その身体特徴の多くは直立二足歩行に対する直接的な適応形質である。運動領域・感覚領域・連合領域が大部分を占める。新皮質が異常に肥大した大脳をもち、言語を操り、高度な文化をもつ。寿命も延び、地球上ではもっとも広く分布する生物種となった。		529330301
m-263	裂歯目	れっしもく			529330400
m-264	はん歯目	はんしもく			529330500
m-265	鯨目	くじらもく			529330600
m-266	偶てい目	ぐうていもく			529330700
m-267	奇てい目	きていもく			529330800
m-268	ウサギ目	うさぎもく			529330900
m-269	げっ歯目	げっしもく			529331100
m-270	食肉目	しょくにくもく			529331200
m-271	長鼻目	ちようびもく			529331300
m-272	海牛目	かいぎゅうもく			529331400
m-273	束柱目	そくちゅうもく	ほ乳綱の絶滅目。デスモスチルス類。体長約2.5m、肩高1m強で、外形はカバに類似し、四肢が太く、足は遊泳にも適した形態をもつ。きゅう歯(臼歯)が2列に並ぶ円柱の束からなっていることが特徴である。上がくの門歯を欠き、犬歯はきば状(牙状)に発達している。後期漸新世から前期漸新世に生存。北太平洋沿岸の諸地から化石が発見されるが、完全な骨格はからふと(樺太)の気屯、北海道枝幸町歌登、岐ふ(岐阜)県土岐郡泉町、カリフォルニアで発掘された。		529331500
m-274	生こん化石 (生痕化石) 生痕	せいこんかせき	地質時代に生息していた生物の生命現象や生活活動によって地層中(表面・下面を含む)に表現・保存された全ての現象あるいは構造を指す。生活活動のほか、機能を反映した構造、生物源的たい積(堆積)・浸食・破壊構造の全てが含まれる。こん跡(痕跡)を残した生物は不明のことが多いため、分類は生物の行動・化石の形態・地層内での産出状況から行われる。多くの研究者は動物体と同様の二命名法で生こん属・種に対して、新名を与えている。	trace	600000000
m-275	大型化石	おおがたかせき			701000000
m-276	微化石	びかせき	顕微鏡的大きさの微小生物の化石をいう。有孔虫・放射虫・べん毛藻(鞭毛藻)・孢子・花粉などが含まれる。細菌や微細藻類など数μm程度の微生物の化石を超微化石(nanofossil)とよんで区別することもある。超微化石は大形化石の存在しない先カンブリア時代の地層からも見出され、原始生物の研究に役立っている。		702000000
m-277	石灰岩・チョーク・コキナ	せっかいがん・ちょうく・こきな			703000000
m-278	コンクリーション・ノジュール 団塊	こんくりーしょん・のじゅーる			704000000
m-279	化学合成群集	かがくごうせいぐんしゅう			705000000
m-280	化学化石	かがくかせき			706000000
m-281	石油・タール ビット	せきゆ・たーるびつと	気体(石油系天然ガス)・半固体・固体(タール・ピッチなど)と共に地下に貯留している黒色の炭化水素類の粘液体。エネルギー源として最も重要で、石炭と共に化石燃料とよばれる。経済的に採取できる石油およびガスの生成については、海洋性の有機物起原とされる。石油を形成するたい積(堆積)物は海洋性の泥岩・石灰岩で、これらに含まれる有機物が還元され、砂岩のような多孔質の岩石に貯留される。		707000000
m-282	サンゴ化石	さんごかせき	刺胞動物門花虫綱に属する動物のうち固い骨格を発達させる種(サンゴ)の骨格部分の化石	coral fossil	
m-283	石灰質ナノ化石	せっかいしつなんのかせき	10nm以下の大きさで石灰質殻をもつ植物プランクトン(石灰質ナノプランクトン)の化石。石灰質殻が化石となる。チョークはその集合体。	calcareous nanno	
n-1	地層	ちそう		stratum strata	

n-2	岩体	がんたい	ひとかたまりの分布・形状をもつ火成岩及び変成岩を指している語。たい積(堆積)岩には用いない。地名・岩石名をつけて「ほろ満(幌満)かんらん岩体」等と地層名としても用いられる。		
n-3	確実境界	かくじつきょうかい	地層・岩体や変質帯等の境界が野外で直接観察されたもの、または周囲の観察資料から十分正確に位置・形状を推定されたもの。ただし全面露頭でない限り境界の位置・形状には多少の不確実さを伴う。	confirmed boundary	
n-4	推定境界	すいていきょうかい	地層・岩体や変質帯等の境界が野外で直接観察されず、周囲の観察資料から位置・形状を推定された境界。境界の位置・形状の不確実さは場合によりさまざま。	inferred boundary	
n-5	補助境界	ほじょきょうかい	溶岩流・地すべり体などの流動たい積単位の境界や、地層・岩体の内部構造を示す補助線。	subsidiary boundary	
n-6	非伏在	ひふくざい	地層境界・しゅう曲(褶曲)・断層などが、地表に露出していることを指す語。JIS A 0204の改訂の際に「伏在」の反対語として定義された。	non-consealed	
n-7	伏在	ふくざい	地質体・地層境界・断層などが、被覆層により覆われていて地表には露出していないことを指す語。サ変動詞として「伏在する」とも用いる。伏在の深度は問わず、たい積(堆積)盆の地下数kmの基盤岩に対しても用いられる。		
n-8	変質帯	へんしつたい	岩石や鉱物が熱水(温泉水)などの作用を受け、熱水に適應した岩石や鉱物に変化することを変質作用と言い、変質作用が及んだ範囲を変質帯と言う。熱水性鉱床の周囲に発達し、鉱床発見の重要な手掛かりとなる。	Alteration zone	
n-9	鉱化帯	こうかたい		mineralized zone	
n-10	変成帯	へんせいたい	広域変成岩の分布地帯。	metamorphic zone	
n-11	油田	ゆでん	井戸(石油生産井)などを通して地下の原油を産出する地域。地表の生産施設は面積的にごく限られているが、商業的に生産可能な油層が地下に分布する地域全体を指し、通常その地域の地名と結びつけてよぶ。油とともに天然ガス(油田ガス)を伴う場合も多い。両方が出ることを強調したい場合は、油・ガス田とよぶこともある。	oil field	
n-12	ガス田	がすでん	井戸(石油生産井)などを通して地下の天然ガスを産出する地域。地表の生産施設は面積的にごく限られているが、商業的に生産可能なガス層が地下に分布する地域全体を指し、通常その地域の地名と結びつけてよぶ。地下のガス層の賦存状況やガス組成の違いによって、水溶性ガス田、構造的ガス田、遊離ガス田、湿性ガス田、乾性ガス田、油田ガス田、炭田ガス田などと区別してよぶことがある。	gas field	
n-13	炭田	たんでん	坑道掘りや露天掘りなどを通して地下の石炭を産出する地域。地表の生産施設は面積的にごく限られているが、商業的に生産可能な炭層が地下に分布する地域全体を指し、通常その地域の地名と結びつけてよぶ。	coalfield	
n-14	鉱床	こうしょう	有用鉱物(金属鉱物、工業原料鉱物のほか、石炭、石油、天然ガス等も含む)が地殻中や地表部に濃集した部分で、経済的に採掘・採取し利用が可能なもの、あるいは可能な部分。	Ore deposit	
n-15	等数値線	とうすうちせん	空間上に分布する等数値点を互いに交差することなく結んだ線。等高線・等深線・等層厚線・等重力線などさまざまな種類がある。		
n-16	かぎ層 (鍵層)	かぎそう		key bed	
n-17	炭層	たんそう	地層中に層状に挟在する石炭の層。一枚一枚の厚さは、数mmのものから10m以上のものまでさまざまである。< 一見一枚の厚い石炭層にみえても、よくみると挟みとよばれる薄い別の層を含むことも多い。> 植物などとの組成が石炭に変化していく過程、度を石炭化度といい、進行の度合によって、褐炭、亜れき青炭(瀝青炭)、瀝青炭、無煙炭などと区別されることから、褐炭層、無煙炭層などと区別してよぶことも多い。	coal seam	
n-18	鉱脈	こうみやく	岩石の割れ目に沿って形成された脈状の有用鉱物濃集部を鉱脈という。熱水性の鉱床では、熱水作用により岩石の割れ目を埋めて多数の鉱脈が形成され、鉱床を形成していることが多い。	vein	
n-19	断層	だんそう	岩石・地層の破壊による不連続面のうち、面に平行な変位のあるもの。	fault	
n-20	実在断層	じつざいだんそう	断層露頭の追跡によって確定されうる断層。		
n-21	推定断層	すいていだんそう	断層露頭は確認されないが、周囲の地層などの変位状況や物理探査データなどの間接的情報によって推定される断層。	assumed fault	

n-22	活断層	かつだんそう	過去の地質時代に繰り返し活動し、今後も活動する可能性がある断層のこと。従来は第四紀に繰り返し活動したものを活断層として扱うことが多かったが、最近では後期更新世以降の活動が見られるものに限定することもある。	active fault	
n-23	地震断層 地表地震断層	じしんだんそう	地震に伴って地表に現れた断層もしくは断層のずれのことで、地下の震源断層と区別するため、地表地震断層ということもある。多くの場合は地下の震源断層のずれが地表に到達したものと考えられる。	surface rupture	
n-24	正断層	せいだんそう	上盤が下盤に対し相対的にずり下がった断層。	normal fault	
n-25	逆断層	ぎゃくだんそう	上盤が下盤に対し相対的にずり上がった断層。	reverse fault	
n-26	傾斜角	けいしゃかく	板(層)状の岩体面あるいは断層面などの特定の面と水平面のなす角度。	dip angle	
n-27	垂直断層	すいちよくだんそう	断層面が垂直な断層。地質図(平面図)上では地形に関わりなく直線で表現される。	vertical fault	
n-28	垂直変位方向	すいちよくへんいほうこう	実移動の断層の鉛直方向の成分。	vertical displacement direction	
n-29	走向ずれ方向	そうこうずれほうこう	実移動の断層の走向方向の成分。		
n-30	破碎帯	はさいたい	断層活動によって岩石が破碎された範囲。破碎の程度には厳密な基準がなく、小断層が集中する程度の範囲から断層粘土までを一括して破碎帯と呼ぶこともある。	fracture zone	
n-31	せん断帯 (剪断帯) 破碎帯(fracture zone)	せんだんたい	断層運動に伴う変形により、断層面周辺に形成される断層岩類から構成される領域。せん断帯における変形は温度・圧力等の条件を反映しており、ぜい性(脆性)せん断帯(brittle shear zone)と延性せん断帯(ductile shear zone)に分類される。	shear zone	
n-32	マイロナイト帯 延性剪断帯 (ductile shear zone)	まいろないとたい	高温条件下での断層運動に伴う変形により、断層周辺に形成される延性せん断(剪断)帯(ductile shear zone)。延性変形した岩石(マイロナイト)には、温度・圧力・ひずみ(歪み)速度等の条件により様々な非対称組織が形成される。	mylonite zone	
n-33	走向傾斜	そうこうけいしゃ	地層面や断層面などの地質学的な特定の面が水平面と交わる直線の方向が走向で、これらの面と水平面がなす角が傾斜。	strike dip	
n-34	傾斜層	けいしゃそう	垂直(直立)層と水平層を除く傾いている地層。慣習的に60度以上の傾きをもつ地層を急傾斜層、30度以下の傾きをもつ地層を緩傾斜層と呼ぶことがある。	dip bed	
n-35	逆転層	ぎゃくてんそう	層序的に下位の地層が上位に重なる地層。断層やしゅう曲(褶曲)などの変形に由来する。	reversed bed	
n-36	水平層	すいへいそう	傾斜が0度の地層で、地質図(平面図)上では地形に関わりなく等高線と平行に表現される。	horizontal bed	
n-37	直立層	ちよくりつそう	傾斜が鉛直な地層。断層やしゅう曲(褶曲)などの変形に由来する。		
n-38	面構造 葉状構造 (foliation)	めんこうぞう	岩石中に発達する面状構造の総称。変成岩中の片理やマイロナイトの流動構造(fluction structure)、火成岩中の流理構造(flow structure)や層状構造(layering)などを含む。	plannar fabric	
n-39	片麻構造	へんまこうぞう	片理により特徴づけられる構造。岩石全体に片理の発達が弱い場合、もし発達していても1 cm以上の間隔では剥離(剥離)する程度の発達で特徴づけられる。	gneissose structure	
n-40	片状構造	へんじょうこうぞう	片理により特徴づけられる構造。岩石全体に片理が均一に良く発達するか、1 cm以下には剥離(剥離)するほど片理がちゅう密(稠密)に発達する。		
n-41	流理構造 流動構造 流状構造 流理	りゅうりこうぞう	火成岩において、色調・成分・結晶度・組織・気泡などの構造を異にした部分が重なり合うか、または柱状・板状結晶がほぼ平行に配列するかして、マグマの流動線がみられる構造。	flow structure	
n-42	しま状構造 (縞状構造)	しまじょうこうぞう	片麻状構造を参照。	banding	
n-43	溶結構造	ようけつこうぞう	火砕物がたい積(堆積)当時高温を保っていたため塑性変形し互いにこ着(膠着)したもの。溶結の程度が進むと、堆積物の自重により圧密され、含まれている軽石やスコリアはへん平(扁平)化し、レンズ状となる。	welding structure	
n-44	へき開面 (劈開面)	へきかいめん	へき開(劈開)の面。	cleavage surface	
n-45	節理	せつり	岩石の平滑な破断面で、その面に沿う両側の相対的変位がないもの。	joint	
n-46	へき開 (劈開)	へきかい	岩石や鉱物が平行もしくはほぼ平行な狭い間隔で発達する面の規則的な集合に沿っては剥離(剥離)する性質。	cleavage	
n-47	シーケンス境界	シーけんすきょうかい		sequence boundary	

n-48	音響層序境界	おんきょうそう じょきょうかい			
n-49	リニアメント	りにあめんと	本来は地形や植生等に見られる直線的な構造のこと全般を指すが、活断層の活動によってこのような直線構造が形成されることがあるため、活断層の可能性のある線状地形として用いられる場合もある。	lineament	
n-50	線構造	せんこうぞう	岩石中の繰り返しもしくは卓越して認められる線状特質。	lineation linear fabric	
n-51	しゅう曲 〔褶曲〕	しゅうきょく	層状構造を持つ岩石(地層など)に識別される波曲状の変形形態。	fold	
n-52	向斜	こうしゃ	しゅう曲(褶曲)のうち層序的に上位の地層が中心に出てくるもの。波曲状の変形形態のうち谷にあたる部分。	syncline	
n-53	実在向斜	じつざいこう しゃ	しゅう曲(褶曲)断面が露頭で確認されたり、褶曲軸をはさんで両翼で地層の対比が確実な向斜。		
n-54	推定向斜	すいていこう しゃ	しゅう曲(褶曲)断面が露頭で確認されず、褶曲軸をはさんで両翼で地層の対比が不確実な向斜。	assumed syncline	
n-55	活向斜	かつこうしゃ	地殻変動によって地表面が波状に変形する活しゅう曲〔褶曲〕のうち、相対的に沈降する部分を指す。変形には地震性のもので非地震性のものであり、累積した変形は段丘面の変形等として地形学的にも認められる。	active syncline	
n-56	背斜	はいしゃ	しゅう曲(褶曲)のうち層序的に下位の地層が中心に出てくるもの。波曲状の変形形態のうち山にあたる部分。	anticline	
n-57	実在背斜	じつざいはい しゃ	しゅう曲(褶曲)断面が露頭で確認されたり、褶曲軸をはさんで両翼で地層の対比が確実な背斜。		
n-58	推定背斜	すいていはい しゃ	しゅう曲(褶曲)断面が露頭で確認されず、褶曲軸をはさんで両翼で地層の対比が不確実な背斜。	assumed anticline	
n-59	活背斜	かつはいしゃ	地殻変動によって地表面が波状に変形する活しゅう曲〔褶曲〕のうち、相対的に隆起する部分を指す。変形には地震性のもので非地震性のものであり、累積した変形は段丘面の変形等として地形学的にも認められる。	active anticline	
n-60	転倒向斜	てんとうこう しゃ	転倒しゅう曲(褶曲)(過褶曲・逆転褶曲と同義:褶曲軸面が90度以下の角度で傾斜し、両翼の傾斜方向が同一になった褶曲)のうち向斜部分。		
n-61	転倒背斜	てんとうはい しゃ	転倒しゅう曲(褶曲)(過褶曲・逆転褶曲と同義:褶曲軸面が90度以下の角度で傾斜し、両翼の傾斜方向が同一になった褶曲)のうち背斜部分。		
n-62	向斜軸面	こうしゃじくめ ん	同一の向斜に属し、相重なっているすべてのしゅう曲(褶曲)面のすべての向斜軸を含む面。平面と曲面の場合がある。		
n-63	活向斜軸面	かつこうしゃじ くめん			
n-64	背斜軸面	はいしゃじくめ ん	同一の背斜に属し、相重なっているすべてのしゅう曲(褶曲)面のすべての背斜軸を含む面。平面と曲面の場合がある。		
n-65	転倒向斜軸面	てんとうこう しゃじくめん	転倒しゅう曲(褶曲)の向斜部の軸面。		
n-66	転倒背斜軸面	てんとうはい しゃじくめん	転倒しゅう曲(褶曲)の背斜部の軸面。		
n-67	ブランチ	ぷらんじ	線的構造(しゅう曲〔褶曲〕軸ほか)要素の沈下方向が水平面となす角。「軸傾斜」と同義。	plunge	
n-68	とう曲 〔撓曲〕	とうきょく	広義には「しゅう曲(褶曲)」と同義だが、狭義には断面でS字状をなす褶曲。一般に地層が厚く水平にたい積(堆積)した地域で基盤の上下変位によることが多い。	flexure	
n-69	実在とう曲 〔実在撓曲〕	じつざいとう きょく	とう曲断面が露頭で確認されたり、広範囲にとう曲変形が明りょうに発達し存在が確実視されるもの。		
n-70	推定とう曲 〔推定撓曲〕	すいていとう きょく	とう曲断面が露頭で確認されず、またとう曲変形が明りょうに発達しないが周囲の変形状況から存在が推定されるもの。	assumed flexure	
n-71	活とう曲 〔活撓曲〕	かつとうきょく	活断層のずれが地表付近の厚いたい積(堆積)物等によって地表に現れず、地表がたわ(撓)むように変形したもの。断層活動時には地表にずれ(段差)は現れないが、一定範囲で地表が傾斜するような変形が現れる。	active flexure	
n-72	火口縁	かこうえん	火口地形の縁。	crater rim	
n-73	カルデラ縁	かるでらえん	カルデラ地形の縁。		
n-74	潜在円頂丘 潜在ドーム	せんざいえん ちようきゅう	粘性の高い地下のマグマが地表近くの地層・岩石を押し上げてつくったドーム状の高まり。マグマ本体は地表に現れず、地面が盛り上がって溶岩円頂丘に似た丘をつくる。	cryptodome	
n-75	破壊地形	はかいちげい		failure topography	
n-76	カール	かーる		cirque	

n-77	稼行鉱山	かこうこうざん	有用鉱物の集合体である鉱床を採取する施設やそれを設置・運用する企業を鉱山といい、現に有用鉱物の試掘や採掘を行っている鉱山を稼行鉱山という。	Working mine	
n-78	休廃止鉱山	きゅうはいしこうざん	有用鉱物の試掘や採掘を休止している鉱山を休止鉱山とよび、試掘や採掘を終了して廃止された鉱山を廃止鉱山と呼ぶ。両者をまとめて休廃止鉱山と呼ぶことが多い。	Stopped mine and Closed mine	
n-79	石材	せきざい	岩石や地層の一部を土木用・建築用に、柱状や板状に切り出したもの。花こう岩(花崗岩)(御影石)と石灰岩(大理石)が多量に使用されるほか、安山岩・玄武岩・砂岩・粘板岩・ハンレイ岩などの利用も盛んである。	building stone	
n-80	掘削井	くっさくせい	何らかの目的のために地下を掘削した井戸のこと。商業的生産に足る有望な油層やガス層が存在するかどうかを確認するために掘る井戸の場合は、目的の違いにより、試掘井、探掘井、評価井と区別されることがある。	excavation well	
n-81	石油生産井	せきゆせいさんせい	地下の油層から原油を地表まで取出すために掘削され整備された井戸のこと。油の回収方式により、自噴井、ポンピング井、ガスリフト井などと区別してよぶこともある。		
n-82	ガス生産井	がすせいさんせい	地下のガス層からガスを地表まで取出すために掘削され整備された井戸のこと。	gas well	
n-83	石油・ガス井	せきゆ・がすせい	地下の油層やガス層から、原油や天然ガスを地表に取出すために掘削され整備された井戸のこと。	oil/gas well	
n-84	休廃止石油・ガス井	きゅうはいしせきゆ・がすせい	かつて生産していた石油・ガス井のうち、何らかの理由で生産を一時的に取りやめている井戸を休止井(もしくは休坑井)(closed well or suspended well)、何らかの理由で生産を取りやめた井戸を廃止井(もしくは廃坑井)(abandoned well)といい、これら両者をあわせたものを指す。		
n-85	空坑井	からこうせい	石油・ガス掘削井において、石油もガスもみつからなかった井戸のことで、空井戸(からいど)ともいう。水(地層水)しか産出しなかった場合の井戸(水井戸)もそうよぶことがある。		
n-86	油徴	ゆちょう	地下の油層中の油が地表に染み出している現象を油徴(oil seepage, oil indication)という。掘削中の井戸壁面の地層から油の徴候がみられる場合も油徴(oil showing)という。	oil show	
n-87	水井戸 井戸	みずいど	地下水を採取、または利用するための井戸。通常の井戸を指すが、熱水井や水蒸気井と区別するために使用される。	water well	
n-88	熱水井	ねっすいせい	地下に存在する高温の水を利用するために掘削された井戸。	hydrothermal water well	
n-89	水蒸気井	すいじょうきせい	水蒸気を主とする噴気を噴出する井戸。	steam well	
n-90	噴気孔	ふんきこう	水蒸気やその他のガスを噴出する孔。	fumarole	
n-91	温泉	おんせん	地中から湧出する温水、鉱水および水蒸気その他のガス(炭化水素を主成分とする天然ガスを除く)で、25以上の水温を有するか、または溶存物質濃度が一定基準を上回っているもの。	hot spring, thermal spring	
n-92	鉱泉	こうせん	温泉の中で水蒸気およびその他のガスを除いた、特に温水と鉱水に限定したものを指す。	mineral spring	
n-93	ゆう泉 (湧泉) 泉、湧水	ゆうせん	地下水が自然に継続的に地表、湖沼、海などで流出する現象、またはその場所。ゆう水(湧水)と表されることが多い。	spring	
n-94	ゆう水 (湧水) 泉、湧泉	ゆうすい	ゆう泉(湧泉)から流れ出てきた水、またはその場所。	spring water spring	
n-95	化石 古生物	かせき	過去の生物の遺体やこん跡(痕跡)が地層中に埋没、保存されたもの。化石の多くは、生物体がそのまま、あるいは鉱物質に置換されて残されたもの、またはその印象などで、遺体化石と総称され、生活の痕跡は生こん(生痕)化石と呼ばれる。	fossil paleoorganism	
n-96	ガス徴	がすちょう	地下のガス層中のガスが地表に染み出している現象をガス徴という。掘削中の井戸壁面の地層からガスの徴候がみられる場合もガス徴(gas showing)という。	gas seepage gas indication	
n-97	片理	へんり	変成作用により生じた非等方鉱物粒子ないし鉱物粒子の集合体の定向配列。	schistosity	
n-98	スレート劈開	すれーとへきかい	肉眼で確認できないほど細粒な鉱物粒子からなる岩石中のよく発達した平板な片理。片理は鉱物粒子のスケールで発達。	slaty cleavage	
n-99	変成作用	へんせいさよう	温度圧力などの物理条件の変化によりもとの岩石を構成する鉱物の種類及び岩石組織が変化する現象。	metamorphism	
n-100	ポーフィロクラ スト	ぽーふうくらすと	再結晶したあるいは圧砕された岩石中の細粒な基質中の残留結晶及び結晶片。	porphyroclast	

0-1	地質図	ちしつず	地表を覆う土壌及び草木以外の地殻表面の岩石(未固結の砕せつ(碎屑)物も含む)を、その種類または岩相と時代とで区別し、それらの分布、構造、累重関係などを示した図	geologic map	
0-2	岩石	がんせき	単一又は複数の鉱物の集合体。固結したものを岩石という場合が多い。構成物の種類と特徴、鉱物組成、化学組成などに基づいて系統的に分類する。	rock	
0-3	岩相	がんそう	単一又は複数の岩石からなる地質单元の一つ。産状、形成環境、又は形成条件を反映した特徴に基づいて系統的に分類する。	lithofacies	
0-4	地質断面図	ちしつだんめんず	岩石の種類又は岩相の分布及びその地質学的属性を仮想的な断面に投影した図	geologic cross section	
0-5	凡例	はんれい	地質図に用いる記号群及びその説明を、ある一定の規則に従って配列したもの	legend	
0-6	实在 確実	じつざい	岩石の種類、岩相などの境界、断層などを表示する場合、それらが存在することが確かである場合に用いる形容詞的表現		
0-7	確実	かくじつ	实在と同義。		
0-8	推定	すいてい	岩石の種類、岩相などの境界、断層などを表示する場合、それらの存在が確認されてはいないけれども、論理的に存在するとステイできる場合に用いる形容詞的表現	assumed	
0-9	地質学的属性	ちしつがくてきぞくせい	地層及び変成岩体を除く岩体の境界線、地質構造、それから産する岩石・鉱物・化石、地下資源など馳走・岩体を特徴付ける要素又はそれらの総称。		
0-10	地質構造	ちしつこうぞう	断層、しゅう曲(褶曲)など地殻の変形・変位によって生じた特徴的な面または線、あるいはそれらの集合。	geological structure	
0-11	基準面	きじゅんめん	地形面、垂直断面、水平断面など、地質学的属性を投影する面。	datum level	
0-12	付加体	ふかたい	海洋プレートが島弧又は陸弧の下に沈み込むときに、島弧側又は陸弧側にくさび状に底付けされた地層・岩体	accretionary prism	
0-13	変質岩	へんしつがん	地表付近の水や大気、あるいは熱水などと反応して化学組成や鉱物組成がもとは異なってしまった岩石。	altered rock	
0-14	風化岩	ふうかがん	地表付近の水や大気などと反応して化学組成や鉱物組成がもとは異なってしまった岩石。	weathered rock	
0-15	断層の存在 確実度	だんそうのそんざいかくじつど	断層の存在(位置、変位方向、変位量)がどの程度確実かの目安。具体的な目安は検討中。		
0-16	しゅう曲の存在 確実度 〔褶曲の存在 確実度〕	しゅうきょくのそんざいかくじつど	しゅう曲の存在(位置、変位方向、変位量)がどの程度確実かの目安。具体的な目安は検討中。		
0-17	軸跡	じくせき	しゅう曲の軸面と地表面または露頭面との交線。	axial trace	

用語索引(五十音順)

用語	番号	用語	番号	用語	番号
[ア]		アルバイト	k-275	イントラミクルーダイ	c-113
アア溶岩	f-109	アルバイト・緑れん石	i-26	ト	
アーレニアン期	a-121	・角せん岩亜相		[ウ]	
アイアンストーン	c-180	アルピアン期	a-103	ウィザリング石	k-71
アイヨライト	e-194	アルベゾンせん石	k-206	ウィンチせん石	k-208
アウイン	k-294	アルマンディン	k-103	ウースパライト	c-106
亜鉛鉱石	l-16	アルミニウムの鉱石	l-59	ウースパルーダイト	c-105
亜鉛スピネル	k-35	亜れき青炭	c-189	ウーチアピンジアン期	a-147
亜円れき	c-220	アレナイト	c-70	ウーミクライト	c-116
亜角れき	c-222	アウル鉱	k-6	ウーミクルーダイト	c-115
アカンソポディナ綱	m-11	アンケライト	k-67	ウーライト	c-238
アキタニアン期	a-62	アンコンパーグライト	e-16	ウェールライト	e-55
アキタニアン期後期	a-63	安山岩	e-216	ウェブステライト	e-64
アキタニアン期前期	a-64	安山岩類	e-215	ウェンロック世	a-178
アクチノせん石	k-191	アンチゴライト	k-237	ウオッシュオーバー扇	d-66
アグルチネート	f-24	アンチモン化鉱物	k-16	状地たい積物	
アグロメレート	f-163	アンチモン鉱	l-24	ウサギ目	m-268
アスファルト質岩	c-204	アンデシン	k-277	ウシケリ綱	m-23
アスベスト(石綿)	l-79	アンドラダイト	k-104	渦べん毛藻門	m-9
亜層群	b-3	アンモナイト亜綱	m-127	内側陸棚たい積物	d-84
亜炭	l-88	[イ]		ウニ綱	m-201
アッセリアン期	a-157	い黄	k-323	ウニ石灰岩	c-206
アナイト	k-223	硫黄の鉱石	l-51	ウバロバイト	k-108
アナターゼ	k-28	異歯亜綱	m-141	ウフィミアン期	a-151
アナルサイト	k-302	石サンゴ目	m-111	ウミグモ綱	m-164
アナルサイム	k-301	異獣亜綱	m-256	ウミシダ目	m-192
アナルシイマイト	e-272	異じん帯亜綱	m-142	ウミツボミ亜門	m-193
アナルシマイト	e-238	遺跡	d-136	ウミツボミ綱	m-195
アニシアン期	a-135	板チタン石	k-29	ウミユリ綱	m-190
アノーサイト	k-280	イタライト	e-196	ウミユリ石灰岩	c-205
アノーソクレーヌ	k-273	異地性岩体	b-35	ウミユリ目	m-191
アパタイト	k-83	イチョウ門	m-66	ウミリンゴ綱	m-194
アプチアン期	a-104	イトトリウム鉱	l-36	埋立地	d-130
アフリカンダイト	e-12	イノけい酸塩鉱物	k-145	ウラン鉱	l-33
アポフィライト	k-253	異放サンゴ亜綱	m-108	ウルタイト	e-193
アラゴナイト	k-69	イライト	k-244	ウルボスピネル	k-43
アルカリ角せん石	k-201	イルメナイト	k-26	雲も	k-216
アルカリ火山岩	e-249	色指数	e-280	雲も系原料	l-77
アルカリ岩	b-15	インジウム鉱	l-32	[エ]	
アルカリ玄武岩	e-253	インドゥアン期	a-141	液状化・流動化たい積	d-126
アルカリ長石	k-268	イントラクラスト	c-237	物	
アルカリ長石花こう岩	e-77	イントラスパライト	c-104	エクタシアン紀	a-196
アルカリ長石せん長岩	e-98	イントラスパルーダイト	c-103	エクロジャイト	h-11
アルカリ長石粗面岩	e-207	ト		エクロジャイト相	i-19
アルカリ長石流紋岩	e-201	イントラミクライト	c-114		
アルチンスキアン期	a-155				

用語	番号	用語	番号	用語	番号
エケルマンせん石	k-205	【カ】		カキ礁たい積物	d-77
エジリン	k-168	ガーナイト	k-36	かぎ層	n-16
エジリンオーゾナイト	k-167	カーニアン期	a-132	确实	o-7
エジル輝石	k-169	カーボナタイト	e-2	确实境界	n-3
エディアカラ紀	a-191	カール	n-76	角せん岩	h-10
エデンせん石	k-195	過アルカリ火山岩	e-250	角せん岩相	i-25
エニグマ石	k-180	過アルカリ粗面岩	e-266	角せん石	k-181
柄腹亜綱	m-163	過アルカリフォノライ	e-274	角せん石・エクロジャ	i-23
えら脚綱	m-166	ト		イト亜相	
エリオナイト	k-311	過アルカリ流紋岩	e-255	角せん石岩	e-69
沿岸たい積物	d-162	かい脚綱	m-168	角せん石かんらん岩	e-58
塩基性	e-293	海果亜門	m-206	角せん石輝石岩	e-68
塩湖	c-231	貝殻石灰岩	c-207	角せん石はんれい岩	e-154
塩水湿地たい積物	d-36	海岸砂丘たい積物	d-172	角せん石優黒質はんれ	e-156
エンスタタイト	k-149	海岸段丘たい積物	d-143	い岩	
塩素の鉱石	l-55	海岸平野たい積物	d-139	角せん石優白質はんれ	e-155
円盤綱	m-204	海岸平野たい積物(ま	d-31	い岩	
円れき	c-219	たは沿岸たい積物)		角れき	c-221
【オ】		海牛目	m-272	角れき岩	c-3
黄金色藻門	m-12	海峡部たい積物	d-89	角れき状	f-158
黄長岩	e-275	介形虫綱	m-167	火口縁	n-72
黄鉄鉱	k-8	海溝たい積物	d-149	花こう岩	e-79
黄銅鉱	k-10	塊状	f-154	花こう岩類	e-76
オウムガイ亜綱	m-124	塊状溶岩	f-119	稼行鉱山	n-77
オウムガイ目	m-126	海進期たい積体	d-145	河口州たい積物	d-41
黄緑色藻門	m-18	海進期たい積物	d-155	花こうせん緑岩	e-88
大型化石	m-275	がいすいたい積物	d-2	河口たい積物	d-164
大型有孔虫	m-40	海成たい積体	b-10	火砕	f-167
オーゾナイト	k-162	海底	f-161	火砕角れき岩	f-50
大隅石	k-142	海底谷充てんたい積物	d-92	火砕岩	f-23
オーテリビアン期	a-107	海底谷たい積物	d-97	火砕岩起源の再たい積	f-63
オカアイト	e-14	海底扇状地たい積物	d-176	岩	
沖合たい積物	d-87	外浜・陸棚たい積物	d-82	火砕岩起源の再たい積	f-99
沖浜たい積物	d-58	海浜たい積物	d-175	物	
オケルマナイト	k-135	外浜たい積物	d-47	火砕岩起源の水底再た	f-102
オックスフォーディア	a-115	外側陸棚たい積物	d-86	い積物	
ン期		海盆地扇状地たい積物	d-101	火砕岩起源の陸上再た	f-100
オットレ石	k-117	海盆地たい積物	d-95	い積物	
おの石	k-144	海綿石灰岩	c-144	火砕丘	b-44
オパール	k-264	海綿チャート	c-169	火砕降下たい積物	f-71
オパール-A	k-265	海綿動物門	m-93	火砕サージ	f-148
オパール-C	k-343	海洋底変成岩	i-4	火砕サージたい積物	f-76
オパール-CT	k-266	海緑石	k-220	火砕たい積物	f-69
オモダカ亜綱	m-81	貝類化石*	m-143	火砕流	f-149
オリゴクレーヌ	k-276	カオリナイト	k-240	火砕流たい積物	f-80
オリピナイト	e-52	カオリン	l-73	火山	b-40
オールドビス紀	a-180	カオリン族	k-341	火山角れき岩	f-62
オレネキアン期	a-140	化学化石	m-280	火山ガラス	f-136
オロシリアン紀	a-200	化学合成群集	m-279	火山岩	e-199
音響層序境界	n-48	化学合成細菌門	m-3	火山岩塊	f-146
温泉	n-91	化学沈でん	c-225	火山岩塊火山灰流たい	f-82
オンファス輝石	k-166	河岸段丘たい積物	d-141	積物	
		河岸平野たい積物	d-137	火山岩塊テフラ	f-18

用語	番号	用語	番号	用語	番号
火山岩体	b-13	カトフォルセン石	k-211	完新世中期	a-8
火山群	b-39	カドウム鉱	l-21	岩石	o-2
火山砕せつ	f-168	加納輝石	k-157	岩石原料	l-83
火山砕せつ物重力流た い積物	f-98	河畔砂丘たい積物	d-22	岩せつ	b-14
火山深成複合岩体	b-21	下部外浜たい積物	d-56	岩せつなだれ	f-150
火山帯	b-38	花粉	c-245	岩せつなだれたい積物	d-118
火山弾	f-141	花粉・胞子	m-84	岩せつ流たい積物	d-121
火山弾テフラ	f-22	カミングトンセン石	k-187	岩相	o-3
火山灰	f-10	カメ目	m-236	岩体	n-2
火山灰雲サージ	f-153	空坑井	n-85	干拓地	d-129
火山灰雲サージたい積 物	f-79	ガラス質	g-4	含同時れきミクライト	c-123
火山灰降下たい積物	f-72	ガラス質火山灰	f-11	貫入岩	f-122
火山灰粒子	f-144	ガラス質凝灰岩	f-35	カンパニアン期	a-94
火山灰流たい積物	f-81	ガラス質細粒火山灰	f-3	カンプトナイト	e-35
火山噴出物	b-17	ガラス質細粒凝灰岩	f-27	カンブリア紀	a-184
火山れき	f-145	ガラス質粗粒火山灰	f-7	含ペレットミクライト	c-126
火山れき岩	f-42	ガラス質粗粒凝灰岩	f-31	岩片	f-138
火山れき凝灰岩	f-38	カリウム鉱	l-48	岩脈	f-124
火山れきテフラ	f-14	カリウムの鉱石	l-60	かんらん岩	e-50
カシモービアン期	a-162	カリオフィライト	k-287	かんらん石	k-90
河床間低地たい積物(陸成層)	d-50	カリ質粗面玄武岩	e-260	かんらん石ウェブステ ライト	e-61
河床たい積物	d-70	カリミアン紀	a-197	かんらん石角せん石岩	e-71
河床たい積物(水路と 河道内の砂州)	d-7	軽石	f-139	かんらん石角せん石輝 石岩	e-67
河床たい積物(陸成層)	d-49	軽石角れき岩	f-52	かんらん石輝石角せん 石岩	e-70
ガス生産井	n-82	軽石火山岩塊テフラ	f-20	かんらん石輝石岩	e-66
ガス徴	n-96	軽石火山れき岩	f-44	かんらん石斜方輝石岩	e-60
ガス田	n-12	軽石火山れき凝灰岩	f-40	かんらん石族	k-89
火成岩	e-1	軽石火山れきテフラ	f-16	かんらん石単斜輝石岩	e-62
火成岩コンプレックス	b-12	軽石丘	b-47	かんらん石ノーライト	e-168
河成たい積物	d-57	軽石凝灰角れき岩	f-48	かんらん石はんれい岩	e-145
河成平野たい積物	d-154	軽石降下たい積物	f-73	かんらん石はんれいノ ーライト	e-160
化石	n-95	軽石質	f-164	かんらん石メリタイト	e-18
河川性たい積物	d-20	軽石流たい積物	f-166	かんらん石優黒質ノー ライト	e-170
河川流たい積物	d-111	軽石カルシウム角せん石	k-189	かんらん石優黒質はん れい岩	e-147
カタクラサイト	h-21	軽石カルシウム鉱	l-43	かんらん石優黒質はん れいノーライト	e-162
潟湖たい積物	d-59	軽石カルシオカーボナタイ ト	e-7	かんらん石優白質ノー ライト	e-169
花虫綱	m-105	カルシライト	k-286	かんらん石優白質はん れい岩	e-146
活向斜	n-55	カルシライト含有岩	e-19	かんらん石優白質はん れいノーライト	e-161
活向斜軸面	n-63	カルシリタイト	e-20	含れき	c-257
滑石	k-233	カルセドニー	k-259		
褐藻門	m-21	カルデラ縁	n-73		
褐炭	c-188	カロピアン期	a-118		
活断層	n-22	岩塩	c-183		
褐鉄鉱	k-58	含化石ミクライト	c-125		
活とう曲	n-71	含魚卵石ミクライト	c-124		
活背斜	n-59	カンクリナイト	k-295		
ガック世	a-97	環形動物門	m-145		
褐れん石	k-129	岩株	f-128		
		環状けい酸塩鉱物	k-139		
		完新世	a-5		
		完新世後期	a-7		
		完新世前期	a-9		
				[キ]	
				紀	a-209

用語	番号	用語	番号	用語	番号
期	a-211	恐竜類	m-249	クリストバライト	k-261
キオゲニアン紀	a-192	きょく魚綱	m-218	クリソスフェラレス綱	m-14
キク亜綱	m-79	局所変成岩	i-5	クリソタイル	k-238
基質優勢	c-233	曲体亜門	m-116	クリソトリカレス綱	m-15
基準面	o-11	きょく皮動物石灰岩	c-138	クリソモナダレス綱	m-13
ギスモンディン	k-309	きょく皮動物門	m-188	クリノエンスタタイト	k-159
輝石	k-147	巨晶	g-12	クリノゾイサイト	k-126
輝石・グラニュライト	i-29	魚竜目	m-241	クリノタイロライト	k-314
亜相		魚類上綱	m-214	クリノヒューマイト	k-98
輝石角せん石岩	e-72	巨れき	c-5	クリノフェロシライト	k-160
輝石角せん石かんらん岩	e-57	巨れき岩	c-23	グリユネルせん石	k-188
輝石角せん石ノーライ	e-171	金	k-320	クリンカー	f-110
ト		銀	k-321	グリンスツパキアン期	a-139
輝石角せん石はんれい	e-148	金雲も	k-222	クリントナイト	k-229
岩		菌界	m-44	グレインストーン	c-132
輝石角せん石はんれい	e-163	金 銀鉱石	l-12	グレインストーンりん	c-176
ノーライト		金鉱石	l-10	灰土	
輝石角せん石優黒質ノ	e-173	銀鉱石	l-11	クレバスプレーたい	d-13
ーライト		きん青石	k-141	積物	
輝石角せん石優黒質は	e-150	キンパーライト	e-21	黒雲も	k-224
んれい岩		キンボウゲ亜綱	m-74	グロシュラー	k-105
輝石角せん石優黒質は	e-165	キンメリッジアン期	a-114	クロマイト	k-49
んれいノーライト				クロム鉱石	l-6
輝石角せん石優白質ノ	e-172	【ク】		クロム酸塩鉱物	k-79
ーライト		グーゼリアン期	a-161	クロム鉄鉱	k-48
輝石角せん石優白質は	e-149	空つい亜綱	m-230	クロリトイド	k-116
んれい岩		偶てい目	m-266	クンゲーリアン期	a-154
輝石角せん石優白質は	e-164	苦灰岩	c-100		
んれいノーライト		苦灰岩質石灰岩	c-97	【ケ】	
輝石岩	e-59	クグダイト	e-13	けい華	c-171
輝石かんらん岩	e-56	鯨目	m-265	けい灰石	k-174
輝石ホルンフェルス相	i-34	掘削井	n-80	けい化木・化石林	m-88
奇てい目	m-267	掘足綱	m-135	けい岩	h-15
希土類元素鉱	l-40	苦鉄質	e-287	けい砂	l-69
ギブサイト	k-53	苦鉄質・けい長質深成	e-73	けい酸カーボナタイト	e-9
逆断層	n-25	岩		けい酸鉱物	k-50
逆転層	n-35	苦鉄質火山岩	b-37	けい質海綿	c-236
キャピタニアン期	a-149	苦鉄質火山深成複合岩	b-23	けい質岩	c-148
休廃止鉱山	n-78	体		けい質けつ岩	c-164
休廃止石油・ガス井	n-84	苦鉄質火山噴出物	b-19	けい質シルト	c-152
凝灰角れき岩	f-46	苦鉄質鉱物	e-279	けい質シルト岩	c-161
凝灰岩	f-34	苦鉄質深成岩	b-36	けい質泥	c-149
凝灰質	c-264	苦鉄質深成岩体	b-26	けい質泥岩	c-158
凝灰質角れき岩	f-68	クトノホライト	k-329	けい質軟泥	c-155
凝灰質砂岩	f-66	グネツム門	m-70	けい質べん毛藻綱	m-16
凝灰質シルト岩	f-65	クビナガリュウ目	m-240	傾斜角	n-26
凝灰質泥岩	f-64	グメリナイト	k-312	傾斜層	n-34
凝灰質れき岩	f-67	グラウンドサージたい	f-78	けい石	l-68
きょう角上綱	m-155	積物		けい線石	k-111
胸甲亜綱	m-161	グラニュライト	h-12	けい藻	c-234
狭こう綱	m-185	グラニュライト相	i-27	けい藻けつ岩	c-165
暁新世	a-83	グラノフェルス	h-4	けい藻シルト	c-153
		グラフィト	k-4	けい藻シルト岩	c-162

用語	番号	用語	番号	用語	番号
けい藻チャート	c-167	高カリウム火山岩	e-282	極細粒砂岩	c-32
けい藻泥	c-150	後期オルドビス紀	a-181	極細粒シルト	c-20
けい藻泥岩	c-159	後期カンブリア紀	a-185	極細粒シルト岩	c-39
けい藻土	l-70	後期暁新世	a-84	黒色片岩	h-19
けい藻軟泥	c-156	後期更新世	a-11	極粗粒	c-214
けい藻門	m-20	後期更新世後期	a-25	極粗粒砂	c-10
けい素系原料	l-67	後期更新世前期	a-27	極粗粒砂岩	c-28
けい素の鉱物	l-61	後期更新世中期	a-26	コケ植物門	m-47
けい長質	e-286	後期三畳紀	a-129	固結	c-229
けい長質火山岩	e-240	後期始新世	a-76	固結	f-132
けい長質火山深成複合 岩体	b-22	後期ジュラ紀	a-111	コケムシ石灰岩	c-136
けい長質火山噴出物	b-18	後期石炭紀	a-160	コケムシ動物門	m-184
けい長質鉱物	e-278	後期鮮新世	a-46	古原生代	a-198
けい長質深成岩体	b-25	後期漸新世	a-67	古始生代	a-206
ゲーサイト	k-56	後期中新世	a-52	湖沼沿岸平野たい積物	d-26
ゲーレナイト	k-133	後期デボン紀	a-172	湖沼三角州たい積物	d-28
けつ岩	c-34	後期白亜紀	a-91	湖沼たい積物	d-25
結合	c-242	後期ペルム紀	a-144	湖沼盆底たい積物	d-27
結合網	m-178	広弓亜綱	m-239	コスモクロア	k-171
げっ歯目	m-269	硬骨海綿綱	m-97	古生シダ綱	m-59
結晶質火山灰	f-12	硬骨魚綱	m-223	古生代	a-142
結晶質凝灰岩	f-36	後さい亜綱	m-120	互層	j-1
結晶質細粒火山灰	f-4	鉱産物	l-1	古第三紀	a-65
結晶質細粒凝灰岩	f-28	向斜	n-52	古多歯亜綱	m-137
結晶質粗粒火山灰	f-8	向斜軸面	n-62	古鳥亜綱	m-251
結晶質粗粒凝灰岩	f-32	鉱床	n-14	湖底扇状地たい積物	d-29
結晶片	f-137	更新世	a-10	弧内リフトたい積物	d-151
ケルサンタイト	e-31	硬石こう	k-77	コニアシアン期	a-96
ケルスートせん石	k-199	鉱泉	n-92	コニユリア亜綱	m-103
ゲルマニウムの鉱石	l-62	紅藻門	m-22	コノドント門	m-209
原クラゲ綱	m-100	紅柱石	k-112	コノハエビ亜綱	m-170
原始生代	a-207	後背湿地たい積物	d-169	古杯動物門	m-92
原獣亜綱	m-254	高P/T型変成岩	i-12	コハク	m-90
顕生代	a-2	高P/T型変成岩 コンプレックス	b-30	コバルト鉱石	l-5
原生代	a-189	後浜たい積物	d-177	コマチャイト	e-242
元素鉱物	k-2	広腹亜綱	m-160	コメンダイト	e-256
剣尾亜綱	m-157	鉱物	k-1	コメンダイト質粗面岩	e-267
玄武岩質安山岩	e-254	高マグネシウム火山岩	e-241	コランダム	k-24
玄武岩質粗面安山岩	e-261	高密度流たい積物	d-122	湖流たい積物	d-173
玄武岩類	e-217	鉱脈	n-18	コルダボク綱	m-68
		広翼亜綱	m-158	コンクリーション・ノ ジュール	m-278
【コ】		紅れん石	k-128	混合層粘土鉱物	k-342
古異歯亜綱	m-140	コーサイト	k-262	混在岩	j-2
イリジウム鉱	l-28	小型有孔虫	m-39	根足虫門	m-10
コウイカ目	m-131	湖岸砂丘たい積物	d-23	コンドロダイト	k-96
広域変成岩	i-1	湖岸段丘たい積物	d-142		
高温スラブ変成岩	i-9	湖岸平野たい積物	d-138	【サ】	
降下	f-147	コキナ	c-140	サーブクホリアン期	a-168
高海面期たい積体	d-146	コキナイト	c-141	サーラバニアン期	a-56
高海面期たい積物	d-156	コキノイド石灰岩	c-142	材・根化石	m-87
甲殻上綱	m-165	極細粒	c-218	サイクロけい酸塩鉱物	k-138
鉱化帯	n-9	極粗粒砂	c-14	砕せつ岩	c-2

用語	番号	用語	番号	用語	番号
再たい積	c-224	山間・山ろくたい積物	d-1	シデリアン紀	a-202
再たい積物	f-131	山間盆地砂丘たい積物	d-24	シネムーリアン期	a-126
細粒	c-217	山間盆地たい積物(扇	d-17	四放サンゴ亜綱	m-106
細粒	g-9	状地,谷底平野複合		刺胞動物門	m-99
細粒火山灰	f-2)		しま状構造	n-42
細粒火山灰粒子	f-142	産業廃棄物	d-134	車軸藻綱	m-28
細粒凝灰岩	f-26	ザンクリアン期	a-50	斜長岩	e-47
細粒砂	c-13	サンゴ化石	m-282	斜長石	k-274
細粒砂岩	c-31	サンゴ礁たい積物	d-71	斜長石のアノーサイト	e-281
細粒シルト	c-19	サンゴ石灰岩	c-143	組成	
細粒シルト岩	c-38	三疊紀	a-128	蛇尾綱	m-199
細れき	c-8	三すい歯目	m-255	斜方輝石	k-148
細れき岩	c-26	酸性	e-291	斜方輝石アルカリ長石	e-38
砂岩	c-27	酸性白土	l-76	花こう岩	
砂丘たい積物	d-21	酸素同位体ステージ	a-212	斜方輝石アルカリ長石	e-42
サクマリアン期	a-156	サントニアン期	a-95	せん長岩	
ざくろ石	k-102	サンドリッジたい積物	d-88	斜方輝石花こう岩	e-39
砂し・砂州たい積物	d-62	三葉虫形綱	m-153	斜方輝石花こうせん緑	e-40
砂し,せん角岬たい積	d-60	三葉虫形上綱	m-152	岩	
物		三葉虫綱	m-154	斜方輝石岩	e-63
砂質	c-253	山ろく緩斜面たい積物	d-3	斜方輝石せん長岩	e-43
砂質けつ岩	c-60			斜方輝石トータル岩	e-41
砂質シルト	c-65	[シ]		斜方輝石はんれい岩	e-151
砂質シルト岩	c-69	シアノバクテリア門	m-4	斜方輝石モンゾナイト	e-44
砂質泥岩	c-59	シーケンス境界	n-47	斜方輝石優黒質はんれ	e-153
砂質泥質れき	c-42	シート	f-123	い岩	
砂質泥質れき岩	c-52	シート状溶岩	f-115	斜方輝石優白質はんれ	e-152
砂質泥	c-49	ジェラシアン期	a-47	い岩	
砂質粘土	c-64	軸跡	o-17	斜面扇状地たい積物	d-100
砂質粘土岩	c-68	ジグソーパズル状割れ	f-135	蛇紋岩	h-16
砂質片岩	h-23	目		蛇紋石	k-235
砂質れき	c-44	軸足虫門	m-30	獸弓目	m-238
砂質れき岩	c-54	四肢動物上綱	m-227	しゅう曲	n-51
鎖状けい酸塩鉱物	k-146	始新世	a-75	しゅう曲の存在確実度	o-16
砂床たい積物	d-105	地震断層	n-23	十字石	k-115
砂州たい積物	d-166	地震波たい積物	d-124	重晶石	k-75
砂州れき州たい積物	d-9	地すべりたい積物	d-117	臭素の鉱石	l-56
サナイト	e-34	始生代	a-203	シュードタキライト	h-26
サニディナイト相	i-35	自然堤防間,浜堤間の	d-34	重力流たい積物	d-116
サニディン	k-270	低地・湿地たい積物		しゅう形綱	m-159
サネティアン期	a-85	自然堤防たい積物	d-33	種実・球果	m-85
砂漠・ステップたい積	d-102	紫ろ輝石	k-152	十脚目	m-172
物		シダ綱	m-62	ジュラ紀	a-110
座ヒトデ綱	m-203	シダ種子門	m-64	準輝石族	k-331
サブアルカリ火山岩	e-248	シダ門	m-58	準長石	k-284
サフィリン	k-179	湿原・湿地たい積物	d-30	準長石火山岩	e-234
サボナイト	k-249	実在	o-6	準長石火山岩類	e-226
さや形亜綱	m-128	実在向斜	n-53	準長石含有アルカリ長	e-100
三角州前縁たい積物	d-168	実在断層	n-20	石せん長岩	
三角州前面たい積物	d-167	実在とう曲	n-69	準長石含有アルカリ長	e-208
三角州たい積物	d-165	実在背斜	n-57	石粗面岩	
三角州平野たい積物	d-32	磁鉄鉱	k-39	準長石含有斜長岩	e-182
酸化鉱物	k-21	シデライト	k-65	準長石含有せん長岩	e-107

用語	番号	用語	番号	用語	番号
準長石含有せん緑岩	e-129	唇脚綱	m-177	水底ブロック溶岩	f-118
準長石含有粗面岩	e-211	新原生代	a-190	水底溶岩	f-113
準長石含有はんれい岩	e-180	人工物	d-128	水底溶岩ドーム	f-120
準長石含有モンゾせん 緑岩	e-122	新始生代	a-204	水底ラハールたい積物	f-104
準長石含有モンゾナイ ト	e-114	真獣亜綱	m-258	水平層	n-36
準長石含有モンゾはん れい岩	e-137	深成岩	e-48	水路充てんたい積物	d-8
準長石含有レータイト	e-214	深成岩体	b-24	水路内たい積物	d-93
準長石せん長岩	e-184	真正紅藻綱	m-24	スカポライト	k-297
準長石せん長岩類	e-183	新生代	a-3	スカルン	h-17
準長石せん緑岩	e-188	新第三紀	a-44	スカンジウム鉱	l-35
準長石せん緑岩類	e-186	新鳥亜綱	m-252	スコリア	f-140
準長石はんれい岩	e-191	真軟甲亜綱	m-171	スコリア角れき岩	f-53
準長石はんれい岩類	e-189			スコリア火山岩塊テフ ラ	f-21
準長石モンゾせん長岩	e-185	[ス]		スコリア火山れき岩	f-45
準長石モンゾせん緑岩	e-187	水銀	k-324	スコリア火山れき凝灰 岩	f-41
準長石モンゾはんれい 岩	e-190	水銀鉱	l-26	スコリア火山れきテフ ラ	f-17
準緑色片岩相	i-30	吸口虫綱	m-147	スコリア丘	b-46
糸き亜綱	m-224	水酸化鉱物	k-51	スコリア凝灰角れき岩	f-49
少脚綱	m-176	水蒸気井	n-89	スコリア降下たい積物	f-74
衝撃変成岩	i-11	水底三角州たい積物	d-40	スコリア質	f-165
礁原たい積物	d-157	垂直断層	n-27	スコリア流たい積物	f-83
硝酸塩鉱物	k-60	垂直変位方向	n-28	すず石	k-23
礁斜面たい積物	d-74	水底	f-160	錫鉱	l-29
礁池たい積物	d-73	推定	o-8	スタテリアン紀	a-199
蒸発岩	c-181	水底火砕サージたい積 物	f-91	スチルブノメレン	k-230
床板サンゴ亜綱	m-107	水底火砕たい積物	f-85	スティショバイト	k-263
上部外浜たい積物	d-55	水底火砕流たい積物	f-92	スティルバイト	k-315
礁れいたい積物	d-72	水底火山岩塊火山灰流 たい積物	f-94	ステージ1	a-6
しょく炭	c-194	水底火山灰降下たい積 物	f-87	ステージ10	a-33
しょく炭けつ岩	c-201	水底火山灰流たい積物	f-93	ステージ11	a-34
食虫目	m-259	水底軽石降下たい積物	f-88	ステージ12	a-35
食肉目	m-270	水底軽石流たい積物	f-95	ステージ13	a-36
植物界	m-46	水底岩せつなだれたい 積物	f-103	ステージ19	a-37
ショショナイト	e-263	水底岩せつ流たい積物	f-105	ステージ2	a-12
シリカ鉱物	k-257	推定境界	n-4	ステージ3	a-13
磁硫鉄鉱	k-9	水底降下火砕たい積物	f-86	ステージ4	a-14
シル	f-125	推定向斜	n-54	ステージ5.1	a-16
ジルコニウム・ハフニ ウム鉱	l-37	水底スコリア降下たい 積物	f-89	ステージ5.2	a-18
ジルコン	k-99	水底スコリア流たい積 物	f-96	ステージ5.3	a-20
シルト	c-16	水底スコリア流たい積 物	f-96	ステージ5.4	a-22
シルト岩	c-35	水底スパター降下たい 積物	f-90	ステージ5.5	a-24
シルト質砂	c-63	水底スパター流たい積 物	f-97	ステージ5a	a-15
シルト質砂岩	c-67	推定断層	n-21	ステージ5b	a-17
シルル紀	a-175	推定とう曲	n-70	ステージ5c	a-19
白雲も	k-217	推定背斜	n-58	ステージ5d	a-21
深海扇状地たい積物	d-99	水底パホイホイ溶岩	f-114	ステージ5e	a-23
深海たい積物	d-90			ステージ6	a-29
深海長谷たい積物	d-98			ステージ7	a-30
				ステージ8	a-31
				ステージ9	a-32

用語	番号	用語	番号	用語	番号
ステニアン紀	a-195	石英モンゾせん緑岩	e-116	石灰けい質岩	h-13
ストロマトライト	m-5	石英モンゾナイト	e-108	石灰砂岩	c-88
ストロンチアン石	k-70	石英モンゾはんれい岩	e-131	石灰質	c-258
ストロンチウム鉱砂	l-44	石英優黒質せん長岩	e-103	石灰質苦灰岩	c-98
砂	c-9	石英優黒質せん緑岩	e-125	石灰質けつ岩	c-90
砂混じり	c-254	石英優黒質モンゾせん緑岩	e-118	石灰質砂	c-81
スパーライト	k-120	石英優黒質モンゾナイト	e-110	石灰質砂岩	c-87
スパシアン期	a-137	石英優黒質モンゾナイト	e-110	石灰質シルト	c-83
スパター丘	b-45	石英優黒質モンゾはんれい岩	e-133	石灰質シルト岩	c-92
スパター降下たい積物	f-75	石英優白質せん長岩	e-102	石灰質泥	c-82
スパター流たい積物	f-84	石英優白質せん緑岩	e-124	石灰質泥岩	c-89
スピネル	k-32	石英優白質モンゾせん緑岩	e-117	石灰質軟泥	c-85
スピネル族	k-31	石英優白質モンゾナイト	e-109	石灰質ナノ化石	m-283
スフェーン	k-100	石英優白質モンゾはんれい岩	e-132	石灰質ナノプランク	m-8
スペッサルタイト	e-33	石英レータイト	e-212	トン	
スペッサルティン	k-107	石英ワッケ	c-76	石灰質粘土	c-84
スポジューメン	k-172	石材	n-79	石灰質粘土岩	c-93
スメクタイト	k-245	せき索動物門	m-210	石灰石	l-82
ズリ山	d-133	石質アレナイト	c-74	石灰藻石灰岩	c-146
スレート劈開	n-98	石質角れき岩	f-51	石灰藻たい積物	d-76
		石質火山岩塊テフラ	f-19	石灰藻類	m-7
[セ]		石質火山灰	f-13	石灰泥	c-241
世	a-210	石質火山れき岩	f-43	石灰泥岩	c-129
ぜい雲毛	k-338	石質火山れき凝灰岩	f-39	石こう	c-182
星形綱	m-198	石質火山れきテフラ	f-15	節口綱	m-156
生こん化石	m-274	石質凝灰角れき岩	f-47	節口綱	m-156
青色片岩相	i-16	石質凝灰岩	f-37	接合藻門	m-25
正断層	n-24	石質細粒火山灰	f-5	接触変成岩	i-7
正長石	k-269	石質細粒凝灰岩	f-29	節足動物門	m-151
生物礁たい積物(サンゴ礁たい積物を除く)	d-75	石質粗粒火山灰	f-9	節理	n-45
生物じょう乱たい積物	d-127	石質粗粒凝灰岩	f-33	セノニアン世	a-92
星葉石	k-231	石質ワッケ	c-79	セノマニアン期	a-99
ゼードルせん石	k-184	石炭	c-200	セノマニアン期後期	a-100
石英	k-258	石炭・亜炭	m-89	セノマニアン期前期	a-101
石英アルカリ長石せん長岩	e-96	石炭化度	c-249	セメント優勢	c-232
石英アルカリ長石粗面岩	e-206	石炭紀	a-158	セランディアン期	a-86
石英アルカリ長石優黒質せん長岩	e-97	せきつい動物門	m-213	セリサイト	l-78
石英アレナイト	c-71	赤鉄鉱	k-25	セルシアン	k-282
石英岩	e-74	石墨	k-5	セレン化鉱物	k-13
石英質アレナイト	c-72	石油	l-65	セレンの鉱石	l-52
石英質ワッケ	c-77	石油・ガス井	n-83	せん亜鉛鉱	k-11
石英斜長岩	e-181	石油・タールピット	m-281	浅海たい積物	d-79
石英せん長岩	e-101	石油生産井	n-81	前期オルドビス紀	a-183
石英せん緑岩	e-123	セシウム鉱	l-50	前期カンブリア紀	a-188
石英粗面岩	e-209	石灰海綿綱	m-94	前期暁新世	a-87
石英に富む花こう岩類	e-75	石灰岩	c-94	前期更新世	a-40
石英はんれい岩	e-138	石灰岩・チョーク・コキナ	m-277	前期更新世後期	a-41
石英片岩	h-18			前期更新世前期	a-42
				前期三疊紀	a-136
				前期始新世	a-81
				前期ジュラ紀	a-122
				前期石炭紀	a-167
				前期鮮新世	a-49
				前期漸新世	a-71

用語	番号	用語	番号	用語	番号
前期中新世	a-58	粗面岩類	e-205	多膜綱	m-42
前期デボン紀	a-174	粗面玄武岩	e-258	多毛綱	m-146
前期白亜紀	a-102	粗面デイサイト	e-271	タラムせん石	k-213
前期ペルム紀	a-153	粗粒	c-215	タリウム鉱	l-27
線構造	n-50	粗粒	g-11	炭化水素ガス	l-66
前弧盆たい積物	d-150	粗粒火山灰	f-6	単弓亜綱	m-237
前さい亜綱	m-119	粗粒火山灰粒子	f-143	段丘たい積物	d-140
潜在円頂丘	n-74	粗粒凝灰岩	f-30	タングステン鉱	l-30
潜在ドーム	f-126	粗粒砂	c-11	タングステン酸塩鉱物	k-81
潜歯亜綱	m-138	粗粒砂岩	c-29	炭酸塩岩	c-80
扇状地三角州たい積物	d-48	粗粒シルト	c-17	炭酸塩系原料	l-81
扇状地たい積物	d-6	粗粒シルト岩	c-36	炭酸塩鉱物	k-61
鮮新世	a-45	ソロけい酸塩鉱物	k-122	担子菌門	m-45
漸新世	a-66			炭質けつ岩	c-197
せん断帯	n-31			単斜輝石	k-158
前置斜面たい積物	d-43	【タ】		単斜輝石岩	e-65
せん長花こう岩	e-82	タージャイト	e-15	単斜輝石ノーライト	e-174
せん長岩	e-104	ターピダイト	d-123	単斜輝石優黒質ノーラ	e-176
せん長岩類	e-95	代	a-208	イト	
全頭亜綱	m-222	ダイアスポア	k-54	単斜輝石優白質ノーラ	e-175
前浜・後浜たい積物	d-52	ダイヤモンド	k-3	イト	
前浜たい積物	d-39	耐火粘土	l-87	単層	b-6
千枚岩	h-6	大規模火砕流たい積物	b-16	炭層	n-17
織毛虫門	m-41	第三紀	a-43	断層	n-19
前裸子植物門	m-63	体星綱	m-197	断層角れき岩	h-20
せん緑岩	e-126	たい積岩	c-1	断層岩	h-25
せん緑岩類	e-115	たい積岩コンプレック	b-8	断層の存在確実度	o-15
せん類綱	m-50	ス		炭素系原料	l-64
		たい積岩を主とする付	b-34	炭素質	c-263
		加コンプレックス		炭素の鉱石	l-63
【ソ】		たい積体	b-9	タンタルの鉱石	l-39
ゾイサイト	k-125	たい積物	d-161	炭田	n-13
層	b-4	たい積物重力流	f-151	単独亜綱	m-162
総き亜綱	m-225	太陽虫綱	m-31	単板綱	m-117
双弓亜綱	m-242	大洋底たい積物	d-148		
層群	b-2	第四紀	a-4	【チ】	
走向傾斜	n-33	大陸斜面たい積物	d-91	チェニアー平野・沿岸	d-67
走向ずれ方向	n-29	大陸リフトたい積物	d-153	干潟たい積物	
層孔虫綱	m-98	大理石	h-14	地質学的属性	o-9
造山変成岩	i-2	たい類綱	m-49	地質構造	o-10
槽歯目	m-244	大れき	c-6	地質時代	a-1
層状けい酸塩鉱物	k-215	大れき岩	c-24	地質図	o-1
双神経亜門	m-113	多丘歯目	m-257	地質断面図	o-4
双ろく動物綱	m-101	蛇行河川たい積物	d-19	地層	n-1
ソーコナイト	k-251	TAS図	e-285	チタノマグヘマイト	k-42
ソーダカーボナタイト	e-6	多足上綱	m-174	チタン鉱石	l-8
ソーダライト	e-239	盾状火山	b-41	チタン磁鉄鉱	k-40
ソーダライト	k-291	グトー石	k-121	チタン石	k-101
束柱目	m-273	ダナイト	e-51	チトニアン期	a-113
組織	g-1	ダニアン期	a-88	チャート	c-209
ソステロフィルム門	m-53	谷底平野たい積物	d-16	チャート質又は層状含	c-179
ソテツ門	m-65	多板綱	m-115	鉄層	
粗面安山岩	e-264	タフコーン	b-51	チャーノッカイト	e-37
粗面岩	e-210	タフリング	b-50		

用語	番号	用語	番号	用語	番号
チャッティアン期	a-68	直体亜門	m-133	ンガン リチウム角	
チャッティアン期後期	a-69	直立層	n-37	せん石	
チャッティアン期前期	a-70	直角石目	m-125	鉄 マンガン鉱石	l-9
チャバザイト	k-310	チンワルド雲母	k-227	鉄らんせん石	k-334
チャンシンギアン期	a-145			テフラ	f-1
中カリウム火山岩	e-283	【ツ】		テフライト	e-224
中期オルドビス紀	a-182	ツェルマクせん石	k-196	テフライト質アナルシ	e-233
中期カンブリア紀	a-187	ツツイカ目	m-130	マイト	
中期更新世	a-28	ツナミアイト	d-174	テフライト質準長石火	e-231
中期更新世後期	a-38	津波たい積物	d-125	山岩	
中期更新世前期	a-39	ツノゴケ綱	m-48	テフライト質ネフェリ	e-232
中期三畳紀	a-133	つる脚綱	m-173	ナイト	
中期始新世	a-78			テフライト質フォノラ	e-220
中期ジュラ紀	a-116	【テ】		イト	
中期石炭紀	a-163	ディオクタヘドラル型	k-336	テフライト質リューサ	e-25
中期中新世	a-55	層状けい酸塩		イタイト	
中期デボン紀	a-173	ディオプサイド	k-164	テフライト類	e-277
中期ペルム紀	a-148	低海面期たい積体	d-144	テフリトイド	e-221
中原生代	a-194	低海面期たい積物	d-158	テフリフォノライト	e-270
中始生代	a-205	低カリウム火山岩類	e-284	テフロアイト	k-330
中新世	a-51	泥岩	c-33	デボン紀	a-171
中性	e-292	堤間湿地たい積物	d-54	デルタフロントたい積	d-45
中生代	a-89	泥岩りん灰土	c-173	物	
沖積すいたい積物	d-4	デイサイト	e-204	テルル化鉱物	k-14
沖積平野たい積物	d-5	デイサイト類	e-203	テルル酸塩鉱物	k-59
中P/T型変成岩	i-14	泥質	c-251	テルルの鉱石	l-53
中粒	c-216	泥質砂	c-50	電気石	k-143
中粒	g-10	泥質砂岩	c-61	天青石	k-76
中粒砂	c-12	泥質砂質れき	c-43	転倒向斜	n-60
中粒砂岩	c-30	泥質砂質れき岩	c-53	転倒向斜軸面	n-65
中粒シルト	c-18	泥質片岩	h-24	転倒背斜	n-61
中粒シルト岩	c-37	泥質れき	c-41	転倒背斜軸面	n-66
中れき	c-7	泥質れき岩	c-51		
中れき岩	c-25	底生有孔虫	m-37	【ト】	
チューロニアン期	a-98	泥炭	c-187	トアルシアン期	a-124
超塩基性	e-294	底置面たい積物	d-44	銅亜鉛鉱	l-20
潮下帯たい積物	d-68	低-中 P/T 型変	b-31	トゥーファ	c-86
潮下帯干潟たい積物	d-42	成岩コンプレックス		とう曲	n-68
超苦鉄質	e-288	ディッカイト	k-241	頭甲亜綱	m-216
超苦鉄質岩	e-49	低P/T型変成岩	i-13	銅鉱石	l-14
鳥綱	m-250	堤防間低地たい積物	d-94	頭索動物亜門	m-212
長石	k-267	泥流たい積物	d-120	等数値線	n-15
潮せき三角州たい積物	d-63	ティル	d-109	陶石	l-72
長石質アレナイト	c-73	ティレー石	k-137	頭足綱	m-122
長石質ワッケ	c-78	テクトけい酸塩鉱物	k-255	銅鉛亜鉛鉱	l-17
潮せき水路たい積物	d-65	鉄カーボナタイト	e-5	銅鉛鉱	l-19
超層群	b-1	鉄鉱石	l-2	動物界	m-91
鳥盤目	m-247	鉄質岩	c-178	トートニアン期	a-54
長鼻目	m-271	鉄スピネル	k-33	トータル岩	e-91
潮流口たい積物	d-64	鉄マグネシウム角せん	k-182	トーパーナイト	c-196
潮流たい積物	d-112	石		ドーム状	f-157
チョーク	c-91	鉄-マグネシウム マ	k-332	トカゲ目	m-243
直せん石	k-183			トクサ門	m-57

用語	番号	用語	番号	用語	番号
毒重土石	k-72	【二】		バイオリサイト	c-128
土石流たい積物	d-119	ニオブ・タンタル鉱	l-38	倍脚綱	m-175
ドッガー世	a-117	ニッケル鉱石	l-4	肺魚亜綱	m-226
トニアン紀	a-193	【ネ】		背弧盆たい積物	d-152
トバズ	k-114	ネオコミアン世	a-106	背斜	n-56
トムソナイト	k-306	ネソけい酸塩鉱物	k-88	背斜軸面	n-64
トリウム鉱	l-34	熱水井	n-88	バイデライト	k-247
トリオクタヘドラル型	k-337	熱水変成岩	i-8	バイトウナイト	k-279
層状けい酸塩		熱変成岩	i-6	ハイドログロシュラー	k-109
トリディマイト	k-260	ネフェリナイト	e-235	ハイパーシン	k-151
トリメロフィトン門	m-52	ネフェリン	k-285	パイローブ	k-106
トリリシオナイト	k-340	粘土	c-21	パイロクスマンジャイト	k-178
トルネーシアン期	a-170	粘土岩	c-40	ト	
トレボライト	k-46	粘土系原料	l-71	パイロフィライト	k-232
トレモラせん石	k-190	粘土鉱物	k-239	バウンドストーン	c-135
ドレライト	e-144	粘土質砂	c-62	バウンドストーンりん	c-177
泥	c-15	粘土質砂岩	c-66	灰土	
泥基質	c-213	粘板岩	h-5	ハオリムシ綱	m-150
トロクトライト	e-177	【ノ】		破壊地形	n-75
泥支持	c-247	ノーライト	e-46	白亜紀	a-90
ドロストーン	c-99	ノーリアン期	a-131	白鉄鉱	k-325
ドロスパーライト	c-101	ノゼアン	k-293	バクトリテス亜綱	m-123
トロニエム岩	e-94	ノルベルジャイト	k-95	はく離性	c-226
ドロマイト	k-66	ノントロナイト	k-248	白りゅう石	k-290
ドロマイトカーボナ	e-4	【ハ】		破碎帯	n-30
イト		パーガスせん石	k-197	バシキーリアン期	a-165
ドロマイト質	c-259	パーケピせん石	k-200	バスタム石	k-177
泥混じり	c-252	バーディガニアン期	a-59	バソリス	f-129
ドロミクライト	c-102	バーディガニアン期後	a-60	鉢虫綱	m-102
ドロリュータイト	c-95	期		は虫綱	m-234
【ナ】		バーディガニアン期前	a-61	八腕目	m-132
中部陸棚たい積物	d-85	期		白金	k-322
内陸サブカ積物	d-103	バートニアン期	a-79	白金鉱石	l-13
内湾たい積物	d-69	パーミキュライト	k-252	バックストーン	c-131
内湾底たい積物	d-80	ハーモトーム	k-307	バックストーンりん灰	c-175
ナクライト	k-242	パーライト	l-84	土	
ナデシコ亜綱	m-76	ハイアロクラスタイト	f-121	バジジョシアン期	a-120
ナトリウム角せん石	k-333	ハイアロフェン	k-283	八放サンゴ亜綱	m-109
ナトリウム-カルシウ	k-207	バイオクラスト	c-239	バトニアン期	a-119
ム角せん石		バイオスバライト	c-108	バナジウム鉱石	l-7
ナトリウム鉱	l-47	バイオスパルーダイト	c-107	バナジン酸塩鉱物	k-86
ナトロライト	k-304	バイオハーム	c-230	ハナヤスリ綱	m-60
ナマコ綱	m-205	バイオペルスバライト	c-110	ハプト藻門	m-17
鉛亜鉛鉱	l-18	バイオペルスパルーダ	c-109	パホイホイ溶岩	f-108
鉛鉱石	l-15	イト		バラ亜綱	m-78
軟甲綱	m-169	バイオペルミクライト	c-120	バラ輝石	k-176
軟骨魚綱	m-220	バイオペルミクルーダ	c-119	バラゴナイト	k-219
軟体動物石灰岩	c-139	イト		バランギニアン期	a-108
軟体動物門	m-112	バイオミクライト	c-118	バリアー・エスチュア	d-61
軟泥	c-223	バイオミクルーダイト	c-117	リー・潟湖たい積物	
ナンマリアン期	a-138			バリア島たい積物	d-171
				バリウム鉱	l-45
				バリウム長石	k-281

用語	番号	用語	番号	用語	番号
ハルツバーナイト	e-53	ひすい輝石	k-170	フォノライト質リュー	e-26
バレミアン期	a-105	ピスマス化鉱物	k-17	サイタイト	
パロアセン石	k-209	ピスマス鉱	l-25	フォノライト類	e-276
ハロイサイト	k-243	微生物岩	c-210	フォノリトイド	e-218
波浪たい積物	d-113	微生物石灰岩	c-147	フォルステライト	k-91
ハロゲン化鉱物	k-19	ビゼーアン期	a-169	付加コンプレックス	b-32
ハワイアイト	e-259	砒素鉱石	l-23	付加体	o-12
半遠洋性たい積物	d-96	ヒト科ヒト属ヒト	m-262	付加テレーン	b-33
板さい亜綱	m-221	ヒドロ虫綱	m-104	複合火山	b-42
半索動物門	m-207	非伏在	n-6	伏在	n-7
はん歯目	m-264	微文象状	g-7	腹足綱	m-118
はん状	g-2	ヒューマイト	k-97	腐植質	c-260
ハンタイト	k-68	ヒューマイト族	k-94	腐植炭	c-185
パンテレライト	e-257	ヒューランダイト	k-313	腐植混じり	c-261
パンテレライト質粗面	e-268	氷河たい積物	d-108	部層	b-5
岩		漂砂たい積物	d-106	ふ足綱	m-136
板皮綱	m-219	ピリオム石	k-328	普通海綿綱	m-96
パンベリー石	k-131	ピリボール	k-335	普通輝石	k-163
パンベリー石・アクチ	i-31	ピワモドキ亜綱	m-77	沸石	k-300
ノせん石亜相		浜堤・砂丘たい積物	d-53	沸石相	i-33
半無煙炭	c-211	浜堤外浜たい積物	d-159	ふっ素の鉱石	l-54
はん濫原(後背湿地)	d-12	浜堤たい積物	d-38	筆石綱	m-208
はん濫原(自然堤防)	d-11	浜堤平野たい積物	d-51	腐泥炭	c-193
はん濫原たい積物	d-10	貧毛綱	m-148	ぶどう石	k-254
凡例	o-5			ぶどう石・アクチノセ	i-32
はんれい岩	e-141	[フ]		ん石亜相	
はんれい岩類	e-130	ファイヤライト	k-92	浮遊性有孔虫	m-38
はんれいノーライト	e-157	フィリップサイト	k-308	ブラシノ藻綱	m-29
半れき青炭	c-191	フィロけい酸塩鉱物	k-214	フランクリン鉄鉱	k-44
		風化岩	o-14	ブランチ	n-67
[ヒ]		風成たい積物	d-115	ブリアボニアン期	a-77
ピアセンジアン期	a-48	フェルグサイト	e-197	ブリドリ世	a-176
非アルカリ・アルカリ	e-246	フェロアクチノせん石	k-192	プリンスバッキアン期	a-125
火山岩		フェロシライト	k-153	ブルース石	k-52
非アルカリ火山岩	e-247	フェロゼードルせん石	k-185	フロートストーン	c-133
非アルカリ岩	b-20	フェロハイパーシン	k-155	フロゴパイト	k-221
非アルカリ玄武岩	e-252	フェンジャイト	k-218	ブロック溶岩	f-111
ビーチロックたい積物	d-78	フォイドライト	e-192	プロデルタたい積物	d-46
ヒオリテス門	m-144	フォーゲサイト	e-32	プロトクスタ界	m-6
非海成たい積体	b-11	フォノテフライト	e-269	フロンギアン世	a-186
ヒカゲノカズラ綱	m-55	フォノライト	e-219	ブロンザイト	k-150
ヒカゲノカズラ門	m-54	フォノライト質アナル	e-229	ふん殻綱	m-134
ひ化鉱物	k-15	シマイト		噴気孔	n-90
微化石	m-276	フォノライト質準長石	e-227	分類不明のけい酸塩鉱	k-87
干潟たい積物	d-35	火山岩		物	
ピクライト	e-244	フォノライト質ソーダ	e-230	分類不明の鉱物	k-319
ピクロ玄武岩	e-251	ライタイト		分類不明の硫化鉱物	k-18
被こう綱	m-187	フォノライト質テフラ	e-222		
尾索亜門	m-211	イト		[ヘ]	
ひ酸塩鉱物	k-85	フォノライト質ネフェ	e-228	平滑亜綱	m-231
微斜長石	k-272	リナイト		平均粒径	c-212
ビジョン輝石	k-161	フォノライト質ベイサ	e-223	ベイサナイト	e-225
ビシンパイト	k-296	ナイト		ベースサージ	f-152

用語	番号	用語	番号	用語	番号
ベースサージたい積物	f-77	放散虫シルト岩	c-163	マグネシオリーベック	k-203
ベーマイト	k-55	放散虫チャート	c-168	せん石	
へき開	n-46	放散虫泥	c-151	マグネシクロマイト	k-47
へき開面	n-44	放散虫泥岩	c-160	マグヘマイト	k-41
ヘクトライト	k-250	放散虫軟泥	c-157	まくら状	f-155
ペクトライト	k-175	放散虫目	m-32	まくら状角れき岩	f-117
ヘスチングスせん石	k-198	胞子	c-246	まくら状溶岩	f-116
ベスブ石	k-123	放射性廃棄物	d-135	マツ綱	m-69
ペタライト	k-288	紡錘虫上科	m-36	マツ門	m-67
ヘッタンギアン期	a-127	紡錘虫石灰岩	c-208	マリアライト	k-298
ヘデン輝石	k-165	方ソーダ石	k-292	マルム世	a-112
ペペライト	f-130	ほう素の鉱石	l-58	マンガン鉱石	l-3
ペリアシアン期	a-109	暴浪波たい積物	d-114	マンガンスピネル	k-37
ペリクレーヌ	k-22	ポーフィロクラスト	n-100	マングローブたい積物	d-37
ペリリウム鉱	l-41	星形亜門	m-196	マンサク亜綱	m-75
ヘルシナイト	k-34	補助境界	n-5		
ペルスパライト	c-112	ボタ山	d-132	[ミ]	
ペルスパルーダイト	c-111	蛍石	k-20	ミグマタイト	h-8
ペルミクライト	c-122	ボッグヘッド質しょく	c-203	ミグマタイト質深成岩	b-27
ペルミクルーダイト	c-121	炭		体	
ベルム紀	a-143	ボッグヘッド質しょく	c-202	ミクライト	c-127
ペレット	c-240	炭けつ岩		未結合	c-243
ペロイド	c-250	ボッグヘッド炭	c-195	未固結	c-228
ペロプスカイト	k-30	ポニナイト	e-245	ミシシッピアン紀	a-166
変位変成岩	i-10	ほ乳綱	m-253	水井戸	n-87
片岩	h-2	ポリリシオナイト	k-339	ミズーライト	e-198
変質岩	o-13	ポルックス石	k-345	ミズニラ綱	m-56
変質帯	n-8	ホルムキストせん石	k-186	ミドリゲ綱	m-27
片状構造	n-40	ホルンフェルス	h-7	ミネット	e-30
ペンシルバニアン紀	a-159	ホルンブレンド	k-194	ミュージアライト	e-262
変成岩	h-1	ホルンブレンド・グラ	i-28	みょうばん石	k-78
変成岩コンプレックス	b-28	ニュライト亜相			
変成岩テレーン	b-29	ホルンブレンド族	k-193	[ム]	
変成作用	n-99			無煙炭	c-192
変成帯	n-10	[マ]		無がく綱	m-215
ベントナイト	l-75	マーウイナイト	k-119	無関節綱	m-182
片麻岩	h-3	マーガライト	k-228	無弓亜綱	m-235
片麻構造	n-39	マーストリヒチアン期	a-93	無板綱	m-114
片麻状	g-3	マール	b-49	無はん晶	g-6
ベンモレアイト	e-265	マール型火山	b-48	無尾目	m-232
片理	n-97	マイクロクリン	k-271	ムライト	k-110
[ホ]		埋没変成岩	i-3		
方鉛鉱	k-12	マイロナイト	h-22	[メ]	
方解石	k-62	マイロナイト帯	n-32	メイオナイト	k-299
方解石カーボナタイト	e-3	マガディーアイト	c-170	迷歯亜綱	m-229
放棄河道たい積物	d-14	マグネサイト	k-63	メイメチャイト	e-243
放棄自然堤防たい積物	d-15	マグネシアン石灰岩	c-96	メソライト	k-305
ホウキムシ動物門	m-180	マグネシウム鉱	l-42	メタン細菌門	m-2
ほう酸塩鉱物	k-73	マグネシオカーボナ	e-8	メッシニアン期	a-53
放散虫	c-235	イト		メラネフェリナイト	e-273
放散虫けつ岩	c-166	マグネシオカトフォル	k-212	メリライト	k-134
放散虫シルト	c-154	せん石		メリライト含有岩	e-10
		マグネシオフェライト	k-38	メリライト族	k-132

用語	番号	用語	番号	用語	番号
メリライトネフェリナイト	e-236	優黒質アルカリ長石花こう岩	e-78	ユリ亜綱	m-82
メリライトリュースタイト	e-237	優黒質アルカリ長石せん長岩	e-99	ゆり形亜門	m-189
メリタイト	e-17	優黒質花こう岩	e-81	ユリ綱	m-80
メリタイト	e-11	優黒質花こうせん緑岩	e-90	[ヨ]	
メルテিজァイト	e-195	優黒質石英はんれい岩	e-140	葉化石	m-86
面構造	n-38	優黒質せん長花こう岩	e-84	溶岩	f-106
[モ]		優黒質せん長岩	e-106	溶岩ドーム	b-43
藻	c-244	優黒質せん緑岩	e-128	溶岩ローブ	f-159
網状河川たい積物	d-18	優黒質トータル岩	e-93	溶結	f-133
網状けい酸塩系原料	l-80	優黒質トロクトライト	e-179	溶結火砕岩	f-54
網状けい酸塩鉱物	k-256	優黒質ノーライト	e-167	溶結火山れき凝灰岩	f-56
モクレン亜綱	m-73	優黒質はんれい岩	e-143	溶結凝灰岩	f-57
モクレン綱	m-72	優黒質はんれいノーライト	e-159	溶結凝灰岩	f-55
モクレン門	m-71	優黒質モンゾ花こう岩	e-87	溶結構造	n-43
モスコビアン期	a-164	優黒質モンゾせん緑岩	e-121	よう素の鉱石	l-57
モナズ石	k-84	優黒質モンゾナイト	e-113	翼形亜綱	m-139
モネラ界	m-1	優黒質モンゾはんれい岩	e-136	翼甲亜綱	m-217
盛土(堤防・線路など)	d-131	有しゅ動物門	m-149	翼手目	m-260
モリブデン鉱	l-31	有鐘目	m-43	翼竜目	m-248
モリブデン酸塩鉱物	k-80	ゆう水	n-94	[ラ]	
モルデナイト	k-316	ユーステグマト植物門	m-19	ラーナイト	k-118
もろい	c-227	ゆう泉	n-93	ラウド世	a-177
文象状	g-8	有肺亜綱	m-121	裸こう綱	m-186
モンゾ花こう岩	e-85	優白質	e-289	ラコリス	f-127
モンゾせん緑岩	e-119	優白質花こう岩	e-80	ラディニアン期	a-134
モンゾナイト	e-111	優白質花こうせん緑岩	e-89	ラハールたい積物	f-101
モンゾノーライト	e-45	優白質石英はんれい岩	e-139	ら板綱	m-202
モンゾはんれい岩	e-134	優白質せん長花こう岩	e-83	ラブラドライト	k-278
モンチカイト	e-36	優白質せん長岩	e-105	ランギアン期	a-57
モンチセライト	k-93	優白質せん緑岩	e-127	ランキン石	k-136
モンモリロナイト	k-246	優白質トータル岩	e-92	らん晶石	k-113
[ヤ]		優白質トロクトライト	e-178	らん晶石・エクロジァイト亜相	i-22
矢石目	m-129	優白質ノーライト	e-166	らんせん石	k-202
ヤコブス鉱	k-45	優白質はんれい岩	e-142	らんせん石片岩相	i-15
ヤシ亜綱	m-83	優白質はんれいノーライト	e-158	ランドベリ世	a-179
ヤプレシアン期	a-82	優白質モンゾ花こう岩	e-86	ランプロアイト	e-22
[ユ]		優白質モンゾせん緑岩	e-120	ランプロファイア	e-29
有関節綱	m-183	優白質モンゾナイト	e-112	[リ]	
有機岩	c-184	優白質モンゾはんれい岩	e-135	リアス世	a-123
有機鉱物	k-318	有尾目	m-233	リアキアン紀	a-201
有機質	c-262	融氷河流たい積物	d-110	リーベックせん石	k-204
有きょく亜門	m-200	ユーライト	k-154	陸上	f-162
有孔虫綱	m-34	湯河原沸石	k-344	陸上火砕たい積物	f-70
有孔虫石灰岩	c-145	油けつ岩	c-199	陸上溶岩	f-107
有孔虫目	m-35	油徴	n-86	陸植炭	c-186
有孔虫門	m-33	油田	n-11	陸棚縁辺たい積体	d-147
優黒質	e-290	油母けつ岩	c-198	陸棚縁辺たい積物	d-160
				陸棚たい積物	d-83
				リザダイト	k-236

用語	番号	用語	番号	用語	番号
リシア雲も	k-226	りん酸塩鉱物	k-82	ワイラカイト	k-303
リシア輝石	k-173	りん鉄鉱	k-156	ワジたい積物	d-104
リチウム鉱	l-46			ワッケ	c-75
リニアメント	n-49	【ル】		ワッケストーン	c-130
リニア門	m-51	ルードストーン	c-134	ワッケストーンりん灰	c-174
リヒテルせん石	k-210	ルチル	k-27	土	
硫酸鉱物	k-327	ルテシアン期	a-80	ワニ目	m-245
硫化鉱物	k-7	ルビジウム鉱	l-49	湾口・海峡部たい積物	d-81
硫化鉄鉱	l-85	ルベリアン期	a-72	腕足動物門	m-181
リュウサイト	e-24	ルベリアン期後期	a-73	腕足類石灰岩	c-137
リュウサイト	k-289	ルベリアン期前期	a-74		
リュウサイト含有岩	e-23				
リュウサイトテフライト	e-27	【レ】			
リュウサイトフォノライト	e-28	レアアース	l-86		
硫酸塩鉱物	k-74	霊長目	m-261		
粒子支持	c-248	レータイト	e-213		
粒度	g-5	レーティアン期	a-130		
流動アグルチネート(溶岩)	f-25	レールゾライト	e-54		
流動角れき岩	f-112	れき	c-4		
流動または降下たい積単位	b-7	れき岩	c-22		
流動溶結	f-134	れき質	c-255		
流動溶結火砕岩	f-58	れき質砂	c-48		
流動溶結火山れき凝灰岩	f-60	れき質砂岩	c-58		
流動溶結凝灰角れき岩	f-61	れき質砂質泥岩	c-56		
流動溶結凝灰岩	f-59	れき質砂質泥	c-46		
竜盤目	m-246	れき質泥岩	c-55		
硫ひ鉄鉱	k-326	れき質泥質砂	c-47		
リュウピンタイ綱	m-61	れき質泥質砂岩	c-57		
流紋岩	e-202	れき質泥	c-45		
流紋岩類	e-200	れき青炭	c-190		
流理構造	n-41	れき混じり	c-256		
流路内たい積物	d-163	レス	d-107		
流路埋積たい積物	d-170	裂歯目	m-263		
両生綱	m-228	レビドクロサイト	k-57		
りょうマンガン鉱	k-64	レビドライト	k-225		
緑色片岩	h-9				
緑色片岩相	i-24	【ロ】			
緑藻門	m-26	ろう石	l-74		
緑柱石	k-140	ローソン石	k-130		
緑泥石	k-234	ローソン石・エクロジヤイト亜相	i-20		
緑れん石	k-127	ローソン石・青色片岩	i-17		
緑れん石・エクロジヤイト亜相	i-21	亜相			
緑れん石・青色片岩亜相	i-18	ローディアン期	a-152		
緑れん石族	k-124	ローブ状	f-156		
リン鉱石	l-22	ローモンタイト	k-317		
りん酸塩岩	c-172	六脚綱	m-179		
		六放海綿綱	m-95		
		六放サンゴ亜綱	m-110		
		ロンタニアン期	a-146		
		【ワ】			
		ワーディアン期	a-150		